



COMAND システム

取扱説明書



Mercedes-Benz

表記と記載内容について

マーク	内容
*	オプションや仕様により異なる装備には * マークが付いています。
	警告 重大事故や命にかかわるけがを未然に防ぐために必ず守っていただきたいことです。
	環境 環境保護のためのアドバイスや守っていただきたいことです。
	注意 けがや事故、車の損傷を未然に防ぐため、必ず守っていただきたいことです。
	知識 知っているると便利なことや、知っておいていただきたいことです。
	操作手順などを示しています。
(▷ ページ)	関連する内容が他のページにもあることを示しています。
ディスプレイ	マルチファンクションディスプレイ / COMAND システムの表示を示しています。

メルセデス・ベンツ車をお買い 上げいただきありがとうございます ます

運転される前に、この取扱説明書をお読みいただき、COMAND コントロールパネルについてのご理解を深めてください。お客様自身と周りの人々を危険から守り、COMAND コントロールパネルを最大限に楽しんでいただくことを可能にします。

COMAND コントロールパネルの機能や装備は、モデルや装備のレベルによって異なる場合があります。

メルセデス・ベンツは、車両を最先端にする改良を絶えず行なっています。そのため、デザイン、装備などが予告なく変更されることがあり、この取扱説明書に含まれる記述やイラストと異なる場合があります。

不明点があるときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

取扱説明書は車両の一部ですので、常に車両に搭載してください。また車両をお譲りになる場合は、必ず取扱説明書を次のオーナーにお渡しください。

Daimler AG の技術文献チームは、お客様が安全で楽しい運転ができることを望んでいます。

目次 3

さくいん 5

ご使用の前に..... 13

はじめに 15

システムの設定 39

ナビ..... 47

電話..... 131

COMAND Online とインターネット... 165

オーディオ..... 205

TV/ 映像 247

リアエンターテインメントシステム .. 269

ア

アクセスデータのリスト	169
新しいプロバイダー	169
アクティブパーティション (USB 機器のみ)	219
選択	219
アドレス帳	154
項目の検索	155
項目の詳細	156
項目を削除する	156
項目を作成する	156
項目を変更する	157
ご使用の前に	154
使用	154
電話をかける	158
呼び出し	155
ルート案内を開始する	159
連絡先のインポート	161
アドレス帳の項目	155
詳細の表示	156
安全上の注意 132, 210, 258	
電話	132
DVD ビデオモード	258
MP3 モード	210
一時停止機能	213
インターネット	193
お気に入りの管理	199
お気に入りのメニュー	199
お気に入りを開く	197
カラーセルビュー (マルチウインドウ) を呼び出す	193
メニューの機能	196
URL の入力	193
インターネットアクセス	166
条件	166
インターネットアクセスデータ	167
選択 / 設定	167
お気に入り (インターネット)	199

オーディオ AUX ジャック	244
オーディオフォーマット	219
設定 (DVD オーディオモード)	219
オプションの選択 (COMAND Online)	188
調整をリセットする	192
天気表示	189
目的地 / ルートのダウンロード	191
ローカル検索	188
オプションメニュー (COMAND Online)	188
音楽ファイル	227
録音	227
音楽 CD/DVD オーディオまたは MP3 モード	211, 275
オンにする	211
切り替え (リアエンターテインメントシステム)	275
音質調整	29
高音と低音	29
バランスとフェーダー	30
音声認識機能	42
設定	42
音量	28
調整する	28
通話	29
ナビの音声案内	29

カ

外部入力端子	35
CD/DVD ドライブ	35
カテゴリーリスト (ミュージックサーチ)	222
機能の制限	133, 259
電話の使用	133
DVD ビデオモード	259

クリアスイッチ	19
クロスカーソル位置	110
携帯電話	133
外部認証	136
接続 (Bluetooth® インターフェース)	134
認証	135
認証する	135
認証取り消し	137
携帯電話のネットワークプロバイダー	
のアクセスデータ	167
項目の生成	173
削除	175
選択	168
編集	175
携帯電話のネットワークプロバイダー	
のリスト	167
空欄	169
選択したプロバイダーがあるリスト	169
呼び出し	168
高音と低音	29
調整する	29
後席用ディスプレイ	34
交通渋滞機能	78
コピープロテクト (CD/DVD)	222
コンパス機能	115

サ

再生オプション	219
サウンド	28
オン/オフを切り替える	28
サウンド設定	29
サラウンドサウンド	30
時間	41
設定	41

時間の表示形式	41
設定	41
システム言語	43
設定	43
自宅住所	52
入力と保存	52
自動切断	175
時間の長さの設定	175
自動的に放送局を記憶する	209
周波数入力	208
手動	208
周波数バンド	207
切り替え (ラジオ)	207
全ルート図	60
操作の例	24

タ

短縮ダイアルリスト	153
電話帳の項目を短縮ダイアルリスト	
に保存する	153
地図	110
動かす	110
地図の縮尺	109
設定	109
地図表示	111
選択	111
通話	139
受ける	139
保留する	143
発信する	140
ディスク	220, 222
CD/DVD	222
MP3	220
データメディア	213, 214, 216, 223
ミュージックレジスター	226

ハ

パスコード	135
入力する	135
早送り	216
CD/DVD モード	216
早戻し	216
CD/DVD モード	216
ハンズフリーのマイク	142
オン / オフを切り替える	142
日付の表示形式	41
設定	41
表示灯の表示	36
ヘッドホン	36
表示例	212, 227
音楽 CD モード	212
ミュージックレジスター	227
放送局	207, 208
選択	207
保存	208
放送局サーチ	207
放送局プリセット	207

マ

マルチセッション CD	220
マルチファンクションステアリング	22
電話の使用	141
ミュージックサーチ	222
ミュージックレジスター	226
オンにする	226
再生オプション	231
すべての音楽ファイルを削除する	229
メモリー容量情報	230

メディアインターフェース	239
音楽ファイルを選択する	241
オンにする	240
基本メニュー	241
接続オプション	239
iPod®	239
MP3 プレーヤーの説明	244
USB 機器	239
メディアリスト	214
メニュー	21, 51, 252
システムの設定	21
表示する	51
メニュー表示 / 非表示 (テレビモード)	252
メニュー概要	21
COMAND システム	21
メモリ地点	104
エクスポートする	108
並び替え	107
目的地入力	52, 57
地図	57
文字	25
削除	26
文字入力	25
文字を入力する	26
テンキーを使用	27

ラ

ラジオ局	208
記憶	208
ラジオモード	206
オンにする	206
リアエンターテインメントシステム	33, 269
CD/DVD オーディオおよび MP3 モード	274

DVD ビデオモード	285
明るさの調整	272
外部入力モード	292
画面比率を変更する	273
カラーの調整	272
コードレスヘッドホン	36
コントラストの調整	272
サウンドの調整	272
システムの設定	273
テレビモード	279
電池の交換	37, 270
トラック情報	279
トラックの選択	277
ヘッドホンの使用	271
マルチユーザー	272
メインスピーカーの使用	271
リセット	45
リダイヤル	140
リターンスイッチ	19
リモコン	34
履歴	149
アドレス帳に項目を保存する	151
項目の表示と選択	150
削除	152
詳細を表示する	151
保存されていない項目の保存	151
ルート案内	66, 75
再開	75
ルート情報を表示する	77

B

B-CAS カード	250
Bluetooth®	43, 133
インターフェース	133
外部認証	136
作動 / 解除	43
設定	43
一般的な情報	43
電話	133

Bluetooth® インターフェース	132
電話	132
Bluetooth® インターフェースによる 電話機能	133
条件	133
Bluetooth® オーディオ基本画面	236
Bluetooth® オーディオデバイス	232
再接続する	234
Bluetooth® オーディオモード	236
オンにする	236
Bluetooth® デバイスリスト	233
Bluetooth® 電話リスト	134

C

CD	214, 215, 220, 222
コピープロテクト	222
再生オプション	219
一般的な情報	222
ディスク	222
トラックを選択する	215
マルチセッション	220
メディアの選択	214
CD/DVD	210, 211, 274, 275
挿入	210, 275
取り出し	210, 275
COMAND コントローラー	18
COMAND コントローラーの スイッチ	19
COMAND コントロールパネル	17
COMAND システム	16, 28
オン / オフを切り替える	28
基本機能	28
構成部品	16
COMAND システムの操作	23

COMAND ディスプレイ

.....	20, 22, 28, 40
オン / オフを切り替える.....	28
設定.....	40
手入れの説明.....	22

COMAND Online とインターネット

.....	166, 172, 176, 177
インターネット.....	193
オプション.....	188
携帯電話のネットワークプロバイダー のアクセスデータの選択.....	169
接続の確立.....	176
接続の終了.....	177
設定.....	201
追加サービス.....	203
天気.....	183
目的地のダウンロード.....	181
ローカル検索.....	177

D**DVD..... 214, 222**

コピープロテクト.....	222
ディスク.....	222
トラックを選択する.....	215

DVD オーディオ..... 214, 276

一時停止機能.....	278
停止機能.....	213

DVD の再生条件..... 259**DVD メニュー..... 262****E****ETC..... 123, 124**

スマート IC ゲート.....	124
設定.....	123
注意.....	123
履歴.....	124

G**Google ローカル検索**

.....	177, 178, 179
キーワード検索.....	178
検索位置の選択.....	178
検索履歴.....	180
通常検索.....	180
目的地として使用する.....	179
目的地 / ルートのインポート.....	180

Gracenote Media Database 217**H****harman/kardon® Logic 7® サラウンドシステム..... 30****I****iPod® 239, 240, 241, 242**

アルファベット順のトラック選択	243
カテゴリー / プレイリストの選択	242
メディアインターフェースへの接続	239

iTunes®..... 221, 244**L****Logic 7®..... 30**

harman/kardon® Logic 7® サラウンドシステムを参照

M**MP3..... 214, 220, 221**

再生可能なフォーマット.....	221
著作権.....	222
ディスク.....	220
ビット / サンプリングレート.....	221
ファイル構造.....	220
メディアの選択.....	214

S

SD メモリーカード	211
挿入	211
排出	211

U

USB 機器を接続する	211
--------------------------	------------

V

vCard	162
受信する	162

安全な取り扱い

全体的な注意事項



警告

常に交通状況に注意してください。

道路や交通状況が許すときのみ、COMANDシステムや電話を使用してください。

50 km/h の速度でも、車両は 1 秒間に約 14 m の距離を走行しているということを念頭に置いてください。ナビゲーションシステムは、一時停止の標識や前方優先道路の標識、交通規則、道路の安全性についての情報を提供するものではありません。車両を運転しているとき、これらのことに注意を払うのは運転者の義務です。車両が停止しているときにのみ新しい目的地を入力してください。

車両の無線機器やCOMANDシステムに関しては国の法令に従ってください。

電磁両立性の関連する特色の遵守も本機器で保証されています。

その結果、お客様の装備によって引き起こされる他の電気 / 電子装備への干渉は大部分は避けられ、また逆も同様です。

正しく使用するために

COMAND システムを使用するとき、下記の情報を遵守してください。

- 本取扱説明書にある安全に対する注意点
- 道路交通法

i 電子部品や、他のシステム（ラジオ、DVD チェンジャー）とそれらのソフトウェアへの不適切な作業は誤作動や故障の原因となります。電子システムが接続されているために、改造されていないシステムにも影響をあたえるおそれがあります。電子システムの誤作動によって車両の操作の安全性が重大な危険にさらされることがあります。

i ルーフキャリアシステムが使用されている場合、ルーフアンテナ（電話、GPS）は機能しないことがあります。

フロントガラスに後から金属製のフィルムをつけるとラジオの受信に影響を与えたり、車内の他のすべてのアンテナ（例：緊急アンテナ）に悪影響を与えるおそれがあります。

i 電子部品の修理や交換は、作業を行うために必要な特別な知識や道具を有しているメルセデス・ベンツ指定サービス工場でのみ行なってください。この目的のため、Daimler AG はメルセデス・ベンツ指定サービス工場のご利用をお勧めします。特に、安全性や安全関連のシステムに関する作業はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

著作権に関する情報

Macrovision™

これは米国の特許や知的所有権によって保護された著作権保護技術を提供している組織です。この著作権保護技術の使用はロヴィによって許可が必要であり、ロヴィの許可がない場合には家庭や他の制限された閲覧の使用のみとなります。リバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

libJPEG

このソフトウェアは Independent JPEG Group の製品に一部基づいています。

Free Type

このソフトウェアの一部は、©2005, The FreeType Project <http://www.freetype.org> による著作権に従っています。

すべての権利を保有しています。

NetFront™

本製品にはACCESS社のソフトウェア NetFront Browser が含まれています。著作権 ©1996-2010 ACCESS Co., Ltd. すべての権利を保有しています。

ソフトウェア NetFront Browser は、Independent JPEG Group の製品に一部基づいています。

Camellia

著作権 © 2006, 2007 NTT (日本電信電話株式会社)。

すべての権利を保有しています。

Camellia に関する利用条件と無保証規定は <http://info.isl.ntt.co.jp/crypt/eng/index.html> で利用できます。

Flash® Lite™

本製品にはアドビシステム社による Flash® Lite 技術が含まれています。本製品にはアドビシステム社からのライセンスの下、ソフトウェアの Adobe® Flash® playerが含まれています。著作権 © 1995-2010 Adobe Macromedia Software LLC. すべての権利を保有しています。Adobe と Flash は米国や他の国のアドビシステム社の登録商標です。

COMAND システムの特徴

この取扱説明書は、お買い上げいただいた時点で利用可能な、COMAND システムの標準装備やオプション装備すべてについて記載しています。国により、仕様が異なる場合があります。本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない可能性があることにご留意ください。このことは、安全に関する装備や機能にも当てはまります。そのため、記載されている内容やイラストが、お客様の車両の装備と異なる場合があります。装備や操作について不明点があるときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

機能の制限

安全のために、車両走行中は COMAND システムのいくつかの機能が制限されたり、利用できないことがあります。これは、例えば、いくつかのメニュー項目が選択できなかったり、COMAND システムにこれに関するメッセージが表示されることで、ご確認いただけます。

COMAND システム	16
マルチファンクション	
ステアリング	22
COMAND システムの操作	23
文字入力	25
COMAND システムの基本機能	28
エアコンの作動表示	32
リアエンターテインメント	
システム	33
パーキングアシストリアビュー	
カメラ	37

COMAND システム

概要



例：SLK

	機能	ページ
①	COMAND ディスプレイ	20
②	シングルDVDドライブ付き COMAND コントロールパネル	17
③	COMAND コントローラー	18
	リターンスイッチ（左）	19
	クリアスイッチ（右）	19

COMAND システムの構成

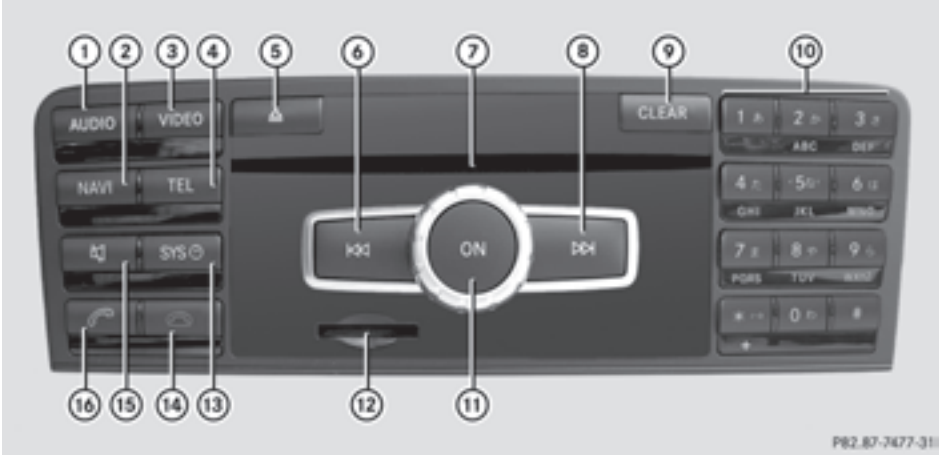
COMANDシステムは以下のものから構成されています。

- COMAND ディスプレイ
- シングル DVD ドライブ付き COMAND コントロールパネル
- COMAND コントローラー
- リターンスイッチとクリアスイッチ

COMANDシステムを使用して以下の基本機能が操作できます。

- ナビゲーションシステム
 - 以下のモードでのオーディオ機能
ラジオ、ディスク（音楽 CD/DVD と MP3 モード）、メモリーカード（MP3 モード）、ミュージックレジスター、USB 機器、メディアインターフェース、Bluetooth® オーディオ、外部入力
 - 電話帳とアドレス帳
 - テレビ、DVD ビデオおよび外部入力モードでのビデオ機能
 - COMAND Online とインターネット
 - システムの設定
- 以下のようにして基本機能呼び出すことができます。
- 対応する機能の選択スイッチを使用する
 - COMAND ディスプレイの基本機能バーを使用する（▷20 ページ）

COMAND コントロールパネル



機能	ページ
① 前回選択されていたオーディオモード（例：ラジオモード）に切り替える	206
② ナビゲーションモードに切り替える	50
設定メニューを表示する	51
③ 前回選択されていたビデオモード（例：テレビモード）に切り替える	250
④ 電話基本メニュー（Bluetooth® インターフェースによる電話機能）を呼び出す	138
アドレス帳を呼び出す	155
⑤ 読み込み/排出スイッチ	210
⑥ 放送局プリセットを使用して放送局を選択する（ラジオモード）	207
放送局サーチ機能を使って放送局を選択する	207

機能	ページ
早戻し	216
前のトラックを選択する	215
⑦ ディスクスロット	
CD/DVD を挿入する	210
CD/DVD を取り出す	210
⑧ 放送局プリセットを使用して放送局を選択する（ラジオモード）	207
放送局サーチ機能を使って放送局を選択する	207
早送り	216
次のトラックを選択する	215
⑨ クリアスイッチ	
文字を削除する	26
項目を削除する	26
⑩ テンキー	
放送局プリセットによって放送局を選択する	208

機能	ページ
手動で放送局を記憶させる	208
携帯電話の認証	135
電話番号の入力	140
文字入力	27
メモリーから天気予報の場所を選択する	184
# 再生されている現在のトラックを表示する	218
* 周波数を手動で入力して放送局を選択する	208
* トラックを選択する	215
⑪ COMAND システムのオン/オフを切り替える	28
音量を調整する	28
⑫ SD メモリーカードスロット	211
⑬ システムメニューを呼び出す	24
⑭ 通話を拒否する	139
通話を終える	143
保留中の通話を拒否する	143
⑮ ミュート	28
ハンズフリーのマイクのオン/オフを切り替える	142
ナビゲーションの音声案内を停止する	28
⑯ 通話を受ける	139
番号をダイヤルする	140
リダイヤル	140

機能	ページ
保留中の通話を受ける	143

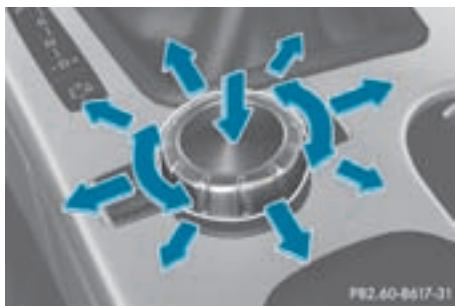
COMAND コントローラー



① COMAND コントローラー

COMAND コントローラーを使用して COMAND ディスプレイのメニュー項目を選択できます。

メニューまたはリストを呼び出したり、スクロールしたり、終了したりできます。



例：COMAND コントローラーを操作する
COMAND コントローラーは以下のようことができます。

- 軽く押す、または押して保持する
Ⓢ
- 時計回り、または反時計回りにまわす
【↻】
- 左右にスライドする
←↻→

- 前後にスライドする $\uparrow \odot \downarrow$
- 斜めにスライドする $\nearrow \odot \nwarrow$

説明では、操作の順番は以下に記載されているようになります。

- ▶ **AUDIO** スイッチを押します。
最後に選択されていたオーディオソースがオンになります。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして $\uparrow \odot$ 、**オーディオ** を選択し、押して $\odot$ 確定します。
オーディオメニューが表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして $\{\odot\}$ 、**ミュージックレジスター** のように他のオーディオソースを選択し、押して $\odot$ 確定します。
ミュージックレジスターがオンになります。

COMAND コントローラーのスイッチ

概要



- ① リターンスイッチ
- ② クリアスイッチ

リターンスイッチ

このスイッチを使用してメニューを終了したり、現在の操作モードの基本画面を呼び出すことができます。

- ▶ **メニューを終了する**：リターンスイッチ ① を軽く押します。

COMAND システムは現在の操作モードのなかで、1 つ上のメニュー階層に切り替わります。

- ① COMAND コントローラーをスライドさせて $\nwarrow \odot \nearrow$ 、 $\uparrow \odot \downarrow$ メニューを終了させることもできます。

- ▶ **基本画面を呼び出す**：リターンスイッチ ① を押して保持します。

COMAND システムは現在の操作モードの基本表示に切り替わります。

クリアスイッチ

文字入力するとき、このスイッチを使用して個々の文字または入力全体を削除することができます。

- ▶ **個々の文字を削除する**：クリアスイッチ ② を軽く押します。
- ▶ **入力全体を削除する**：クリアスイッチ ② を押して保持します。

COMAND ディスプレイ

全体的な注意事項

! 収納のためにディスプレイの前のスペースを使用しないでください。ここに置かれたものにより、ディスプレイを損傷したり、機能しなくなるおそれがあります。ディスプレイの表面に直接触れないようにしてください。ディスプレイの表面にかかる力で戻らなくなることがあり、ディスプレイに損傷を与えるおそれがあります。

偏光サングラスを着用するとディスプレイが読めなくなることがあります。

ディスプレイは自動温度制御の機能があります。ディスプレイが過熱すると、画面は自動的に暗くなります。ディスプレイは一時的に完全にオフになることがあります。

ディスプレイの概要

COMAND ディスプレイは現在選択されている機能やそれに関連するメニューを表示します。COMAND ディスプレイはいくつかのエリアに分かれています。

例えばラジオは以下のように表示されます。



ステータスバー ① 時刻や電話操作の現在の設定を示します。

基本機能のナビ、オーディオ、電話、TV/ 映像には追加メニューがあります。これは三角のマーク ② で表示されます。以下の表に利用可能なメニュー項目を記載しています。

基本機能バー ③ で希望の基本機能呼び出すことができます。

例えば、オーディオ基本機能がラジオモードになると表示 / 選択ウインドウ ④ が選択可能になります。

ラジオメニューバー ⑤ でラジオ機能の操作ができます。

メニュー概要

ナビ	オーディオ	電話	TV/映像	システム	マーク
地図表示切替	ラジオ	電話	テレビ	システムメニューを呼び出す	COMAND オンラインとインターネットを呼び出す
表示形式	ディスク	アドレス帳	DVD ビデオ		
VICS 表示	メモリーカード		外部入力		
地図アイコン表示	ミュージックレジスター				
設定	USBメモリー				
案内の中止	メディアインターフェース				
コンパス	Bluetooth® オーディオ				
	外部入力				

システムメニュー概要

設定	日時設定	消費	画面 OFF
画面設定	時間設定	燃料消費量表示を呼び出す	ディスプレイをオフにする
音声認識設定	表示形式		
リアビューカメラ			
言語 /Language			
☒ Bluetooth® の作動 / 解除			
データのインポート / エクスポート			
リセット			

パーキングアシストリアビューカメラを装備している場合：機能が設定されていて、COMAND システムがオンのときは、シフトポジションをリバースにしたときにパーキングアシストリアビューカメラの画像が、COMANDディスプレイに表示されます。

手入れの説明

！ COMAND ディスプレイには触れないでください。ディスプレイはとても繊細な高光沢の表面のため、損傷するおそれがあります。画面をきれいにする場合には、中性洗剤と柔らかく毛羽立たない布を使用してください。

ディスプレイの電源を切り、冷えてから掃除を始めてください。必要なときは市販のマイクロファイバーの布やTFT/LCD ディスプレイ用の洗剤でディスプレイ画面を拭き取ってください。ディスプレイの表面が戻らなくなることがあるため、掃除をするときには力を入れないでください。そして乾いたマイクロファイバーの布で表面を拭いて乾かしてください。

アルコール性シンナーや、ガソリン、研磨洗浄剤を使用しないでください。ディスプレイの表面を損傷するおそれがあります。

マルチファンクションステアリング



例：SLK

機能	ページ
① マルチファンクションディスプレイ (車両の取扱説明書をご覧ください)	
②  音声認識を作動させる (別冊取扱説明書をご覧ください)	
③  通話を拒否するまたは終了する	143
 通話をする、または受ける	139
リダイヤルメモリーに切り替える	140
  音量を調整する	28
 ミュート	28

	機能	ページ
④	◀ ▶ メニューを選択する 141 ▲ ▼ サブメニューを選択する、またはリストをスクロールする 141 OK 選択を確定してメッセージを非表示にする	
⑤	↩ リターンスイッチまたは音声認識をオフにする (別冊取扱説明書をご覧ください)	

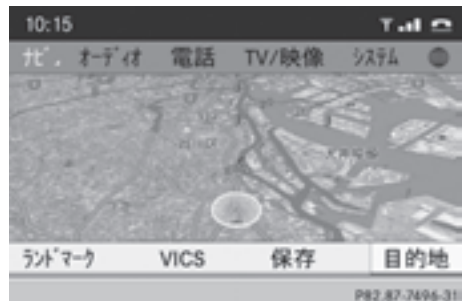
COMAND システムの操作

基本機能を選択する

初期状況

例えば、ナビゲーションモードからシステム設定に切り替えることができます。

- ▶ ナビゲーションモードに切り替える： **NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ メニューを表示する： COMAND コントローラーを押します .



- ▶ COMAND コントローラーをスライドして  基本機能バーに切り替えます。
- ▶ 基本機能バーで COMAND コントローラーをまわして 、**システム** を選択し、押して  確定します。

システムメニューが表示されます。



基本機能のメニューを呼び出す

ナビゲーション、またはオーディオ、電話、ビデオの基本機能の 1 つがオンになると、三角 ① が基本機能バーの項目の隣に表示されます。そして関連するメニューを選択できます。

例として、音楽 CD モード（音楽 CD が再生されている）からオーディオメニューを呼び出す方法を示します。



- ▶ 基本機能バーで COMAND コントローラーをスライドして **↑**、**オーディオ** を選択し、押して **⏵** 確定します。

オーディオメニューが表示されます。



オーディオメニュー

ドット ● は現在のオーディオモードを示しています。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **⏵**、**ラジオ** のように他のオーディオソースを選択し、押して **⏵** 確定します。

ラジオモードがオンになります。

操作の例

初期状況

例えば、システム機能からラジオモードに切り替え、放送局を設定できます。

操作の例は以下に記載されているようになります。

- 現在のオーディオ機能呼び出す
- ラジオモードに切り替える
- 放送局を設定する
- ▶ **システムメニュー**を呼び出す：
[SYS] スイッチを押す。



システムメニュー

ラジオモードに切り替える

- ▶ **[AUDIO]** 機能スイッチを押します。
前回選択していたモードがラジオモードであれば、ラジオモードが起動します。



- ▶ **少しずつ放送局の周波数を設定する**: 表示/選択ウィンドウがオンになっているときに、COMAND コントローラーをまわす **【○】** か、スライド **←○→** します。

または

- ▶ **【◀▶】** または **【▶▶】** スイッチを軽く押します。
ゲージが右または左に動きます。
- ▶ **放送局サーチを開始する**: 表示/選択ウィンドウがラジオ画面でオンのとき、COMAND コントローラーをスライドして **←○→** 保持します。

または

- ▶ **【◀▶】** または **【▶▶】** スイッチを押して保持します。
放送局サーチにより、周波数の上下方向に対してスキャンを行ない、次の放送局で停止します。

文字入力

COMAND コントローラーによる文字入力

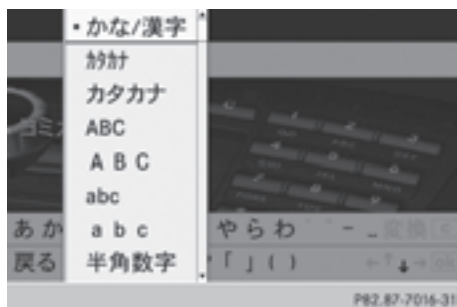
文字種類を選択する

例えば、電話帳やアドレス帳の項目を登録するときに、文字種類を選択することができます。

- ▶ 例えば、アドレス帳を呼び出します (▶ 151 ページ)。
- ▶ アドレス帳で COMAND コントローラーをスライドしてから **○↓**、まわして **【○】**、**新規** を選択し、押して **○** 確定します。

入力メニューおよびデータ欄が表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **○↓**、まわして **【○】** **文字** を選択し、押して **○** 確定します。



- ▶ 希望する文字種類を選択し、押して **○** 確定します。

- i** 項目の種類によって、使用できる文字の種類が異なります。電話番号と郵便番号を入力するときは、文字の種類は自動的に数字の入力に切り替わります。

文字種類	説明
かな / 漢字	ひらがな、漢字
かたかな	カタカナ（半角）
カタカナ	カタカナ（全角）
ABC	大文字（半角）のアルファベット (単語の最初の1文字だけが大文字になります)
A B C	大文字（全角）のアルファベット (単語の最初の1文字だけが大文字になります)
abc	小文字（半角）のアルファベット
a b c	小文字（全角）のアルファベット
半角数字	数字と主要記号（半角）
全角数字	数字と主要記号（全角）
特別文字	追加文字
特別数字	丸数字やローマ数字
マーク	マーク

文字を入力する

- ▶  を使用して入力行の位置を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドするか 、まわして 、文字を選択し、押して  確定します。

ひらがなとカタカナを入力する

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして 、ひらがな、またはカタカナの行を選択します。
- ▶ コントローラーをまわして 、文字を選択し、押して  確定します。



文字を削除する

- ▶ **個々の文字を削除する**：COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、アイコン  を選択し、押して  確定します。

または

- ▶ COMAND コントローラー脇、または COMAND コントロールパネルの  スイッチを押します。

カーソルの左側の1文字が削除されます。

- ▶ **入力を削除する**：アイコン  を選択し、入力全体が削除されるまで、COMAND コントローラーを押して  保持します。

または

- ▶ 入力全体が削除されるまで、COMAND コントローラー脇、または COMAND コントロールパネルの  スイッチを押して保持します。

COMAND コントロールパネルの テンキーでの文字入力（直接入力）

文字種類を選択する

- ▶ COMAND コントロールパネルの **#** スイッチを押します。

スイッチを押すごとに、以下の順番で文字の種類が変わります。
 かな / 漢字 → かな → カタカナ
 → ABC → A B C → abc → a b
 c → 半角数字 → 全角数字 → かな / 漢字 → ...

- i** 項目の種類によって、使用できる文字の種類が異なります。
- i** 特別文字、特別数字、特別記号の文字の種類はCOMAND コントローラーで選択できます。

数字を入力する

- ▶ 対応するテンキーを押して、希望の数字を入力します。

ひらがなやカタカナ、句読点などを入力する

- ▶ 希望の文字と一緒に書かれたテンキーを押します。

キーを押すと画面下部に文字が表示されます。最初に使用できる文字が強調されます。

- ▶ スイッチを押すごとに、文字バーの次の文字が選択されます。
 選択された文字は約 2 秒後に挿入されます。

- i** 入力する文字が選択された後にテンキーのいずれかを押しても文字が挿入されます。

ひらがなを漢字に変換する

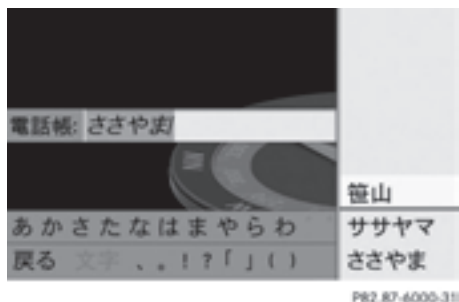
- ▶ 漢字の読みをひらがなで入力します。

変換するひらがながアミかけで表示されます。

- i** **←** **→** でカーソルを動かして、変換したいひらがなの範囲を変更できます。



- ▶ **変換** を選択します。
 使用可能な漢字が表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわす **【◎】** か、スライドして **↑◎↓**、入力する文字を選択します。
- ▶ 変換するひらがなの範囲が長いときは、**←** **→** でカーソルを動かして範囲を変更します。

COMAND システムの基本機能

COMAND システムのオン / オフを切り替える

- ▶ コントロールノブ  を押します。警告メッセージが表示されます。COMAND システムが以前選択されていたメニューを呼び出します。
- i** COMAND システムをオフにすると、現在のオーディオまたはビデオソースの再生もオフになります。

COMAND ディスプレイのオン / オフを切り替える

- ▶  機能スイッチを押します。または
 - ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、基本機能バーで **システム** を選択し、押して  確定します。
- いずれの場合も、システムメニューが表示されます。
- ▶ **オフにする**：画面 **OFF** を選択し、押して  確定します。
 - ▶ **オンにする**：、 またはリターンスイッチ  のような機能スイッチの 1 つを押します。

ミュート

オーディオ / ビデオソースからのサウンド

- ▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- それぞれのオーディオまたはビデオソースからのサウンドがオンになるか、消音されます。

i 消音されているとき、システムはステータスバーにアイコン  を表示します。オーディオまたはビデオソースを変更する、または音量を調整すると、サウンドは再び自動的にオンになります。

i 消音されていても、ナビゲーションシステムの音声案内は行なわれます。

ナビの音声案内をすべて消音する

- ▶ **ナビの音声案内**：音声案内中に  スイッチを押します。

ナビの音声案内を元に戻す

- ▶  スイッチを再度押します。
- i** 新しいルート案内を開始したり、コントロールノブ  で COMAND システムの電源をオン / オフにすると、再びナビの音声案内も行なわれます。

音量を調整する

オーディオまたはビデオソースの音量を調整する

- ▶ コントロールノブ  をまわします。
- または
- ▶ マルチファンクションステアリングの  または  スイッチを押します。

現在選択されているオーディオやビデオのソースの音量が変わります。

以下の場合に音量を調整することもできます。

- ナビの音声案内
- 通話
- 音声認識システムからの音声出力（別冊取扱説明書をご覧ください）

ナビの音声案内の音量を調整する

ナビの音声案内が行なわれているとき

- ▶ コントロールノブ (ON) をまわします。

または

- ▶ マルチファンクションステアリングの **+** または **-** スイッチを押します。

電話の通話音量を調整する

通話中にハンズフリーモードの音量を調整することができます。

- ▶ コントロールノブ (ON) をまわします。

または

- ▶ マルチファンクションステアリングの **+** または **-** スイッチを押します。

サウンドを調整する

サウンドメニューを呼び出す

異なるオーディオやビデオソースのサウンドのさまざまな設定ができます。例えば、音楽 CD モードよりもラジオモードに、より低音を設定できます。好みのモードのメニューからそれぞれのサウンドメニューを呼び出すことができます。

CD モードでサウンドメニューをどのように呼び出すかの例を示します。

- ▶ **AUDIO** 機能スイッチを押します。
前回選択されているモードが CD モードであれば、CD モードが作動します。



- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **⬅️Ⓞ️➡️**、まわして **Ⓞ️**、**サウンド** を選択し、押して **Ⓞ️** 確定します。

次に音楽 CD モードの高音と低音、またはバランスとフェーダーを設定することができます。

高音と低音を調整する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **Ⓞ️**、サウンドメニューの **Treble** または **Bass** を選択し、押して **Ⓞ️** 確定します。

調整スケールが表示されます。



低音の調整（例）

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **Ⓞ️**、設定を選択し、押して **Ⓞ️** 確定します。

設定が登録され、メニューが終了します。

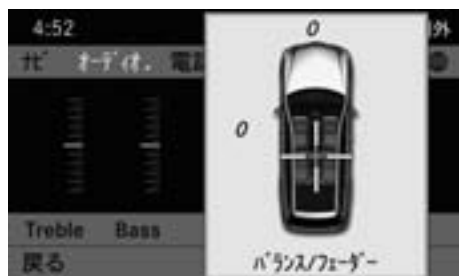
バランスとフェーダーを調整する

バランス機能は運転席側または助手席側のサウンドをより大きくするために使用します。

フェーダー機能は車両のフロントまたはリアのサウンドをより大きくするために使用します。

フェーダー	車両
機能を使用できる	C クラス、E クラス、CLS クラス
機能を使用できない	SLK

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【0】**、**バランス / フェーダー** を選択し、押して **0** 確定します。



- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **↔0↔**、バランスの設定を選択し、押して **0** 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **↑0↓**、フェーダーの設定を選択し、押して **0** 確定します。
設定が登録され、メニューが終了します。

サラウンドサウンド

全体的な注意事項

車両にサラウンドシステムの harman/kardon® Logic 7® を装備している場合は、車内で最適なサラウンドサウンドの設定ができます。

サラウンドシステムの harman/kardon® Logic 7® は以下の操作モードで使用可能です。

- ラジオ (FM のみ)
- 音楽 CD
- DVD オーディオ (MLP、dts、PCM と Dolby Digital のオーディオフォーマット)
- MP3 (SD メモリーカードと USB 機器を含む)
- メディアインターフェース
- Bluetooth® オーディオでの操作
- テレビ
- DVD ビデオ (PCM、dts と Dolby Digital のオーディオフォーマット)
- 外部入力

ステレオとマルチチャンネルオーディオの両方のフォーマットをもつ DVD があるため、オーディオフォーマットの設定が必要な場合があります (▷219 ページ)。

- ① **Logic7® ON** 機能は、例えば、ステレオ録音されたものを再生するときに、どの乗員もサラウンド体験ができます。MLP、dts または Dolby Digital のようなマルチチャンネルオーディオのフォーマットで CD、DVD オーディオまたは DVD ビデオで音楽や映画を最適に再生することができます。このように、サウンドの特色はオリジナルの録音時にサウンドエンジニアが意図したものにになります。

- ① **Logic7® OFF** を選択すると、許可されたすべてのフォーマットがメディアに登録されて再生されます。室内空間のデザインのため、乗員すべてに最適なオーディオ体験が保証されているわけではありません。
- ② 記述したオーディオフォーマットをサポートしているディスクには以下のようなロゴがあります。



Dolby Digital



dts



MLP

サラウンドサウンドのオン / オフを切り替える

ラジオモードでサラウンドサウンドをどのように設定するか例を示します。

- ▶ **AUDIO** 機能スイッチを押します。

前回終了時にラジオモードをオンにしていたときは、ラジオメニューが表示されます。最後に選択した周波数バンドで再生していた最後の放送局が受信されます。



- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **⊙**, まわして **⌂**, **サウンド** を選択し、押して **⊙** 確定します。
- ▶ **サウンド** を選択し、押して **⊙** 確定します。



サラウンドサウンドの設定（例）

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **⌂**, **Logic7® On** または **Logic7® Off** を選択し、押して **⊙** 確定します。
- 選択によって、サラウンドがオンまたはオフになり、メニューが終了します。

- ▶ 保存しないでメニューを終了する：
リターンスイッチ  を押すか、
COMAND コントローラーをスライ
ドします 。

i 以下のことに注意してください。Logic 7®
が作動しているときにすべての乗員が
最適なオーディオ体験をするには、バ
ランスとフェーダーの設定を車内の中
央にセットしなければなりません。

高品質のDVDオーディオやDVDビデ
オを再生することにより、最良のサウ
ンドが得られます。

MP3 のトラックのビットレートは少
なくとも 128 kbit/s が必要です。

サラウンド再生は AM ラジオモードの
ようなモノラル信号のソースでは機能
しません。

トンネルの中のようにラジオの受信が
弱いときは、ステレオとモノラルで切
り替わったり、一時的に音のゆがみを
生じたりするため、Logic 7® をオフに
してください。

ステレオ録音されたもののなかには、
通常のステレオ再生とは音の性質が異
なることがあります。

エアコンの作動表示

エアコンの設定を変更すると（車両の
取扱説明書をご覧ください）、エアコン
の作動表示がCOMANDディスプレイ
の画面の下に 3 秒間表示されます。さ
まざまなエアコンの機能の現在の設定
を表示します。

エアコンの作動表示は以下のときに表
示されます。

- ▶ 温度コントローラーの2つのうち1
つをまわして温度を右または左に
設定するか^{1,2}、温度コントロール
をまわして、温度を設定します^{3,4}。

または

- ▶ コントロールをまわして、送風を設
定できます^{3,4}。

または

- ▶ 以下のスイッチの1つを押します。

 送風を強くする^{1,2}

 送風を弱くする^{1,2}

 エアコンのオン / オフを切り
替える^{1,2,3}

 機能のオン / オフを切り替え
る^{1,2}

 エアコンを自動的にコント
ロールする^{1,2}

 AUTO モードでの送風スタイ
ルを設定する
(FOCUS/MEDIUM/DIFFUSE)²

 送風口を設定する^{1,2}

、 または  送風口を
設定する^{3,4}

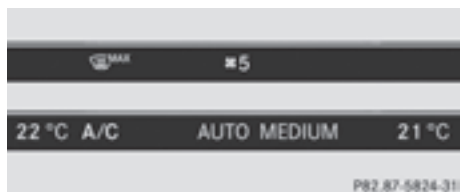
 デフロスター機能をオンにす
る^{1,2,3,4}

- i** パーキングアシストリアビューカメラ
からの映像が表示されるときは、エア
コンの作動表示は表示されません。

-
1. オートエアコンディショナー（2ゾ
ーン）で使用可能
 2. オートエアコンディショナー（3ゾ
ーン）で使用可能
 3. エアコンで使用可能
 4. ヒートマティックで使用可能



例：COMAND ディスプレイのエアコン作動表示



イラストはデフロスター機能（上）と AUTO モードでの送風スタイル（下）の現在の設定の例を示しています。

- ▶ **非表示にする：** COMAND コントローラーをまわすか押します。

または

- ▶ COMAND システムのスイッチの 1 つを押します。

i エアコンの詳細の記載は車両取扱説明書にあります。

リアエンターテインメントシステム

構成部品

概要

リアエンターテインメントシステムの構成部品は以下のとおりです。

- 前席ヘッドレスト後側の 2 組の後席用ディスプレイ
- リモコン
- CD / DVD ドライブ
- 両方のディスプレイ（外部入力ディスプレイ）の外部入力端子および CD / DVD ドライブ（外部入力ドライブ）の外部入力端子
- 2 組のコードレスヘッドホン

後席用ディスプレイ



リモコン

概要



- ① 画面のオン / オフを切り替える
- ② スイッチ照明のオン / オフを切り替える
- ③ リモコンで画面を選択する
- ④ メニューまたはメニュー項目を選択する
- ⑤ 選択または設定を確定する
- ⑥ サウンドのオン / オフを切り替える（コード付きヘッドホン）
- ⑦ 音量を調整する（コード付きヘッドホン）
- ⑧ スキップ、早送り / 早戻しする
- ⑨ トラックを選択する、トラックを直接入力する
- ⑩ メニューを終了する（戻る）

リモコンで画面を選択する

リモコンを使用して、左右それぞれの後席用ディスプレイのどちらかを1度に操作できます。このために、リモコンを希望の画面に切り替える必要があります。

- ▶ 左側の画面を選択する："L REAR"がウィンドウで強調されるまで、ダイヤル ③ をまわします。

- ▶ 右側の画面を選択する："REAR R" がウインドウで強調されるまで、ダイヤル ③ をまわします。

画面のオン / オフを切り替える

エンジンスイッチのキーが **0** または **1** の位置にあるとき (車両の取扱説明書をご覧ください)、またはキーが挿入されていないときは、30 分後に後席用画面が消えます。画面が消える前に、この結果に関するメッセージが表示されます。

画面を再度オンに戻すことができます。ただし、これによりスターターバッテリーが上がる場合があります。

- ▶ リモコン操作で選択した後席用画面にリモコンを向けます。
- ▶ リモコンのスイッチ ① を押します。それぞれの後席用画面のオン / オフが切り替わります。

i エンジンスイッチのキーが **2** のときのみ、リモコンで画面をオンにできます。

スイッチ照明のオン / オフを切り替える

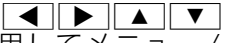
- ▶ リモコンのスイッチ ② を押します。以前の状態に応じて、スイッチ照明のオン / オフが切り替わります。

i リモコンを約 15 秒間操作しないしていると、スイッチ照明は自動的に消えます。

サウンドのオン / オフを切り替える (コード付きヘッドホン)

- ▶ リモコンのスイッチ ⑥ を押します。サウンドのオン / オフが切り替わります。

メニュー / メニュー項目を選択したり、選択を確定する

- ▶ リモコンの  スイッチを使用してメニュー / メニュー項目を選択し、**OK** スイッチを押して確定します。

CD / DVD ドライブおよび外部入力端子



- ① CD/DVD スロット
- ② 外部入力端子：右側 (R) 音声用 (赤)
- ③ 外部入力端子：左側 (L) 音声用 (白)
- ④ 外部入力端子：映像 (V) 用 (黄色)
- ⑤ CD/DVD ディスク排出スイッチ

表示されている外部入力端子は外部入力端子ドライブです。同じ端子が、後席用ディスプレイの右側にもあります (外部入力ディスプレイ端子) (▶34 ページ)。

コードレスヘッドホン

概要



- ① 音量の調整
- ② ヘッドホンに対応するディスプレイの選択
- ③ 電池収納部カバー
- ④ コードレスヘッドホンのオン / オフの切り替え
- ⑤ 表示灯 (▷42 ページ)

- ▶ ヘッドホンの両側を開き、ヘッドホンバンドを矢印の方向に引いてヘッドホンの装着感を調整します。

- i** コード付きヘッドホンの後席用ディスプレイに接続しているときは、リモコンのスイッチ ⑦ を押して音量を調整できます (▷34 ページ)。

コードレスヘッドホンのオン / オフを切り替える

- ▶ スイッチ ④ を押します。

前回の状態に応じて、ヘッドホンはオンまたはオフになります。電池を保護するため、音声信号を約 3 分間受信しないと、ヘッドホンの電源は自動的にオフになります。

ヘッドホンの音量を調整する

- ▶ 希望の音量が設定されるまで音量コントロール ① をまわします。

ヘッドホンに対応するディスプレイを選択する

- ▶ スライドスイッチ ② を L (左側ディスプレイ) または R (右側ディスプレイ) に動かします。

表示灯の表示

表示灯の色は、ヘッドホンの電源のオン / オフと、電池のレベルを示します。

LED ディスプレイ	状態
緑	電池は良好な状態にある。
赤	電池の残量がほとんどない。
連続点灯	ヘッドホンの電源がオンになっていて、画面に接続されている。
点滅	ヘッドホンが画面に接続されようとしている。
消灯（黒）	ヘッドホンの電源がオフになっていて、電池の残量がない。

ヘッドホンを追加接続する

左右それぞれの後席用ディスプレイにコード付きヘッドホンを1つずつ追加接続できます（▶34 ページ）。ヘッドホン端子は、インピーダンス 32Ω、3.5 mmステレオジャック付きヘッドホン用です。

電池の交換

リモコンおよび 2 組のコードレスヘッドホンには電池が必要です。電池を交換するには、（▶270 ページ）をご覧ください。

パーキングアシストリアビューカメラ



警告

パーキングアシストリアビューカメラは後退するときに、補助するように設計されています。車両の取扱説明書にある安全に関する注意を遵守してください。

パーキングアシストリアビューカメラの映像は、以下のときシフトポジションをリバースにするとCOMANDディスプレイに表示されます。

- 車両にパーキングアシストリアビューカメラが装備されているとき
- COMAND システムがオンのとき
- リバース連動機能がオンのとき

機能が作動しているときは、ギアをリバース以外にすると、COMAND ディスプレイはすみやかに前回選択していた画面に自動的に戻ります。

i パーキングアシストリアビューカメラの運転システムに関する詳細は車両の取扱説明書にあります。

- ▶ **[SYS]** 機能スイッチを押します。システムメニューが表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[◎]**、**設定**を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **リアビューカメラ**を選択して、押して **◎** 確定します。
- ▶ **リバース連動**を選択して、押して **◎** 確定します。

前回の状態に応じて、この機能はオン ☒ またはオフ ☐ になります。

i サイドカメラがある場合は、COMAND システムを使用して、パーキングアシストリアビューカメラからサイドカメラの映像に切り替えることができます。システム設定を参照してください。

COMAND システムの特徴...	40
ディスプレイの設定	40
時刻の設定	41
燃料消費量表示.....	42
音声認識機能の設定	42
Bluetooth® の設定	43
システム言語の設定	43
データのインポート / エクスポート	43
リセット機能	45

COMAND システムの特徴

この取扱説明書はお買い上げいただいた時点で利用可能な、COMAND システムの標準装備やオプション装備すべてについて記載しています。国により、仕様が異なる場合があります。

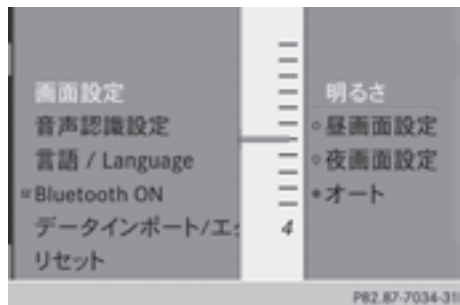
COMAND システムには、記載されているすべての機能が備わっていないことがあります。

ディスプレイの設定

明るさを調整する

ディスプレイライトセンサーによって検知された明るさは本機能の設定オプションに影響をあたえます。

- ▶ **[SYS]** スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[☉]**、**設定**を選択し、押して **☉** 確定します。
- ▶ **画面設定**を選択し、押して **☉** 確定します。
- ▶ **明るさ**を選択し、押して **☉** 確定します。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[☉]**、明るさを調整し、押して **☉** 確定します。

ディスプレイデザイン

COMANDディスプレイは昼間や夜の操作に最適にデザインされています。手動で昼または夜のデザインを選択したり、自動設定を選択したりして、デザインをカスタマイズすることができます。

- ▶ **[SYS]** スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[☉]**、**設定**を選択し、押して **☉** 確定します。
- ▶ **画面設定**を選択し、押して **☉** 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[☉]**、**昼画面設定**、**夜画面設定** または **オート** を選択して、押して **☉** 確定します。

現在の設定に **●** が表示されます。

デザイン	説明
昼画面設定	ディスプレイは常に昼画面に設定されます。
夜画面設定	ディスプレイは常に夜画面に設定されます。
オート	オート の設定を選択すると、COMAND システムは自動車両光センサーで数値を測定し、自動的にディスプレイデザインを切り替えます。

時刻の設定

全般的な情報

COMANDシステムがナビゲーションシステムを装備していて、GPSを受信すると、COMANDシステムは自動的に時刻と日付を設定します。ご自身で時刻を30分単位で調整することもできますが、日付を変更することはできません。

正しい時刻の設定は、正しく操作するために以下のナビゲーションシステム機能に必要です。

- 時刻依存型の交通案内のルート案内
- 到着予想時刻の計算

時間の設定

- ▶ **[SYS]** スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[⊙]**、**日時設定** を選択し、押して **[⊙]** 確定します。
- ▶ **時間設定** を選択し、押して **[⊙]** 確定します。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[⊙]**、時刻を設定し、押して **[⊙]** 確定します。
時刻が設定されます。

時刻 / 日付の表示形式の設定

- ▶ **[SYS]** スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[⊙]**、**日時設定** を選択し、押して **[⊙]** 確定します。
- ▶ **表示形式** を選択し、押して **[⊙]** 確定します。
現在の設定に **●** マークが表示されます。

省略形	意味
日付の表示形式	
DD . MM . YY	日 . 月 . 年 (下2桁)
MM/DD/YYYY	月 / 日 / 年 (4桁)
YY/MM/DD	年 (下2桁) / 月 / 日
時間の表示形式	
HH :MM (24 H)	時間 : 分 (24 時間表示形式)
HH :MM (AM/PM)	時間 : 分 (AM/PM 表示形式)

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[⊙]**、表示形式を設定し、押して **[⊙]** 確定します。

燃料消費量表示

概要

車両装備によって、燃料消費量は COMAND ディスプレイに表示することができます。

ディスプレイを呼び出す

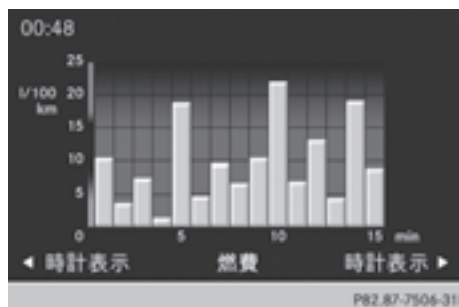
- ▶ **[SYS]** スイッチを押します。
- ▶ システムメニューで、**全画面表示**が選択されるまで、COMAND コントローラーをスライドします **↑** **○**。

- ▶ COMAND コントローラーを押します **○**。

システムのディスプレイは全画面で表示されます(システムメニューなし)。

- ▶ 燃料消費量インジケーターが表示されるまで COMAND コントローラーを繰り返しスライドします **←** **○** **→**。

COMAND ディスプレイには走行の最新の15分間の燃料消費量が表示されます。



グラフのそれぞれのバーは1分間の平均値を示します。

燃料消費量表示は **トリップ**にあるトリップコンピューター**スタート後**にある表示と異なることがあります。車両取扱説明書をご覧ください。

全画面表示を終了する

- ▶ COMAND コントローラーを押します **○**。
- システムメニューが表示されます。

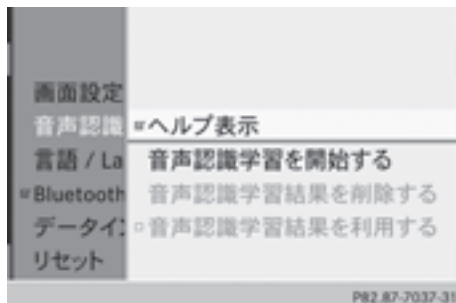
音声認識機能の設定

ヘルプ表示を開く / 閉じる

ヘルプ表示は、音声認識学習中、及び次の音声認識をしているときに、音声指示に加えて情報を提供します。

- ▶ **[SYS]** スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【○】**、**設定**を選択し、押して **○** 確定します。
- ▶ **音声認識設定**を選択し、押して **○** 確定します。
- ▶ **ヘルプ表示**を選択し、押して **○** 確定します。

ヘルプ表示をオン ☒ またはオフ ☐ にします。



音声認識学習

音声認識学習を使用して、音声認識機能をお客様の声に微調整して、音声認識の精度を上げます。別冊取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth® の設定

Bluetooth® に関する全般的な情報

Bluetooth® テクノロジーは、約 10 メートルまでの短い距離の無線データ通信の規格です。例えば、Bluetooth® は vCard の交換ができます。

Bluetooth® は Bluetooth Special Interest Group (SIG) Inc. の登録商標です。



Bluetooth® の作動 / 解除

- ▶ **[SYS]** スイッチを押します。
システムメニューが表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[SYS]**、**設定** を選択し、押して **[ENTER]** 確定します。
- ▶ **Bluetooth ON** を選択し、押して **[ENTER]** 確定します。
これにより Bluetooth® をオン ☒ またはオフ ☐ に切り替えます。

システム言語の設定

本機能はメニュー表示とナビ音声案内の言語を決定できます。ナビ音声案内はすべての言語では利用できません。選択した言語が利用できない場合は、ナビ音声案内は英語で行なわれます。選択した言語は入力のある文字にも適用されます。

システム言語を変更すると、音声認識設定の言語もまた変更されます。選択された言語が音声認識機能でサポートされていない場合は、英語が選択されます。

- ▶ **[SYS]** スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[SYS]**、**設定** を選択し、押して **[ENTER]** 確定します。
- ▶ **言語 / Language** を選択し、押して **[ENTER]** 確定します。
言語の一覧が表示されます。現在の設定に **●** が表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[SYS]**、言語を選択し、押して **[ENTER]** 確定します。

COMAND システムは選択した言語を読み込み、設定します。

- i** 言語を切り替えると、ナビの地図の文字情報がそれぞれの言語（英語 / 日本語の地図）で表示されます。

データのインポート / エクスポート

この機能を使用し個人のCOMANDシステムデータのあるシステム（車両）から他のシステム（車両）へコピーしたり、個人データのバックアップコピーを作成したり（データのエクスポート）、それを再度インポート（データのインポート）することができます。一時記憶領域としてSDメモリーカー

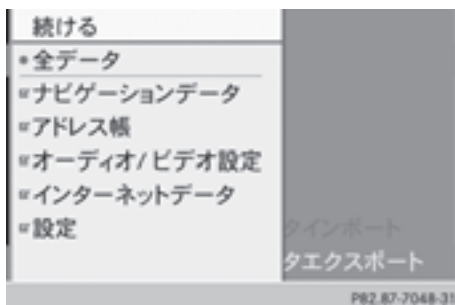
ドまたは USB 機器 (USB スティック) のどちらかを使用することができます。

i ミュージックレジスターにある個人の音楽ファイルはこの機能を使用して保存して再びインポートすることはできません。

- ▶ SD メモリーカード (▷211 ページ) を挿入するか、または USB 機器 (USB スティック) (▷211 ページ) を接続します。
- ▶ **[SYS]** スイッチを押します。
システムメニューが表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[F2]**、**設定**を選択し、押して **[OK]** 確定します。
- ▶ **データインポート/エクスポート** を選択し、押して **[OK]** 確定します。
- ▶ **データインポート** または **データエクスポート** を選択して、押して **[OK]** 確定します。



- ▶ プリセットを選択する: **メモリーカード** または **USB メモリー** を選択し、押して **[OK]** 確定します。



例: エクスポートデータメニュー

- ▶ **全データ**を選択し、押して **[OK]** 確定します。

この機能はすべてのデータを選択したディスクにエクスポートします。

または

- ▶ データの種類を選択して、押して **[OK]** 確定します。

前回の入力によって、データの種類をエクスポート ☒ またはそうでないか ☐ を選択します。

i **インターネットデータ**を選択すると、インターネットアクセスデータを設定するためのパスワードは保存されません。そのため、インポートした後手動でパスワードを入力する必要があります。記載は、"携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの選択" (▷169 ページ) にあります。

- ▶ **続ける**を選択し、押して **[OK]** 確定します。

! データを USB スティックまたはメモリーカードにコピーしている間は、スティックまたはメモリーカードはどのような場合でも取り外さないでください。データを破壊するおそれがあります。

リセット機能

COMANDシステムを工場出荷時の設定にリセットすることができます。他のものと同様に、すべての個人のCOMANDシステムデータ（例：放送局プリセット、ナビゲーションシステムの目的地メモリーや以前の目的地リストの項目、アドレス帳項目）が消去されます。例えば、車両を売却される場合、またはお譲りになる場合には、リセットを行なうことをお勧めします。

ミュージックレジスターの音楽ファイルのような内部ハードディスクドライブにあるデータは消去されます。"すべての音楽ファイルを削除"（▷229ページ）機能を使用してミュージックレジスターから音楽ファイルを消去することもできます。

- ▶ **[SYS]** 機能スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **[OK]**、**設定**を選択し、押して **OK** 確定します。
- ▶ **リセット**を選択し、押して **OK** 確定します。

リセットしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。

- ▶ **はい**または**いいえ**を選択して、押して **OK** 確定します。

いいえを選択すると、処理が中止されます。

はいを選択すると、本当にリセットしてもよいかを確認するメッセージが再度表示されます。

- ▶ **はい**または**いいえ**を選択して、押して **OK** 確定します。

はいを選択すると、メッセージが表示されます。COMAND システムはリセットされ、再起動します。

いいえを選択すると、処理が中止されます。

COMAND システムの特徴...	48
ご使用の前に	48
基本設定	51
目的地の入力	52
全ルート図	60
ルート案内	66
目的地を検索する	81
メモリ地点	104
地図の操作と設定	109
VICS	116
ETC	123
ナビゲーションシステムの トラブル	125
VICS マーク	127
地図記号	128

COMAND システムの特徴

この取扱説明書はお買い上げいただいた時点で利用可能な、COMAND システムの標準装備やオプション装備すべてについて記載しています。国により、装備が異なる場合があります。COMAND システムには、記載されているすべての機能が装備されていないことがあります。

ご使用の前に

安全上の注意事項



警告

安全のため、車両が停止しているときにのみ新しい目的地を入力してください。交通状況から注意がそれて、事故の原因になったり、お客様や他の方がけがをされるおそれがあります。

COMAND システムが目的地までのルートを検索するときは、下記のことは考慮されません。

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 駐車または停車の規制
- 車線減少
- その他、道路や交通ルール、規則

COMAND システムは、デジタル地図上のデータが実際の状況と違う場合には、適切でない走行案内をすることがあります。例えば、ルートが変更されたり、または一方通行の方向が変わったときです。

このため、走行中は、道路や交通ルール、規則を常に遵守してください。システムの走行案内よりも道路や交通ルール、規則を常に優先してください。

全体的な注意事項

ナビゲーションシステムの操作準備

ナビゲーションシステムは、初めてご使用になる前、または作動状況が復元されたときはいつでも、車両の位置を決定しなくてはなりません。したがって、正確なルート案内が可能になるまではしばらく運転する必要があります。

GPS の受信

GPS を受信することにより、ナビゲーションシステムは正しく機能します。トンネル内や立体駐車場にいるときなど、いくつかの状況では、GPS の受信に障害が生じたり、干渉があったり、またはまったく受信できないことがあります。

入力の制限

いくつかの国の車両では、データ入力に制限があります。

車両の速度が約 5 km/h を超えると制限がかかります。車両の速度が約 3 km/h 以下になると制限が解除されます。

制限がかかっているときは、入力できない項目があります。実際には、いくつかのメニュー項目が灰色になり、選択できません。

例えば、以下のような入力はできません。

- 目的地としての町と道路の入力
- 地図からの目的地の入力
- 町周辺の、または名前検索による施設の入力
- 項目の編集
- テンキーを使用しての直接入力

ただし、目的地または車両の現在地周辺の POI (Points Of Interest: 施設) の入力など、その他の入力は可能です。

ナビゲーションについて

ルート案内時に、COMAND システムによる目的地への案内が不明確になったり不正確になることがあります。

原因	例
車両の現在地の特徴 (互いに近接した道路、大きな建物、大型車両の近くなど)	現在の車両位置： • 走行中の主要道路と並行する、またはその下にある別の道路に表示されることがある。 • 駐車場のターンテーブルで車両を回転させられたり、らせん状の道路を走行している場合に正しく表示されない。 • 車が駐車場から出たきた直後に、異なる道路上に表示される。 • 車が滑りやすい路面（砂利道、雪道、凍結など）を長時間走行している場合に正しく表示されない。 • 直線道路で頻繁に車線変更すると正しく表示されない。 • 大きな建物、大型車両の近く、または山間部を走行している場合は、正しく表示されない。
地図情報が古い (地図が古いか、通行ルートが一時的に変更されている)	COMAND システムの案内： • 一方通行路で誤った方向に案内される。 • 一時的な道路閉鎖により曲がれない交差点で道路に案内される。 • 目的地の向こう側にある道路に案内される。 • 道路が目的地まで達していない、または幅が狭すぎる場合に、検索した目的地の手前の地点に案内される。

原因	例
検索ルートからの逸脱 (現在の道路状況などによる)	以下の場合、COMAND システムは異なる、または適切でない案内を行ったり、まったく行なわないことがあります。 - 検索されたルート地点の前で交差点を曲がったり、道を外れた場合 - 別のルートを選択してルート検索をやり直した場合 - 次の交差点で、新しいルート案内がまだ使用できない場合 - 検索された通過点を通らずに、目的地の方向に走行している場合 - COMAND システムがその通過点に引き続き案内しようとする場合 - ルートを外れた場合 - ルート検索により、向きを変えるように案内された場合 i 別のルートを選択してルートを再検索すると、ルートが長くなる場合があります。
目的地が近すぎる、または遠すぎる	COMANDシステムが適切なルートを検索できない場合があります。

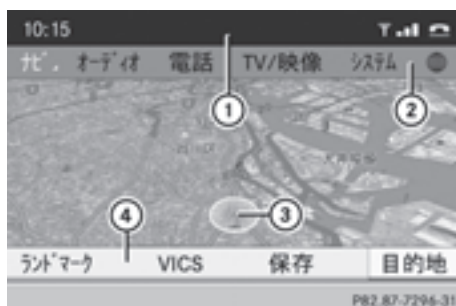
ナビゲーションモードに切り替える

オプション 1

- ▶ **NAVI** 機能スイッチを押します。
メニュー付きまたはメニューなし(全画面モード)の地図が表示されます。

オプション 2

- ▶ 基本機能バーで COMAND コントローラーをスライドしてから **↑**、**◎**、まわして **【◎】**、**ナビ** を選択し、押して **◎** 確定します。
地図がメニュー付きで表示されます。



メニューを表示している地図 (ルート案内オフ)

- ① ステータスバー
- ② 基本機能バー
- ③ 現在の車両位置
- ④ ナビゲーションメニューバー

ルート案内オン: 目的地を入力すると、COMANDシステムはルートを検索します。ディスプレイは、ルートや進行

方向の変更、推奨車線を表示します。
ナビ音声案内は目的地まで案内します。

ルート案内オフ：目的地が入力されないと、ルートは検索されません。

メニューの表示 / 非表示

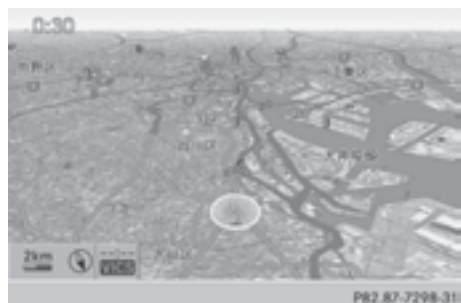
- ▶ **メニューを非表示にする**：COMAND コントローラーをスライドします $\uparrow \odot$ 。

メニュー項目の **全画面表示** が表示されます。



- ▶ 押して $\odot$ 、**全画面表示** を確定します。

地図が全画面表示で表示されます。



例：全画面表示モードの地図

- ▶ **メニューを表示する**：地図が全画面表示のとき、COMAND コントローラーを押します $\odot$ 。

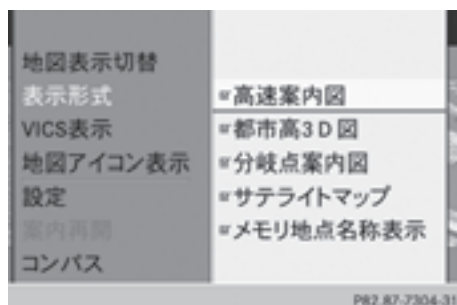
基本設定

地図の設定

地図の設定メニューを呼び出す

- ▶ **NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから $\uparrow \odot$ 、まわして $\left\{ \odot \right\}$ 、基本機能バーで **ナビ** を選択し、押して $\odot$ 確定します。
- ▶ **表示形式** を選択し、押して $\odot$ 確定します。

地図の設定リストが表示されます。



- ▶ 設定を選択し、押して $\odot$ 確定します。

前回の状態によって、設定をオン ☒ またはオフ ☐ に切り替えます。

地図の種類	説明
高速案内図	高速道路施設（ガソリンスタンド、サービスエリアなど）がルート案内中に表示されます。
都市高 3D 図	都市高速道路施設（ガソリンスタンド、サービスエリアなど）がルート案内中に表示されます。

地図の種類	説明
分岐点案内図	ルート案内中に分岐点名などが示されます。
サテライトマップ	サテライトマップが表示されます。
メモリ地点名称表示	個人設定の施設名称が地図に表示されます。

給油警告 GS 選択

燃料残量が少なくなり、ガソリンスタンドが選択されているときに、地図が自動的にガソリンスタンド検索に切り替わります（▶60 ページ）。

どのガソリンスタンドに向かうかを決定できます。

- ▶ **[NAVI]** 機能スイッチを押します。
- ▶ 基本機能バーで COMAND コントローラーをスライドしてから **↑**、**◎**、まわして **【◎】**、**ナビ** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **設定** を選択して、押して **◎** 確定します。

地図表示切替	ナビガイドランス設定
表示形式	VICS
VICS表示	ETC
地図アイコン表示	回避エリア
設定	学習ルート
案内中止	給油警告
コンパス	地図/ETC バージョン
	現在地補正

- ▶ **給油警告** を選択して、押して **◎** 確定します。
ガソリンスタンドの会社リストが表示されます。

ナビ	出光
地図表示切替	VICS
表示形式	ETC
VICS表示	回避
地図アイコン表示	学習
設定	給油
案内中止	地図
コンパス	現在

- ▶ ガソリンスタンドの会社を選択し、押して **◎** 確定します。

前回の状態に応じて、検索するガソリンスタンドの会社名を選択 ☒ または非選択 ☐ にします。

目的地の入力

目的地の入力の前に

- ① 安全のため、**目的地**は車が走行している間は選択できません。

以下の場合、COMAND システムはルート検索を行なうことができません。

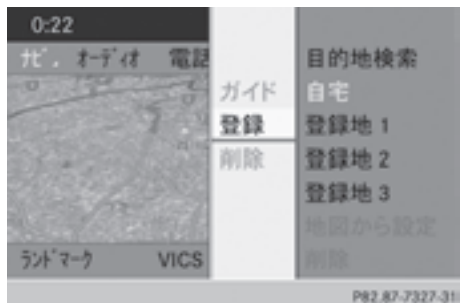
- 地図の出発地点または目的周辺に利用できる道路がない場合
- 離島のように検索できる適切なルートがない場合

自宅住所

自宅住所を入力して登録する

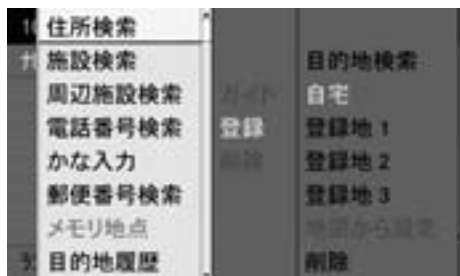
- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**[NAVI]** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します **◎**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎**、まわして **【◎】**、**目的地** を選択し、押して **◎** 確定します。

- ▶ **自宅** を選択し、押して  確定します。



- ▶ **登録** を選択し、押して  確定します。

メニューにはさまざまな目的地検索オプションがあります。



目的地検索オプション

住所の検索

[住所検索](#)

施設の検索

[施設検索](#)

周辺施設の検索（現在の車両位置、目的地、ルート沿い）

[周辺施設検索](#)

電話番号による検索

[電話番号検索](#)

50 音パネルによる検索

[かな入力](#)

目的地検索オプション

郵便番号による検索

[郵便番号検索](#)

個人設定の施設の検索

[メモリ地点](#)

以前の目的地の検索

[目的地履歴](#)

アドレス帳からの選択

[アドレス帳検索](#)

地図からの選択

[地図から設定](#)

- ① 各メニュー項目の情報は、「目的地を検索する」に記載されています。（▶81 ページ）

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、オプションを選択し、押して  確定します。

引き続き目的地を入力します（▶81 ページ）。

自宅住所を全部入力すると、地図が表示されます。COMAND システムは適切な地図の縮尺を設定します。クロスカーソルは現在の目的地を示しています。



- ▶ **地図上で目的地を移動する**：[スクロール](#) を選択し、押して  確定します。

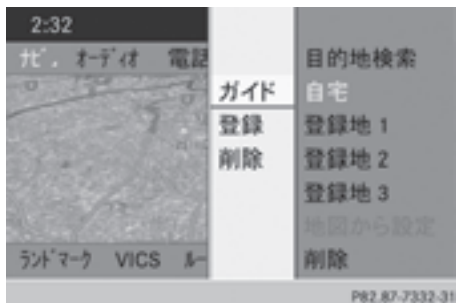
- ▶ COMAND コントローラーをいずれかの方向にスライドします。
クロスカーソルが地図上で移動します。



- ▶ クロスカーソルを自宅住所の地点に動かし、押して 確定します。
メニューが表示されます。
- ▶ **設定** を選択し、押して 確定します。
自宅を登録しましたというメッセージが表示されます。自宅住所が目的地として登録されます。

ルート案内で自宅住所を選択する

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**[NAVI]** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します .
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから , まわして , **目的地** を選択し、押して 確定します。
- ▶ **自宅** を選択し、押して 確定します。



- ▶ **自宅** をまだ設定していない場合は、まず **登録** を使用して自宅の住所を入力して登録してください。
- ▶ **ガイド** を選択して、押して 確定します。
全ルート図が表示されます。

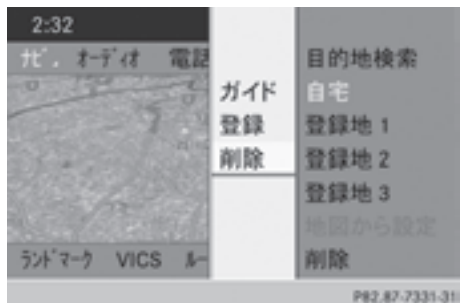


- ▶ **全ルート図の情報は** (▶60 ページ) にあります。
 - ▶ 押して **開始** を確定します。
自宅住所へのルート案内が開始されます。
- ルート案内についての情報は (▶66 ページ) にあります。

自宅住所を削除する

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**[NAVI]** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します .

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎**、まわして **【◎】**、**目的地** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **自宅** を選択し、押して **◎** 確定します。



- ▶ **削除** を選択して、押して **◎** 確定します。
確認のメッセージが表示されます。
- ▶ **はい** または **いいえ** を選択し、押して **◎** 確定します。
はい を選択すると、自宅住所が削除されます。
いいえ を選択すると、削除が取り消されます。

目的地プリセット 1-3

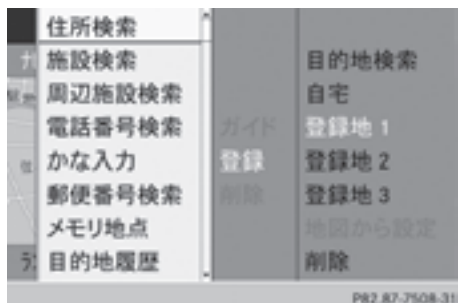
目的地プリセットを入力し登録する

COMAND システムには、頻繁に訪れる目的地に利用できる目的地プリセットが 3 つあります。

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**： **NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します **◎**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎**、まわして **【◎】**、**目的地** を選択し、押して **◎** 確定します。

- ▶ **登録地 1**、**登録地 2** または **登録地 3** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **登録** を選択して、押して **◎** 確定します。

メニューにはさまざまな目的地検索オプションがあります。



目的地検索オプション

住所の検索

住所検索

施設の検索

施設検索

周辺施設の検索（現在の車両位置、目的地、ルート沿い）

周辺施設検索

電話番号による検索

電話番号検索

50 音パネルによる検索

かな入力

郵便番号による検索

郵便番号検索

個人設定の施設の検索

メモリ地点

以前の目的地の検索

目的地履歴

アドレス帳からの選択

アドレス帳検索

目的地検索オプション

地図からの選択

地図から設定

i 各メニュー項目の情報は、" 目的地を検索する " に記載されています。(▷81 ページ)

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、オプションを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

引き続き目的地を入力します (▷81 ページ)。

選択した目的地プリセットの目的地住所を全部入力すると、地図が表示されます。COMAND システムは適切な地図の縮尺を設定します。クロスカーソルは現在の目的地を示しています。



- ▶ **地図上で目的地を移動する**：**スクロール** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをいずれかの方向にスライドします。クロスカーソルが地図上で移動します。



- ▶ クロスカーソルを目的地住所の地点に動かし、押して **Ⓜ** 確定します。メニューが表示されます。

- ▶ **設定** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

登録地～を登録しましたというメッセージが表示されます。目的地住所が選択した目的地プリセットに入力されます。

ルート案内の目的地メモリーから目的地を選択する

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します **Ⓜ**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎**、まわして **【◎】**、**目的地** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **登録地 1**、**登録地 2** または **登録地 3** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- i** **登録地** を決定していない場合は、まず **登録** を使用して目的地プリセットを入力して登録してください。
- ▶ **ガイド** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。

全ルート図が表示されます。



i 全ルート図の情報は (▷60 ページ) に記載されています。

- ▶ 押して **開始** を確定します。
選択した目的地プリセットの目的地住所へのルート案内が開始されます。

ルート案内についての情報は (▷66 ページ) にあります。

目的地プリセットから目的地住所を削除する

- ▶ ナビゲーションモードをオンにする： **NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ メニューを表示する： COMAND コントローラーを押します **メニュー**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **目的**、まわして **目的地**、**目的地** を選択し、押して **確定** します。
- ▶ **登録地1**、**登録地2** または **登録地3** を選択し、押して **確定** します。
- ▶ **削除** を選択して、押して **確定** します。
確認のメッセージが表示されます。

- ▶ **はい** または **いいえ** を選択し、押して **確定** します。

はい を選択すると、選択した目的地プリセットから目的地住所が削除されます。

いいえ を選択すると、削除が取り消されます。

地図を使用して目的地を選択する

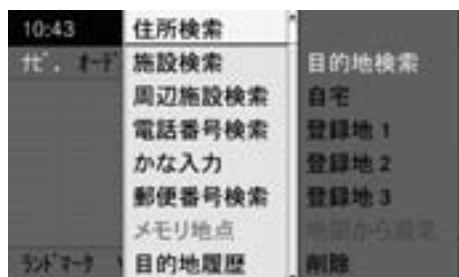
- ▶ ナビゲーションモードをオンにする： **NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ メニューを表示する： COMAND コントローラーを押します **メニュー**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **目的**、まわして **目的地**、**目的地** を選択し、押して **確定** します。
- ▶ **地図から設定** を選択して、押して **確定** します。
クロスカーソル付きで地図が表示されます。
- ▶ 地図をスクロールします (▷110 ページ)。
- ▶ クロスカーソルを目的地の地点に動かし、押して **確定** します。
- ▶ **目的地** を選択し、押して **確定** します。
- ▶ **設定** を選択し、押して **確定** します。

目的地が設定されます。全ルート図が表示されます (▶60 ページ)。

目的地を検索する

- ▶ ナビゲーションモードをオンにする：[NAVI] 機能スイッチを押します。
- ▶ メニューを表示する：COMAND コントローラーを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **④**、まわして **⑤**、**目的地** を選択し、押して **⑥** 確定します。
- ▶ **目的地検索** を選択し、押して **⑥** 確定します。

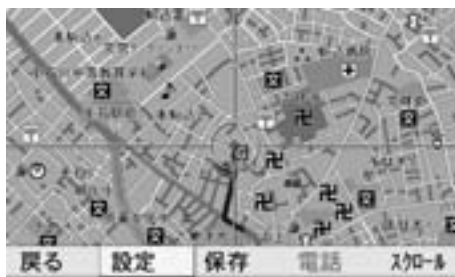
メニューにさまざまな目的地検索オプションが表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **⑤** オプションの1つを選択し、押して **⑥** 確定します。

引き続き目的地を入力します (▶81 ページ)。

目的地の住所が完全に入力されると地図が表示されます。COMAND システムは適切な地図の縮尺を設定します。クロスカーソルは現在の目的地を示しています。



目的地をメモリ地点として登録する：

- ▶ **保存** を選択し、押して **⑥** 確定します。
- ▶ **メモリ地点** を選択し、押して **⑥** 確定します。

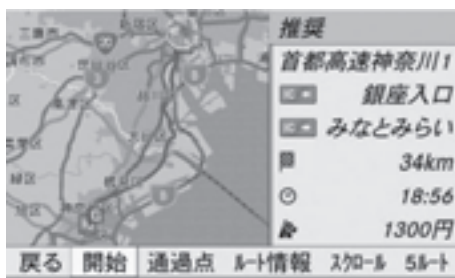
アドレス帳に目的地を登録する：

- ▶ **保存** を選択し、押して **⑥** 確定します。
- ▶ **アドレス帳** を選択し、押して **⑥** 確定します。

目的地を設定し、ルートを検索する：

- ▶ **設定** を選択し、押して **⑥** 確定します。
- ▶ **目的地** を選択し、押して **⑥** 確定します。

全ルート図が表示されます。



P82.87-5863-311

目的地付近に高速道路、有料道路、一般道路、橋、またはトンネルがある場合

次のような確認メッセージが表示されます。



選択	説明
高速道路	目的地を最寄りの高速道路に設定します。
一般道	目的地を最寄りの一般道に設定します。
有料道路	目的地を最寄りの有料道路に設定します。
トンネル	目的地を最寄りのトンネルに設定します。
橋	目的地を最寄りの橋に設定します。

目的地を高速道路または一般道に設定する場合：

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【○】**、**高速道** または **一般道** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。
～を目的地に設定しました というメッセージが表示されます。目的地が設定されます。

この機能を使いたくない場合：

- ▶ **戻る** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。

目的地が水域にある場合

選択した目的地が水域にある場合、**水面上は目的地に設定できません** というメッセージが表示されます。

- ▶ 別の目的地を選択します。

目的地 / ルートを削除する

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します **Ⓢ**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **○**、まわして **【○】**、**目的地** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。
- ▶ **削除** を選択して、押して **Ⓢ** 確定します。



- ▶ **ルート** を選択して、押して **Ⓢ** 確定します。
確認が表示されます。
- ▶ **はい** または **いいえ** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。
はい を選択すると、選択したルート / 目的地が削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

燃料が少なくなったことを示す表示

燃料が少なくなったときは、ガソリンスタンド検索メニューが自動的に表示されます。最寄りのガソリンスタンドが地図で強調されます。



① COMANDシステムは、音楽CDモードなど他の機能でもこのメニューを表示します。**取消し**を確定すると、このメニューは以降は表示されません。

① メニューが表示されている間、COMANDコントローラ脇のリターンスイッチ  とCOMANDコントロールパネルの **NAVI** スイッチは機能しません。

▶ **地図にガソリンスタンドを表示する**: **次候補** または **前候補** を選択し、押して  確定します。

後または前のガソリンスタンドが地図に表示されます。

COMANDシステムに携帯電話が接続され、電話番号が使用できる場合:

▶ **選択したガソリンスタンドに電話発信する**: **電話** を選択し、 で確定します。

ガソリンスタンドに電話が発信されます。ディスプレイが電話機能に切り替わります。

▶ **選択したガソリンスタンドへのルート案内を開始する**: **案内** を選択し、押して  確定します。

全ルート図

概要

目的地が選択されてルート検索が終ると、全ルート図が表示されます。

全ルート図が表示されると、ルート案内に関する設定を選択したり、ルートの詳細や他の情報を見ることができます。



COMANDシステムが推奨するルート（エコルート）を示している例

メニュー項目	説明
IC	高速道路の入口や出口を変更することができます。
通過	通過点を設定できます。
ルート情報	ルート情報を表示できます。
スクロール	運転を始める前に、地図上でルートを進めることができます。
5ルート	ルート条件を選択できます。

高速道路の入口や出口を変更する



- ▶ COMAND コントローラー をまわして **【◎】 IC** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **入口** または **出口** を選択し、押して **◎** 確定します。



- ▶ **次候補** または **前候補** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **設定** を選択し、押して **◎** 確定します。
高速道路の出口や入口が変更されます。

ルート案内中に全ルート図を表示する

ルート案内を開始した後も全ルート図を表示できます。

- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します **◎**。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、ナビゲーションシステムメニューバーで **ルート** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **全ルート** を選択し、押して **◎** 確定します。
全ルート図が表示されます。

ルート案内を開始する

- ▶ 全ルート図で **開始** を選択し、押して **◎** 確定します。
メッセージが表示され、ルート案内が開始します。
- i** ルート案内は発進すると自動的に開始します。現在の車両位置の地図が表示されます。

通過点

ご使用の前に

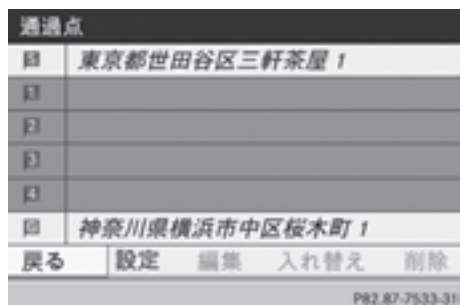
目的地を入力した後、4箇所までの通過点を入力することによりルートを決めることができます。

通過点の順番はいつでも変更できます。

- i** 地図が表示されているときも、通過点を設定できます。このためには、メニューバーの **目的地** を選択して、例えば **通過点 1** を選択し、押して **◎** 確定します。

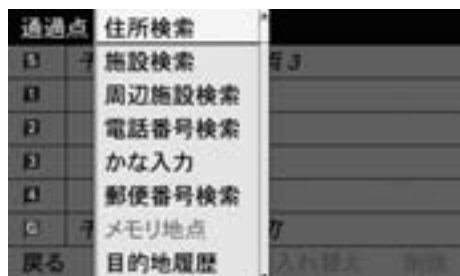
通過点を設定する

- ▶ 全ルート図で **通過** を選択し、押して **◎** 確定します。



通過点メニュー

- ▶ **設定** を選択し、押して 確定します。



- ▶ 目的地検索を選択します。選択項目については、" 目的地を検索する " (▷81 ページ) に記載されています。

目的地検索オプション

住所の検索

[住所検索](#)

施設の検索

[施設検索](#)

周辺施設の検索（現在の車両位置、目的地、ルート沿い）

[周辺施設検索](#)

電話番号による検索

[電話番号検索](#)

50 音パネルによる検索

[かな入力](#)

目的地検索オプション

郵便番号による検索

[郵便番号検索](#)

個人設定の施設の検索

[メモリ地点](#)

以前の目的地の検索

[目的地履歴](#)

アドレス帳からの選択

[アドレス帳検索](#)

地図からの選択

[地図から検索](#)

- ❗ 各メニュー項目の情報は、" 目的地を検索する " に記載されています。(▷81 ページ)

目的地検索の後、通過点 1 などのように通過点を設定できます。



- ▶ 押して 、**設定** を確定します。
通過点 1 が通過点メニューに表示されます。

通過点	
1	東京都世田谷区三軒茶屋 1
2	東京都青ヶ島村
3	
4	
5	
6	神奈川県横浜市中区桜木町 1
戻る	設定 編集 入れ替え 削除
PB2.87-7536-311	

通過点 1 の入力後、さらに別の通過点を入力できます。

- ▶ **設定** を選択し、押して 確定します。

全ルート図が表示され、通過点 1 が地図上に旗のマークで表示されます。

通過点の順番を入れ替える

- ▶ 通過点メニューから通過点を選択し、押して 確定します。
- ▶ **入れ替え** を選択して、押して 確定します。

通過点の順番が変更され、対応するメッセージが表示されます。

通過点の位置を変更する

- ▶ 通過点メニューから**編集**を選択し、押して 確定します。
- ▶ 通過点を選択し、押して 確定します。

地図が表示され、選択した通過点が表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをスライドして 、、通過点の位置を変更します。

- ▶ 押して 位置を確定します。

- ▶ **設定** を選択して、押して 確定します。

通過点の位置が変更されます。

以下の機能も選択できます。

• 保存

通過点をメモリ地点として、またはアドレス帳に登録できます。

• 電話

通過点の情報に電話番号が含まれ、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合に、電話発信します。

通過点を削除する

- ▶ 通過点メニューから**削除**を選択して、押して 確定します。

- ▶ 通過点を選択し、押して 確定します。

確認のメッセージが表示されます。

- ▶ **はい** または **いいえ** を選択し、押して 確定します。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

はい を選択すると、通過点が削除されます。

- ① 通過点は、ルート案内中でも削除することができます。

ルート情報を表示する

全ルート図からの表示

- ▶ 全ルート図で **ルート情報** を選択し、押して 確定します。
ルート情報が表示されます。

名称	
	千葉県習志野市西浜 3
	東京都文京区本駒込 1
	茨城県つくば市東新井
	千葉県船橋市高瀬町
戻る	地点情報 ルートリスト ルートスクロール

ルート情報（名称）

以下の情報が表示されます。

- ・ 出発地点の名称、通過点の名称
 - ・ 通過点の名称（4箇所まで）
 - ・ 目的地の名称
- ▶ **目的地情報に切り替える**：**地点情報**を選択し、押して 確定します。
ルート地点までの距離と予想到着時間が表示されます。

総距離	到着予想時刻
	12km
	136km
	144km
	161km
戻る	目的地名称 ルートリスト ルートスクロール

- ▶ **全ルート図に戻る**：**戻る** を選択し、押して 確定します。

または

- ▶ COMAND コントローラー左側のリターンスイッチ を押します。

ルート案内中

ルート案内が行なわれているときにルート情報を表示することもできます（▶77 ページ）。

ルートリストを表示する

目的地までの道路名称やおよその距離を表示します。

- ▶ 全ルート図で **ルート情報** を選択し、押して 確定します。
- ▶ **ルートリスト** を選択して、押して 確定します。
ルートリストが表示されます。

東京都千代田区丸の内 2	
900m	一般道
600m	晴海通り
400m	一般道
	銀座入口
300m	都市高速道路
神奈川県藤沢市江の島 1	

P82.87-5917-311

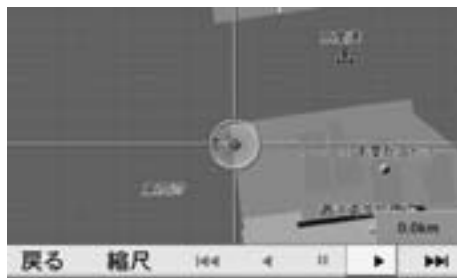
- ▶ **ルートリストをスクロールする**：
COMAND コントローラーをまわすか 、スライドします 。
- ▶ COMAND コントローラーを押します .
- ▶ **ルート情報に戻る**：COMAND コントローラーを押して 、戻るを確定します。

または

- ▶ リターンスイッチ  を押します。

ルートのプレビュー

- ▶ 全ルート図で **ルート情報** を選択し、押して  確定します。
- ▶ **ルートスクロール** を選択し、押して  確定します。
地図がクロスカーソルとともに表示されます。



- ▶ **目的地に行く** :  を選択し、押して  確定します。
- ▶ **目的地にスクロールする** :  を選択し、押して  確定します。
- ▶ **出発地点にスクロールする** :  を選択し、押して  確定します。
- ▶ **スクロールを中止する** :  を選択し、押して  確定します。

i プレビューは通過点または目的地で停止します。この場合、プレビューは選択した方向で再開しなければなりません。

- ▶ **出発地点に戻る** :  を選択し、押して  確定します。
- ▶ **地図の縮尺を設定する** : **縮尺** を選択し、押して  確定します。より詳しい情報は (p.109 ページ) にあります。

i 安全のため、走行を開始すると、表示は現在の車両位置に戻ります。

地図をスクロールする

- ▶ 全ルート図で **スクロール** を選択し、押して  確定します。
表示が全画面モードになり、地図上にクロスカーソルが表示されます。



P82.87-5920-311

- ▶ COMAND コントローラーをスライドします  、 、 。
- ▶ COMAND コントローラーをまわします 。

i 全ルート図では 500 km と 1,000 km の縮尺も選択できます。

ルート条件を選択する

全ルート図での選択

すべてのルート条件が検索されると、すべてのルートが表示されます。



- ▶ 全ルート図で **5 ルート** を選択し、押して  確定します。

ルート条件メニューが表示されます。



例：有料道路を含むルート

- ① ルート条件(この場合、推奨(エコ))
- ② 道路名
- ③ 入口の IC 名
- ④ 出口の IC 名
- ⑤ 目的地までの距離
- ⑥ 推定到着時間
- ⑦ 料金 (円)

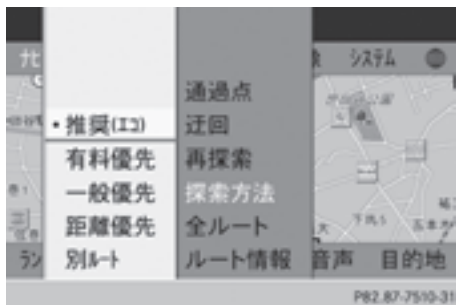
i COMAND システムにより表示される料金は実際の料金と異なることがあります。

▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】** ルート条件を選択し、押して **☑** 確定します。

ルート案内中の変更

ルート条件はルート案内中でも変更できます。

- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します **☑**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎**、まわして **【◎】** ルートを選択し、押して **☑** 確定します。
- ▶ **探索方法** を選択して、押して **☑** 確定します。



▶ ルート条件を選択して、押して **☑** 確定します。

i 場合により、異なるルート条件を選択しても同じルートが表示されることがあります。

ルート案内

全体的な注意事項

警告

COMANDシステムが目的地までのルートを検索するときは、下記のことは考慮されません。

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 車線合流
- 駐車や停車が禁止されている場所での駐車または停車
- その他、道路や交通ルール、規則
- 狭い橋

実際の道路 / 交通状況が地図に保存されたデータと一致しない場合、COMANDシステムは間違った音声案内を発することがあります。例えば、ルートが変更されたり、または一方通行の方向が変わったときです。

このため、走行中は、道路や交通ルール、規則を常に遵守してください。システムの走行案内よりも道路や交通ルール、規則を常に優先してください。

i 車両が検索されたルートから外れると、COMAND システムは自動的に新しいルートを検索します。

i 道路によっては、ルート案内できないことがあります。

COMAND システムは、通り抜けを禁止された道路または居住者しかアクセスできない道路のように通行の制限されている道路を回避しようとします。そのための前提条件として、地図に該当する情報が含まれていなければなりません。

5.5m よりも狭い道路は、ルート案内から除外されます。例外：道路がルート案内の目的地、通過地点、または出発地点にある場合。

i 出発地点が地図に表示されていない道路にある場合、ルート案内は利用できません。車両が表示された一般道に戻るとすぐに、ルート案内が開始します。

i 地図画面は実際の状況によって異なることを念頭に置いてください。地図のデータは、地図が作成された時点で使用可能な一般的にアクセスできる情報に基づいています。地図上で目標点として提供される交差点や公共施設、ガソリンスタンド、企業、レストラン、他の目的地候補などがそれに当たります。

立体交差や地下道、複雑な交差点を通過するときに、現在の車両位置を一時的に見失うことがあります。

このような場合、COMAND システムはルートを再検索し、現在の車両位置からルート案内を開始します。

i マルチファンクションディスプレイのメインメニューで "ナビ" を選択すると、合流地点や車線までの方向や距離、車線がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

ルート案内作動中の追加メッセージ

オプション

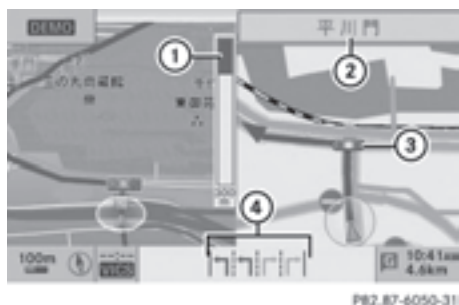
ルート案内が作動しているとき、以下の追加画面が表示されます。

- 交差点拡大図
- 高速道路分岐案内図

また、以下のルート案内画面の表示と非表示を切り替えることができます。さらなる情報が以下にあります

- 高速案内図
- 都市高 3D 図
- 分岐点案内図

交差点拡大図



- ① 交差点（出口）までの距離のグラフ表示
- ② 交差点名称（分岐名称）
- ③ 交差点（分岐点）
- ④ 推奨車線

ルート案内が作動しているときに、一般道の交差点に近づくと、交差点拡大図が表示されます。

COMAND システムは交差点までの距離と走行を続けるべき方向を表示します。交差点までの距離によって COMAND システムはこの情報を数回表示します。

交差点を通過した後に、COMAND システムは元の地図画面に戻ります。

- ① 地図データに情報が登録されているときのみ、交差点の画面が表示されます。

距離表示の青い部分 ① は、車両が交差点に近づくにつれて、下から上に向かって大きさが減っていきます。

推奨車線と交差点で表示される記号の指示は、実際の状況と異なることがあります。

交差点拡大図を消去する

- ▶ COMAND コントローラー左側のリターンスイッチ  を押します。

交差点拡大図を表示する

- ▶ メニューバーで COMAND コントローラーをスライドするか   まわして **【①】**、**音声** を選択し、押して  確定します。

高速道路分岐案内図



① 高速道路の方向と出口の名称

ルート案内が作動していて、高速道路を走行しているときに、高速道路分岐案内図が表示されます。

高速道路分岐案内図を消去する

- ▶ COMAND コントローラー左側のリターンスイッチ  を押します。

高速案内図



以下の条件のときに高速道路サービス施設が表示されます。

- 都市高速ではない高速道路を走行しているとき
 - 地図の表示方法として **高速案内図** が設定されているとき
- 都市高速を走行しているとき
 - 表示形式として **高速案内図** が設定されているとき
 - 地図の表示方法として **都市高 3D 図** が設定されていないとき

都市高 3D 図



以下の場合、都市高 3D 図が画面の右側に表示されます。画面の左側には、簡略化された形式の地図が表示されます。

- 地図の表示方法として **都市高 3D 図** が設定されているとき
- 都市高速を走行しているとき

サテライトマップ表示が選択されていて、地図の縮尺が 2 km 以上に設定されているとき、画面の左側にはサテライトマップが表示されます。

分岐点案内図の表示



地図の表示方法として [分岐点案内図](#)を設定すると、ルート案内が作動しているときに分岐点案内図が表示されず。

COMAND システムは、交差点までの方向やそこまでの距離とともに、次の交差点の名称を表示します。

推奨車線

車線が複数ある道路では、COMAND システムは次の交差点までの推奨車線を画面の下に表示します。



- ① **推奨車線**：この車線では、次の交差点またはその次の交差点まで車線変更の必要がありません。推奨車線は、昼間は暗い青色で、夜間は明るい青色で表示されます。
- ② **走行可能車線**：この車線では、次の交差点まで車線変更の必要がありません。推奨車線は、昼間は明るい青色で、夜間は暗い青色で表示されます。
- ③ **推奨されない車線**：この車線では、次の交差点までに車線変更の必要があります。この推奨されない車線は、灰色で表示されます。

交差点マーク

ルート案内が行なわれる交差点は以下のように表示されます。



PB2.87-6056-311



PB2.87-6182-311

- ① 曲がる必要のある、信号機のある交差点を表示します。
- ② 曲がる必要のある、信号機のない交差点を表示します。
- ③ 曲がる必要のない、推奨車線が表示される交差点を表示します。

i 地図の縮尺によっては、交差点マークが表示されないことがあります。

警告地点表示

ナビゲーションが合流地点または踏切、カーブなどの警告地点の案内を行なうときは、以下の画面が表示されます。



PB2.87-6057-311

- ① 例：合流地点

マルチファンクションディスプレイの表示

- ▶ マルチファンクションディスプレイで"ナビ"メニューを選択する：マルチファンクションステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押します。

進行方向や交差点までの距離、推奨車線が表示されます。



表示例

交差点から 700 m と 300 m になると以下の表示が表示されます。

この表示は、運転者に次の交差点で曲がるように指示するためのものです。道路が実際に曲がっていることを示しているものではありません。



表示例

目的地または目的地周辺



① ゴールマーク

ゴールマーク ① は目的地に表示されます。

マルチファンクションディスプレイで "ナビ" が選択されているときに、車両が目的地周辺に到着すると、旗のアイコンがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

道路外および地図外の場合

地図に登録された道路上にない目的地へのルート案内

COMAND システムは、地図に登録された道路から離れた目的地へも案内できます。これらは道路外の目的地です。

これらの場合、COMAND システムは音声案内や表示を使用してできるだけ地図に登録された道路に案内します。

地図に登録された道路から離れると間もなくして、進行方向を示す矢印が表示されます。

地図にない出発地点からのルート案内

システムが車両の位置を地図に登録された道路に指定できないときは、車両は道路外の場所に位置しています。COMAND システムは、そのような場所からでも目的地まで案内することができます。



① ルートの強調 (青色)

② 矢印のアイコン

ルート案内が開始するとき、矢印 ② と目的地までの距離が表示されます。矢印は直線距離での目的地までの方向を示します。

ルートとして青色で強調された ① は、最も近いシステムが認識できる道路から始まります。

システムが認識できる道路に車両が戻るとすぐに、COMAND システムが通常のルート案内を続けます。

ナビの音声案内

- ① 電話の通話中は、ナビの音声案内は消音されます。

ナビの音声案内は繰り返すことができます。

最後の音声案内を繰り返す

- ▶ メニューバーで COMAND コントローラーをスライドするか ◎➡ まわして 【◎】、**音声**を選択し、押して ◎ 確定します。



ナビの音声案内を消す

- ▶ **オプション 1** : 音声案内中に、COMAND コントロールパネルの スイッチを押します。
- ▶ **オプション 2** : 音声案内中に、マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。
- ▶ **ナビの音声案内を元に戻す** : メニューバーで COMAND コントローラーをスライドするか まわして 、**音声** を選択し、押して 確定します。

ナビのメッセージの音量を調整する

- ▶ **オプション 1** : 音声案内中に、COMAND コントロールパネルの音声コントロール をまわします。
- ▶ **オプション 2** : 音声案内中に、マルチファンクションステアリングの または スイッチを押します。

- i** 車両がルートを走行しているときのみ、最後の音声案内を繰り返すことができます。

回避エリア

全般的な情報

通過したくない地域を指定できます。

以下の場合には、検索されたルートに回避エリアが含まれることがあります。

- 目的地が回避エリアにある。
- ルートが、回避エリアを通る道路を使用している。

- i** 回避エリア内の高速道路はルート検索に常に含まれます。

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする** : 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する** : COMAND コントローラーを押します .
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、基本機能バーで**ナビ**を選択し、押して 確定します。
- ▶ **設定** を選択して、押して 確定します。

- ▶ **回避エリア** を選択して、押して 確定します。

回避エリアを設定していない場合は、メニューが表示されます（オプション 1）。

1 つ以上の回避エリアを設定している場合は、リストが表示されます（オプション 2）。

オプション 1 : メニューの表示

- ▶ **新規回避エリア** を選択し、押して 確定します。
地図が表示されます。



P82.87-6064-31

クロスカーソルは回避エリアの中心を示します。

- ▶ **地図をスクロールする：**
COMAND コントローラーをスライドさせます $\leftarrow \rightarrow$ 、 $\uparrow \downarrow$ 、 $\swarrow \searrow$ 。
- ▶ **地図の縮尺を設定する：**
COMAND コントローラーをまわすと $\{\odot\}$ 、すみやかに縮尺バーが表示されます。時計回りにまわすと地図がズームアウトされ、反時計回りにまわすとズームインします。
- ▶ 希望の縮尺が設定されるまでまわします $\{\odot\}$ 。
- ▶ **回避エリアの位置を決定する：**
COMAND コントローラーを押します $\odot$ 。

COMAND システムは地図の縮尺を 200 m にし、回避エリアが地図に赤い四角で表示されます。



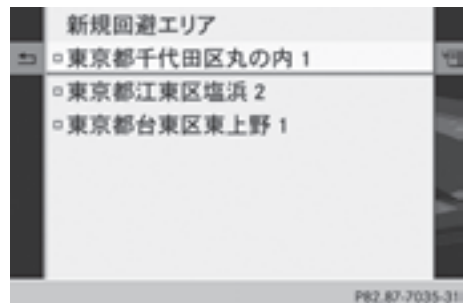
P82.87-6065-31

- ▶ **回避エリアの範囲を決定する：**
COMAND コントローラーをまわし $\{\odot\}$ 。

四角が拡大または縮小されます。

- ① **回避エリア** (四角の一辺の長さ) を 50 m から 10 km の大きさで設定できます。
- ▶ **設定を確定する：** 押します $\odot$
リストが表示されます。回避エリアが追加され、有効になります。
- ▶ "オプション 2: リストの表示" の指示に従ってください。

オプション 2：リストの表示



P82.87-7035-31

例："回避エリア" リスト

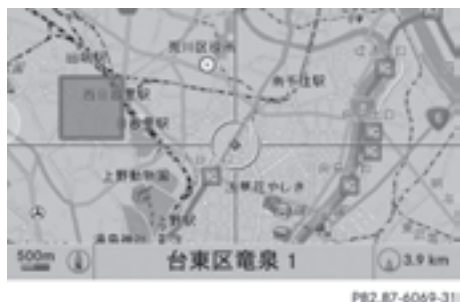
- ▶ COMAND コントローラーをまわして $\{\odot\}$ 、**新規回避エリア** を選択し、押して $\odot$ 確定します。
地図が表示されます。
- ▶ 地図上に新しい回避エリアを設定する場合は、" オプション 1：メニューの表示" の指示に従って進めてください。

回避エリアのオン / オフを切り替える

- ▶ COMAND コントローラーをまわして $\{\odot\}$ 、リストの項目を選択し、押して $\odot$ 確定します。
前回の状態によって、回避エリアがオン ☒ またはオフ ☐ になります。

回避エリアを変更する

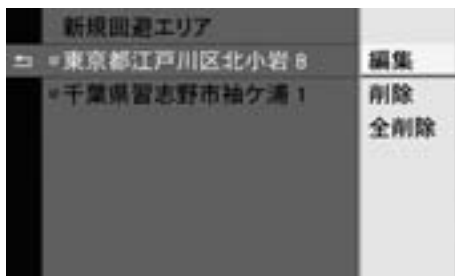
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、リストで項目を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーを右側にスライドして、**⌂** を選択します。
メニューが表示されます。
- ▶ **編集** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
回避エリアが地図上に表示されます。
- ▶ **エリアの位置を変更する**：
COMAND コントローラーをスライドさせます **←◎→**、**↑◎↓**、**↻◎↻**。
エリアが地図上で移動します。



- ▶ **エリアの範囲を調整する**：
- ▶ COMAND コントローラーを押します **Ⓜ**。
- ▶ COMAND コントローラーをまわします **【◎】**。
エリアが拡大または縮小されます。
- ▶ **i** 回避エリア (四角の一边の長さ) を 50 m から 10 km の大きさで設定できます。
- ▶ **変更を確定する**：COMAND コントローラーを押します **Ⓜ**。
リストが表示され、変更が入力されます。

回避エリアを削除する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、リストで項目を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーを右側にスライドして、**⌂** を選択します。
メニューが表示されます。



- ▶ **削除** を選択して、**Ⓜ** で確定します。
地図が表示され、そのエリアを削除するかどうかを問う確認が表示されます。



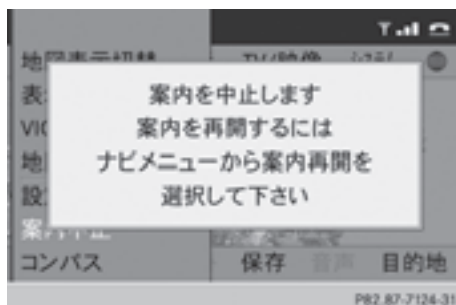
- ▶ **はい** または **いいえ** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
はい を選択すると、エリアが削除されます。
いいえ を選択すると、削除が中止されます。

すべての回避エリアを削除する

- ▶ メニューで、**全削除** を選択して、 で確定します。
地図が表示され、全エリアを削除するかどうかを問う確認が表示されます。
- ▶ **はい** または **いいえ** を選択し、押して  確定します。
はい を選択すると、全エリアが削除されます。
いいえ を選択すると、削除が取り消されます。

ルート案内を中止する

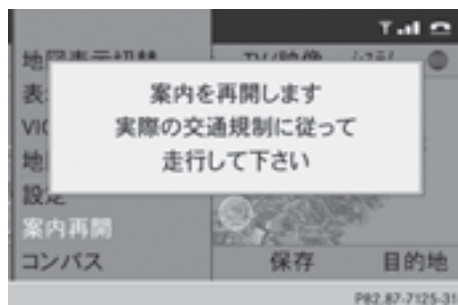
- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**： **[NAVI]** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します .
- ▶ 基本機能バーで COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、**ナビ** を選択し、押して  確定します。
- ▶ **案内中止** を選択して、押して  確定します。
以下のメッセージが表示されます。



ルート案内を一時停止すると、ルート表示（青いライン）が地図から削除されます。

ルート案内を続ける

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**： **[NAVI]** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します .
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、基本機能バーで**ナビ**を選択し、押して  確定します。
- ▶ **案内再開** を選択して、押して  確定します。
以下のメッセージが表示されます。



COMANDシステムは現在の位置から目的地までのルートを検索します。

検索後、地図がルート表示（青いライン）とともに表示されます。

迂回検索する

注意

この機能は前方にあるルートの区間を回避します。回避するルート区間の長さを設定できます。可能であれば、COMANDシステムは回避するルート区間周辺の迂回路を検索します。

- ① 回避する区間の長さによっては、迂回検索が利用できないことがあります。

迂回検索を開始する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、ナビゲーションシステムメニューバーで **ルート** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **迂回** を選択して、押して **◎** 確定します。



- ▶ 回避する区間の長さを選択して、押して **◎** 確定します。

COMAND システムは、回避するルートの区間を考慮に入れてルートの再検索を行ないます。

迂回路を削除する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、ナビゲーションシステムメニューバーで **ルート** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **再探索** を選択して、押して **◎** 確定します。

以前に回避したルートの区間は無効なり、COMAND システムはルートを再検索します。

ルートを再検索する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、ナビゲーションシステムメニューバーで **ルート** を選択し、押して **◎** 確定します。

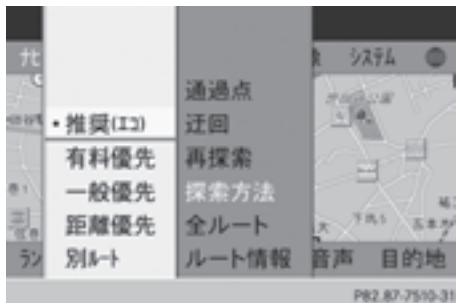
- ▶ **再探索** を選択して、押して **◎** 確定します。

COMAND システムがルートを検索した後に、それが地図に表示されます。

別ルートの探索

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、ナビゲーションシステムメニューバーで **ルート** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **探索方法** を選択して、押して **◎** 確定します。

以下のオプションの 1 つを選択できます。項目の左側にあるドット ● が現在使用されているルートを示します。



別ルート	説明
推奨 (エコ)	COMAND システムによって推奨されるルート
有料優先	可能な限り有料道路を使用したルート
一般優先	可能な限り一般道路を使用したルート

別ルート	説明
距離優先	目的地から可能な限り最短距離のルート
別ルート	他に利用可能な別ルート

i COMAND システムがルートを検索した後に、それが地図に表示されます。

COMAND システムは、ルートの一部で車両を誤った道路上に表示することがあります。一般道が高速道路の下、または並行して走っている場合にこの現象が起こることがあります。

このため、例えば車両が実際は高速道路を走行しているに関わらず、現在の車両位置が一般道路に表示されることがあります。

全ルート図を表示する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、ナビゲーションシステムメニューバーで **ルート** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **全ルート** を選択し、押して **◎** 定します。



全ルート図が表示されているときは、以下の機能を実行できます。

- 通過地点の表示や、指定、編集、変更
- 地図のスクロール

i 安全のため、車両が走行しているときは、設定された間隔でのみ地図がスクロールします。

ルート情報を表示する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、ナビゲーションシステムメニューバーで **ルート** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **ルート情報** を選択して、押して **◎** 定します。

COMAND システムはルート情報を表示します。

名称			
■	千葉県習志野市西浜 3		
■	東京都文京区本駒込 1		
■	茨城県つくば市東新井		
■			
■			
■	千葉県船橋市高瀬町		
戻る	地点情報	ルート外	ルートスクロール

ルート情報 (名称)

以下の情報が表示されます。

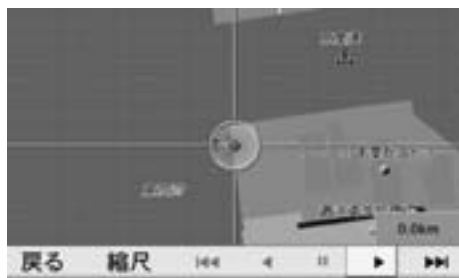
- 出発地点の名称、通過点の名称
 - 通過点の名称 (4 箇所まで)
 - 目的地の名称
 - ▶ **目的地情報に切り替える**: **地点情報** を選択し、**◎** で確定します。
- ルート地点までの距離と予想到着時間が表示されます。

総距離		到着予想時刻
1	12km	
2	136km	
3	144km	
4		
5		
6	161km	
戻る	目的地名称	ルートリスト ルートスクロール

- ▶ **ルートリストを表示する**：**ルートリスト**を選択し、押して 確定します。

走行しているルート区間が、長さ、名前およびアイコンとともに表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、ルートリストをスクロールします。
- ▶ **ルートをスクロールする**：**ルートスクロール**を選択し、押して 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、ルートリストをスクロールします。



- ▶ **目的地に行く**：**目的地**を選択し、押して 確定します。
- ▶ **目的地にスクロールする**：**目的地**を選択し、押して 確定します。
- ▶ **出発地点にスクロールする**：**出発地点**を選択し、押して 確定します。

- ▶ **スクロールを中止する**：**スクロール**を選択し、押して 確定します。

i プレビューは通過点または目的地で停止します。この場合、プレビューは選択した方向で再開しなければなりません。

- ▶ **出発地点に戻る**：**戻る**を選択し、押して 確定します。

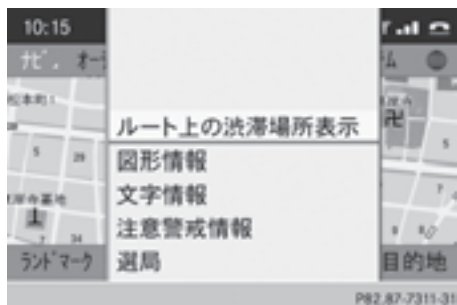
- ▶ **地図の縮尺を設定する**：**縮尺**を選択し、押して 確定します。より詳しい情報は（▶109 ページ）にあります。

i 安全のため、走行を開始すると、表示は現在の車両位置に戻ります。

ルート上の渋滞場所表示

COMANDシステムが妥当な迂回路を提供できないような交通渋滞は地図上に詳細情報として表示されます。

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します 。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、ナビゲーションシステムメニューバーで **VICS** を選択し、押して 確定します。



- ▶ **ルート上の渋滞場所表示**を選択し、押して 確定します。

地図が表示され、交通渋滞があればその場所が表示されます。



- ▶ **交通渋滞を表示する**： **ズームイン** を選択し、押して 確定します。地図の縮尺が拡大されます。



- ▶ **ズーム オフ** で地図に戻ります。
- ▶ **詳細情報を表示する**： **詳細** を選択し、押して 確定します。

渋滞の長さ ①	0.9km
渋滞までの距離 ②	113km
道路名称 ③	首都高速6号向島線
渋滞の始まり ④	中央区日本橋中
渋滞の終わり ⑤	中央区日本橋箱

戻る

- ① 交通渋滞の長さ
- ② 交通渋滞からの現在地点までの距離

- ③ 交通渋滞により影響を受ける道路名
- ④ 交通渋滞が始まる道路名
- ⑤ 交通渋滞が終わる道路名

- ▶ **地図に戻る**：押して **戻る** を確定するか、リターンスイッチ を押します。

渋滞回避探索を使用する

渋滞を考慮したルート探索が行なわれます。

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**： **[NAVI]** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドさせてから , まわして , 基本機能バーでナビを選択し、押して 確定します。
- ▶ **設定**を選択して、押して 確定します。
- ▶ **渋滞回避探索**を選択し、押して 確定します。
- ▶ 前回の状態によって、オン ☒ またはオフ ☐ になります。

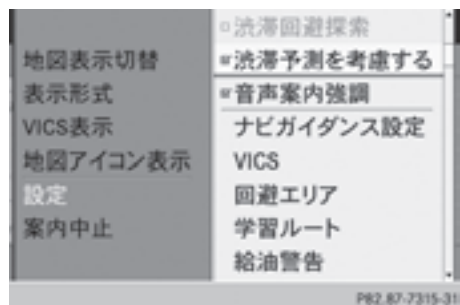
- ① ビーコン受信ユニットが接続されている場合のみ、渋滞回避探索を設定できます。

ルート検索に交通統計を使用する

渋滞予測を考慮したルート検索を行なうことができます。

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**： **[NAVI]** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します .

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑**、**○**、まわして **【**、**○**、基本機能バーで**ナビ**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **設定** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。



- ▶ **渋滞予測を考慮する** を選択し、**Ⓜ** で確定します。

前回の状態に応じて、機能がオン ☒ またはオフ ☐ のいずれかに切り替わります。

音声案内強調を使用する

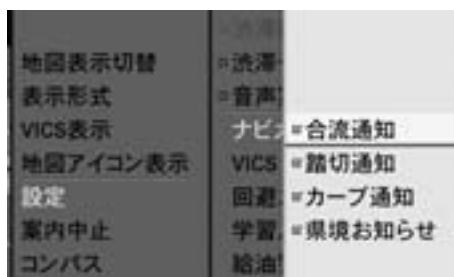
音声案内が行なわれると、オーディオなどの音量が自動的に下がります。

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑**、**○**、まわして **【**、**○**、基本機能バーで**ナビ**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **設定** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **音声案内強調** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。

前回の状態によって、オン ☒ またはオフ ☐ になります。

ナビガイドランス設定

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドさせてから **↑**、**○**、まわして **【**、**○**、基本機能バーで**ナビ**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **設定** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **ナビガイドランス設定** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【**、**○** 項目を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

前回の状態によって、オン ☒ またはオフ ☐ になります。

選択	説明
合流通知	合流の手前で音声案内が行なわれます
踏切通知	踏切の手前で音声案内が行なわれます
カーブ通知	カーブの手前で音声案内が行なわれます
県境お知らせ	都府県境付近で音声案内が行なわれます

学習ルートを使用する

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑**、**◎**、まわして **【◎】**、基本機能バーでナビを選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **設定**を選択して、押して **◎** 確定します。
- ▶ **学習ルート**を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **学習ルート**を選択し、押して **◎** 確定します。

前回の状態によって、オン ☒ またはオフ ☐ になります。

学習ルートリストを選択し、押して **◎** 確定すると、学習ルートのリストが表示されます。

目的地を検索する

目的地検索オプション

住所の検索

住所検索

施設の検索

施設検索

周辺施設の検索（現在の車両位置、目的地、ルート沿い）

周辺施設検索

電話番号による検索

電話番号検索

50 音パネルによる検索

かな入力

郵便番号による検索

郵便番号検索

個人設定の施設の検索

メモリ地点

以前の目的地の検索

目的地履歴

アドレス帳からの選択

アドレス帳検索

ルートの選択

ドライブコース

観光案内からの選択

観光案内

地図からの選択

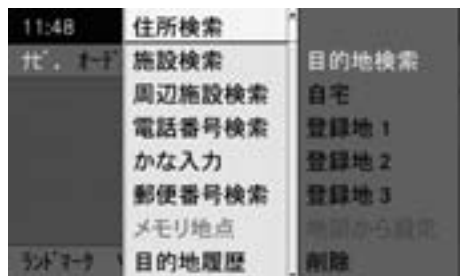
地図からの設定

住所を検索する

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します **◎**。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **⬅️➡️**、まわして **【◎】**、**目的地**を選択し、押して **👉** 確定します。
- ▶ **目的地検索** を選択し、押して **👉** 確定します。

リスト



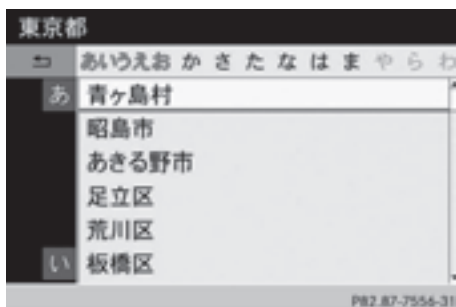
- ▶ 押して **👉** **住所検索** を確定します。都道府県リストが表示されます。続けるには2つの方法があります。

オプション 1

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **⬅️➡️** 地域を選択します。地域（最上行）が、**北海道**、**東北**、**関東**のように変わります。リストに選択した地域の都道府県が表示されます。

オプション 2

- ▶ COMAND コントローラーをスライドするか **⬅️➡️**、まわして **【◎】**、都道府県を選択します。
- ▶ **選択した都道府県を確定する**：COMAND コントローラーを押します **👉**。場所（市区村）のリストが表示されます。



オプション 1

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **⬅️➡️**、押して **👉** 確定します。場所のリストが50音順にしたがって変わります。

オプション 2

- ▶ **場所を選択する**：COMAND コントローラーをスライドするか **⬅️➡️**、まわして **【◎】**、押して **👉** 確定します。選択した都道府県の詳細なアドレスリスト（丁目）が表示されます。



オプション 1

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **⬅️➡️**、押して **👉** 確定します。住所のリストが50音順にしたがって変わります。

オプション 2

▶ 住所を選択する：

COMAND コントローラーをスライドするか $\uparrow\odot\downarrow$ まわして $\{\odot\}$ 、押して $\odot$ 確定します。

住所リスト（番地）が表示されます。

i 主要部を選択すると、選択した場所、または詳細な住所（丁目）の地図が表示されます。

▶ 住所（番地）を選択する：

COMAND コントローラーをスライドするか $\uparrow\odot\downarrow$ まわして $\{\odot\}$ 、押して $\odot$ 確定します。

住所リスト（号）が表示されます。

▶ 住所（号）を選択する：

COMAND コントローラーをスライドするか $\uparrow\odot\downarrow$ まわして $\{\odot\}$ 、押して $\odot$ 確定します。

選択した住所付近の地図が表示されます。

以下の機能についての詳細は、下記をご覧ください。

- 目的地の入力（▷52 ページ）
- メモリ地点としての登録（▷96 ページ）
- アドレス帳への登録（▷156 ページ）
- 目的地住所への電話発信（▷140 ページ）

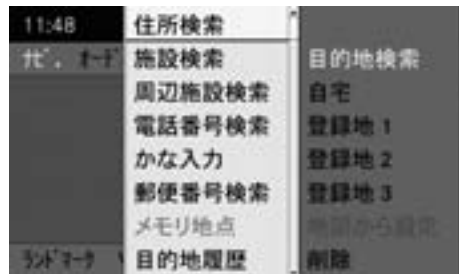
施設を検索する

▶ ナビゲーションモードをオンにする： **NAVI** 機能スイッチを押します。

▶ メニューを表示する： COMAND コントローラーを押します $\odot$ 。

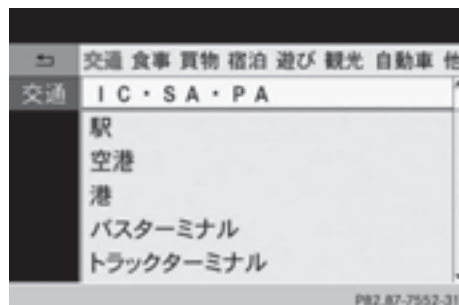
▶ COMAND コントローラーをスライドしてから $\uparrow\odot\downarrow$ 、まわして $\{\odot\}$ 、**目的地**を選択し、押して $\odot$ 確定します。

▶ **目的地検索** を選択し、押して $\odot$ 確定します。



▶ まわすか $\{\odot\}$ か、スライド $\uparrow\odot\downarrow$ して**施設検索**を選択し、押して $\odot$ 確定します。

カテゴリーリストが表示されます。



▶ **カテゴリーを選択する**：COMAND コントローラーをスライドします $\uparrow\odot\downarrow$ 。

カテゴリーが、**交通**、**食事**、**買物**のように変わります。

選択したカテゴリーで利用可能な項目のリストが表示されます。

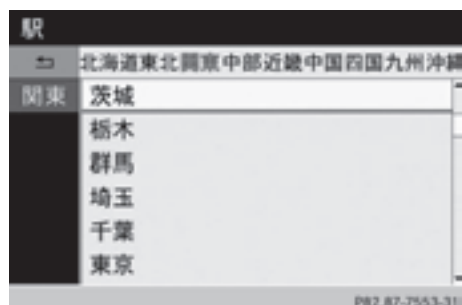
- ▶ **カテゴリー項目を選択する：** COMAND コントローラーをスライドするか $\uparrow\odot\downarrow$ まわして $\{\odot\}$ IC、駅、空港などを選択して、押して $\odot$ 確定します。

都道府県リストが表示されます。

- ▶ **地域を選択する：** COMAND コントローラーをスライドします $\leftarrow\odot\rightarrow$ 。

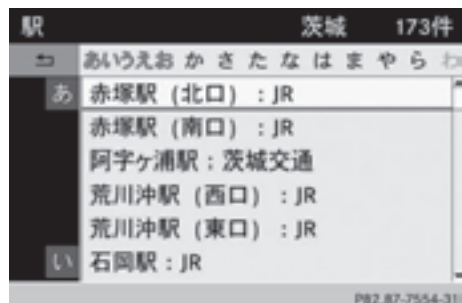
地域が、北海道、東北、関東のように変わります。

リストに選択した地域の都道府県が表示されます。



- ▶ **都道府県を選択する：** COMAND コントローラーをスライドするか $\uparrow\odot\downarrow$ まわして $\{\odot\}$ 、押して $\odot$ 確定します。

都道府県にある、選択したカテゴリーで利用可能な施設がリストに表示されます。



リスト内を検索する

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして $\leftarrow\odot\rightarrow$ 、押して $\odot$ 確定します。

施設のリストが50音順にしたがって変わります。

リストから選択する

- ▶ COMAND コントローラーをスライドするか $\uparrow\odot\downarrow$ まわして $\{\odot\}$ 、施設を選択し、押して $\odot$ 確定します。



以下の機能についての詳細は、下記をご覧ください。

- 目的地の入力 (▷52 ページ)
- メモリ地点としての登録 (▷96 ページ)
- アドレス帳への登録 (▷156 ページ)
- 施設への電話発信 (▷140 ページ)

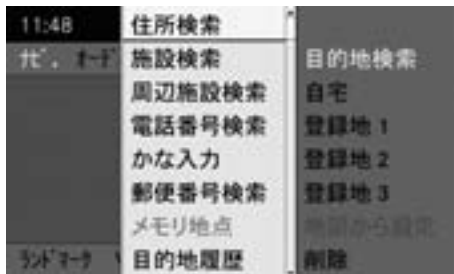
i 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合、メニュー項目の **電話** が利用できます (▷133 ページ)。

周辺施設を検索する

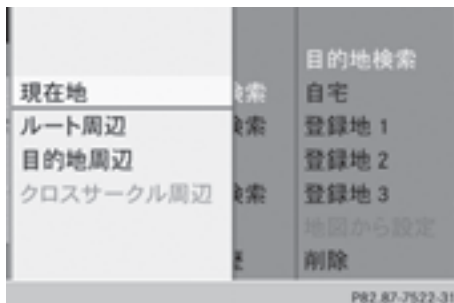
オプション 1：カテゴリリストを使用して検索する

ステップ 1：施設メニューを呼び出す。

- ▶ ナビゲーションモードをオンにする：[NAVI] 機能スイッチを押します。
- ▶ メニューを表示する：COMAND コントローラーを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎**、まわして **【◎】**、**目的地** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **目的地検索** を選択し、押して **◎** 確定します。



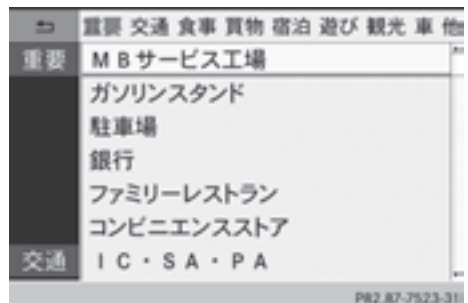
- ▶ まわす **【◎】** か、スライド **↑◎↓** して **周辺施設検索** を選択し、押して **◎** 確定します。
メニューが表示されます。



ステップ 2：施設検索の位置を決定する。

選択	特徴
現在地	システムが現在の車両位置周辺の施設を検索します。
ルート周辺	ルート案内が作動中のときにのみ入力できます。システムがルート沿いの施設を検索します。
目的地周辺	システムが目的地周辺の施設を検索します。
クロスサークル周辺	この施設検索オプションは、クロスカーソルが地図に表示されているとき、例えば"地図をスクロールする"を使用しているときに利用できます (▶110 ページ)。

- ▶ COMAND コントローラーをスライド **◎**、まわして **【◎】**、項目を選択し、押して **◎** 確定します。
カテゴリリストが表示されます。



ステップ 3：カテゴリー / 項目を選択する。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドします。

カテゴリーが、**交通**、**食事**、**買物**のように変わります。

選択可能な項目のリストが表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドするか **↑↓** まわして **【◎】**、リストから項目を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。

検索された施設が地図に表示されます。



項目には次のような情報が含まれます。

- 施設への直線方向を示す矢印
- 施設までの直線距離(mまたはkm)
- 施設の名称
- ▶ COMAND コントローラー をスライドするか **↑↓** まわして **【◎】**、項目を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。



以下の機能についての詳細は、下記をご覧ください。

- 目的地の入力 (▷52 ページ)
- メモリ地点としての登録 (▷96 ページ)
- アドレス帳への登録 (▷156 ページ)
- 施設への電話発信 (▷140 ページ)

① 電話番号が施設に登録されており、携帯電話がCOMANDシステムに接続されている場合、メニュー項目の **電話** が利用できます (▷133 ページ)。

オプション 2：施設ガイドを使用して検索する

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**： **[NAVI]** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します **Ⓢ**。



- ▶ まわすか **【◎】** スライドして **↑↓** **ランドマーク** を選択して、押して **Ⓢ** 確定します。

地図が表示され、次に利用可能な施設が強調されます。



- ▶ **次 / 前の施設を地図で強調する：** COMAND コントローラーを回して **【◎】**、**次候補** または **前候補** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **施設に関する情報を表示する：** **情報** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **目的地に設定する：** **設定** を選択して、押して **◎** 確定します。
- ▶ **目的地**を押して **◎** 確定します。
全ルート図が表示されます。

電話番号を使用して検索する

以下の場合、適切な縮尺で地図が表示されます。

- 電話番号に住所の情報（丁目、番地、号、ピンポイント情報）が含まれていない。
- 市外局番または市内局番のみが入力されている。
- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする：** **NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します **◎**。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎**、まわして **【◎】**、**目的地**を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **目的地検索** を選択し、押して **◎** 確定します。



- ▶ **電話番号検索** を選択し、押して **◎** 確定します。
電話番号の入力メニューが表示されます。



オプション 1

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、数字バーで数字を 1 桁ずつ選択し、押して **◎** 確定します。

オプション 2

- ▶ COMAND コントロールパネルのテンキーを使用して数字を入力します。

入力を削除する

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして $\blacktriangleleft\bigcirc\blacktriangleright$ 、数字バーで **[c]** を選択し、押して $\bigcirc$ 確定します。

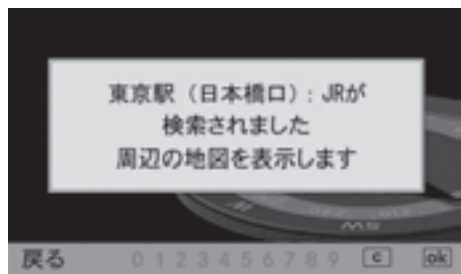
または

- ▶ COMAND コントローラー右側の **[c]** スイッチまたは COMAND コントロールパネルの **[CLEAR]** スイッチを押します。

どちらの場合も、カーソル左側の数字が削除されます。

- i** 削除時に COMAND コントローラー **[c]** または **[CLEAR]** スイッチを押して保持すると、入力した数字がすべて削除されます。

電話番号を完全に入力すると、メッセージが表示されます。



P82.87-4140-311

その後に、該当する住所付近の地図が表示されます。

以下の機能についての詳細は、下記をご覧ください。

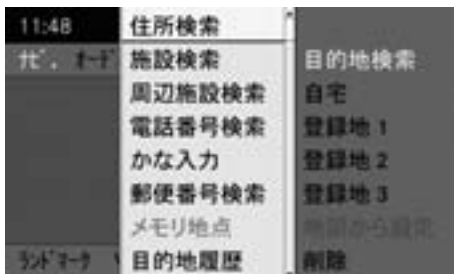
- 目的地の入力 (▷52 ページ)
- メモリ地点としての登録 (▷96 ページ)
- アドレス帳への登録 (▷156 ページ)
- 施設への電話発信 (▷140 ページ)

- i** 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合、メニュー項目の **電話** が利用できます (▷133 ページ)。

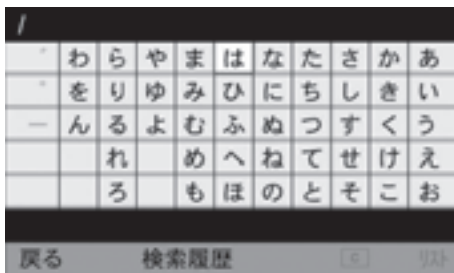
50 音パネルを使用して検索する

50 音パネルを呼び出す

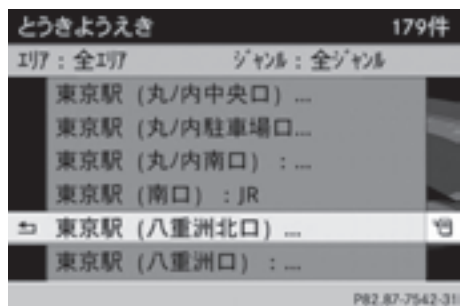
- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**[NAVI]** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します $\bigcirc$ 。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから $\bigcirc\blacktriangleleft$ 、まわして **[目的]**、**目的地** を選択し、押して $\bigcirc$ 確定します。
- ▶ **目的地検索** を選択し、押して $\bigcirc$ 確定します。



- ▶ **かな入力** を選択して、押して $\bigcirc$ 確定します。
ひらがな表が表示されます。



P82.87-4111-311



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、リスト項目を選択し、押して **☑** 確定します。

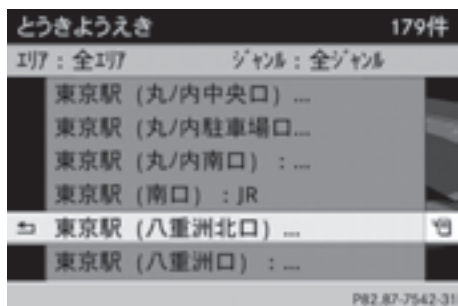
選択した項目の周辺が地図に表示されます。また、項目名と電話番号のウィンドウが表示されます。



以下の機能についての詳細は、下記をご覧ください。

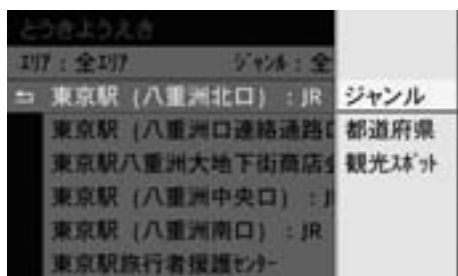
- 目的地の入力 (▷52 ページ)
- メモリ地点としての登録 (▷96 ページ)
- アドレス帳への登録 (▷156 ページ)
- 施設への電話発信 (▷140 ページ)
- ① 電話番号が施設に登録されており、携帯電話がCOMANDシステムに接続されている場合、メニュー項目の**電話**が利用できます (▷133 ページ)。

検索結果をさらに絞り込む



- ▶ リストで、COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、項目の右側にあるリストマークを選択し、押して **☑** 確定します。

検索結果を絞り込むことができます。



- ① 異なる絞り込み条件を組み合わせで使用できます。リストごとに異なる条件を選択できます。

カテゴリーで絞り込む

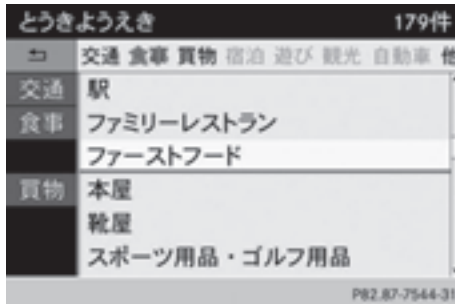
オプション 1

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】** **ジャンル** を選択し、押して **☑** 確定します。
- ▶ **設定** を選択し、押して **☑** 確定します。
- ▶ **現在の絞り込み条件を削除する:解除** を選択し、押して **☑** 確定します。

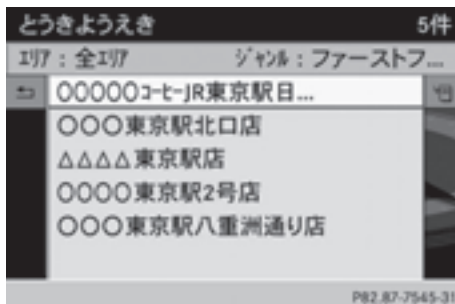
- ▶ **カテゴリーを選択する**：COMAND コントローラーをスライドします。☉→。
- カテゴリーが、**交通**、**食事**、**買物**のように変わります。

オプション 2

- ▶ **施設の種類を選択する**：COMAND コントローラーをスライドするか、☉→、まわします。【☉】。
- 施設の種類の、**駅**、**ファミリーレストラン**、**ファーストフード**などのように変わります。



- ▶ 押して☉施設の種類を確定します。選択した施設の種類の項目のリストが表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして【☉】、項目を選択し、押して☉確定します。
- 検索結果周辺のエリアの地図が表示されます。名称と電話番号のウィンドウが表示されます。



以下の機能についての詳細は、下記をご覧ください。

- 目的地の入力 (▷52 ページ)
- メモリ地点としての登録 (▷96 ページ)
- アドレス帳への登録 (▷156 ページ)
- 施設への電話発信 (▷140 ページ)
- ① 電話番号が施設に登録されており、携帯電話がCOMANDシステムに接続されている場合、メニュー項目の**電話**が利用できます (▷133 ページ)。

都道府県で絞り込む

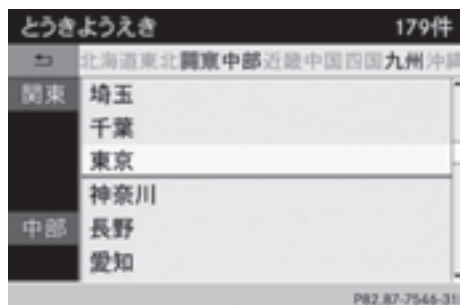
オプション 1

- ▶ COMAND コントローラーをまわして【☉】、**都道府県**を選択し、押して☉確定します。
 - ▶ **設定**を選択し、押して☉確定します。
 - ▶ **現在の絞り込み条件を削除する**：**解除**を選択して、押して☉確定します。
 - ▶ **地域を選択する**：COMAND コントローラーをスライドします。☉→。
- 地域が、**北海道**、**東北**、**関東**のように変わります。

オプション 2

- ▶ **都道府県を選択する**：COMAND コントローラーをスライドするか **↑◎↓** まわします **【◎】**。

都道府県が変わります。

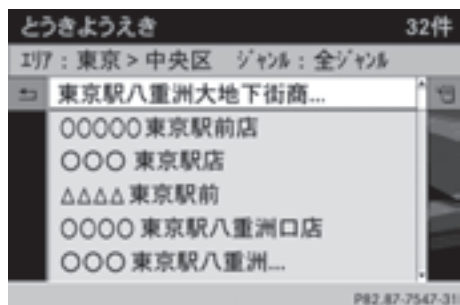


- ▶ 選択した都道府県を **◎** で確定します。

市区町村の場所のリストが表示されます。

- ▶ **市区町村を選択する**：COMAND コントローラーをスライドするか **↑◎↓** まわして **【◎】**、押して **◎** 確定します。

選択した市区町村の検索結果リストが表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをスライドするか **↑◎↓** まわして **【◎】**、検索結果を選択し、押して **◎** 確定します。

検索結果周辺のエリアの地図が表示されます。名称と電話番号のウィンドウが表示されます。



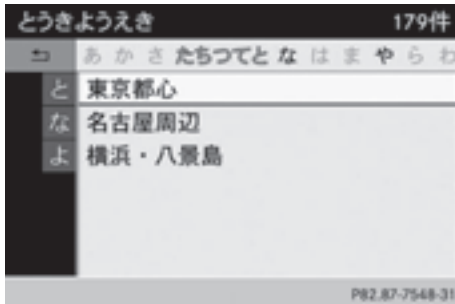
以下の機能についての詳細は、下記をご覧ください。

- 目的地の入力 (▷52 ページ)
- メモリ地点としての登録 (▷96 ページ)
- アドレス帳への登録 (▷156 ページ)
- 施設への電話発信 (▷140 ページ)

- ① 電話番号が施設に登録されており、携帯電話がCOMANDシステムに接続されている場合、メニュー項目の **電話** が利用できます (▷133 ページ)。

名所で絞り込む

- ▶ COMAND コントローラー をまわして **【◎】**、**観光スポット** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **設定** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **現在の絞り込み条件を削除する**：**解除** を選択し、押して **◎** 確定します。



オプション 1

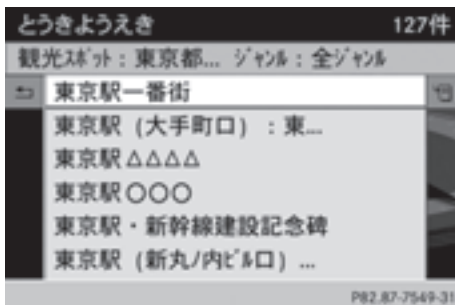
- ▶ COMAND コントローラーをスライドします ◀▶。

名所のリストが50音順にしたがって変わります。

オプション 2

- ▶ **名所を選択する**：COMAND コントローラーをまわして 【◎】、押して ● 確定します。

使用可能な名所のリストが表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして 【◎】、名所を選択し、押して ● 確定します。

名所周辺のエリアの地図が表示されます。名称と電話番号のウィンドウが表示されます。



以下の機能についての詳細は、下記をご覧ください。

- 目的地の入力 (▷52 ページ)
- メモリ地点としての登録 (▷96 ページ)
- アドレス帳への登録 (▷156 ページ)
- 施設への電話発信 (▷140 ページ)

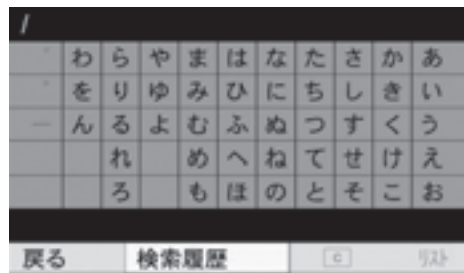
① 電話番号が施設に登録されており、携帯電話がCOMANDシステムに接続されている場合、メニュー項目の **電話** が利用できます (▷133 ページ)。

すでに入力した文字列から検索する

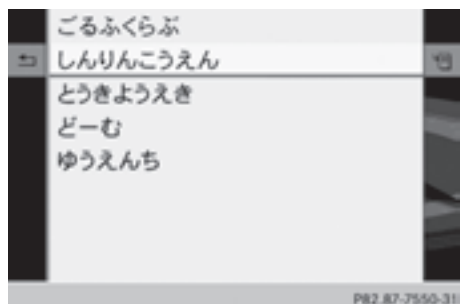
COMANDシステムは名前検索のときに入力した文字列を保存しています。

このようにして、すでに入力した文字列を使用して検索を開始できます。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ●、まわして 【◎】、**検索履歴** を選択します。



以前に入力した文字列のリストが表示されます。



- ▶ **文字列を選択する：** COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、文字列を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

選択した文字列がひらがな表の上部に表示されます。

ひらがな表を使用して文字を追加することもできます。



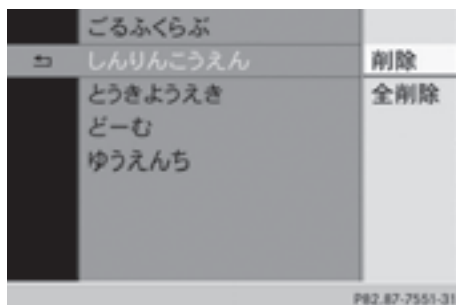
以前に入力した文字列を削除する

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓**、まわして **【◎】**、**検索履歴** を選択します。

以前入力した文字列のリストが表示されます。

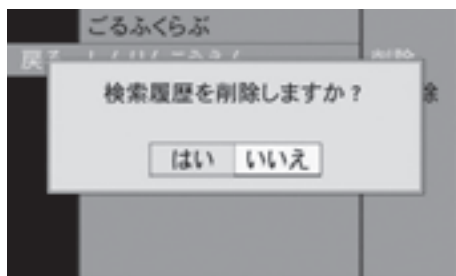
- ▶ **文字列を選択する：** COMAND コントローラーをまわします **【◎】**。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎→**、文字列の右側にあるリストマークを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。



- ▶ **個別の文字列を削除する：** COMAND コントローラーをまわすか **【◎】** スライドして **↑◎↓**、**削除** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

以下の確認メッセージが表示されます。



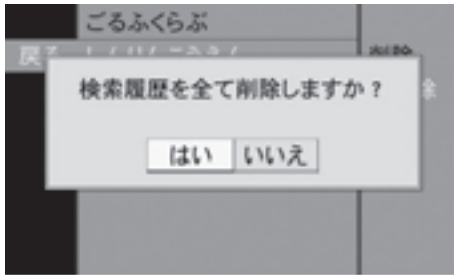
- ▶ **はい** または **いいえ** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

はい を選択すると、文字列が削除されます。

- ▶ **すべての文字列を削除する：** COMAND コントローラーをまわすか **【◎】** スライドして **↑◎↓**、**全削除** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

以下の確認メッセージが表示されます。

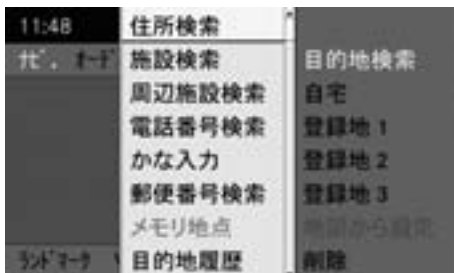


PG2.87-4132-311

- ▶ **はい** または **いいえ** を選択し、押して 確定します。
- いいえ** を選択すると、処理が中止されます。
- はい** を選択すると、すべての文字列が削除されます。

郵便番号を使用して検索する

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します .
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから , まわして , **目的地** を選択し、押して 確定します。
- ▶ **目的地検索** を選択し、押して 確定します。



- ▶ **郵便番号検索** を選択して、押して 確定します。

郵便番号の入力メニューが表示されます。



PG2.87-4142-311

オプション 1

- ▶ COMAND コントローラーをまわして , 数字バーで希望の数字を選択し、その都度押して 確定します。

オプション 2

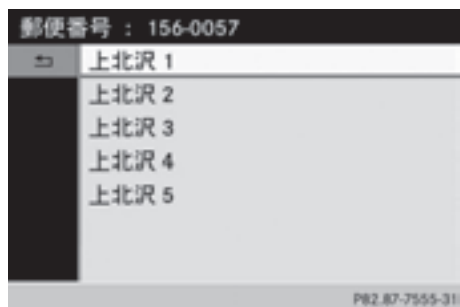
- ▶ COMAND コントロールパネルのテンキーを使用して、希望の数字を入力します。



PG2.87-4144-311

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして , 数字バーで **ok** を選択し、押して 確定します。

地域によっては、7 桁を入力すると、地域の詳細なリストが表示されます。



- ▶ 項目を選択し、押して 確定します。
郵便番号が明白な場合は、該当するエリアの地図が表示されます。



以下の機能についての詳細は、下記をご覧ください。

- 目的地の入力 (▷52 ページ)
- メモリ地点としての登録 (▷96 ページ)
- アドレス帳への登録 (▷156 ページ)
- 目的地への電話発信 (▷140 ページ)

- ① 電話番号が施設に登録されており、携帯電話がCOMANDシステムに接続されている場合、メニュー項目の **電話** が利用できます (▷133 ページ)。

入力項目を削除する

- ▶ 最下行で COMAND コントローラーをスライドして スイッチを選択し、押して 確定します。

または

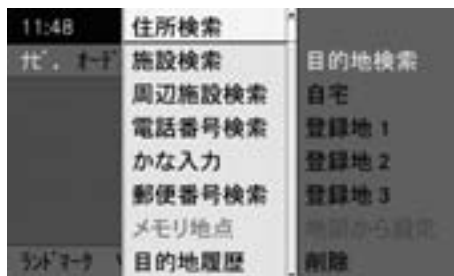
- ▶ COMAND コントローラー右側の スイッチまたは COMAND コントロールパネルの CLEAR スイッチを押します。

どちらの場合も、直前に入力した数字が削除されます。

- ① 削除時にCOMANDコントローラーまたは、 または CLEAR スイッチの一つを押して保持すると、入力した数字がすべて削除されます。

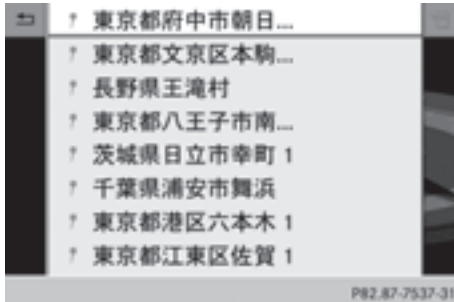
メモリ地点を検索する

- ▶ ナビゲーションモードをオンにする： NAVI 機能スイッチを押します。
- ▶ メニューを表示する： COMAND コントローラーを押します .
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、**目的地** を選択し、押して 確定します。
- ▶ **目的地検索** を選択し、押して 確定します。



- ▶ **メモリ地点** を選択して、押して 確定します。

メモリ地点のリストが表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【○】**、メモリ地点を選択し、押して **【○】** 確定します。

メモリ地点周辺が地図に表示されます。

以下の機能についての詳細は、下記をご覧ください。

- 目的地の入力 (▶52 ページ)
- メモリ地点としての登録 (▶96 ページ)
- アドレス帳への登録 (▶156 ページ)
- メモリ地点への電話発信 (▶140 ページ)

メモリ地点メモリでは以下の機能が使用可能です。

- メモリ地点をアイコンの種類または登録順に並び替える
- メモリ地点をアドレス帳にエクスポートする

以前の目的地を検索する

以前の目的地メモリー

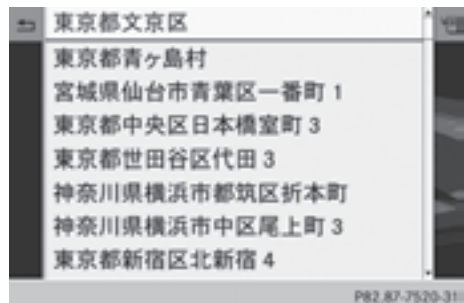
- i** このメモリーには以前に入力した目的地が 50 件まで保存されています。

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します **【○】**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **【○】**、まわして **【○】**、**目的地**を選択し、押して **【○】** 確定します。
- ▶ **目的地検索** を選択し、押して **【○】** 確定します。



- ▶ **目的地履歴** を選択し、押して **【○】** 確定します。

以前の目的地のリストが表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【○】**、以前の目的地を選択し、押して **【○】** 確定します。

選択した以前の目的地周辺の地図が表示されます。



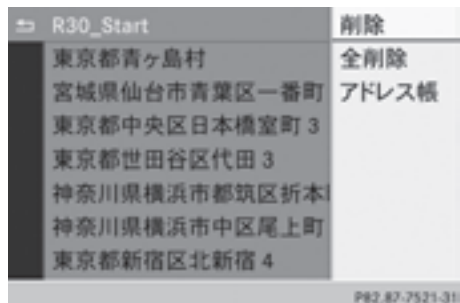
以下の機能についての詳細は、下記をご覧ください。

- 目的地の入力 (▷52 ページ)
- メモリ地点としての登録 (▷96 ページ)
- アドレス帳への登録 (▷156 ページ)
- 以前の目的地への電話発信 (▷140 ページ)

i 電話番号が施設に登録されており、携帯電話がCOMANDシステムに接続されている場合、メニュー項目の **電話** が利用できます (▷133 ページ)。

以前の目的地を削除する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、メモリーから以前の目的地を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、選択した項目の右側にあるリストマークを選択し、押して **☑** 確定します。



- ▶ 押して **☑**、**削除**を確定します。
確認のメッセージが表示されます。
- ▶ **はい** または **いいえ** を選択し、押して **☑** 確定します。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。
はい を選択すると、選択した目的地が削除されます。

すべての以前の目的地を削除する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、メモリーから以前の目的地を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、選択した項目の右側にあるリストマークを選択し、押して **☑** 確定します。
- ▶ メニューから**全削除** を選択し、押して **☑** 確定します。
確認のメッセージが表示されます。
- ▶ **はい** または **いいえ** を選択し、押して **☑** 確定します。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。
はい を選択すると、以前の目的地すべてが削除されます。

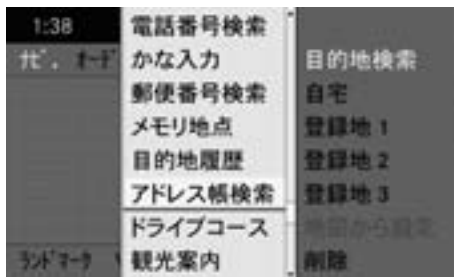
以前の目的地をアドレス帳にエクスポートする

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、メモリーから以前の目的地を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、選択した項目の右側にあるリストマークを選択し、押して **☑** 確定します。
- ▶ メニューから **アドレス帳** を選択し、押して **☑** 確定します。

アドレス帳の詳しい情報は
(▶154 ページ)に記載されています。

アドレス帳から選択する

- ▶ ナビゲーションモードをオンにする：[NAVI] 機能スイッチを押します。
- ▶ メニューを表示する：COMAND コントローラーを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから、まわして、**目的地**を選択し、押して 確定します。
- ▶ **目的地検索** を選択し、押して 確定します。



- ▶ **アドレス帳検索** を選択し、押して 確定します。
- ▶ ④ マークのあるアドレス帳項目 (▶155 ページ) をリストから選択し、押して 確定します。
アドレス帳項目の地図が表示されます。

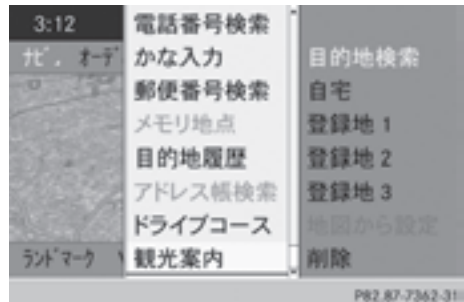
ドライブコースを選択する

ドライブコースを呼び出す

ドライブコースからルートを設定できます。

- ▶ ナビゲーションモードをオンにする：[NAVI] 機能スイッチを押します。

- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから、まわして、**目的地**を選択し、押して 確定します。
- ▶ **目的地検索** を選択し、押して 確定します。



- ▶ **ドライブコース** を選択して、押して 確定します。
都道府県リストが表示されます。



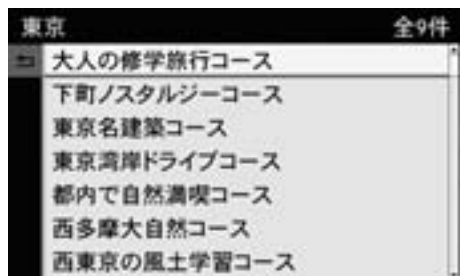
- ▶ **地域を選択する**：COMAND コントローラーをスライドします。
地域が、**北海道**、**東北**、**関東**のように切り替わります。

選択した地域の使用可能な都道府県がリストに表示されます。

または

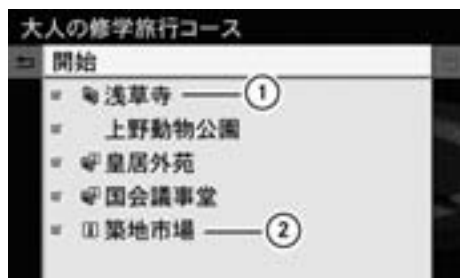
- ▶ **都道府県を選択する：** COMAND コントローラーをスライドするか まわして 、押して 確定します。

利用可能なルートが表示されます。



- ▶ ルートを選択し、押して 確定します。

ルート上のそれぞれの立寄地点が表示されます。



- ① 写真情報のある立寄地点
② 詳細情報のある立寄地点

立寄地点を選択 / 選択解除する

- ▶ 立寄地点を選択して、押して 確定します。
ルート検索のための立寄地点を選択 ☒ または選択解除 ☐ できます。
- ▶ **開始** を選択して、押して 確定します。

選択した立寄地点がルート検索に含まれます。ルート案内は、ルート検索が終了したときに開始されます。

- i** ルート案内が始まると、立寄地点は追加できなくなります。

- i** ルート案内が始まった後も立寄地点の選択解除はできます。そのときは、**開始** を選択するとルートが再検索されます。

立寄地点に関する情報

立寄地点のある地図を呼び出す

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、立寄地点を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして 、立寄地点の右側にあるリストマークを選択し、押して 確定します。
- ▶ **地図** を選択し、押して 確定します。
立寄地点の周辺地図が表示されます。



地図を移動させ (▷110 ページ)、縮尺を設定できます (▷109 ページ)。

- ▶ **元の画面に戻る：** COMAND コントローラーまたはリターンスイッチ を押します。

立寄地点の写真を表示する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、立寄地点を選択します。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして 、立寄地点の右側にあるリストマークを選択し、押して  確定します。
- ▶ **写真** を選択し、押して  確定します。

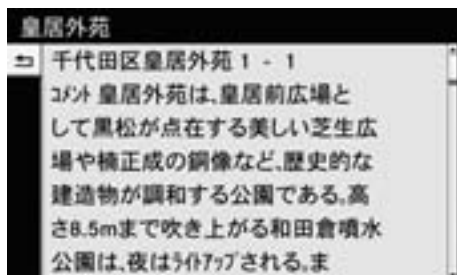
立寄地点の写真が表示されます。



- ▶ **元の画面に戻る**：COMAND コントローラーまたはリターンスイッチ  を押します。

立寄地点の文字情報を表示する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、立寄地点を選択します。
 - ▶ COMAND コントローラーをスライドして 、立寄地点の右側にあるリストマークを選択し、押して  確定します。
 - ▶ **情報** を選択し、押して  確定します。
- 入場料や営業時間などの文字情報が表示されます。



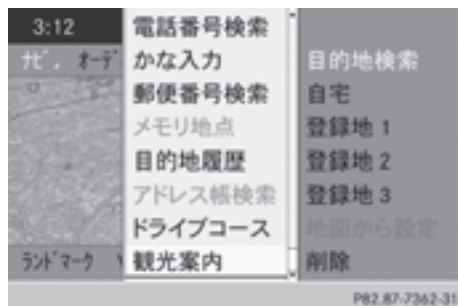
- ▶ **元の画面に戻る**：COMAND コントローラーまたはリターンスイッチ  を押します。

観光案内から選択する

観光案内を呼び出す

観光案内から目的地を選択できます。

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**： 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します 。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、**目的地** を選択し、押して  確定します。
- ▶ **目的地検索** を選択し、押して  確定します。



- ▶ **観光案内** を選択して、押して  確定します。

日本の地図が表示されます。例では、関東地域が強調されています。



- ▶ **地域を選択する：** COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、押して **⏏** 確定します。

選択した地域内で都道府県を選択できます。



- ▶ **都道府県を選択する：** COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、押して **⏏** 確定します。

選択した都道府県内で地図項目を選択できます。

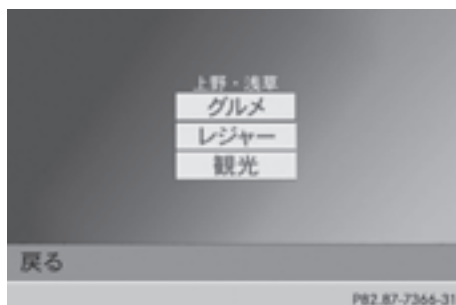


- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、地図項目を選択します。現在強調されている地図項目に赤い枠が付きます。

- ▶ COMAND コントローラーを押します **⏏**。

次はカテゴリーを選択できます。

グルメ、**レジャー**、**観光**など、使用できるカテゴリーから 1 つを選択できます。



- ▶ **グルメ**、**レジャー** または **観光** を選択し、押して **⏏** 確定します。

選択したカテゴリーの利用可能な地図項目が地図に表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、項目を選択します。現在選択されている地図項目に赤い枠が付きます。

- ▶ 押して **⏏** 確定します。

メニューが表示されます。目的地の情報（写真、文字）を閲覧し、ルート検索前に地図に切り替えることができます。



写真情報の表示

- ▶ メニューから **写真** を選択し、押して 確定します。

選択した地図項目の写真が表示されます。

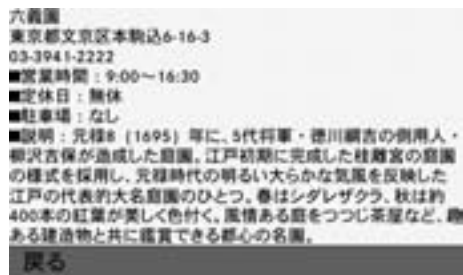


- ▶ **メニューに戻る**：押して 、**戻る** を確定するか、リターンスイッチ を押します。

文字情報を表示する

- ▶ **情報** を選択し、押して 確定します。

使用可能な文字情報が表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをスライドして スクロールします。
- ▶ メニューに戻る：押して 、**戻る** を確定するか、リターンスイッチ を押します。

地図を表示する

- ▶ メニューから **地図** を選択し、押して 確定します。

名所の地図と名称、電話番号が表示されます。



以下の機能についての詳細は、下記をご覧ください。

- 目的地の入力としてへの登録 (▷52 ページ)
- メモリー地点としての登録 (▷96 ページ)
- アドレス帳への登録 (▷156 ページ)
- 施設への電話発信 (▷140 ページ)

- i** 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合、メニュー項目の **電話** が利用できます (▶133 ページ)。

地図から検索する

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**： **NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します **Ⓜ**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **Ⓜ**、まわして **【Ⓜ】**、**目的地** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **地図から設定** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

メモリ地点

全体的な注意事項

メモリ地点は 100 件まで登録できます。

メモリ地点を登録する

地図からメモリ地点を選択します。そのためには、" 地図の縮尺を設定する " および " 地図をスクロールする " 機能を使用してください。

- ▶ 地図の縮尺を設定します (▶109 ページ)。
- ▶ 地図をスクロールします (▶110 ページ)。
- ▶ 地図上の目的地の位置にクロスカーソルを合わせます。



- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します **Ⓜ**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **Ⓜ**、まわして **【Ⓜ】**、**保存** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **メモリ地点** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。

次のメッセージは、選択した地図の位置がメモリ地点として保存されたことを示しています。



メモリ地点が " メモリ地点 " メモリーに保存されます。

- i** 選択した地図の位置はアドレス帳に保存することもできます。これに関するさらに詳しい情報はこちらをご覧ください。(▶156 ページ)
- i** 選択した地図の縮尺が大きすぎるときは、メッセージが表示され、COMAND システムが地図の縮尺を自動的に変更します。

"メモリ地点" メモリー

使用できる機能

"メモリ地点" メモリーでは以下の機能が使用可能です。

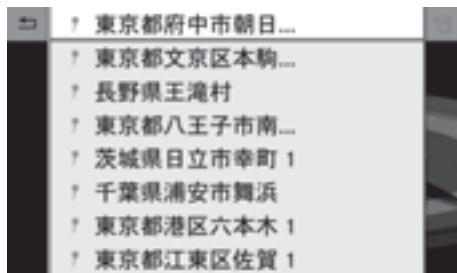
- 詳細情報の表示と編集
- アイコンまたは登録順によるメモリ地点の並び替え
- メモリ地点の削除
- すべてのメモリ地点の削除
- メモリ地点のアドレス帳への保存

"メモリ地点" メモリーを管理する

ルート案内のためのメモリ地点を選択する方法は、"メモリ地点を検索する" (P96 ページ) に記載されています。

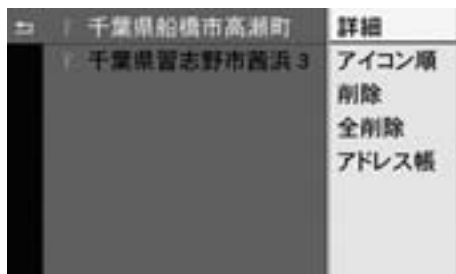
- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**： **[NAVI]** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します **Ⓜ**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **Ⓜ**、まわして **【Ⓜ】**、**目的地**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **目的地検索** を選択し、押してに説明されています **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **メモリ地点** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。

メモリ地点のリストが表示されます。



P82.87-7537-31

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【Ⓜ】**、メモリ地点を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **Ⓜ**、選択した項目の右側にあるリストマークを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。



- ① リストからメモリ地点を選択して、COMAND コントローラーを押すと、目的地周辺エリアの地図が表示されます。

詳細情報を表示する

- ▶ メニューで、押して **Ⓜ**、**詳細** を確定します。
メモリ地点の詳細表示が表示されます。



メモリ地点の詳細表示

- ① 現在のアイコン
- ② メモリ地点の名称

- ③ 電話番号（使用可能な場合）
- ④ メモリ地点の住所

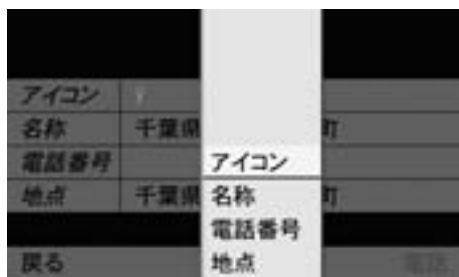
i 電話番号が施設に登録されており、携帯電話がCOMANDシステムに接続されている場合、メニュー項目の**電話**が利用できます（▶133ページ）。



アイコンを変更する

地図に表示されるアイコンを変更できます。

- ▶ メモリ地点の詳細表示で、押して 、**編集** を確定します。
メニューが表示されます。



- ▶ 押して 、**アイコン**を確定します。
アイコンのリストが表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、マークを選択し、押して 確定します。
アイコンが変更され、メッセージが表示されます（例）。



名称を変更する

- ▶ メモリ地点の詳細表示で、押して 、**編集** を確定します。
- ▶ メニューから **名称** を選択し、押して 確定します。
入力メニューが表示され、現在の名称を示します。



文字入力についての情報は、（▶25ページ）をご覧ください。

- ▶ 入力を **[ok]** で確定します。
名称が変更され、地図に表示されます。

メモリ地点の電話番号を変更する

- ▶ メモリ地点の詳細表示で、押して 、**編集** を確定します。
- ▶ メニューから **電話番号** を選択し、押して 確定します。
入力メニューが表示されます。



オプション 1

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、数字バーで希望の数字を選択し、その都度押して **◎** 確定します。

オプション 2

- ▶ COMAND コントロールパネルのテンキーを使用して、希望の数字を入力します。
- ▶ どちらの場合も、**[ok]** を選択し、押して **◎** 確定します。

電話番号が変更されます。

メモリ地点の場所を変更する

- ▶ メモリ地点の詳細表示で、押して **◎**、**編集** を確定します。
- ▶ メニューから **地点** を選択し、押して **◎** 確定します。
クロスカーソル付きの地図が表示され、メモリ地点の位置を示します。
- ▶ 地図の縮尺を設定します (▶109 ページ)。
- ▶ 地図をスクロールして (▶110 ページ)、クロスカーソルを希望する位置に設定します。



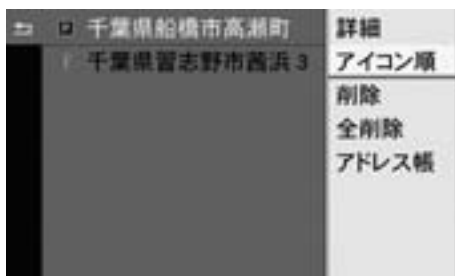
- ▶ COMAND コントローラーを押します **◎**。
メモリ地点の場所が変更されます。

メモリ地点を並びかえる

メモリ地点は、アイコン種類順または登録順に並び替えることができます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、メモリーからいずれかのメモリ地点を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎→**、選択した項目の右側にあるリストマークを選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **アイコン順** または **登録順** を選択し、押して **◎** 確定します。

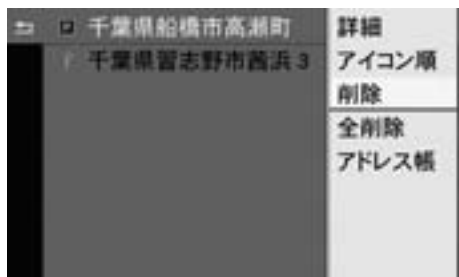
メモリ地点がそれに応じて並べられます。



- ▶ **アイコン順** を選択すると、**登録順** が使用可能になり、逆もまた同様です。

メモリ地点を削除する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、メモリーからメモリ地点を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎→**、選択した項目の右側にあるリストマークを選択し、押して **◎** 確定します。



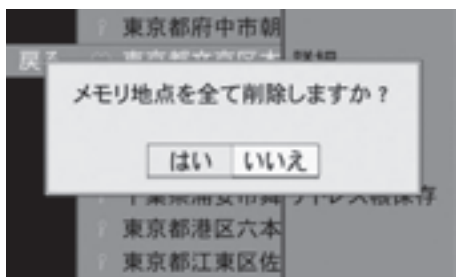
- ▶ **削除** を選択し、押して **決定** します。
確認のメッセージが表示されます。



- ▶ **はい** または **いいえ** を選択し、押して **決定** します。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。
はい を選択すると、メモリ地点が削除されます。

すべてのメモリ地点を削除する

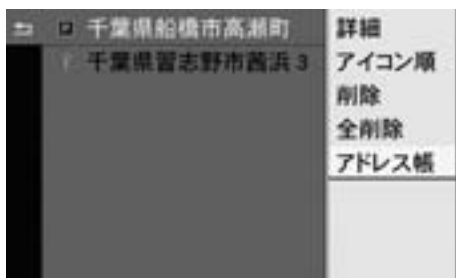
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **メモリ** からメモリ地点を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **メモリ**、選択した項目の右側にあるリストマークを選択し、押して **決定** します。
- ▶ **全削除** を選択し、押して **決定** します。
確認のメッセージが表示されます。



- ▶ **はい** または **いいえ** を選択し、押して **決定** します。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。
はい を選択すると、すべてのメモリ地点が削除されます。

メモリ地点をアドレス帳へエクスポートする

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **メモリ**、メモリからメモリ地点を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **メモリ**、選択した項目の右側にあるリストマークを選択し、押して **決定** します。



- ▶ **アドレス帳** を選択し、押して **決定** します。
メモリ地点がアドレス帳に保存されます。

さらに詳しい情報はこちらをご覧ください (▶154 ページ)。

地図の操作と設定

注意

地図に表示される会社のロゴはそれぞれの会社の商標であり、単に会社の場所を示す目的だけで使用されています。そのようなロゴのナビゲーションシステムの地図での使用は、会社の承認またはサポートを得たものではありません。

地図の縮尺を設定する

- ▶ **メニューを非表示にする**：表示/設定ウインドウを選択し、メニュー項目の**全画面表示**が表示されているときに COMAND コントローラーを押します ⑤。
- ▶ **縮尺バーを呼び出す**：全画面表示で COMAND コントローラーをまわすと ⑥ すみやかに、縮尺バー ④ が表示されます。
- ▶ 希望の縮尺が設定されるまでまわします ⑥。



P82.87-5904-311

- ① 現在設定されている地図縮尺の単位表示（この場合は 2 km）
- ② 現在設定されている地図の縮尺
- ③ 新しい選択を示す指針
- ④ 地図の縮尺

- ① 地図データが使用可能でないときは、地図の縮尺は灰色になり、選択できません。

市街図が使用可能なときに、25 m の縮尺が選択できます。

市街図は 25 m と 50 m の縮尺が使用できます。ほとんどの市街地で表示することができますが、通常郊外では表示できません。

25 m の縮尺が使用できないときは、50 m の縮尺が表示されます。

市街図を表示しているときに、高速道路を約 5 km/h 以上の速度で走行すると、画面表示が自動的に 100 m の縮尺に切り替わります。25 m と 50 m の縮尺は車両が停止しているときに再び使用することができます。

さまざまな地図の縮尺例

市街地地図（2D 表示）



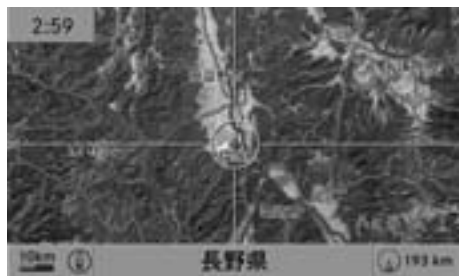
25 m の縮尺

2D 表示



200 m の縮尺

サテライトマップ (2D 表示)



10 km の縮尺

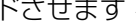
地図の種類と地図の縮尺

地図の種類	地図の縮尺
市街地地図	25 m、50 m
一般地図	50 m～200 km
サテライトマップ	1 km～200 km
i 地図の種類 サテライトマップ がオンのときに利用できます。	
全ルート図	50 m ～ 1,000 km

地図を動かす

クロスカーソルを表示する

▶ **メニューを非表示にする**：表示 / 設定ウィンドウを選択し、メニュー項目の **全画面表示** が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します .

▶ **地図をスクロールする**：COMAND コントローラーをスライドさせます .

クロスカーソルが地図に表示されます。再びスライドすると、地図はクロスカーソルに対応した方向に動きます。



PB2.87-5905-311

- ① クロスカーソル
- ② 現在の車両位置
- ③ 位置の名称
- ④ 現在の車両位置からクロスカーソル位置までの距離

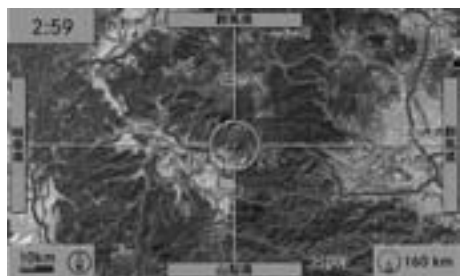
i 現在選択されている地図の縮尺が使用できないときは、使用できる最も大きな縮尺に自動的に切り替わります。

地図をスクロールして動かしているときは、隣接しているエリアや市町村、都道府県の名称が、地図縮尺に応じて表示されます。



P82.87-5897-311

例：隣接地区が表示されている地図スクロール



例：隣接県が表示されている地図スクロール

クロスカーソルを非表示にして、車両位置を地図の中央にする

- ▶ **NAVI** または **←→** スイッチを押します。

クロスカーソルが消えて、地図に車両位置が設定されます。

地図の設定

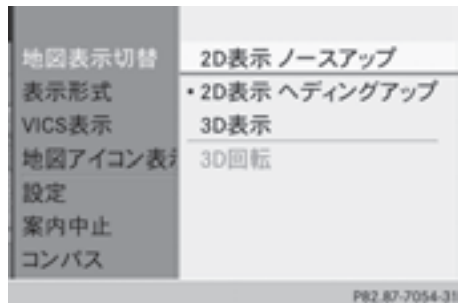
地図表示を選択する

2D 地図の向きをノースアップ表示またはヘディングアップ表示に設定できます。

ノースアップ表示：地図は北が常に上で表示されます。

ヘディングアップ表示：地図は進行方向で表示され、現在の車両位置を示す矢印が上を指します。

- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します **Ⓢ**。
- ▶ 基本機能バーで COMAND コントローラーをスライドしてから **↑Ⓢ**、まわして **【Ⓢ】**、**ナビ**を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。
- ▶ **地図表示切替** を選択して、押して **Ⓢ** 確定します。



P82.87-7054-311

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【Ⓢ】**、**2D 表示 ノースアップ**、**2D 表示 ヘディングアップ** または **3D 表示** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。

ドット ● は現在の設定を示します。



例：ノースアップ表示の2D表示

① が画面下の地図縮尺のとなりに表示されます。



例：ヘディングアップ表示の地図

① が画面下の地図縮尺のとなりに表示されます。運転中は、車両の進行方向によってマークが回転します。



例：3D表示

3D表示を回転する

3D表示または"ビル情報を表示する"機能を選択しているときは(▶114ページ)、地図を回転することができます。

- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します ①。
- ▶ 基本機能バーで COMAND コントローラーをスライドしてから ①、まわして ②、**ナビ**を選択し、押して ③ 確定します。
- ▶ **地図表示切替** を選択して、押して ④ 確定します。
- ▶ **3D回転** を選択して、押して ⑤ 確定します。

3D表示を回転できます。



- ▶ **3D表示を時計回りに回転させる**： COMAND コントローラーを左にスライドします ⑥。
- ▶ **3D表示を反時計回りに回転させる**： COMAND コントローラーを右にスライドします ⑦。

① 発進すると、地図は現在地を表示します。

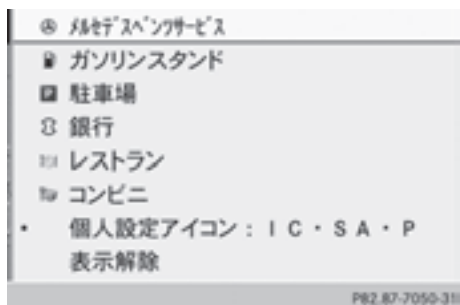
地図をスクロールして 3D 回転しているときは、COMAND コントローラーを押すと、そのときの回転方向で地図が表示されます。

地図に施設を表示する

あらかじめ設定した施設のマークを選択する

25 m ～ 500 m の地図の縮尺では、地図に表示する、あらかじめ設定された 6 つの施設のマークを選択できます。

- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します .
- ▶ 基本機能バーで COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、ナビを選択し、押して  確定します。
- ▶ **地図アイコン**を選択し、押して  確定します。
ドット ● は現在の設定を示します。

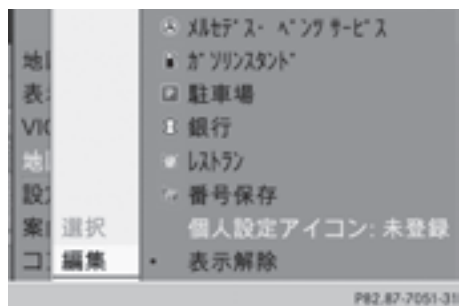


- ▶ カテゴリーを選択し、押して  確定します。
- ▶ **地図の施設のマークを非表示にする**： **表示解除** を選択し、押して  確定します。
- ▶ **i** 同時に複数のカテゴリーを選択することはできません。

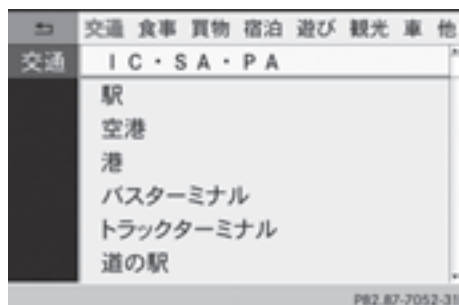
表示解除 の設定を選択しているときでも、**メルセデス・ベンツサービス** カテゴリーのアイコンは 25 m から 1 km の縮尺で表示されます。

個人設定の施設を選択する

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから  まわして 、メニューで **個人設定アイコン** を選択し、押して  確定します。

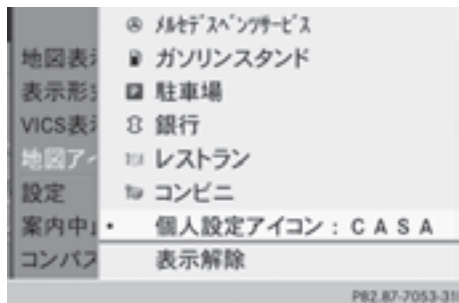


- ▶ **編集**を選択し、押して  確定します。



カテゴリーの使用可能な項目のリストが表示されます。

- ▶ **カテゴリーを切り替える**： COMAND コントローラーをスライドします 。
- ▶ 最上行で選択したカテゴリーが強調され、施設のリストが表示されます。
- ▶ **施設を選択する**： COMAND コントローラーをまわして  選択し、押して  施設を確定します。
選択した施設がメニューの **個人設定アイコン**： の後に表示されます。

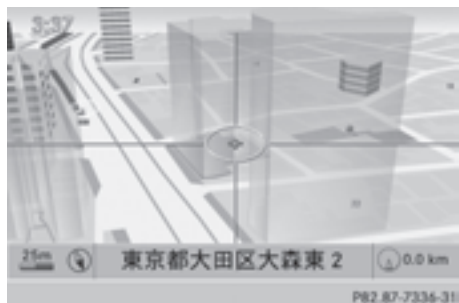


ビル情報を表示する

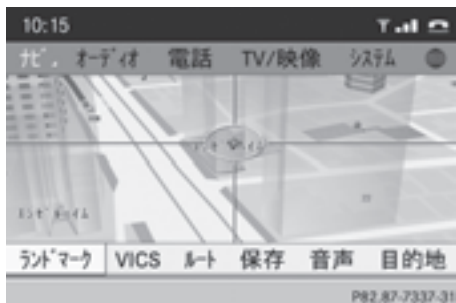
個々の施設の情報が使用できるときは、COMAND システムはビル情報を表示できます。

- ▶ 縮尺を25 mまたは50 mに設定します (▶109 ページ)。
- ▶ ビル情報のあるビルに地図のクロスカーソルを合わせます (▶110 ページ)。

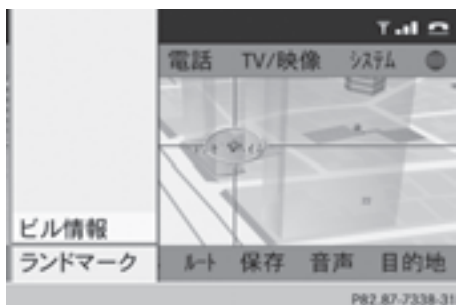
ビルの地面部分が茶色になります。色が変わらない場合は、そのビルについての表示できる情報はありません。



- ▶ COMAND コントローラーを押します。メニューが表示されます。

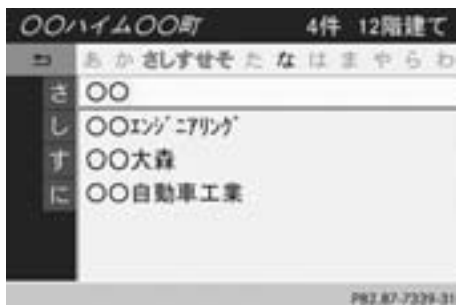


- ▶ **ランドマーク** を選択し、押して 確定します。



- ▶ **ビル情報** を選択し、押して 確定します。

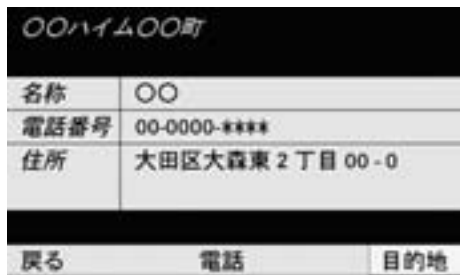
ビルに複数の施設がある場合は、使用可能な施設情報がリストに表示されます (例)。



- ▶ COMAND コントローラーをまわすか 、スライドして 、施設を選択します。

または

- ▶ COMAND コントローラーをスライドします ◀◎▶。
あかさたな…順に施設のリストが表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーを押して確定します ◎。
選択した項目の詳細情報が表示されます（例）。



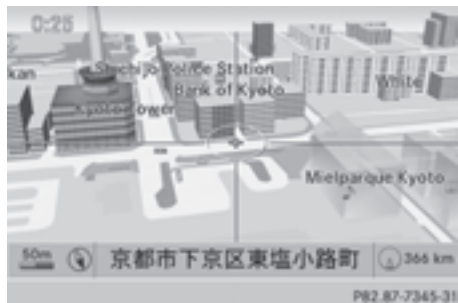
- ▶ **施設に電話発信する**： COMAND コントローラーをまわして 【◎】、**電話** を選択し、押して ◎ 確定します。
- ❶ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合、このメニュー項目が利用できます（▶133 ページ）。
- ▶ **施設を目的地として設定する**： COMAND コントローラーをまわして 【◎】、**目的地** を選択し、押して ◎ 確定します。

日本語と英語の地図を切り替える

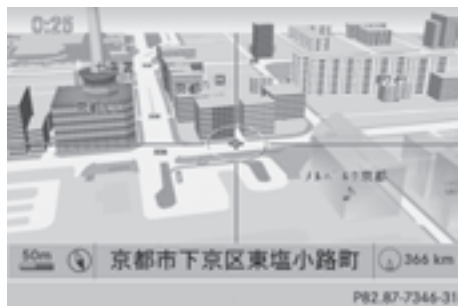
日本語の地図項目、または英語の地図項目で地図を表示できます。

- ▶ **[SYS◎]** 機能スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 【◎】、**設定** を選択し、押して ◎ 確定します。

- ▶ **言語/Language** を選択し、押して ◎ 確定します。
これにより、言語とそれに応じた地図に切り替わります。



例：英語の地図



例：日本語の地図

コンパス機能

コンパス表示では、例えば、現在の自車の方位や、現在の高度、車両位置の緯度と経度を表示できます。

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**： **[NAVI]** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します ◎。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎ まわして 【◎】、**ナビ** を選択し、押して ◎ 確定します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**コンパス** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。



コンパス表示の例

- ① 現在使用している GPS 衛星の数
- ② 現在の自車の方位
- ③ 現在の高度（四捨五入）
- ④ 現在の車両位置：経度
- ⑤ 現在の車両位置：緯度

- ① 現在の高度 ③ を表示するには、システムは少なくとも 4 つの衛星を受信していなければなりません。

- ▶ **表示を終了する**：押して **Ⓜ**、**戻る** を確定するか、**←** スイッチを押します。

地図の基準と ETC のバージョンを表示する

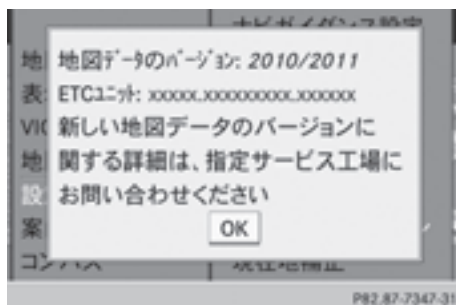
- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します **Ⓜ**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑◎** まわして **【◎】**、**ナビ** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **設定** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。

- ▶ **地図/ETCバージョン** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。

地図データのバージョンが表示されます。

ETC のバージョンは以下のときに表示されます。

- ETC 機器が搭載され、ETC カードが挿入されているとき
- イグニッション位置がオンになっているとき



- ▶ メッセージを確認する：押して **Ⓜ**、**OK** を確定します。

VICS

VICS に関する役立つ情報

略字である VICS とは、Vehicle Information and Communication System (Vehicle Information and Communication System; 道路交通情報通信システム) を表しています。

COMAND システムは VICS のデータを受信できます。

VICS は、以下のように道路および交通情報を提供します。

- FM 多重放送
- 電波
- 赤外線信号

- i** 電波と赤外線信号から道路および交通情報を受信して使用するには、車両に追加装備が必要です。さらに詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

道路および交通情報は以下の内容からなります。

- 混雑の案内
- 所要時間
- 事故や工事の場所
- 速度規制および車線規制
- 駐車場と利用状況

- i** VICS データの収集・処理・提供は、国家公安委員会、国土交通省、(財)日本道路交通情報センター、(財)VICS センターが行なっています。

VICS 情報に関する問い合わせ

VICS の概念や表示された情報の内容については(財)VICS センターに直接お問い合わせください。

(財)VICS センター

電話：0570-00-8831 (祝日を除く
月曜日～金曜日 9:30～17:45)

(PHS からは利用できません)

FAX：03-3562-1719

HP アドレス：<http://www.vics.or.jp>

この情報は本取扱説明書作成時点で使用可能なデータに基づいたものです。予告なしに変更されることがあります。

VICS 情報の表示形式

VICS 情報は 3 つの方法で表示されます。

1. 文字情報

VICS 情報は COMAND ディスプレイに文字形式で表示されます。

現在の道路および交通情報が文字形式で提供されます。

2. 図形情報

VICS 情報は COMAND ディスプレイに図形形式で表示されます。

この表示形式は選択された道路の混雑しているルートや所要時間を図形や文字形式で表示します。

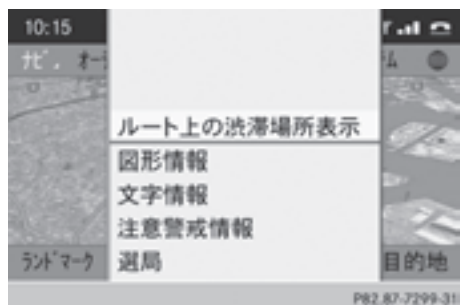
3. 地図情報

VICS 情報は地図に表示されます。受信する情報は車両の位置によって変わります。情報の種類とその表示 / 非表示を切り替えることができます。

文字情報を表示する

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します .
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから  まわして 、メニューで **VICS** を選択し、押して  確定します。

VICS メニューが表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**文字情報** を選択し、押して **◎** 確定します。
文字情報画面が表示されます。

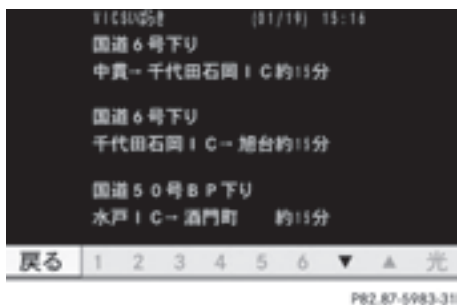


i 使用できる情報の番号が黒色で表示されます。

- ▶ 番号を選択して、**◎** で確定し、希望する情報を表示します。

または

- ▶ COMAND システムのテンキーを押します。
該当するVICS文字情報が表示されます。



スクロールする

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**▲** または **▼** スイッチを選択し、押して **◎** 確定します。
使用できる情報がない場合、次のような画面が表示されます。



図形情報を表示する

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**：**NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します **◎**。
- ▶ メニューから **VICS** を選択し、押して **◎** 確定します。
VICS メニューが表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**図形情報** を選択し、押して **◎** 確定します。
図形情報画面が表示されます。



i 使用できる情報の番号が黒色で表示されます。

- ▶ 番号を選択して、 で確定し、希望する情報を表示します。

または

- ▶ COMAND システムのテンキーを押します。
該当するVICS図形情報が表示されます。

VICS 図形情報が表示されます。



スクロールする

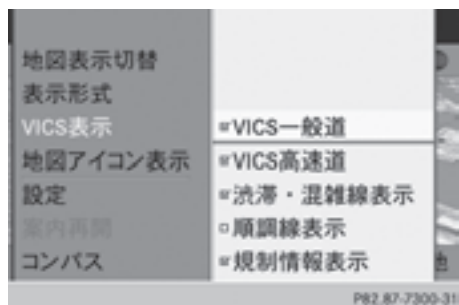
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、 または スイッチを選択し、押して 確定します。

地図に VICS 情報を表示する

表示する VICS 情報を選択する

- ▶ ナビゲーションモードをオンにする： **NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ メニューを表示する： COMAND コントローラーを押します .

- ▶ 基本機能バーで COMAND コントローラーをスライドしてから 、、まわして 、、**ナビ**を選択し、押して 確定します。
- ▶ **VICS 表示** を選択して、押して 確定します。



- ▶ 希望の表示を選択し、押して 確定します。

表示をオン ☒ またはオフ ☐ に切り替えます。

VICS 表示	説明
VICS 一般道	一般道用の VICS 情報が表示されます。
VICS 高速道	高速道路の VICS 情報が表示されます。
渋滞・混雑線表示	交通混雑は赤色の矢印で表示されます。低速で移動している道路は橙色の矢印で表示されます。
順調線表示	交通障害のない道路は緑色の矢印で表示されます。
規制情報表示	交通規制が表示されます。

一般道の表示例

- ▶ メニューから **VICS 一般道** を選択し、押して  確定します。

ディスプレイをオン ☒ またはオフ ☐ に切り替えます。

機能がオンのとき、一般道の VICS 情報が表示されます。



P82.87-5988-311

高速道の表示例

- ▶ メニューから **VICS 高速道** を選択し、押して  確定します。

ディスプレイをオン ☒ またはオフ ☐ に切り替えます。

機能がオンのとき、高速道の VICS 情報が表示されます。



P82.87-5989-311

アイコンの詳細表示を呼び出す

地図は VICS 情報アイコンとともに表示されます。



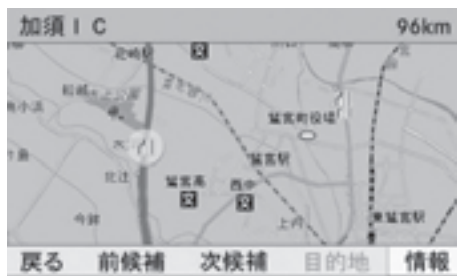
P82.87-5990-311

- ① VICS 情報マーク
- ② VICS 情報マーク

- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します .



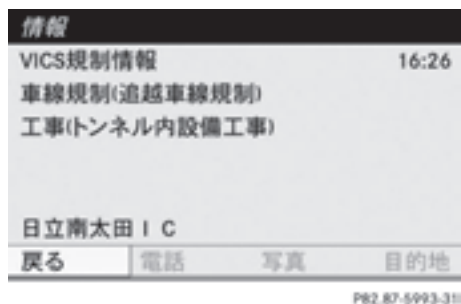
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、**ランドマーク** を選択し、押して  確定します。



P82.87-5992-311

- ▶ **情報** を選択し、押して  確定します。

詳細情報が表示されます。



- ▶ 複数の VICS アイコンが使用可能なとき：前候補 または 次候補 を選択し、押して 確定します。

FM VICS 放送局を切り替える

- ▶ ナビゲーションモードをオンにする：NAVI 機能スイッチを押します。
- ▶ メニューを表示する：COMAND コントローラーを押します .
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから , まわして , メニューから VICS を選択し、押して 確定します。

VICS メニューが表示されます。

- ▶ 選局 を選択して、押して 確定します。

以下の方法で放送局を選択できます。

- 自動放送局検索
- 手動放送局検索
- 受信範囲を選択して検索する

自動放送局検索

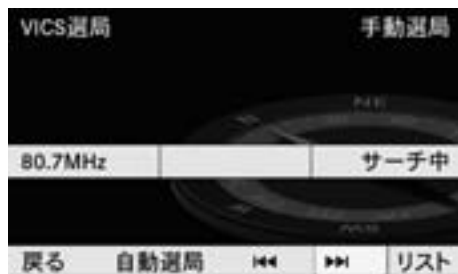
- ▶ COMAND コントローラーをまわして , 自動選局 を選択し、押して 確定します。

COMAND システムは最も受信状況の良い放送局に自動的に切り替えます。



手動放送局検索

- ▶ COMAND コントローラーをまわして , 手動選局 を選択し、押して 確定します。



- ▶ または を選択し、押して 確定します。

0.1 MHz 単位で周波数が上がるか、下がります。

または

- ▶ または を選択します。
- ▶ 希望の周波数に設定されるまで、COMAND コントローラーを押して 保持します。

- ① FM多重放送局は76.0～90.0 MHzの周波数範囲にあります。

受信範囲を選択して検索する

選択した都道府県の放送局を受信するように、受信範囲を選択できます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして【**◎**】、**リスト**を選択し、押して**◎** 確定します。
都道府県リストが表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして【**◎**】、都道府県を選択し、押して**◎** 確定します。

COMAND システムは選択した都道府県で最も受信状況の良い放送局を選択します。

受信できる放送局がないときは、**選局なし** というメッセージが受信欄に表示されます。

基本 VICS 設定

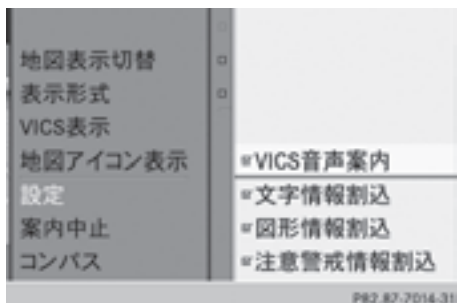
VICS 情報は音声出力で聞いたり、COMANDディスプレイに表示したりできます。

VICS 遠隔信号機を通過し、電波または赤外線信号を受信すると、ただちに VICS 情報が COMAND ディスプレイに表示されます。

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**： **NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します **◎**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑◎**、まわして【**◎**】、基本機能バーで**ナビ**を選択し、押して**◎** 確定します。

- ▶ **設定** を選択して、押して **◎** 確定します。
- ▶ **VICS** を選択して、押して **◎** 確定します。

基本VICS設定リストが表示されます。



- ▶ 希望する基本設定を選択し、押して**◎** 確定します。

基本設定をオン ☒ またはオフ ☐ にします。

基本 VICS 設定	説明
VICS 音声案内	COMANDシステムが音声出力により VICS 情報を再生します。
文字情報割込	文字情報が割込情報として表示されます。
図形情報割込	図形情報が割込情報として表示されます。
注意警戒情報割込	注意警戒情報が割込情報として表示されます。

ETC

注意

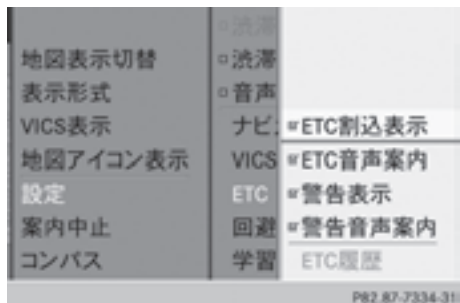
ETC を利用するには、追加装備が必要です。さらに詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

これらの機能は ETC カードが挿入されているときのみ利用できます。

ETC の設定

- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します .
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから  まわして **【】**、**ナビ** を選択し、押して  確定します。
- ▶ **設定** を選択し、押して  確定します。
- ▶ **ETC** を選択し、押して  確定します。

現在の ETC 設定が表示されます。



- ▶ ETC 設定を選択して、押して  確定します。

ETC 設定をオン ☒ またはオフ ☐ に切り替えます。

ETC の設定

説明

ETC 割込表示

料金所に近づく
と、ETC 情報が
COMANDディス
プレイに表示さ
れます。

ETC 音声案内

音声出力によっ
て ETC 情報が聞
けます。

警告表示

利用可能な警告
メッセー ジが
COMANDディス
プレイに表示さ
れます。

警告音声案内

音声出力によっ
て警告メッセー
ジが聞けます。

ETC 割込表示

ETC 割込表示 が設定されていると
☒、例えば料金所に接近すると、以下
のようなメッセージが表示されます。



料金所名、料金（円）および料金所へ
の入り口（青い矢印）が表示されます。

- ① ETC 音声案内 が設定されていると、利
用可能なETCの情報の音声案内と表示
が同時に行なわれます。

ETC の履歴

- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します ⑤。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ①② まわして ③④、**ナビ** を選択し、押して ⑤ 確定します。
- ▶ **設定** を選択し、押して ⑤ 確定します。
- ▶ **ETC** を選択し、押して ⑤ 確定します。
- ▶ **ETC 履歴** を選択し、押して ⑤ 確定します。

これまでに通過した料金所のリストが表示されます。

項目を選択すると、料金所の名前が表示されます。

- ① **ETC 履歴** が表示されているときに ETC カードを取り出すと、ディスプレイは現在地の画面に切り替わります。

スマート IC ゲート

一般的な情報

スマート IC ゲートがあるサービスエリア (SA) やパーキングエリア (PA) で高速道路に入ったり、出たりできます。走行中に ETC カードが挿入されていて、COMAND システムがスマート IC ゲートを認識すると、自動的にルートが再探索されます。

スマート IC ゲートを表示する

車両がルート上のスマート IC ゲートに接近すると、" ~ km でスマート IC ゲートに到着します " という内容に対応するメッセージが聞こえます。

スマート IC ゲートは適時 COMAND ディスプレイに表示されます。

現在地の補正

- ▶ **ナビゲーションモードをオンにする**： **NAVI** 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ①②、まわして ③④、基本機能バーで**ナビ**を選択し、押して ⑤ 確定します。
- ▶ **設定** を選択して、押して ⑤ 確定します。
- ▶ **現在地補正** を選択して、押して ⑤ 確定します。

現在地補正画面が表示されます。



- ▶ 地図をスクロールして、現在地の位置を補正します。
 - ▶ コントローラーを押します ⑤。
 - ▶ コントローラーをまわして ③④、自車の向きを補正します。
 - ▶ コントローラーを押します ⑤。
- 現在地が補正されます。

ナビゲーションシステムのトラブル

トラブル	考えられる原因 / 影響および ▶ 解決方法
走行を中断した後、COMANDシステムがルート案内を継続できない。	2 時間以上走行を中断すると、ルート案内は中止されます。 "走行の中断"とは、車両を停止することを指しています。 "ルート案内の継続"とは、COMAND システムを再度オンにして走行することを指しています。 ▶ ルート案内を続けます (▶75 ページ)。
トラブル	考えられる原因 / 影響および ▶ 解決方法
COMANDシステムが車両位置を特定できない。	COMAND システムは車両を輸送（例：フェリー、積載車、けん引など）したときは、再度車両位置を特定する必要があります。 ▶ 車両のエンジンを始動して発進してください。 COMAND システムが車両位置を特定します。運転状況によって時間がかかる場合があります。 車両位置を特定している間は、ルート案内が制限される場合があります。 位置の特定が終了すると、ルート案内はナビ音声案内とルート案内表示を再開します。

トラブル	考えられる原因 / 影響および ▶ 解決方法
ナビゲーション 使用できません というメッセージが表示される。	COMAND システムは地図が登録されたハードドライブを内蔵しています。 内蔵ハードドライブを損傷から守るため、COMAND システムは高い温度や低い温度になるとオフになります。ナビゲーションシステムは一時的に使用できなくなります。 ▶ 車両および COMAND の温度を下げてください。 ▶ メッセージを消す：COMAND システムをオフにし、再びオンにします。
	ハードディスクの一部にエラーがあると COMAND システムはルートを検索するときなどに、この部分の地図データにアクセスできなくなります。 ▶ メッセージを消す：COMAND システムをオフにし、再びオンにします。 ナビゲーションシステムはハードドライブのエラーのある箇所にもう一度アクセスするまで操作可能です。メッセージが再度表示されます。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

VICS マーク

渋滞・混雑情報

i 渋滞している道路は赤色、混雑している道路は橙色、空いている道路は緑色の矢印で表示されます。

また、交通規制のある区間が黄色の矢印で表示されます。

道路の流れの目安			
矢印	一般道	都市内 高速道路	都市間 高速道路
 (赤色) 渋滞	10km/h以下	20km/h以下	40km/h以下
 (橙色) 混雑	10km/h～ 20km/h	20km/h～ 40km/h	40km/h～ 60km/h
 (緑色) 順調	20km/h以上	40km/h以上	60km/h以上
 (黄色) 規制	交通規制区間		

事象規制マーク

交通障害情報

マーク	障害の内容
	事故
	故障車
	障害物・路上障害
	工事
	凍結
	作業

交通規制の情報

マーク	規制の内容
	閉鎖・通行止め
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	入り口閉鎖
	入り口制限
	速度規制
	徐行
	その他
	土砂崩れ
	行事など
	災害
 	右左折規制
	片側規制
	火災
	悪天候
	地震警戒宣言

駐車場に関する情報

駐車場とサービスエリア（SA）／パーキングエリア（PA）の位置を表示し、混雑状況を色で表示します。

マーク	混雑状況
 (赤色)	満車（混雑率 90% 以上）
 (橙色)	混雑（混雑率 70%～90%）
 (青色)	空車（混雑率 70% 以下）
 (赤色)	閉鎖
 (黒色)	駐車場情報がない状態

-  駐車場情報は一部のエリアでのみ提供されます。
-  駐車場情報は、500m 以下の縮尺表示を選択していて、ランドマーク表示で "駐車場" を選択しているときに表示されます。
-  駐車場に関する情報は絶えず変化しているため、そのときの状況と COMAND システムで受信した情報が異なることがあります。
駐車場に提示されている情報などにも注意してください。
-  ビル表示を選択しているときは、駐車場情報と SA/PA 情報は表示されません。

地図記号

地図記号の例

記号	名称
 (紫色)	高速道路・都市高速・有料道路
 (桃色)	国道
 (緑色)	主要地方道
 (黄色)	一般都道県道
 (黒色)	その他の道路 (幅 5.5m 以上)
 (黒色)	その他の道路 (幅 3.0m 以上)
 (灰色)	私鉄線路
 (黒色)	JR 線路
 (青色)	水域（河川、湖沼、海など）
 (濃緑)	緑地
 (薄緑)	駅 / 敷地
 (黒色)	官庁、市町村の出先機関
 (黒色)	都道府県庁
 (黒色)	市役所
 (黒色)	東京 23 区役所
 (黒色)	町村役場、東京以外区役所
 (黒色)	郵便局

記号	名称
	警察署
	消防署
	学校
	幼稚園
	病院
	その他の施設
	発電所
	電話局
	銀行、信用金庫、農協
	スーパーマーケット
	ガソリンスタンド
	デパート
	薬局
	ホテル、旅館
	ビル
	工場
	神社
	寺院
	教会
	港
	城跡
	史跡
	ゴルフ場
	ボーリング場
	スキー場
	ヨットハーバー、マリーナ
	陸上競技場、体育館

記号	名称
	キャンプ場
	公園
	温泉
	洗車場
	ランドリー
	遊園地
	動物園
	灯台
	トンネル
	山
	墓地
	信号
	インターチェンジ
	パーキングエリア
	サービスエリア
	ジャンクション
	料金所
	駐車場
	道の駅
	フェリーターミナル
	空港、飛行場
	MB ディーラー

設備マーク

記号	名称
	郵便ポスト
	レストラン
	トイレ
	障害者用休憩所
	休憩所
	仮眠室
	売店
	ATM
	FAX サービス
	ハイウェイ情報ターミナル

COMAND システムの特徴 .	132
全体的な注意事項	132
Bluetooth® インターフェースに よる電話機能	133
受話音量と発話音量	138
電話操作	139
国際電話	144
電話帳の使用	145
発信・着信履歴の使用	149
短縮ダイヤルリストの使用 .	153
アドレス帳の使用	154

COMAND システムの特徴

この取扱説明書はお買い上げいただいた時点で利用可能な、COMAND システムの標準装備やオプション装備すべてについて記載しています。国により、仕様が異なる場合があります。COMAND システムには、記載されているすべての機能が備わっていないことがあります。

全体的な注意事項

ご使用の前に

COMAND システムは Bluetooth® インターフェイスによる電話機能を提供します。

携帯電話が PBAP (Phone Book Access Profile) Bluetooth® プロファイルをサポートしているときは、連絡先をインポートすることができます (▶ 161 ページ)。

適切な携帯電話により、Bluetooth® インターフェイスによりハンズフリーシステムを使用したり、vCard を受信したりできます。

適切な携帯電話や COMAND システムへの Bluetooth® 対応携帯電話の接続に関するさらに詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で得ることができます。

安全上の注意



警告

安全のため、車両が動いているときに電話を使用する場合には、ハンズフリーモードを使用してください。

ハンズフリーモードを使用して通話するときは、注意して運転を続け、すべての窓を閉めて、悪影響を及ぼす騒音を避けてください。



警告

電磁波を過剰に放射することは、あなた自身および他の人の健康を害する要因になることがあります。

電磁場により起こりうる健康へのリスクに関する科学的な議論が行なわれています。外部アンテナを使用してリスクを下げるすることができます。

したがって、携帯情報機器を車両の外部アンテナに接続して使用することをお勧めします。

車両の移動中に切断された通話

以下のときに通話が切断されることがあります。

- 特定の地域において、ネットワーク範囲が不十分なとき
- 送信/受信エリアを他のエリアに移動したときに通信回線に空きがないとき
- 使用可能なネットワークに適していない SIM カードを使用しているとき

操作オプション

以下のようにして電話を操作できます。

- COMAND コントローラーを使用する
- まわす 
- スライドする 
- 押す 
- COMANDシステムの  または  スイッチを押したり、テンキーを使用する
- マルチファンクションステアリングの  または  スイッチを押す

特に記載がない場合は、この項目の記述やイラストはCOMANDシステムを参照してください。

機能の制限

次のような状況のときは、電話を使用できなかったり、電話を使用できなくなったり、使用できるようになるまで待たなければならないことがあります。

- 携帯電話の電源が入っていないとき
- COMANDシステムの"Bluetooth®"機能がオフのとき
- Bluetooth® 接続の電話機能を使用しているときに、携帯電話の"Bluetooth®"機能がオフのとき

- 携帯電話が携帯電話のネットワークにログインしていないとき

ハンズフリーモードで通話中にCOMAND システムをオフにすると、通話が終了します。以下のようにしてこれを防ぐことができます。

Bluetooth® インターフェースによる電話機能

- ▶ COMAND システムをオフにする前に携帯電話を"プライベートモード"に切り替えます(携帯電話の取扱説明書を参照してください)。

Bluetooth® インターフェースによる電話機能

条件

携帯電話による操作

COMANDシステムのBluetooth® インターフェース経由による電話通信のためには、Bluetooth® 対応携帯電話が必要です。

- ① 市場で入手可能な携帯電話のすべてに対応していない場合があります。携帯電話の詳細はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

誤作動を避けるため、携帯電話の電池は常に十分に充電されていなければなりません。

Bluetooth® インターフェース経由での電話通信の準備のために、携帯電話の以下の項目をチェックしてください(携帯電話の取扱説明書を参照してください)。

- ハンズフリープロファイル
- 携帯電話が、ハンズフリープロファイル 1.0 またはそれ以上をサポートしていること
- Bluetooth® の検出性

- 特定の携帯電話では、Bluetooth® 機能を作動させるとともに、機器本体を他の機器に検出できるようにしなければなりません（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。
- Bluetooth® デバイス名
- どの Bluetooth® デバイスにも固有の Bluetooth® デバイス名があります。このデバイス名は自由に設定可能ですが、同じメーカーの全デバイスに対して同一のデバイス名が設定されていることがあります。携帯電話を簡単に認識できるようにするために、名称を変更することをお勧めします（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。

i いくつかの表示（例、電波の強度）は、サポートされているハンズフリープロファイルのバージョンによります。

- ▶ 続いて、携帯電話の電源を入れて、PIN コードを入力します（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。
- ▶ 必要な場合には、Bluetooth® 機能や携帯電話の Bluetooth® 検出性をオンにします。（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。

COMAND システムによる操作

- ▶ COMAND システムで Bluetooth® 機能をオンにします（▶43ページ）。

携帯電話の接続

一般的な情報

初めてCOMANDシステムで携帯電話を使用する前に、それを接続する必要があります。

新しい携帯電話を認証させると、自動的に接続されます。

接続方法：

- Bluetooth® 対応携帯電話を検索する
 - その後、認証する
- 15 個の携帯電話まで接続できます。

携帯電話を検索する

- ▶ COMAND システムの **TEL** 機能スイッチを押します。
- ▶ 電話基本メニューで COMAND コントローラーをスライドしてから **☎**、まわして **【☎】**、**電話** を選択し、押して **☎** 確定します。
- ▶ **Bluetooth 携帯電話** を選択し、押して **☎** 確定します。
- ▶ **Bluetooth 検索** を選択し、押して **☎** 確定します。

COMAND システムは範囲内の Bluetooth® 電話を検索して、それらを Bluetooth® 電話リストに追加します。

検索にかかる時間は、範囲内にある Bluetooth® 対応携帯電話の数とその特徴によります。



例：Bluetooth® 電話リスト

- ① 現在接続されていて、**✓** 認証されている 携帯電話
- ② 以前認証されていたが、範囲内がない携帯電話（**⓪** が灰色で表示されます）

- ③ 範囲内にあって認証されている携帯電話 (📶 が黒で表示されます)
- ④ まだ認証されていないが、範囲内に新たに検出された携帯電話 (アイコン ✓ なし)

i COMAND システムは、範囲内にあっても Bluetooth® 検出性がオンになっていない携帯電話は認識できません。

Bluetooth® 電話リストは、範囲内にあるすべての携帯電話と、範囲内にあるかどうかに関わらず、以前認証されたすべての携帯電話を表示します。

i Bluetooth® 電話リストがすでにいっぱいのはきは、携帯電話の認証を取り消すように要求されます (▶137 ページ)。COMAND システムが携帯電話を見つけれないときは、外部認証 (▶136 ページ) が必要となる場合があります。

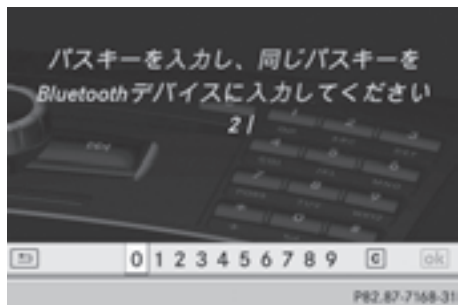
i 電話リストを再度呼び出すと、認証を解除された機器がリストから外されます。このような場合は、新たに検索を開始して、Bluetooth® 電話リストを更新してください。

携帯電話を認証する (登録する)

オプション 1: パスコード (アクセス番号) を使用する

- ▶ Bluetooth® 電話リストで、COMAND コントローラーをまわして **【🔍】**、まだ認証されていない携帯電話を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **🔍**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **👉** 確定します。
- ▶ **認証** を選択し、押して **👉** 確定します。

パスコードの入力メニューが表示されます。



パスコードは任意に選択できる 1 から 16 桁の数字の組み合わせです。

COMAND システムと Bluetooth® 対応携帯電話に同じ数字の組み合わせを入力してください (携帯電話の取扱説明書を参照してください)。

i 携帯電話によっては 4 桁以上のパスコードを要求されることがあります。

認証を取り消した後に再度携帯電話の認証を行なうときは、異なるパスコードを選択することができます。

i メルセデス・ベンツでは COMAND システムと携帯電話で認証を解除することをお勧めします。その後の認証が失敗することがあります。

▶ **COMAND システムにパスコードを入力する**：順にテンキーを押します。

最初の数字が入力されると、**OK** が強調されます。

または

▶ COMAND コントローラーをまわして **【🔍】**、数字バーで数字を 1 桁ずつ選択し、押して **👉** 確定します。そして、**OK** を選択します。

▶ **COMAND システムの入力を確定する**：COMAND コントローラーを押します **👉**。

- ▶ そして、携帯電話で同じパスコードを入力します。

携帯電話に入力する： Bluetooth® の接続が成功したときは、パスコード（アクセスコード、パスキー）を入力するように要求されます（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。

- ▶ COMAND システムにすでに入力されているのと同じパスコードを携帯電話に入力します。

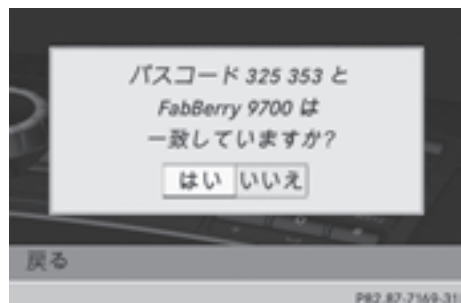
i パスコードを入力した後に、通話するために携帯電話に確認を入力する必要があります。携帯電話の表示を確認してください。

COMAND ディスプレイに **認証できませんでした** というメッセージが表示されたときは、規定された時間を越えています。手順を繰り返してください。

携帯電話はCOMANDシステムに接続されます（認証されます）。COMAND システムのハンズフリーシステムを使用して電話をすることができます。

オプション 2：シンプルペアリングを使用する

携帯電話（または Bluetooth® オーディオ機器）をシンプルペアリングによって接続するためには、Bluetooth® version 2.1 をサポートしていなければなりません。COMAND システムは、接続されている 2 つの機器に表示される 6 桁のコードを生成します。



- ▶ コードが両方の機器で同じ場合は、押して **はい** を確定します。

はい を選択すると、認証処理が終了し、携帯電話が接続されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

- ▶ 携帯電話のメッセージを確認します。

外部認証

COMAND システムが携帯電話を検知しない場合は、携帯電話の特別なセキュリティの設定によるものかもしれません。このような場合は、携帯電話がCOMANDシステムを検索できるかどうかテストすることができます。COMAND システムの Bluetooth® デバイス名は **MB Bluetooth** です。

以下のことに注意してください： パスコードを入力した後にCOMANDシステムに再接続する必要がある携帯電話があります（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。そうでないと携帯電話は認証されません。

- ▶ COMAND システムの **TEL** 機能スイッチを押します。
- ▶ 電話基本メニューで COMAND コントローラーをスライドしてから **☎**、まわして **【☎】**、**電話** を選択し、押して **☎** 確定します。
- ▶ **Bluetooth 携帯電話** を選択し、押して **☎** 確定します。
- ▶ **Bluetooth 検索** を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **☎**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **☎** 確定します。
- ▶ **外部認証** を選択し、押して **☎** 確定します。

- ▶ 携帯電話で Bluetooth® 検索を開始します (携帯電話の取扱説明書を参照してください)。
- ▶ 携帯電話で COMAND システム (MB Bluetooth) を選択します。
- ▶ **オプション 1** : 要求されたときに、まず携帯電話にパスコードを入力し、それから COMAND システムに入力します。
- ▶ **オプション 2** : 携帯電話と COMAND システムに表示されたコードを確認します (シンプルペアリング)。
- ▶ 電話基本メニューで COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして **【☉】**、電話を選択し、押して  確定します。
- ▶ Bluetooth 携帯電話を選択し、押して  確定します。
- ▶ Bluetooth® 電話リストで、希望する携帯電話を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして 、項目の右にあるリストマークを選択し、押して  確定します。
- ▶ **詳細**を選択し、押して  確定します。



他の携帯電話に接続する

1 つ以上の携帯電話が認証されているときは、それぞれの電話に切り替えることができます。

i 現在通話をしていないときにのみ、他の認証された電話に切り替えることができます。

- ▶ Bluetooth® 電話リストで COMAND コントローラーをまわして **【☉】**、携帯電話を選択し、押して  確定します。

Bluetooth® の範囲内にあり、Bluetooth® が作動しているときに、選択した携帯電話を検索して接続します。

一度に 1 つの携帯電話のみを接続できます。現在接続されている携帯電話は Bluetooth® 携帯電話リストに ● で表示されます (▶ 134 ページ)。

詳細を表示する

- ▶ COMAND システムの **TEL** 機能スイッチを押します。

選択した携帯電話に関して以下の情報が表示されます。

- Bluetooth® の名称
- Bluetooth® アドレス
- 使用可能状況 (新たに検索した後、表示されます)
- 認証状況
- ▶ **詳細画面を閉じる** : COMAND コントローラーをまわすか **【☉】**、スライドします  .

携帯電話の登録を解除する (認証を解除する)

i メルセデス・ベンツでは COMAND システムと携帯電話で認証を解除することをお勧めします。その後の認証が失敗することがあります。

- ▶ COMAND システムの **TEL** 機能スイッチを押します。
- ▶ 電話基本メニューで COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして **【☉】**、電話を選択し、押して  確定します。
- ▶ Bluetooth 携帯電話を選択し、押して  確定します。

- ▶ Bluetooth® 電話リストで、希望する携帯電話を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして 、項目の右にあるリストマークを選択し、押して  確定します。
- ▶ 認証取消しを選択し、押して  確定します。
この機器の認証を本当に取り消したいかどうかを問う確認が表示されます。
- ▶ はい または いいえ を選択します。
はい を選択すると、機器は Bluetooth® 電話リストから削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。
- i** 携帯電話を再認証する前に、携帯電話の Bluetooth® リストから機器名 MB Bluetooth も削除します。

電話基本メニュー (Bluetooth® インターフェース)

- ▶  機能スイッチを押します。
携帯電話を使用する準備ができているときは、以下の画面が表示されます。



電話基本メニュー (Bluetooth® インターフェース)

- ① 接続表示
- ② 携帯電話のネットワークの電波状況
- ③ 二重の矢印のアイコン (インターネット接続オン) または 受話器アイコン  または  (発信された通話または電話中)
- ④ 通話履歴の表示
- ⑤ 文字バー
- ⑥ 現在接続されている携帯電話の Bluetooth® の名称
- ⑦ COMAND システムの電話帳の表示

i 表示 ② は接続されている携帯電話によって変わります。

バー ② には携帯電話ネットワークの現在の信号強度が表示されます。バーがすべて満たされているときは、最適な受信状態です。

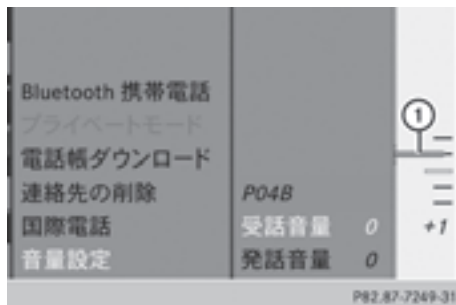
バーが表示されず、アンテナのアイコンのみが表示されたら、受信が極めて悪いか、まったく受信できないかのどちらかです。

受話音量と発話音量

携帯電話が認証された場合、受話音量 / 発話音量の設定を最適化することができます。携帯電話に対する最適な設定については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

i 設定が間違っていると、通話音質が悪化することがあります。

- ▶  機能スイッチを押します。
- ▶ 電話基本メニューで COMAND コントローラーをまわして 、電話を選択し、押して  確定します。
- ▶ 音量設定を選択し、押して  確定します。
- ▶ 受話音量 または 発話音量 を選択し、押して  確定します。



- ① 現在の音量を示すインジケータの目盛り
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【音量】** 音量の設定を選択します。
- ▶ **設定目盛りを閉じる**： 押すか **【音量】**、またはスライドします **←音量→**。

電話操作

着信

着信を保留、または受ける

着信があると、画面に対応するウィンドウが表示されます。



- ▶ **受ける**： 押して **【通話】**、**通話**を確定します。

または

- ▶ **COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの **【通話】** スイッチを押します。**
- ▶ **保留する**： COMAND コントローラーをまわして **【音量】**、**応答保留**を選択し、押して **【音量】** 確定します。

数秒間、COMAND ディスプレイに以下のメッセージが表示されます。



- i** この機能のサポートは使用されている携帯電話とその設定によります。

通話を受けると、ハンズフリーモードを使用できます。通話の音声を調整できます (▷29 ページ)。詳しい情報は、「通話中に使用できる機能」 (▷142 ページ) をご覧ください。

ディスプレイには電話番号または名前と電話番号が表示されるか (アドレス帳に項目が登録されている場合)、または**非通知**(電話番号非通知)というメッセージが表示されます。

- i** 他の基本機能がCOMANDシステムでオンのとき、以下に記載されているように通話を受けることもできます。通話を受けると、画面が電話モードに切り替わります。通話を終わると、以前の基本アプリケーションの画面が再度表示されます。

以下のときは、画面は電話画面に切り替わりません。

- COMAND コントローラーの隣にある  スイッチでウィンドウを非表示にし、そして
- マルチファンクションステアリングの  スイッチで通話を受けます。

発信する

テンキーを使用して電話番号を入力する

- 電話基本メニューを呼び出します (▷138 ページ)。
- テンキーを使用して数字を入力します。
- 電話をかける**：COMAND システムの  スイッチを押します。

または

- マルチファンクションステアリングの   スイッチを押して、**電話** メニューを選択し、 スイッチを押します。

電話基本メニューを使用して電話番号を入力する

- 電話基本メニューを呼び出します (▷138 ページ)。
- COMAND コントローラーをまわしてから **【◎】**、スライドして **↑◎↓**、1桁ずつ数字を選択し、押して **◎** 確定します。
- 電話をかける**：文字バーで  を選択して、押して **◎** 確定します。

または

- COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

リダイヤル

COMAND システムによる操作

- 電話基本メニューを呼び出します (▷138 ページ)。
- 文字バーで  を選択して、押して **◎** 確定します。

または

- 電話基本メニューが表示されているときに、COMAND システムの  スイッチを押します。

どちらの場合も、発信通話リストが表示されます。一番最近電話をした番号が一番上になります。

- 通話を選択する**：COMAND コントローラーをまわします **【◎】**。
- 電話をかける**：COMAND コントローラーを押します **◎**。

マルチファンクションステアリングを使用する

- ▶   スイッチを押して、TEL メニューを選択します。
- ▶  スイッチを押して、発信した番号のリストを開きます。
- ▶   スイッチを押して、希望する名称、または電話番号を選択します。
- ▶ **電話をかける**：マルチファンクションステアリングの  または  を押します。

通話リスト、または COMAND システムの電話帳にある項目に電話をかける

- ▶ 発信・着信履歴を開き、項目を選択します (▷150 ページ)。

または

- ▶ COMAND システムの電話帳を呼び出して、項目を選択します (▷145 ページ)。
- ▶ **電話をかける**：COMAND コントローラーを押すか  または  スイッチを押します。

マルチファンクションステアリング経由で COMAND システムの電話帳の項目に電話をかける

- ▶   スイッチを押して、TEL メニューを選択します。
- ▶ 、 または  を押して、電話帳に切り替えます。
- ▶  または  スイッチを押して、希望する名前を選択します。

i 登録された名前は、アドレス帳に登録された順番に表示されます。

i  または  スイッチを押して 1 秒以上保持すると、高速スクロールします。マルチファンクションディス

レイは 7 番目の項目から、次の項目の最初の文字を表示します。中止するにはスイッチを放します。

- ▶ **電話をかける**：マルチファンクションステアリングの  または  を押します。

発信した番号、または電話帳に保存されているときは名称とともに、**発信中 ...** というメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

発信した番号は対応する通話リストに保存されます。

- i** 名称にいくつかの番号があるときは、サブ項目のリストが表示されます。

- ▶  または  スイッチを押して、希望する電話番号を選択します。
- ▶  または  スイッチを再度押して、電話をかけます。

短縮ダイアルプリセットを使用して電話をかける

短縮ダイアルリストには登録した電話帳項目が含まれます (▷153 ページ)。

オプション 1：

- ▶ テンキーの一つを 2 秒以上押します。

オプション 2：

- ▶ 電話基本メニューを呼び出します (▷138 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、**履歴** を選択し、押して  確定します。

短縮ダイアルリストが表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、**短縮ダイアルリスト** を選択し、押して  確定します。

短縮ダイヤルリストが表示されます。

- ▶ プリセットを選択して、押して  確定します。

電話基本メニューが 2 つのオプションで表示され、選択された項目が表示されます。電話を発信します。

- ▶ **オフにする**： **マイクOFF** を選択し、押して  確定します。

マイクがオフのときは、画面にアイコン  が表示され、**マイクが OFF になっています** というメッセージが少しの間表示されます。

- ▶ **オンにする**： **マイク ON** を選択し、押して  確定します。

 マークが消えます。**マイクが ON になっています** というメッセージが少しの間表示されます。

通話中に使用できる機能

概要



通話中の電話操作

- ① 通話をしている相手
- ② 作動している電話接続のアイコン
- ③ 着信の保留
- ④ ハンズフリーのマイクのオン/オフの切り替え
- ⑤ 自局番号の表示
- ⑥ 通話の終了

機能がネットワークやBluetooth® 携帯電話によってサポートされている場合は、保留している通話を受けることができます。

ハンズフリーのマイクのオン / オフを切り替える

本機能は通話中でも使用できます。

- ▶ 電話基本メニューを呼び出します (▷138 ページ)。

自局番号を表示する

- ① この機能は接続されている携帯電話によって異なります。

- ▶ 電話基本メニューを呼び出します (▷138 ページ)。

- ▶ **自局番号**を選択し、押して  確定します。

Bluetooth® の名称のかわりに、携帯電話の電話番号が表示されます。

プライベートモード

全般的な情報

プライベートモードが作動しているときは、車両内のマイクやスピーカーがオフになります。通話は携帯電話越しに行なわれます。

- ① 車両が停止しているときにのみ、この機能を使用してください。

プライベート通話を作動する

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、**電話** を選択し、押して  確定します。
- ▶ **プライベートモード**を選択し、押して  確定します。

プライベートモード というメッセージが表示され、携帯電話を通じての通話になります。

ハンズフリーモードに戻す

- ▶ 電話基本メニューで**ハンズフリーモード**を選択し、押して  確定します。

数秒後に携帯電話は COMAND システムに再接続され、ハンズフリーモードでの通話が続けられます。

- i** 使用されている携帯電話によって、待ち受け時に携帯電話から電話をかけるときは、機能が自動的に作動することがあります。
- i** 機能が作動しているときは、ハンズフリーのマイクのオン / オフを切り替えることはできません。

通話を終える

- ▶ 電話基本メニューで  を選択して、押して  確定します。

または

- ▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

通話を終えると、その前に使用していた機能の画面が再度表示されます。

保留している通話を拒否する、または受ける

携帯電話のネットワークのプロバイダーが応答保留の機能をサポートし、使用可能になっていなければなりません。使用されている携帯電話によって、通話を受けるときのシステムの動作が異なります（オプション1と2）。

通話中に他の通話を受信したときは、画面に新しいウィンドウが表示されます。信号音も聞こえます。通話を受けるか拒否することができます。

- ▶ **拒否する：**  を選択し、押して  確定します。

オプション 1： 保留している通話を受けると、作動中の通話は終了します。

オプション 2： 接続されている携帯電話とその設定によって、保留している通話は拒否され、作動中の通話は終了します。

または

- ▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

- ▶ **受ける：**  を選択し、押して  確定します。

または

- ▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

携帯電話の設定によって、作動している通話は通話を受けた後保留になります。

携帯電話を使用して保留している通話を受けると、作動している通話は保留になります。このときは通話が2つになります。受けたばかりの通話が作動します。

携帯電話で機能の操作を続けたときは、COMAND ディスプレイが携帯電話の画面と異なることがあります。

国際電話

はじめに

国際電話をかけるには、国際通話コード（プリフィックス番号）を設定してください。これは国際電話をかけるときは、国コード（例：アメリカ合衆国は 1）の前に選択されます。

日本では、国際通話コードは携帯電話のネットワークによって異なります。

- i** 項目が +81（日本の国コード）で登録されている場合は、番号は "0" で置き換わります。これは入力されたプリフィックス番号には関係ありません。

携帯電話のネットワークプロバイダー	国際通話コード（プリフィックス番号）
NTT ドコモ	010
ソフトバンク モバイル	
ディズニー モバイル	
イー・モバイル	
au	005345

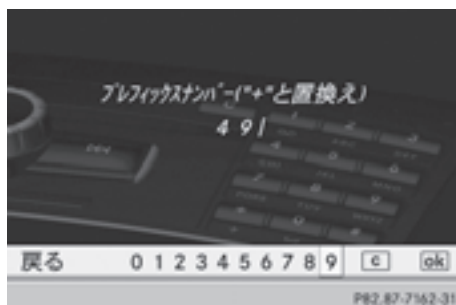
携帯電話のネットワークプロバイダーに関連の国際通話コードを設定すると、自動的に国際電話をかけることができます。電話番号をダイヤルするときに、"+" が国際国コードと置き替わります。

国際通話コードを設定する

- ▶ 電話基本メニューで COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、(▶138 ページ) **電話** を選択し、押して 確定します。

- ▶ **国際電話** を選択し、押して 確定します。

入力メニューが表示されます。



- ▶ テンキーまたは COMAND コントローラーを使用して国コードを入力します。

- i** 最大で 12 桁まで入力することができます。

- ▶ を選択し、押して 確定します。

保存しました というメッセージが表示されます。

国コードを入力した後に、**戻る** を選択すると、**変更内容を保存しますか？** というメッセージが表示されます。

- ▶ **変更を保存する**：**はい** を選択して、押して 確定します。

- ▶ **変更を破棄する**：**いいえ** を選択し、押して 確定します。

国際通話コードをダイヤルする

自動ダイヤル

電話番号は電話帳 / アドレス帳で "+" で始まります。

- ▶ 電話帳 / アドレス帳の電話番号を選択します。

国際電話がかかります。

手動ダイアル

- ▶ 電話基本メニューを呼び出します。
- ▶ 素早く2回続けて **[★]** スイッチを押します。

国際通話コードが入力されます

- ▶ テンキーを使用して、電話番号項目(国コード、地域コード、通話したい相手の電話番号)をすべて入力します。

電話番号が略さずに入力されると、国際電話がかかります。

電話帳の使用

はじめに

電話帳はCOMANDシステムのアドレス帳に登録されているアドレス帳の項目すべての名称と電話番号を表示します。アドレス帳の項目に電話番号がないときは、電話番号は電話帳には表示されません。

電話帳に電話番号を登録したり、連絡先をインポートできます。接続すると、携帯電話の電話帳をCOMANDシステムにダウンロードすることができます。

メモリーカードや USB 機器から電話帳に連絡先をインポートしたり、Bluetooth® 接続でvCardを受信することができます。

機能：

- 連絡先のインポート
- vCard の受信
- 連絡先の削除
- これらは "アドレス帳" の詳細に記載されています (▷154 ページ)。
- i** 他の携帯電話と一緒にCOMANDシステムを使用しても、登録された電話帳と vCard は COMAND システムに残

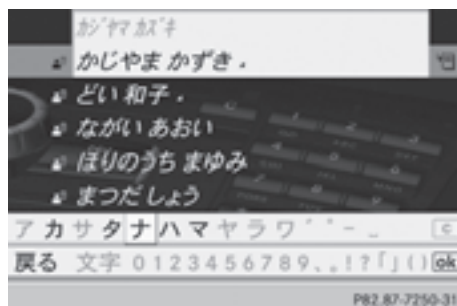
ります。項目は携帯電話がなくても見ることができます。このため、車両を売却したり、所有権を譲る前に電話帳を削除してください。

電話帳を呼び出す

概要

- ▶ 電話基本メニューで COMAND コントローラーをまわして **[⦿]**、**電話帳** を選択し、押して **[⦿]** 確定します。

文字バーは項目の最初の選択に使用されます。



よみがな表示での電話帳 (例)

- ▶ **電話帳を閉じる**：COMAND コントローラーをスライドしてから **[⦿]**、まわして **[⦿]**、文字バーの**戻る**を選択し、押して **[⦿]** 確定します。

または

- ▶ **[⇐]** スイッチを押します。

マークの概要

マーク	説明
	COMAND システム経由で入力された、または変更されたアドレス帳の項目 電話帳またはアドレス帳に登録されたインポートされた連絡先
	PBAPをサポートしている携帯電話からインポートされた連絡先
	SD メモリーカードまたは USB 機器からインポートされた項目
	Bluetooth® インターフェース経由でインポートされた項目

マルチファンクションステアリングを使用する

- ▶   を押して、**電話** メニューを選択します。
- ▶  または  または  を使用して、電話帳を呼び出します。

電話帳項目を検索する

文字バーで検索する

最初の文字を入力することにより、探している項目の最初の文字を決定します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、文字を選択し、押して  確定します。

選択した文字で始まるリストの最初の項目が強調されます。似たような項目があるときは、次の異なる文字が表示されます。**ナオミ** や **ナオコ** のような項目では、名前の最初が同じで、**M** と **K** が候補になり選択することができます(ローマ字設定が選択されているとき)。

- ▶ 検索したい項目の文字を一つずつ選択し、押して  確定します。
選択肢が明確になると、COMAND システムは自動的に選択リストに切り替わります。

- ▶ 検索を終了する：文字バーのある電話帳から選択リストに切り替えます (▷147 ページ)。

リストの最後の項目が自動的に強調されます。

テンキーで検索する

あるいは、テンキーを使用して数字を入力することもできます (直接入力) (▷27 ページ)。

文字を削除する

- ▶ **個々の文字を削除する**：COMAND コントローラーをまわして 、 を選択し、軽く押します 。

または

- ▶  スイッチを軽く押します。
文字が削除されるごとに、残っている文字に一番近い項目がリストの最上部に表示されます。

- ▶ **入力を削除する**：COMAND コントローラーをまわして   を選択し、入力全体が削除されるまで押して保持します 。

または

- ▶ 項目全体が削除されるまで、 スイッチを押して保持します。

文字バーの文字の設定を変更する

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、**文字** を選択し、押して 確定します。
- ▶ メニューから**かか**のような文字種類を選択し、押して 確定します。

リストから項目を直接選択する

文字を入力しているときはいつでも、リストに切り替えることができます。

- ▶ COMAND コントローラーを繰り返しスライドする か、文字バーが消えるまで押して 保持します。

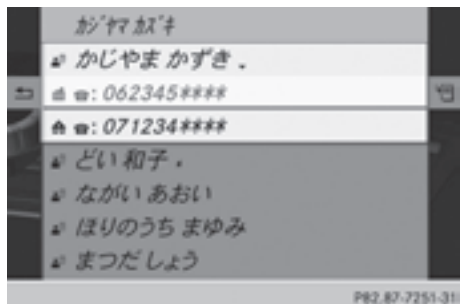
または

- ▶ を選択し、押して 確定します。
- ▶ **項目を選択する**：希望の項目が強調されるまで COMAND コントローラーをまわして 、押して 確定します。

電話番号を選択する： マークは項目に1つ以上の電話番号が含まれていることを示します。

- ▶ マークのある電話帳項目を選択して、押して 確定します。

サブ項目が表示されます。 マークが に変わります。



複数の項目がある電話帳項目

- ▶ コントローラーをまわして 、サブ項目を選択し、押して 確定します。
- ▶ **文字バーを使用して電話帳に戻る**：リストで を選択し、押して 確定します。

または

- ▶ リターンスイッチ を押します。

マルチファンクションステアリングを使用して項目を選択する

- ▶ を押して、**電話** メニューを選択します。
- ▶ または または を使用して、電話帳を呼び出します。
- ▶ 希望の項目が強調されるまで または スイッチを押して保持します。

- ▶ または スイッチを1秒以上押し続けると、マルチファンクションディスプレイは高速スクロールで名称を表示します。しばらくすると、高速スクロールのスピードが上がります。スイッチを再度放したり、リストの最後までいくとスクロールは停止します。

項目に複数の電話番号があるときは、それらが表示されます。

- ▶ 電話帳の項目を選択して、 または スイッチを押します。サブ項目が表示されます。
- ▶ 希望のサブ項目を または スイッチで選択します。
- ▶ **電話をかける**： または スイッチを押します。

項目の詳細を表示する

- ▶ 選択リストで COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、項目を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **👉** 確定します。
- ▶ **詳細**を選択し、押して **👉** 確定します。
詳細表示が表示されます。
- ▶ **詳細画面を閉じる**：項目が再び強調されるまで繰り返しスライドするか **↔**、リターンスイッチ **⏏**を押します。

電話帳から項目を削除する

項目に電話番号のみが含まれているときは、電話帳とアドレス帳から削除されます。

案内可能な目的地のように電話番号とともに追加データがあるときは、項目は電話帳からは削除されますが、アドレス帳には残ったままになります。

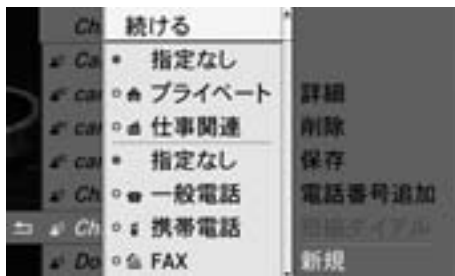
- ▶ 選択リストで COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、項目を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **👉** 確定します。
- ▶ **削除**を選択し、押して **👉** 確定します。
項目を削除すべきか確認するメッセージが表示されます。
- ▶ **はい**または**いいえ**を選択して、押して **👉** 確定します。

はいを選択すると、項目は上記に記載されているルールに従って削除されます。

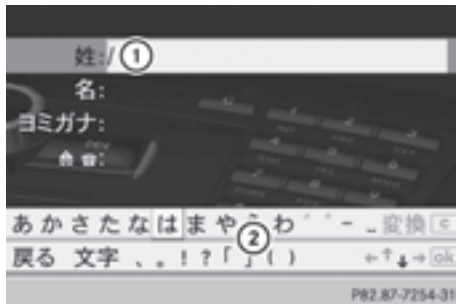
いいえを選択すると、処理が中止されます。

電話帳に新しい項目を作成する

- ▶ 選択リストが表示されるまで、電話帳で COMAND コントローラーを繰り返しスライドします **↑◎**。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、選択リストの右にあるリストマークを選択し、押して **👉** 確定します。
- ▶ **新規**を選択し、押して **👉** 確定します。
- ▶ 番号カテゴリーを選択し(例：**プライベート**)、押して **👉** 確定します。
- ▶ 電話カテゴリーを選択し(例：**携帯電話**)、押して **👉** 確定します。



- ▶ **続ける**を選択し、押して **👉** 確定します。
入力メニューがデータ欄とともに表示されます。



- ① カーソルがある、選択したデータ欄
- ② 文字バー
- ▶ 文字を入力し、項目を保存します。
"はじめに" の文字入力に記載してあるように進めてください (▶25ページ)。
- i** 電話帳とアドレス帳に項目が作成されます。

既存の電話帳項目に電話番号を追加する

- ▶ 選択リストで COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、項目を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎↔**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **電話番号追加** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ 番号カテゴリーを選択し (例: **ブライベート**)、押して **◎** 確定します。
- ▶ 電話カテゴリーを選択し (例: **携帯電話**)、押して **◎** 確定します。
- ▶ **続ける** を選択し、押して **◎** 確定します。

選択した番号カテゴリーで検索中の項目に登録されている電話番号が 5 件未満の場合、COMAND システムはデータを登録します。

選択した番号カテゴリーの項目に 5 件の番号が登録されているときは、既存の番号のひとつを上書きしたいかどうかを問う確認が表示されます。

- ▶ **はい** または **いいえ** を選択して、押して **◎** 確定します。

はい を選択すると、5 つの既存の番号を含んだ選択リストが表示されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、上書きする番号を選択し、押して **◎** 確定します。

入力メニューが表示されます。新しい電話番号を入力するためのデータ欄が強調されます。

- ▶ 文字を入力し、項目を保存します。
"はじめに" の文字入力に記載してあるように進めてください (▶25ページ)。

発信・着信履歴の使用方法

はじめに

COMAND システムは電話操作中に行った通話と着信した通話 (通話せずに切った電話を含む) のリストを表示します。履歴は携帯電話が COMAND システムに接続されていない場合は使用できません。

COMAND システムでは PBAP Bluetooth® プロファイルを使用することができます。COMAND システム

の発信・着信履歴の処理方法は、接続される携帯電話のモデルによって以下のように異なります。

- PBAP Bluetooth® プロファイルを使用した Bluetooth® 電話：
- 携帯電話が COMAND システムに接続されると、ただちに COMAND システムによって携帯電話から発信・着信履歴が自動的にダウンロードされます。
- PBAP Bluetooth® プロファイルを使用しない Bluetooth® 電話：
- 携帯電話が COMAND システムに接続されると、ただちに COMAND システムによって発信・着信履歴から履歴が作成されます（通話せずに切った電話を含む）。

i PBAP Bluetooth® プロファイルを使用しない Bluetooth® 電話では、COMAND システムの履歴は携帯電話の履歴と一致しません。機種によっては、これらの通話は携帯電話に表示されたり、されなかったりすることがあります。

i 接続されている携帯電話がない場合は、メニュー項目の **履歴** は灰色になり、選択できません。以前の携帯電話とは別の携帯電話を COMAND システムに接続した場合、以前にあった発信・着信履歴とその項目が自動的に削除されます。これらは携帯電話本体でも使用できます。

i COMAND システム内に発信・受信が既にあった場合に限り、該当するメニュー項目を選択できます。

通話せずに切断した履歴を COMAND デイスプレイに表示することは、全ての携帯電話ではサポートされていません。

発信・着信履歴を表示し、履歴項目を選択する

- ▶ **[TEL]** 機能スイッチを押します。
- ▶ 電話基本メニューで COMAND コントローラーをスライドしてから **☎**、まわして **【☎】**、**履歴** を選択し、押して **☑** 確定します。
メニューが表示されます。
- ▶ まわして **【☎】**、**着信履歴** または **発信履歴** を選択し、押して **☑** 確定します。
該当するリストが表示されます。



例：選択した電話番号のリスト

- ① リストを閉じる
- ② 日付 / 時刻（利用可能な場合）、マーク（指定されている場合）、強調された項目の電話番号
- ③ オプション設定

i 電話基本メニューが表示されているときに **[☎]** スイッチを押すと、発信通話リストを呼び出すことができます。この場合、リストには電話番号のみが表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【☎】** 項目を選択します。
- ▶ **電話番号をダイヤルする**：押します **☑**
- ▶ **リストを閉じる**：**[☎]** マークを選択し、押して **☑** 確定するか、またはリターンスイッチ **[↵]** を押します。

履歴項目の詳細を表示する

COMANDシステムは簡略化された履歴項目を全体表示することもできます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】** 履歴項目を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **詳細**を選択し、押して **◎** 確定します。
詳細表示が表示されます。
- ▶ **リストに戻る**：リストが強調されるまで繰り返しスライドします **◀◎➡**。

保存されていない電話番号を保存する

はじめに

アドレス帳に保存されていない人から着信があった場合、COMANDシステムは発信・着信履歴に電話番号を表示します。この項目を保存することができます。

アドレス帳に新しい項目として電話番号を登録する

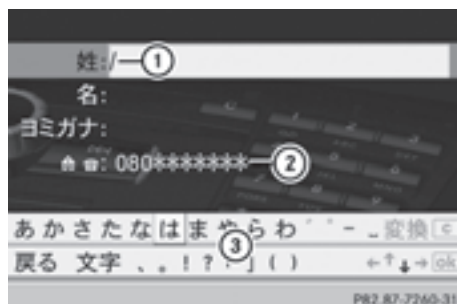
- ▶ 発信・着信履歴を開き、項目を選択します (▷150 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **保存**を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **新規**を選択し、押して **◎** 確定します。

- ▶ 番号カテゴリーを選択し (例：**プライベート**)、押して **◎** 確定します。
- ▶ 電話カテゴリーを選択し (例：**携帯電話**)、押して **◎** 確定します。

番号カテゴリー	表示 (電話帳 / アドレス帳)
一般	マークなし
プライベート	
仕事関連	
電話カテゴリー	表示 (電話帳 / アドレス帳)
指定なし	マークなし
一般電話	
携帯電話	
FAX	
自動車電話	

- ▶ **保存**を選択し、押して **◎** 確定します。

入力画面および入力項目が表示されます。電話番号のデータ欄に番号が自動的に入力されます。



- ▶ "はじめに" の文字入力に記載してあるように進めてください (▷25 ページ)。

電話番号をアドレス帳の項目に追加登録する

- ▶ 発信・着信履歴を開き、項目を選択します (▶150 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして 、項目の右にあるリストマークを選択し、押して  確定します。
- ▶ **保存** を選択し、押して  確定します。

i 選択した履歴項目が既に保存されている場合は、**保存** が灰色で表示されます。

- ▶ **電話番号追加** を選択し、押して  確定します。
- ▶ 番号カテゴリーを選択し (例: **プライベート**)、押して  確定します。
- ▶ 電話カテゴリーを選択し (例: **携帯電話**)、押して  確定します。
- ▶ **保存** を選択します。

アドレス帳の項目用検索メニューが表示されます。

- ▶ 希望の項目を検索します。" 電話帳項目を検索する" に記載されているように進めてください (▶146 ページ)。

- ▶ 検索が終了したら、押します 。
選択した番号カテゴリーで検索中の項目に登録されている電話番号が 5 件未満の場合、COMAND システムはデータを登録します。

この結果に関するメッセージが表示されます。

検索中の項目に番号が 5 件登録されている場合、既存の番号のいずれかに上書きするかどうかの確認メッセージが表示されます。

- ▶ **はい** または **いいえ** を選択して、押して  確定します。

はい を選択すると、5 つの既存の番号を含んだ選択リストが表示されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、リストで上書きする番号を選択し、押して  確定します。
COMAND システムは、選択した番号に新規データを上書きします。

発信・着信履歴を削除する

この機能はCOMANDシステムが履歴を作成して管理しているときに使用可能です。

これは、PBAP Bluetooth® プロファイルをサポートしていない Bluetooth® 電話を使用している場合です。

- i** 携帯電話から履歴を削除する場合は (別冊の携帯電話の取扱説明書参照)、COMAND システムは次回接続されるときに履歴表示を更新します。上記の場合、履歴は空欄になります。

- ▶ 電話基本メニューで COMAND コントローラーをまわして 、**履歴** を選択し、押して  確定します。
- ▶ **発信履歴削除** を選択し、押して  確定します。

すべての発信・着信履歴を削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

- ▶ **はい** または **いいえ** を選択して、押して  確定します。

はい を選択した場合は、発信・着信履歴が削除されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

短縮ダイアルリストの使用

電話帳の項目を短縮ダイアルリストに保存する

10 件の短縮ダイアルプリセット (0-9) を短縮ダイアルリストに指定できます。この目的のため、使用可能な 2 つのオプションがあります。

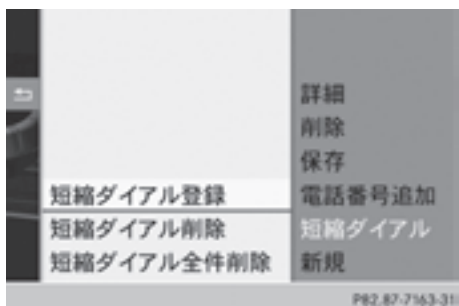
オプション 1 :

- ▶ 電話帳の電話帳項目を検索します (▷146 ページ)。
- ▶ 項目に複数の電話番号がある場合は、COMAND コントローラーをまわして **【◎】** 希望の番号を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

メニューが表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**短縮ダイアル**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

メニューが表示されます。



短縮ダイアルメニュー

- ▶ **短縮ダイアル登録**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

短縮ダイアルリストが表示されます。選択した電話帳の項目が一番上に表示されます。次の空欄の短縮ダイアルプリセットが強調されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、短縮ダイアルプリセットを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。電話帳の項目が短縮ダイアルプリセットに保存されます。

オプション 2

- ▶ 電話基本メニューを呼び出します (▷138 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎➡**、まわして **【◎】**、**履歴**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **短縮ダイアルリスト**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

短縮ダイアルリストが表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **短縮ダイアル登録**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ オプション 1 に記載されているように進めてください。

短縮ダイアルプリセットを使用して電話をかける

記載は " 電話操作 "(▷141 ページ) にあります。

短縮ダイアルプリセットを削除する

- ▶ **短縮ダイアル番号を削除する**：COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、メニュー " 短縮ダイアルリスト"にある**短縮ダイアル削除**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、削除したい短縮ダイアルプリセットを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

短縮ダイアルプリセットが削除されます。

- ▶ **すべての短縮ダイアル番号を削除する**：COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、メニュー " 短縮ダイアルリスト"にある**短縮ダイアル全件削除**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

全ての短縮ダイヤルを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

- ▶ **はいまたはいいえ**を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。

はいを選択すると、すべての短縮ダイアルプリセットが短縮ダイアルリストから削除されます。

いいえを選択すると、処理が中止されます。

アドレス帳の使用

はじめに

アドレス帳は、異なるソース (携帯電話、メモリーカード、USB 機器、COMAND システムの電話帳、ナビゲーションシステム) から入力された項目を整理し、保存します。

これらの項目を電話の発信や、ナビゲーションに使用することができます。

- ① **アドレス帳の連絡先の数**：アドレス帳は合計で4000件の連絡先を登録できます。1500件の項目が携帯電話の連絡先のアドレス帳に保存され、1500件の項目がCOMANDシステムに作成した、または他のソースからインポートした連絡先に保存されます。残りの1000件の項目は、必要に応じてCOMANDシステムによって指定されます。

- ① **携帯電話の連絡先の表示**：携帯電話がCOMANDシステムから切断されても、携帯電話からダウンロードされた連絡先はアドレス帳に残ります。これは携帯電話が再接続されるとすぐに、以前使用可能であった連絡先を表示できることを意味します。

携帯電話に追加された新しい連絡先を表示できるようにするには、まずこれらの連絡先を手動でダウンロードする必要があります (▷161 ページ)。

新しい携帯電話をCOMANDシステムに接続するときは、以前の携帯電話からのすべての連絡先がアドレス帳から削除されます。

携帯電話がCOMANDシステムに(まだ)接続されていない場合は、携帯電話から連絡先はアドレス帳に(まだ)表示されません。

携帯電話の接続を解除しても、アドレス帳の項目は保存されたままです。そのため、車を売却するときなどは、リセット機能 (▷45 ページ) を使用して個人データを消去してください。

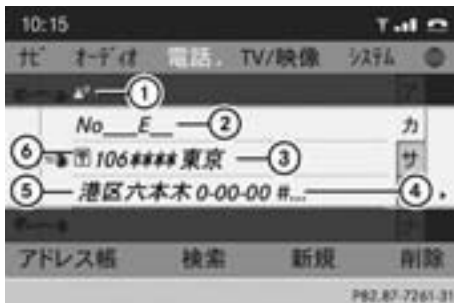
アドレス帳を呼び出す

オプション 1 :

- ▶ **[TEL]** 機能スイッチを押します。
電話基本メニュー、またはアドレス帳が前回開かれていた場合は、アドレス帳が表示されます。
- ▶ 電話基本メニューが表示されたときは、COMAND システムの **[TEL]** 機能スイッチを再度押します。

オプション 2 :

- ▶ 表示された電話基本メニューで、COMAND コントローラーをスライドして **☉↑**、**電話** を選択し、押して **☉** 確定します。
- ▶ メニューから **アドレス帳** を選択し、押して **☉** 確定します。



[人] アドレス帳の項目と **[④]** 位置データからなるアドレス帳

- ① 位置データマーク
- ② 名前
- ③ 都道府県
- ④ 番地
- ⑤ 市区町村
- ⑥ 郵便番号

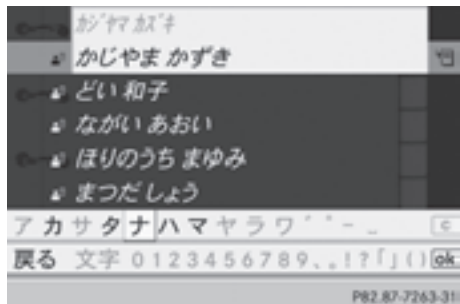
i アドレス帳の項目に以下の情報を含めることができます。姓、名、会社、2つの住所、緯度・経度、5 件までの電話番号。

- ▶ **アドレス帳を開覧する** : COMAND コントローラーをまわします **[☉]**。
- ▶ **アドレス帳を閉じる** : **[TEL]** スイッチを押します。

アドレス帳の項目を検索する

- ▶ アドレス帳を呼び出します (▷155 ページ)。
- ▶ アドレス帳で COMAND コントローラーをスライドしてから **☉↑**、まわして **[☉]**、**検索** を選択し、押して **☉** 確定します。

項目が 8 つ以上ある場合は、検索メニューと文字バーが表示されます。



追加のマークは " マークの概要 " (▷146 ページ) に記載されています。

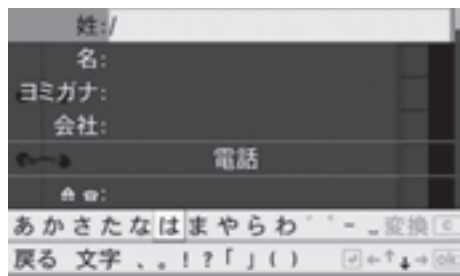
- ▶ 文字種類を選択する : COMAND コントローラーをスライドして **☉↑**、**文字** を選択し、押して **☉** 確定します。
- ▶ **カタカナ** または **ABC**、**数字** を選択して、押して **☉** 確定します。

- ▶ 検索するには、" 電話帳項目を検索する " (▷146 ページ) に記載されているように進めてください。

アドレス帳に新規項目を登録する

住所データをアドレス帳に直接登録できます。電話番号をCOMANDシステムの電話帳に保存すると、アドレス帳にも保存されます。ナビゲーション目的地を保存すると、ナビゲーション操作可能な完全な住所データを含むアドレス帳の項目がCOMANDシステムに作成されます。

- ▶ アドレス帳を呼び出します (▷155 ページ)。
- ▶ アドレス帳で COMAND コントローラーをスライドしてから ◎、まわして {◎}、**新規** を選択し、押して 確定します。
入力メニューおよびデータ欄が表示されます。



- ▶ 文字を入力し、項目を保存します。" はじめに " の文字入力に記載してあるように進めてください (▷25 ページ)。

アドレス帳の項目を削除する

- ▶ **オプション 1** : COMAND コントローラーをスライドしてから ◎、まわして {◎}、**削除** を選択し、押して 確定します。
- ▶ **オプション 2** : アドレス帳の項目を検索します (▷155 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎、項目の右にあるリストマークを選択し、押して 確定します。
- ▶ **削除** を選択し、押して 確定します。
選択されたオプションに関係なく、メッセージが表示されます。
- ▶ **はい** または **いいえ** を選択して、押して 確定します。
はい を選択すると、項目が削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

アドレス帳の項目の詳細を表示する

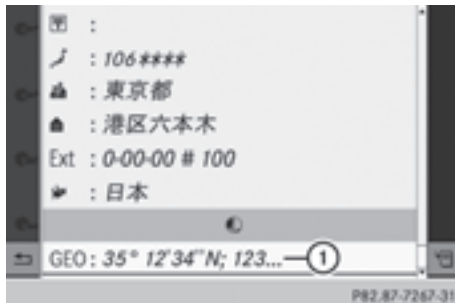
項目を選択する

- ▶ アドレス帳の項目を検索し、COMAND コントローラーをまわして {◎}、選択リストの項目を選択します (▷155 ページ)。
- または
- ▶ 閲覧して、アドレス帳の項目を選択します (▷155 ページ)。
 - ▶ どちらの場合も、押します 確定。
詳細表示が表示されます。



会社の詳細に関する詳細表示

- ① 前回のメニューに戻る
- ② 会社の詳細のマーク
- ③ オプション設定



例：座標軸のあるアドレス帳の項目

- ① 緯度と経度

住所までのルート案内を開始する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、住所データ欄を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

設定を押して **Ⓜ** 確認すると、目的地住所までのルートが検索され、ルート案内が開始します（▷66ページ）。

電話番号を呼び出す

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、電話番号データ欄を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

発信をして、通話をすることができます（▷141ページ）。

アドレス帳の項目の詳細を表示する

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

- ▶ **詳細**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

画面の全体が表示されます。

- ▶ **詳細表示を閉じる**：リターンスイッチ **⏪** を押します。

アドレス帳の項目を変更する

項目を変更する

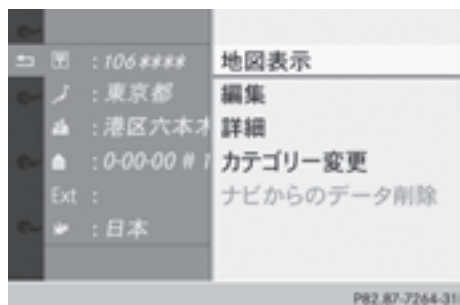
- ▶ **オプション1**：アドレス帳の項目を検索し、COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、選択リストの項目を選択します（▷155ページ）。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

メニューが表示されます。

- ▶ **編集**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

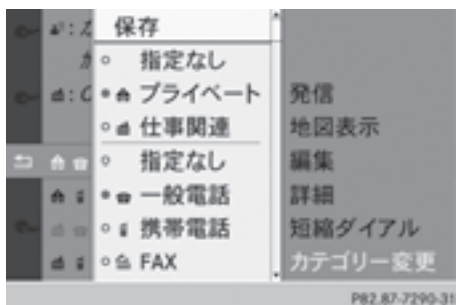
- ▶ **オプション2**：アドレス帳の項目の詳細画面を呼び出します（▷156ページ）。



- ▶ COMAND コントローラーをスライドして 、項目の右にあるリストマークを選択し、押して  確定します。
- ▶ **編集**を選択し、押して  確定します。
いずれの場合も、データ欄のある入力メニューが表示されます。
- ▶ "はじめに" の文字入力に記載してあるように進めてください (▶25 ページ)。

電話番号データ欄のカテゴリーを変更する

- ▶ アドレス帳の項目の詳細画面を表示して (▶156 ページ)、電話番号のデータ欄が強調させます。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして 、項目の右にあるリストマークを選択し、押して  確定します。
- ▶ **カテゴリー変更**を選択し、押して  確定します。



- ▶ **プライベート** のような番号カテゴリーを選択します。
- ▶ **携帯電話** のような電話カテゴリーを選択します。
- ▶ 希望であれば、**通常使用番号**を選択し、押して  確定します。
前回の状況によって、オプションのオン ☒ またはオフ ☐ を切り替えます。電話番号は電話帳の最初の番号が表示され、すぐにダイヤルすることができます。
- ▶ **保存**を選択し、押して  確定します。

新しいカテゴリーが保存されます。

項目に保存された番号に発信する

条件

携帯電話が Bluetooth® インターフェースを介して接続されていること。

オプション 1

- ▶ アドレス帳の項目の詳細を表示します (▶156 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【☎】**、電話番号データ欄を選択し、押して  確定します。
電話が発信されます。表示が電話モードに切り替わります。

オプション 2

- ▶ アドレス帳の項目の詳細を表示します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、電話番号のデータ欄を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、データ欄の右にあるリストマークを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。



- ▶ **発信**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
電話が発信されます。

オプション 3

- ▶ アドレス帳の項目の詳細を表示します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、電話番号データ欄を選択し、押して **☎** 確定します。
電話が発信されます。表示が電話モードに切り替わります。

電話番号を短縮ダイヤル番号として保存する

- ▶ アドレス帳の項目の詳細を表示します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、電話番号のデータ欄を選択します。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、データ欄の右にあるリストマークを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **短縮ダイヤル**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **短縮ダイヤル登録**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
10件の短縮ダイヤルプリセットの1つに番号を保存することができます。

項目までのルート案内を開始する

注意点

COMANDシステムはナビの目的地メモリーとルート案内の完全な住所データのあるアドレス帳の両方に目的地を保存します。

この機能はアドレス帳の項目に次のデータが含まれているときに使用することができます。

- 電話番号
- 郵便番号
- 以前のナビゲーションデータ; 住所欄に **④** マークが付いています。
- 緯度・経度

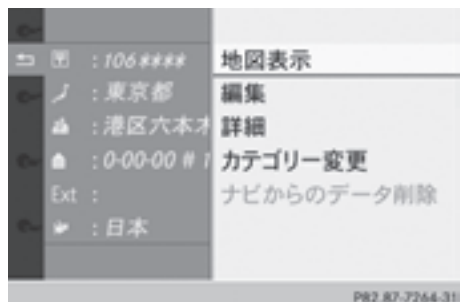
i 電話番号または郵便番号が使用されている場合は、実際の目的地は表示されず、代わりに目的地周辺の地域が表示されます。

オプション 1

- ▶ **④** マークのあるアドレス帳の項目を検索し (▷155 ページ)、リストから選択します。
- ▶ アドレス帳の項目の詳細を表示します (▷156 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、住所データ欄を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

オプション 2

- ▶ ④ マークのあるアドレス帳の項目 (▷155 ページ) を検索し、リストから選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして ⑤➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ⑥ 確定します。



- ▶ **地図表示** を選択し、押して ⑥ 確定します。

設定を押して ⑥ 確定すると、選択されたオプションに関係なく、ルート案内が開始します。

オプション 3

ルート案内は ④ マークのないアドレス帳の項目でも開始することができます。住所データまたは目的地がデジタル地図と一致しない場合は、目的地はナビゲーションモードで入力し、住所データを正確に特定してください。

- ① そして新しい住所をアドレス帳の項目に保存するのが最適です。ナビに適したアドレス帳の項目が提供されます。
- ▶ 目的地を入力します (▷52 ページ)。

目的地の住所が完全に入力されると地図が表示されます。COMAND システムは適切な地図の縮尺を設定します。クロスカーソルは現在の目的地を示しています。

- ▶ メニューで**保存** を選択して、押して ⑥ 確定します。
- ▶ **アドレス帳**を選択し、押して ⑥ 確定します。
- ▶ **新規**または**追加**を選択し、押して ⑥ 確定します。
目的地住所がアドレス帳に保存されます。

携帯電話の電話帳項目をアドレス帳に保存する

この機能では、インポートした電話帳の項目をアドレス帳に保存できます。可能なソースは以下の通りです。

- 携帯電話
- メモリーカード
- USB 機器
- Bluetooth® インターフェース

インポートされた電話帳の項目は電話帳に他のアイコンで表示されます (▷146 ページ)。

- ▶ 携帯電話の  (▷146 ページ) 電話帳の項目を検索します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして ⑤➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ⑥ 確定します。
- ▶ **保存**を選択し、押して ⑥ 確定します。

保存しました というメッセージが表示されます。そして電話帳の項目がアドレス帳の項目として保存されます。

アイコン  がアイコン  と置き換わります。

連絡先のインポート

情報と要件

メモリーカードや USB 機器からアドレス帳に連絡先 (vCard) をインポートしたり、Bluetooth® 接続で vCard を受信することができます。

- i** 2,500 件までの項目をアドレス帳にインポートできます。最大数に達したときにメッセージが表示されます。そして、新しい項目をインポートするために既存の項目 (▶156 ページ) を削除してください。

連絡先データのソースによって、他の要件が当てはまります。

ソース	条件
メモリーカード	SD メモリーカードが挿入され (▶211 ページ)、インポート可能な連絡先データが含まれている。
USB 機器	USB 機器は USB ポートに挿入され、インポート可能な連絡先データが含まれている。
携帯電話	携帯電話が PBAP Bluetooth® プロファイル (Phone Book Access Profile) をサポートしている。

Bluetooth® 接続による受信の要件

Bluetooth® 接続により vCard の送信をサポートしている PC などの機器から vCard を受信することができます。

そのために COMAND システムの機器を認証する必要はありません。

以下のことを念頭に置いてください。

- Bluetooth® が COMAND システムと Bluetooth® 機器で作動していること (機器の取扱説明書をご覧ください)。
- Bluetooth® 機器が Bluetooth® 接続により vCard を送信できること (機器の取扱説明書をご覧ください)。
- 車両の Bluetooth® 機器がオンになっていること。

メモリーカードまたは USB 機器からのインポート

メモリーカードまたは USB 機器からインポートされた項目には マークがあります。

vCard ファイルをインポートするには、以下の条件が必要となります。

- vCard (vcf ファイル) が主要なディレクトリまたはフォルダにあること。COMAND システムによって対応するディレクトリの目標となる選択が考慮されていること。
- vCard にファイル拡張子 ".vcf" が付いていること。

- i** vCard には複数の vCard を含めることができます。

COMAND システムは、バージョン 2.1 および 3.0 の vCard をサポートしています。

- ▶ SD メモリーカード (▶211 ページ) を挿入するか、または USB 機器 (USB スティックなど) (▶211 ページ) を接続します。
- ▶ アドレス帳で **アドレス帳** を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、**電話** を選択し、押して 確定します。

- ▶ 電話帳ダウンロードを選択し、押して  確定します。
メニューが表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、メニューで **メモリーカードから** または **USB デバイスから** を選択し、押して  確定します。

- ▶ **追加** または **上書き** を選択し、押して  確定します。

追加 は、メモリーカードまたは USB 機器からアドレス帳に項目をインポートします。

上書き は、メモリーカードまたは USB 機器からの項目をインポートし、アドレス帳の全項目が上書きされ、 マークが付けられます。その後、以前の項目は使用できなくなります。

連絡先データが正常にインポートされると、その結果に関するメッセージが表示されます。アドレス帳または該当する電話基本メニューが表示されます。

-  アドレス帳にすでに対応する項目が含まれている場合は、メニュー項目の **上書き** を選択することができます。アドレス帳がいっぱいの場合はメッセージが表示されます。

携帯電話からインポートする

- ▶ アドレス帳で **アドレス帳** を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、**電話** を選択し、押して  確定します。
- ▶ **電話帳ダウンロード** を選択し、押して  確定します。
メニューが表示されます。

- ▶ メニューから **携帯電話から** を選択し、押して  確定します。
連絡先が携帯電話からダウンロードされます。

Bluetooth® 接続により vCard を受信する

受信した vCard はアドレス帳にある  マークによって特定されます。

-  vCard を受信しているときに、ナビのような他の基本機能に切り替えると、vCard の受信は終了します。

- ▶ アドレス帳で **アドレス帳** を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、**電話** を選択し、押して  確定します。
メニューが表示されます。

- ▶ **電話帳ダウンロード** を選択し、押して  確定します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、メニューの **Bluetooth デバイスから** を選択し、押して  確定します。

これにより COMAND システムと作動している携帯電話の Bluetooth® 接続が中断します。ただし、COMAND システムは他の Bluetooth® 機器 (PC、携帯電話) から vCard を受信する準備はできています。

- ▶ 外部の Bluetooth® 機器でデータ送信を開始します (機器の取扱説明書をご覧ください)。
受信した vCard の数が表示されます。



いいえを選択すると、処理が中止されます。

- ▶ **受信を終了する**：🔊 スイッチ、またはリターンスイッチ  を押します。

そして COMAND システムが携帯電話に再接続します。

連絡先を削除する

- ▶ アドレス帳で **アドレス帳** を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMAND コントローラーをスライドしてから 🔊、まわして 、**電話** を選択し、押して 🔊 確定します。

メニューが表示されます。

- ▶ **連絡先の削除** を選択し、押して 🔊 確定します。
- ▶ 以下のオプションの 1 つを選択します。

- **COMAND 上で作成した連絡先**
- **携帯電話から**
- **メモリーデバイスの登録データ**
- **Bluetooth 接続機器から**
- **全て**

選択に対応する確認が表示されます。

- ▶ **はい** または **いいえ** を選択して、押して 🔊 確定します。

はい を選択すると、連絡先は選択によって削除されます。

COMAND システムの特徴 .	166
全体的な注意事項	166
アクセスデータの設定	167
接続の確立 / 終了	176
ローカル検索	177
目的地のダウンロード	181
天気	183
オプション	188
インターネット	193

COMAND システムの特徴

記載の操作手順はお買い上げいただいた時点で利用可能な、COMAND システムの標準装備やオプション装備すべてについて記載しています。国により、仕様が異なる場合があります。COMAND システムには、記載されているすべての機能が備わっていないことがあります。

全体的な注意事項

COMAND Online とインターネットアクセスを使用する際の条件



警告

COMAND Online を操作するときは、そのときに運転している国の法規則に従ってください。走行中に通信機器を操作することが認められている場合は、道路や交通状況が許すときのみ操作してください。交通状況から気がそれて、事故の原因になったり、お客様や他の方がけがをするおそれがあります。

COMAND Online 機能とインターネットアクセスは、Bluetooth® インターフェースを介して利用することができます。

機能を使用するには、以下の条件が必要です。

- 携帯電話が DUN Bluetooth® プロファイル (Dial-Up Networking; ダイアルアップネットワーク) をサポートしていて、Bluetooth® インターフェース (▶133 ページ) によって COMAND システムに接続されていること。DUN Bluetooth® プロファイルは携帯電話をダイアルアップでインターネットに接続することが可能です。

- 関連の接続費用を計算するために使用される有効な携帯電話サービスの契約 (データオプション含む) が必要であること。
- 接続している携帯電話のアクセスデータが COMAND システムに設定されていること (▶167 ページ)。

i 携帯電話の適用の詳細はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

i 携帯電話によっては、DUN Bluetooth® プロファイルを個別にオンにしなければならない場合があります (携帯電話の取扱説明書をご覧ください)。

i 携帯電話によっては2つの Bluetooth® プロファイルのみを同時にサポートしているものがあります (例: Bluetooth® 電話機能用のハンズフリープロファイルとオーディオストリーミング用の Bluetooth® オーディオプロファイル)。追加でインターネットが接続される場合には (▶176 ページ)、Bluetooth® オーディオによる再生が停止することがあります。

i 正しくないアクセスデータを使用すると、追加の費用が発生することがあります。これは、契約と違う項目や、他の契約 / データパッケージの項目を使用すると起こります。

i 個々の COMAND Online サービスの有用性は国によって違います。

i 利用規約は COMAND Online が初めて使用されたときと、それ以降年に 1 度表示されます。車両が停止しているときにのみ、利用規約を読んで同意してください。

i インターネットのページは走行中には表示できません (▶193 ページ)。

データをインポート / エクスポートして、そのために**インターネットデータ**オプションを選択するときは、携帯電話のネットワークプロバイダーのパスワードは保存されません。

インターネットに再度接続するとき、以下のような手順を行ないます。

- ▶ **ステップ 1:** 携帯電話のネットワークプロバイダーを削除します。
- ▶ **ステップ 2:** 携帯電話のネットワークプロバイダーを再度選択する (オプション 1) か、手動で設定します (オプション 2)。

- Bluetooth® 接続の電話を使用していて、携帯電話の "Bluetooth®" 機能がオフになっているとき
- 携帯電話が携帯電話のネットワークにログインしていないとき
- 携帯電話ネットワークと携帯電話がともに、電話とインターネット接続の同時使用が認められていないとき

i 使用している携帯電話と携帯電話ネットワークによっては、インターネットに接続しているときは着信できないことがあります。

走行中における接続障害

以下の場合、接続が切断されることがあります。

- 特定の地域において、ネットワーク範囲が不十分なとき
- 携帯電話の送信 / 受信エリア (携帯電話の基地局) を他のエリアに移動してフリーのチャンネルがないとき
- 使用可能なネットワークに適していない SIM カードを使用しているとき

機能の制限

次のような状況のときは、携帯電話を使用できなかったり、携帯電話を使用できなくなったり、使用できるようになるまでに待たなければならないことがあります。

- 携帯電話の電源が入っていないとき
- COMANDシステムの"Bluetooth®"機能がオフになっているとき

ローミング

他の国でご自身の車両を運転していて、COMAND Onlineとインターネット機能を使用すると、追加料金が発生することがあります (ローミング料金)。他の国にいるときは、SIM カードがデータローミングをできるようにしてください。携帯電話のネットワークプロバイダーがローミングパートナーとデータローミングの契約を結んでいない場合は、インターネット接続は確立できないことがあります。他の国にいるときにデータローミングを避けたい場合は、携帯電話のこの機能をオフにしてください。

アクセスデータの設定

ご使用の前に

接続された携帯電話のインターネットアクセスデータは、携帯電話のネットワークプロバイダーで取得することができます。COMAND システムにおい

て必要なインターネットアクセスデータの設定は下記に記載されているようになります。

選択された / 手動で設定された携帯電話のネットワークプロバイダーは、選択 / 設定されたときに接続されている携帯電話のみ有効です。携帯電話のネットワークプロバイダーは再接続されたときに自動的に設定されます。

- ❶ 正しくないアクセスデータ（契約と違う項目または他の契約 / データパッケージの項目）を設定すると追加料金が発生することがあります。
- ❷ 他の国でご自身の車両を運転していて、COMAND Online とインターネット機能を使用すると、追加料金が発生することがあります（ローミング料金）。
- ❸ 車両が停止しているときにアクセスデータの設定を調整してください。交通状況から気がそれて、事故の原因になったり、お客様や他の方がけがをするおそれがあります。

インターネットアクセスデータの選択 / 設定

携帯電話のネットワークプロバイダーリストの呼び出し

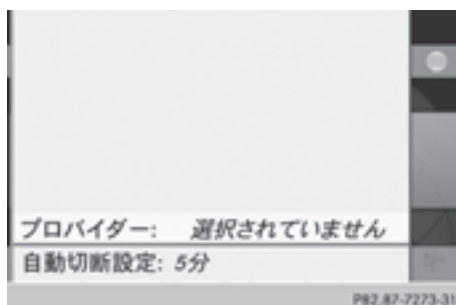
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑**、まわして **【】**、基本機能バーでアイコン **🌐** を選択し、押して **👉** 確定します。
カラーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。



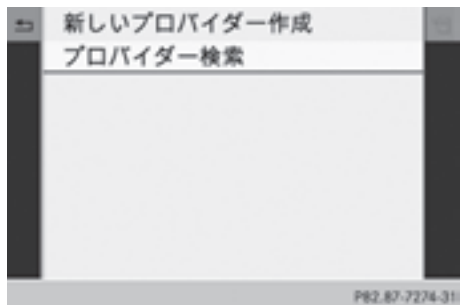
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑**、まわして **【】**、**設定** を選択し、押して **👉** 確定します。

携帯電話を初めて COMAND システムに接続するときは（▶134 ページ）、携帯電話のネットワークプロバイダーのプリセットはありません。**プロバイダー：選択されていません**という項目が表示されます。

携帯電話が接続されていて、携帯電話のネットワークプロバイダーが選択されている、または手動で設定されている場合は、携帯電話ネットワークの名前が**プロバイダー：**の後に表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーを押します **👉**。
携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。

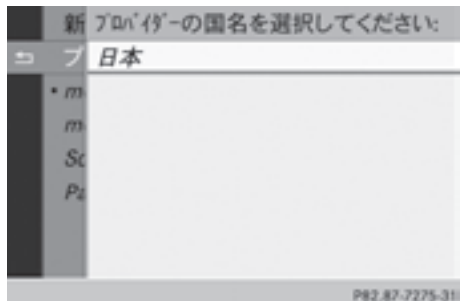


携帯電話のネットワークプロバイダーのリスト（空欄）

携帯電話のネットワークプロバイダーのあらかじめ設定されたアクセスデータを選択したり（オプション 1）、携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを手動で設定（オプション 2）することができます。

オプション 1：携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを選択

- ① 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータは接続している携帯電話で一度選択され、携帯電話が接続されるたびに再び読み込まれます（▶168 ページ）。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【☉】**、携帯電話のネットワークプロバイダーリスト（▶169 ページ）で **プロバイダー検索** を選択し、押して **☉** 確定します。
国のリストが表示されます。



- ▶ 押して **☉**、**日本** を確定します。
使用可能な携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。



- ① SIM カードを提供している携帯電話のネットワークプロバイダー、または接続している携帯電話の関連するデータパッケージ（アクセス設定）のアクセスデータを設定してください。他の国にいたときは（ローミング）、アクセスデータは同じままです。他のネットワークのアクセスデータは選択されません。

さまざまなアクセスデータを供給している携帯電話のネットワークプロバイダーがあります（使用しているデータパッケージによります）。

- ▶ **携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセス設定が1つだけ**のとき：COMAND コントローラーをまわして **【☉】**、携帯電話のネットワークプロバイダーを選択し、押して **☉** 確定します。
メニューが表示されます。



- ▶ 接続する前にプリセットアクセスデータをチェックするには、**編集**を選択し、押して 確定します。アクセスデータのリストが表示されます。アクセスデータをチェックします。アクセスデータの詳細については(▶171 ページ)をご覧ください。

アクセスデータが正しいとき

- ▶ リターンスイッチ を押すか、 を選択し、押して 確定します。携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを受け取ることができます。
- ▶ **保存**を選択し、押して 確定します。携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。プロバイダーのアクセスデータを受け取ります。

アクセスデータを編集する

- ▶ "携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定"の"項目の作成"(▶173 ページ)に記載してあるように進めてください。

編集したアクセスデータを確定すると、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示され、選択したプロバイダーが表示されます。

- ▶ 携帯電話のネットワークプロバイダーにアクセス設定がいくつかあるとき：携帯電話のネットワークプロバイダーを選択した後にいくつかのアクセス設定が表示される場合は、COMAND コントローラーをまわして 、押して 確定します。メニューが表示されます。



- ▶ 接続する前にプリセットアクセスデータの設定をチェックするには、**編集**を選択し、押して 確定します。アクセスデータのリストが表示されます。アクセスデータをチェックします。アクセスデータの詳細については(▶171 ページ)をご覧ください。

アクセスデータが正しいとき

- ▶ リターンスイッチ を押すか、 を選択し、押して 確定します。携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを受け取ることができます。
- ▶ **保存**を選択し、押して 確定します。

携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。プロバイダーのアクセスデータを受け取ります。

アクセスデータを編集する

- ▶ **オプション 2：携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定**の"項目の作成"(>173 ページ)に記載しているように進めてください。

編集したアクセスデータを確定すると、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示され、選択したプロバイダーが表示されます。



携帯電話のネットワークプロバイダーと選択したプロバイダーのリスト

現在選択されているアクセス設定(項目の前にある ●)は、接続されている携帯電話に使用されています。

- ▶ **カラーセルビュー(マルチウィンドウ)に戻る**: リターンスイッチ  を2回押します。

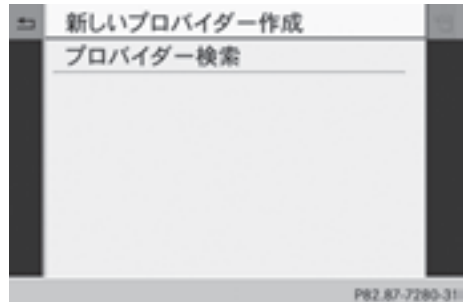
または

- ▶ **COMAND コントローラーを押して** 、リターンスイッチ  を押します。

オプション2：携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定

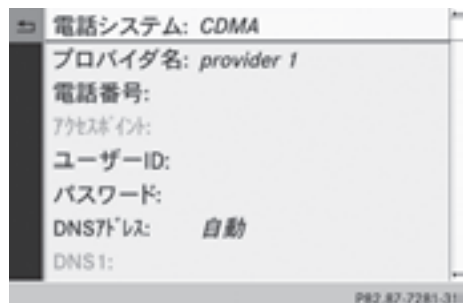
アクセスデータのリストの呼び出し

- ① 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータは、接続されている携帯電話に一度設定されます。



- ▶ **COMAND コントローラーを押して** 、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストで**新しいプロバイダー作成**を確定します。

アクセスデータのリストが表示されます。標準的な名前、**プロバイダー <x>** が**プロバイダ名:**の欄に自動的に入力されます。項目を作成することが出来ます。



アクセスデータのリスト(新しいプロバイダー)

アクセスデータの説明

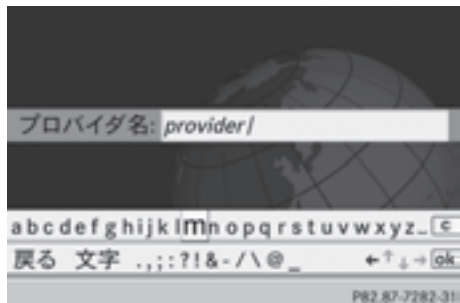
入力欄	意味
プロバイダ名：	プロバイダーの名前が携帯電話のネットワークプロバイダーのリストに表示されます。名前を自由に選択できます。 標準的な項目は provider <x> です。
電話番号：	接続を確立するためのアクセスナンバー i アクセスナンバーはプロバイダーによって異なります。
アクセスポイント：	APN ネットワークアクセスポイント (Access Point Name；アクセスポイント名) i ネットワークのアクセスポイントは入力されている必要はありません。
ユーザーID：	ユーザーIDは携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。 i 項目はすべての携帯電話のネットワークプロバイダーには必要ではありません。

入力欄	意味
パスワード：	パスワードは携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。 i 項目はすべての携帯電話のネットワークプロバイダーには必要ではありません。 i パスワードはデータをインポート/エクスポートすると失われます。
DNS アドレス：	DNSアドレス (Domain Name Service；ドメインネームサービス) は自動的に決められるか、手動で入力する必要があります。必要な情報は携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。 i 大部分の携帯電話のネットワークプロバイダーは自動機能をサポートしています。マニュアルオプションを選択すると、DNS アドレスの入力がいつも必要になります。
DNS 1: DNS 2:	DNS サーバーのアドレスを手動で入力するための欄。アドレスは携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。

項目の作成

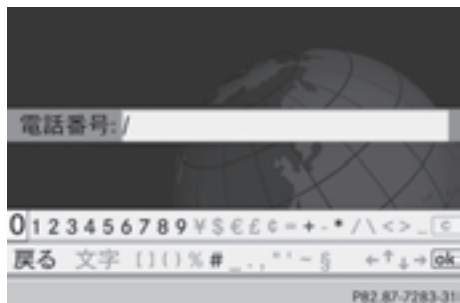
- ▶ **プロバイダーを入力する**： アクセスデータのリスト (▷171 ページ) で、押して **プロバイダ名** の入力欄を確定します。

入力メニューが表示されます。



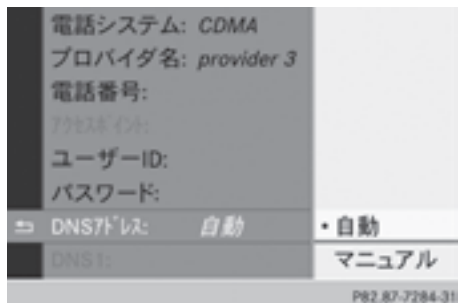
- ▶ "はじめに" (▷25 ページ) にある文字入力に記載してあるように進めてください。
- ▶ プロバイダーを入力します。
- ▶ **電話番号を入力する**： アクセスデータのリスト (▷171 ページ) で、COMAND コントローラーをスライド ↓ ◎ またはまわして **電話番号** : を選択し、押して ◎ 確定します。

電話番号の入力メニューが表示されます。



- ▶ 電話番号を入力します。

- ▶ **アクセスデータを入力する**： アクセスデータのリスト (▷171 ページ) で、**アクセスポイント** : 入力欄を選択し、押して ◎ 確定します。
 - ▶ アクセスデータを入力します。
 - ▶ **ユーザー ID を入力する**： アクセスデータを入力する： アクセスデータのリスト (▷171 ページ) で、**ユーザー ID** : 入力欄を選択し、押して ◎ 確定します。
 - ▶ ユーザー ID を入力します。
 - ▶ **パスワードを入力する**： アクセスデータを入力する： アクセスデータのリスト (▷171 ページ) で、**パスワード** : 入力欄を選択し、押して ◎ 確定します。
 - ▶ パスワードを入力します。
 - ▶ **アクセスデータを入力する**： アクセスデータのリスト (▷171 ページ) で、**DNS アドレス** : 入力欄を選択し、押して ◎ 確定します。
- 項目の前にある ● は現在の設定を示します。



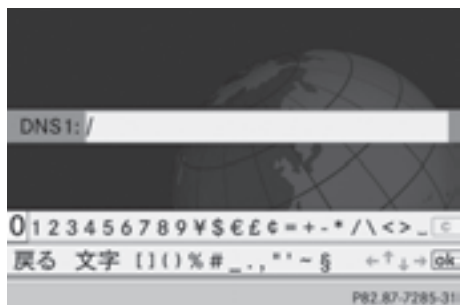
- ▶ COMAND コントローラーで**自動**または**マニュアル**を選択し、押して ◎ 確定します。

自動はDNSアドレスを自動的に決定します。

マニュアルは DNS 1 と DNS 2 にある項目を使用します。

DNS の例の入力

- ▶ マニュアル を 選 択 し た 後、COMAND コントローラーで DNS1 の入力欄を選択し、押して  確定します。
- ▶ たとえば、172.28.4.81 を入力します。



DNS1 の入力

他の携帯電話の以前設定したインターネットアクセスデータを使用する

アクセスデータが携帯電話のネットワークプロバイダーリストに登録済みであれば、追加の携帯電話のアクセスデータとしても使用できます。

これには以下の前提条件が必要です。

- 追加の携帯電話が接続されていること。
- アクセスデータが現在接続されている携帯電話の契約に適用されていること。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、携帯電話のネットワークプロバイダーリスト (p169 ページ) でプロバイダーを選択し、押して  確定します。

プロバイダーを選択すると、携帯電話のネットワークプロバイダーリストが閉じます。選択したプロバイダーが入力されます。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして 、カラーセルビュー (マルチウインドウ) を呼び出します。

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの管理

概要

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータは以下のことができます。

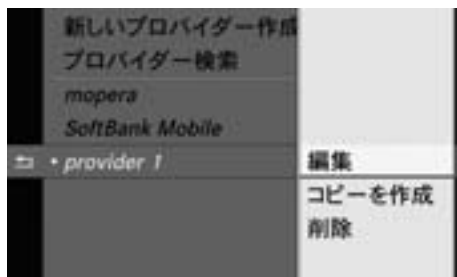
- 編集
- 新しいプロバイダー名のコピー、編集、許可
- 削除

i 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの変更はこのアクセスデータを使用するすべての携帯電話に適用されます。

i インターネットが接続されているときは、現在設定されている携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを編集、または削除することはできません。

アクセスデータの編集

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、携帯電話のネットワークプロバイダーリスト (p169 ページ) でプロバイダーを選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして 、項目の右にあるリストマークを選択し、押して  確定します。



- ▶ 押して **編集** を確定します。
アクセスデータが表示されます。
- ▶ アクセスデータを編集します。項目に関する記載は、" 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定 " の " 項目の作成 " (▶173 ページ) にあります。

新しいプロバイダー名でのアクセスデータのコピー、編集、保存

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、携帯電話のネットワークプロバイダーリスト (▶169 ページ) でプロバイダーを選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **確定** します。
- ▶ 押して **◎**、**コピーを作成** を確定します。
アクセスデータが表示されます。
- ▶ アクセスデータを編集します。項目に関する記載は、" 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定 " の " 項目の作成 " にあります (▶173 ページ)。

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの削除

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、携帯電話のネットワークプロバイダーリスト (▶169 ページ) でプロバイダーを選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **◎➡**、項目の右にあるリストマークを選択し、押して **確定** します。
- ▶ **削除** を選択し、押して **確定** します。
アクセスデータを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- ▶ **はい** または **いいえ** を選択して、押して **確定** します。

はい を選択すると、アクセスデータが削除され、プロバイダー名が携帯電話のネットワークプロバイダーリストから削除されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

インターネットから自動的に切断する時間の長さを選択する

COMAND Online とインターネットをとともに使用していないときは、設定した時間が経過すると、COMAND システムは自動的にインターネットを切断します。

インターネットが接続されていると、ディスプレイの右上に二重の矢印が表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↓◎**、まわして **【◎】**、**設定** を選択し (▶168 ページ)、押して **確定** します。

- ▶ **自動切断設定**：を選択し、押して
 確定します。
 • は現在の設定を示します。



- ▶ **5分**または**15分**、**OFF**を選択し、
 押して  確定します。
OFF は機能をオフにします。

接続の確立 / 終了

接続の確立

- ① 接続の確立に関する条件は、" 全体的な注意事項 " に記載されています (▶ 166 ページ)。
- ▶ **接続を確立する** : COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、基本機能バーで  マークを選択し、押して  確定します。
 カラーセルビュー (マルチウインドウ) が表示されます。
- ▶ COMAND Online パネル、またはお気に入り が作成されていれば (▶ 199 ページ)、それらが前面に表示されるまで、コントローラーをまわすか 、スライドします 。

または

- ▶ ウェブのアドレスを入力します (▶ 193 ページ)。

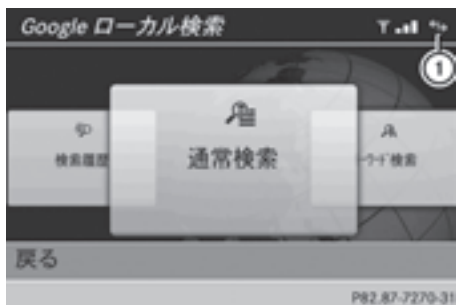


COMAND Online パネル



お気に入り (例)

- ▶ COMAND コントローラーを押します 。
 インターネット接続が確立されます。インターネットが接続されているときはマークが ① に表示されます。以下の例は GoogleTM ローカル検索のメニューです (▶ 177 ページ)。



- ① インターネットが接続されているときに通話をするとき、 マークが ① に表示されます。インターネット接続は、

使用されている携帯電話と携帯電話のネットワークによって接続されたままです。

- ▶ **接続を中止する：** 接続を確立しているときは、押して 、**中止**を確定します。

または

- ▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。



接続の終了

- ▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

または

- ▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）の右下にあるハサミマークを選択して、押して  確定します。

- ① 携帯電話のインターネット接続が中止されると、COMAND システムは再接続しようとします。そのため、COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングで接続を常に閉じるようにしてください。

ローカル検索

はじめに

ローカル検索には3つのオプションがあります。

- 通常検索
- キーワード検索
- 検索履歴

ローカル検索メニューを呼び出す

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、基本機能バーでアイコン  を選択し、押して  確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、**COMAND Online** パネルを前面にし、押して  確定します。

COMAND Online メニューが表示されます。

- ▶ **Google** ローカル検索パネルを前面にします。



- ▶ COMAND コントローラーを押します .

Google ローカル検索メニューが表示されます。



- ▶ **メニューを終了する**: COMAND コントローラーをスライドするか 、まわして 、**戻る** を選択し、押して 確定します。

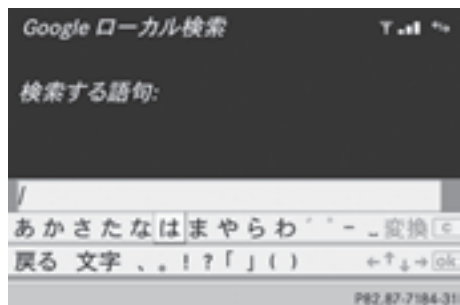
キーワード検索

入力制限

車両が停止しているときにのみ、入力メニューの検索条件を入力することが出来ます。

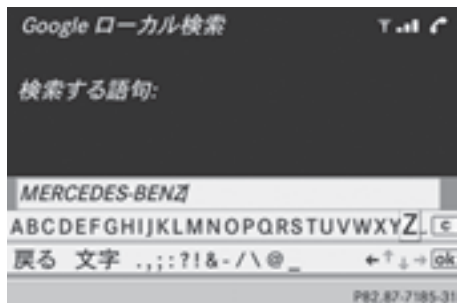
検索条件の入力

- ▶ 押して 、ローカル検索メニューの**キーワード検索**を確定します。
入力メニューが表示されます。



- ▶ **文字バーを使用して入力する**: 検索条件を入力します。COMAND コントローラーを使用して文字を入力するための説明は、" はじめに " にある同じ名前の項にあります (▷25 ページ)。

- ▶ **テンキーを使用して文字を入力する**: 素早くテンキーを押します。
キーを押すと文字が表示されます。最初に使用可能な文字が強調されます。COMAND コントローラーを使用して文字を入力するための説明は、" はじめに " にある同じ名前の項にあります (▷25 ページ)。

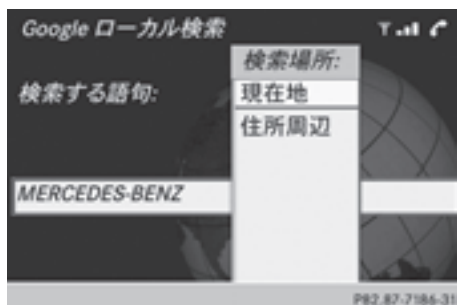


- ▶ 検索条件を入力して、COMAND コントローラーをまわして 、 を選択し、押して 確定します。

メニューが表示されます。施設検索を始める場所を選択することができます。

検索位置の選択

施設が入力され、確定されます。

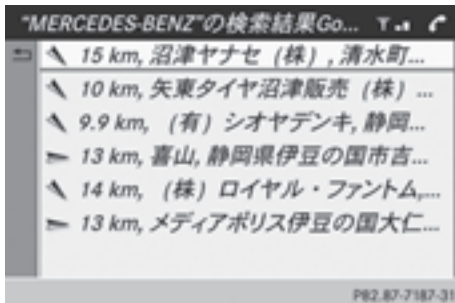


- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、項目を選択し、押して 確定します。

COMAND システムは入力された検索条件で利用可能な施設を検索します。

- 現在の車両位置に近い
- 他の街の付近
- ▶ **住所周辺**を選択し、住所を入力して確定します。COMAND コントローラーを使用して文字を入力するための説明は、" はじめに " にある同じ名前の項にあります (▶25 ページ)。

検索結果が表示されます。



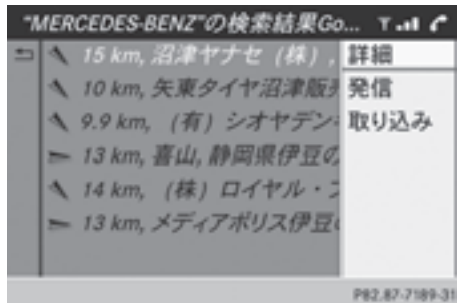
Google™ の検索結果 (例)

使用可能な場合、10 件の検索結果がページごとに表示されます。

- ▶ **ページを前後にスクロールする** : COMAND コントローラーをまわして **【☉】**、例の **11-20 取得** を選択し、押して **☉** 確定します。
項目 **1-10 に戻る** は、後ろにスクロールした次のページで使用可能です。

検索結果を使用する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【☉】**、検索結果リストの項目を選択し、押して **☉** 確定します。
メニューが表示されます。



- ▶ **詳細画面を表示する** : COMAND コントローラーを押して **☉**、**詳細** を確定します。
選択した項目の住所が表示されます。



- ▶ リターンスイッチ **【↵】** を押してメニューを呼び出します。
または
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **↓☉**、**戻る** を選択し、押して **☉** 確定します。
- ▶ **目的地を呼び出す** : COMAND コントローラーで**発信**を選択し、押して **☉** 確定します。

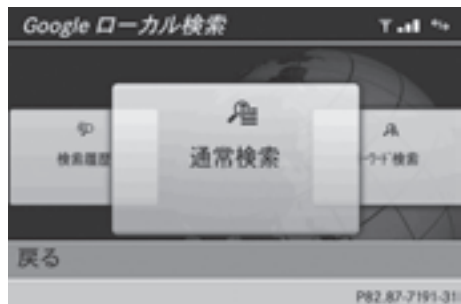
次に電話機能に切り替え、通話をします (▶140 ページ)。

- ❗ 使用可能な電話番号がない場合は、メニュー項目が灰色になります。

- ▶ **目的地をインポートする**：COMAND コントローラーで**取り込み**を選択し、押して  確定します。
アドレス帳に項目が登録されます。
<目的地 x> インポートしました、メッセージが表示されます。
- ▶ 押して 、OK を確定します。

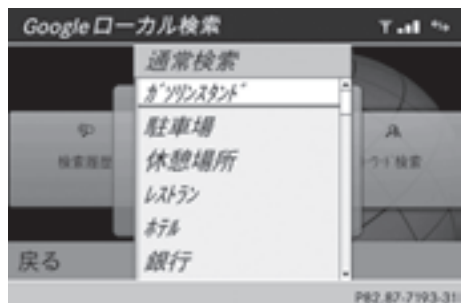
通常検索

この機能はあらかじめ設定した検索条件を使用して検索することができます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、Google ローカル検索メニューの**通常検索**を前面にし、押して  確定します。

メニューに使用可能な検索条件が表示されます。



- ▶ 検索条件を選択し、押して  確定します。

- ▶ "検索位置の選択" (>178 ページ) に記載されているように進めてください。車両が停止している場合は、検索結果に"サクラホテル"のように手動で追加することができます。

検索履歴

この機能は以前のすべての検索照会を提供します。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、Google ローカル検索メニューの**検索履歴**を前面にし、押して  確定します。

以前の検索照会が、一番最近のものから最上部に表示されます。



- ▶ 検索条件を選択し、押して  確定します。
- ▶ "検索位置の選択" (>178 ページ) に記載されているように進めてください。車両が停止している場合

は、検索結果に " サクラホテル " のように手動で追加することができます。

目的地のダウンロード

はじめに

目的地はGoogle™マップからダウンロードしサーバーに送信することができます。ルート案内に目的地を使用して、その後使用するために保存することができます。

ステップ 1：目的地をサーバーに送信する

- ▶ インターネットで Google™ マップのウェブサイト呼び出します。
 - ▶ 目的地を選択します。
 - ▶ 車メーカーの項目で "MERCEDES-BENZ" を選択します。
 - ▶ ダウンロードでID(車台番号または e-mail アドレス) を選択します。
 - ❶ 車台番号 (VIN) は工場であらかじめ設定されています。e-mail アドレスへの変更は "目的地/ルートのダウンロードのオプションを選択する " (▷191 ページ) に記載されています。
 - ❶ Google™ マップ機能の使用可能状況は国によって異なります。
 - ▶ Google™ マップのウェブサイト で " 送信 " を確定します。
- 目的地がサーバーに送信されます。

ステップ 2：サーバーから目的地をダウンロードする

サーバーに送信した目的地 / ルートを使用するには以下のように進めてください。

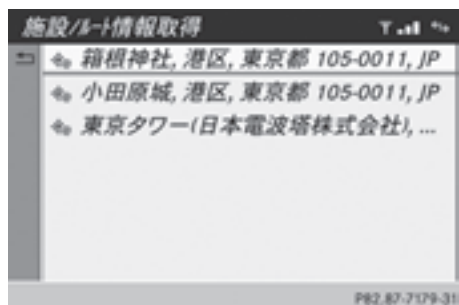
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ⬆、まわして ⬅、基本機能バーでアイコン 🌐 を選択し、押して ⬆ 確定します。
- カラーセルビュー (マルチウインドウ) が表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして ⬆、COMAND Online パネルを前面にし、押して ⬆ 確定します。
- COMAND Online メニューが表示されます。
- ▶ 施設/ルート情報取得パネルを前面にします。



中止で、目的地のダウンロードをやめることができます。

オプションで、目的地のダウンロードのオプションを設定することができます (▷191 ページ)。

- ▶ 押して ⬆、施設/ルート情報取得を確定します。
- 使用可能な目的地が 🌐 リストに表示されます。



3つの目的地項目のリスト(例)

サーバーには車両の目的地を50件まで保存し、リストに表示することができます。サーバーにさらに目的地を送信する場合は、一番古い項目がリストから削除されます。

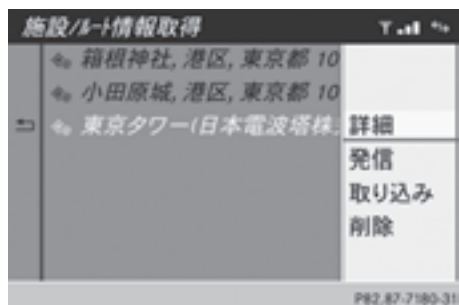
i Google™ マップからサーバーに送信された目的地は7日後に自動的に削除されます。

ステップ3: 目的地を使用する

メニューを呼び出す

▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、リストの項目を選択し、押して **☑** 確定します。

メニューが表示されます。



詳細を表示する

▶ COMAND コントローラーを押して **☑**、メニューの **詳細** を確定します。

目的地が表示されます。



目的地の住所の例

▶ **施設を呼び出す**: 押して **☑**、項目を確定します。

i 携帯電話が接続されていて(▶134ページ)、目的地の住所に電話番号が含まれるときにこの機能を使用することができます。

目的地に電話をかける

▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、メニューの **発信** を選択し、押して **☑** 確定します。

そして電話機能に切り替え、通話をします(▶140ページ)。

目的地をインポートする

インポートするとき、アドレス帳に目的地を施設として保存します。

▶ COMAND コントローラーで、メニューの **取り込み** を選択し、押して **☑** 確定します。

アドレス帳に項目が登録されます。

サーバーから目的地を削除する

▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、リストの項目を選択し、押して **☑** 確定します。

▶ **削除** を選択し、押して **☑** 確定します。

目的地を削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

- ▶ はいまたはいいえを選択して、押して 確定します。

はいを選択すると、目的地が削除されます。

いいえを選択すると、処理が中止されます。

天気

はじめに

COMANDシステムはオンライン接続によって世界中のどこでも天気予報を受信し、情報チャート（現在の日付、5日間予報）や天気図を表示することができます。

天気図に以下の天気データをマークと一緒に表示することができます。

- 気圧の状態
- 気温
- 雲の量
- 風向きと風速

天気表示のオン / オフを切り替える (COMAND Online)

オンにする

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、基本機能バーでアイコン を選択し、押して 確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。
- ▶ COMAND Online が前面になるまで、COMAND コントローラーをまわして 、押して 確定します。

COMAND Online のカルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。



- ▶ 天気が前面になるまで、COMAND コントローラーをまわして 、押して 確定します。

情報チャートは現在の車両位置の現在の天気を表示します（工場出荷時の設定）。オプションメニューで初期設定の画面や初期設定の場所を変更することができます（▶188 ページ）。



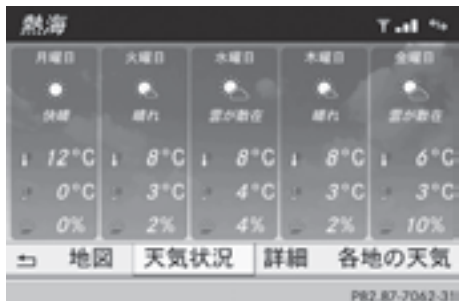
以下の情報を表示することができます。

- 現在の天気予報の時刻
- 現在の気温
- 曇りや雨などの天気の情報
- 日中の最高気温
- 日中の最低気温
- 降水確率

- 今日の天気予報(3つの時間別を含む)
- ▶ **5日間の予報に切り替える:** **週間天気**を選択して、押して  確定します。

情報チャートは現在選択されている場所の翌5日間の予報を表示します。

情報チャートは選択した場所の情報を表示します。



- ▶ **現在の天気情報に戻る:** **天気状況**を選択して、押して  確定します。

オフにする

- ▶  スイッチを押す。

または

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、 を選択し、押して  確定します。

選択したオプションに関わらず、カレンダービュー(マルチウインドウ)が表示されます。

追加情報を表示する

気温に加えて、湿度や大気状態などの情報も表示することができます(情報が使用できる場合)。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、情報チャートの **詳細**を選択し、押して  確定します。

場所を選択する

はじめに

天気予報で以下のオプションを選択できます。

- 現在の車両位置
- 冬のスポーツエリア
- 世界中のあらゆる場所

情報チャート(オプション1)または地図(オプション2)で場所を選択することができます。天気の情報が一番近い測候所から提供されます。

オプション1: 情報チャートで場所を選択する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、情報チャートの **各地の天気**を選択し、押して  確定します。

メニューが表示されます。



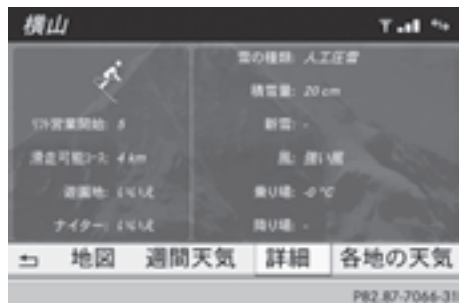
- ▶ 現在の車両位置を選択する：押して 、**現在地**を確定します。
- ▶ 冬のスポーツエリアを選択する：メニューで**スキー場**を選択し、押して 確定します。

利用可能な冬のスポーツエリアが表示されます。

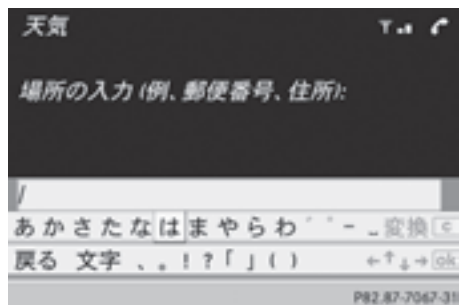


- ▶ メニューで冬のスポーツエリアを選択し、押して 確定します。
- 情報チャートが以下の情報を表示します。

- スキーの種類
- 雪の状態
- 気温

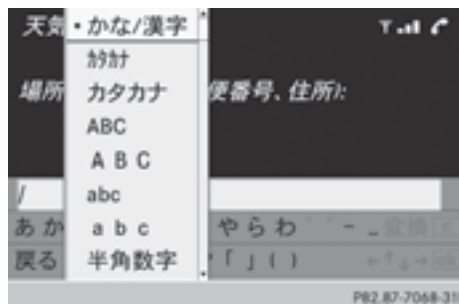


- ▶ 場所を選択する：COMAND コントローラーをまわして 、メニューの **住所周辺**を選択し、押して 確定します。
- 入力メニューが表示されます。



- ▶ 文字バーで使用する文字設定を変更する：COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、**文字**を強調し、押して 確定します。

使用可能な文字設定リストが表示されます。



- ▶ 希望する文字設定を選択し、押して  確定します。
- ▶ 検索エリアを入力します。文字を入力するための説明は、"ナビゲーションモードでの文字の入力" (▷25 ページ) にあります。

検索エリアが入力されると情報チャートは天気予報と一緒に表示されます。

項目	例
郵便番号	100-8798
都市	東京
住所	千代田区霞ヶ関 1-x-x
空港コード	NRT (東京 - 成田空港)

オプション2：天気図で場所を選択する

- ▶ 天気図を呼び出し、希望の場所に動かします (▷186 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーを押します 。
メニューバーが表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーを再び押して 、**天気情報**を確定します。
情報チャートは選択した場所の現在の天気を表示します。

天気図

天気図を呼び出す

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、情報チャートの **地図**を選択し、押して  確定します。
地図は 20km の縮尺で表示されます。



- ▶ **天気図を動かす**：COMAND コントローラーをスライドして 、クロスカーソルを表示します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドします 、、。
天気図をクロスバーの向きにあわせて動かします。
- ▶ **地図の縮尺を変更する**：COMAND コントローラーをまわすと  すみやかに、縮尺バーが表示されます。
- ▶ 希望の縮尺が設定されるまでまわします 。

i これらの機能では、データはサーバーから再びダウンロードされるため、地図の表示に時間がかかることがあります。

天気図のメニューの表示 / 非表示

- ▶ **表示する**：天気図で COMAND コントローラーを押します 。



- ▶ **非表示にする**：COMAND コントローラーを上スライドする **↑** **☉**。

地図の天気情報の表示に切り替える

- ▶ 天気図でメニューを表示します (▷186 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【☉】**、**画面**を選択し、押して **☉** 確定します。



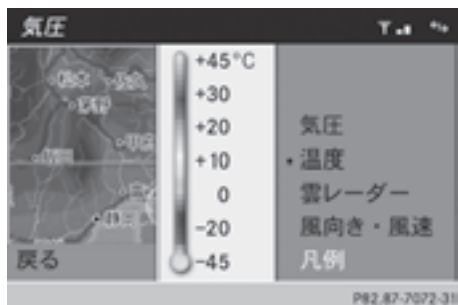
気象特性	地図の表示
気圧	等圧線と色分けされた地図で気圧を表示します
温度	気温を表示します
雲レーダー	雲を表示します
風向き・風速	矢印で風向きと色で風速を表示します

- ① 気圧表示は工場であらかじめ設定されています。この設定はオプションメニューで変更することができます (▷189 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【☉】**、気象特性を選択し、押して **☉** 確定します。
 - は地図に現在表示されている気象特性を示します。1 つの気象特性を選択することができます。

凡例

- ▶ 天気図でメニューを表示します (▷186 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【☉】**、**画面**を選択し、押して **☉** 確定します。
- ▶ **凡例**を選択し、押して **☉** 確定します。

凡例は現在選択されている気象特性によって表示されます。



気温の凡例

情報チャートに変更する

- ▶ 天気図でメニューを表示します (▷186 ページ)。
- ▶ **天気情報**を選択し、押して **☉** 確定します。

メモリー機能

メモリーに場所を保存する

頻繁に呼び出される場所を 10 件のプリセット位置 (0、1 ~ 9) に保存できます。

- ▶ 場所を選択します (▷184 ページ)。
- ▶ テンキーを押して保持します。場所が保存されると、選択されたプリセットの番号がキャプションにある場所の名前の前に表示されます。

メモリーから場所を選択する

- ▶ **クイック選択**：天気表示 (COMAND Online) がオンで、項目が使用可能なとき、例えば 2 などのようにテンキーを押します。

情報チャートが表示され、天気情報を表示します。

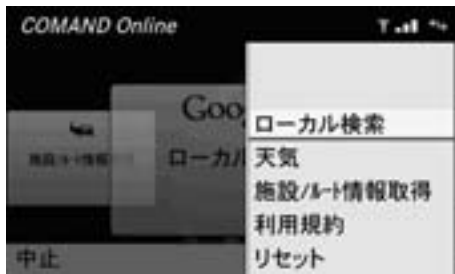
- ▶ **天気のメモリーから**：COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、情報チャートの **各地の天気** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

- ▶ **プリセット** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、項目のあるプリセット位置を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

情報チャートが表示され、天気情報を表示します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**COMAND Online** パネルを前面にし、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓**、まわして **【◎】**、**オプション** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。



オプションメニュー

ローカル検索のオプションを選択する

概要

ローカル検索で以下の機能を選択できます。

- 検索範囲
- サービスプロバイダー
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、オプションメニューの **ローカル検索** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

メニューは現在の設定を表示します。

オプション

はじめに

以下の COMAND Online サービスではオプションを選択できます。

- ローカル検索
- 天気表示
- 目的地のダウンロード

選択したオプションを初期設定にリセットすることができます。

オプションメニューを呼び出す

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑◎**、まわして **【◎】**、基本機能バーでアイコン **⚙** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

カラーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。



- ▶ **メニューを終了する：** COMAND コントローラーをまわして【◎】、**戻る**を選択し、押して 確定します。

検索範囲の設定

- ▶ 押して 確定、**検索範囲：**の項目を確定します。
 - は現在選択されている検索範囲を示します。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして【◎】、項目を選択し、押して 確定します。
選択された設定が承認されます。

サービスプロバイダーの選択

- ▶ COMAND コントローラーをまわして【◎】、**プロバイダー：**の項目を選択し、押して 確定します。
 - は現在選択されているサービスプロバイダーを示します。

① 項目が灰色で表示されている場合は、サービスプロバイダーを選択できません。

- ▶ 項目を選択し、押して 確定します。

選択されたサービスプロバイダーが承認されます。

検索照会の削除 / 保存

- ▶ COMAND コントローラーをまわして【◎】、項目の **検索履歴削除**を選択し、押して 確定します。

検索照会を削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

- ▶ **はい**または**いいえ**を選択して、押して 確定します。

はいを選択すると、検索照会が削除されます。

いいえを選択すると、処理が中止されます。

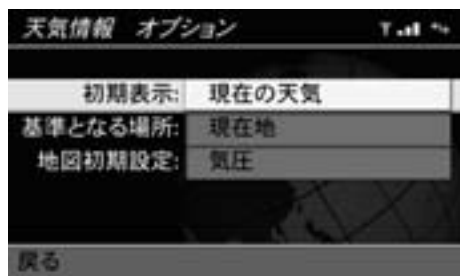
天気表示のオプションを選択する

概要

天気表示で以下の機能を調整できます。

- 初期設定の画面（例：現在の天気）
- 初期設定の場所（例：現在地）
- 地図表示の天気データ（例：気圧）
- ▶ COMAND コントローラーをまわして【◎】、オプションメニュー（▷188 ページ）の **天気**を選択し、押して 確定します。

メニューは現在の設定を表示します。



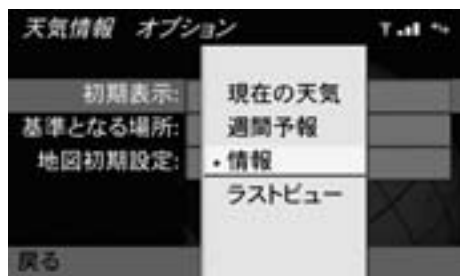
- ▶ **メニューを終了する**： COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**戻る**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

初期設定の画面の設定

天気図をオンにしたあと、呼び出す画面を指定できます (▶183 ページ)。

以下の設定をすることができます。

- 現在の天気
 - 週間予報
 - 情報
 - ラストビュー
- ▶ 押して **Ⓜ**、**現在の天気**：の項目を確定します。
- は現在選択されている初期設定の画面を示します。

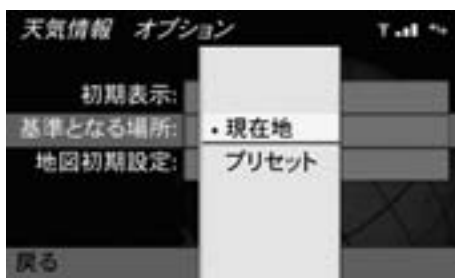


- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、項目を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- 選択された画面が承認されます。

初期設定の場所の設定

以下の設定をすることができます。

- 現在地
 - プリセット (プリセット位置がある場合のみ使用可能)
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**現在地** (▶190 ページ) を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- は現在選択されている初期設定の場所を示します。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、項目を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- 選択された場所が承認されます。

地図表示の天気データを選択する

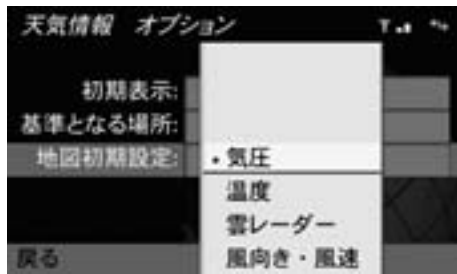
天気図に以下の天気データを表示することができます。

- 気圧
- 温度
- 雲レーダー
- 風向き・風速

地図表示それぞれに1つの特性を選択することができます。

- ①** 天気情報の使用可能状況は国によって異なります。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして【◎】、**地図初期設定** (▷190 ページ) を選択し、押して Ⓜ 確定します。
 - は現在選択されている機能を示します。



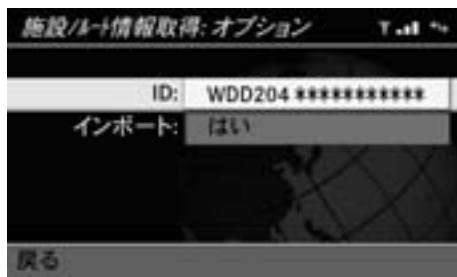
- ▶ 項目を選択し、押して Ⓜ 確定します。
選択された機能が承認されます。

目的地 / ルートのダウンロードのオプションを選択する

概要

以下の設定をすることができます。

- ダウンロード用 ID の指定
- インポートの種類の指定
- ▶ COMAND コントローラーをまわして【◎】、オプションメニューの**施設 / ルート情報取得** (▷188 ページ) を選択し、押して Ⓜ 確定します。
メニューは現在の設定を表示します。

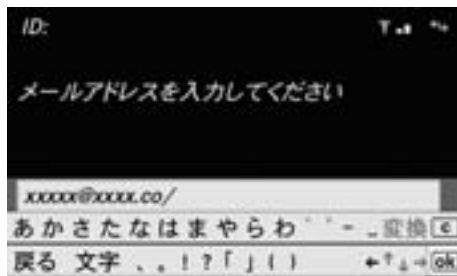


- ▶ **メニューを終了する**： COMAND コントローラーをまわして【◎】、**戻る**を選択し、押して Ⓜ 確定します。

ダウンロード用 ID を指定する

車台番号 (ID) と e-mail アドレスを入れ替えることができます。車台番号は通常入力されています。

- ▶ 押して Ⓜ、**ID:** の項目を確定します。
入力メニューが表示されます。



- ▶ e-mail アドレスを入力します。コントロールを使用して文字を入力するための説明は、" はじめに " (▷25 ページ) にある同じ名前の項にあります。
- ▶ 項目を入力したあと、**[OK]** を選択し、押して Ⓜ 確定します。

e-mail アドレスがメニューに入力されます。その後すぐに e-mail が e-mail アドレスに送信されます。48 時間以内にそれを確認すると、現在の ID を使用し続けられます。

- ▶ 設定を終了するには、メールボックスを確認して、e-mail のリンクに従います。

インポートの種類を指定する

インポートは自動と手動とを選択できます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**インポート** の項目を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
 - は現在の設定を示します。
- ▶ **はい (手動)** または **いいえ (自動)** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。設定が承認されます。

サーバーにインポートした後に施設を削除 / 保存する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**インポート** の項目を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
 - は現在の設定を示します。
- ▶ **はい** または **いいえ** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。設定が承認されます。

はい はサーバーにインポートした後に施設を削除します。

いいえ はサーバーにある施設を削除しません。

- i** ルートと目的地は 7 日後にサーバから自動的に削除されます。

調整をリセットする

リセット機能は COMAND Online のすべての設定を工場出荷時の設定にリセットします。リセット後、e-mail アドレスを再び作動させるまで、Google™ はルートと目的地のみを車台番号 (ID) に送信できます (▶ 191 ページ)。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑◎**、まわして **【◎】**、基本機能バーでアイコン **🌐** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。カラーセルビュー (マルチウインドウ) が表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**COMAND Online** パネルを前面にし、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓**、まわして **【◎】**、**オプション** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **リセット** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

本当にリセットするかどうかの確認メッセージが表示されます。

- ▶ **はい** または **いいえ** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。

はい を選択すると、設定がリセットされます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

- i** 個人の COMAND システムのデータ (▶ 45 ページ) をリセットしても COMAND Online の設定はリセットされません。同様に、COMAND Online の設定をリセットしても個人の COMAND システムのデータはリセットされません。

インターネット

全体的な注意事項

インターネットのページは走行中には表示できません。

ウェブサイト呼び出す

カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出す

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから $\uparrow$ 、まわして $\left\{ \begin{smallmatrix} \odot \\ \ominus \end{smallmatrix} \right\}$ 、基本機能バーでアイコン 地球儀 を選択し、押して 地球儀 確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。



ウェブのアドレスを入力する（オプション 1）、またはカルーセルビュー（マルチウインドウ）にあるアドレスを選択する（オプション 2）ことができます。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）にあるアドレスを選択するには、まずお気に入りを作成してください（▶199 ページ）。

オプション 1：ウェブのアドレスを入力する

文字バーまたはテンキーを使用してウェブのアドレスを入力することができます。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 地球儀 、まわして $\left\{ \begin{smallmatrix} \odot \\ \ominus \end{smallmatrix} \right\}$ 、www を選択し、押して 地球儀 確定します。

入力メニューが表示されます。



- ▶ **文字バーを使用して入力する：** 入力行にウェブのアドレスを入力します。

"はじめに"（▶25 ページ）にある文字入力に記載してあるように進めてください。

最初の文字を入力行に入力すると、リストがその下に表示されます。入力した文字で始まるウェブのアドレスと、呼び出されたウェブのアドレスがリストに表示されます。

初めて呼び出したときはリストは空欄です。



- ▶ **テンキーを使用して文字を入力する：** 素早くテンキーを押します。

キーを押すと文字が表示されます。最初に使用可能な文字が強調されます。

"はじめに" (▷25 ページ) にある文字入力に記載してあるように進めてください。

- ▶ ウェブのアドレスを入力して、COMAND コントローラーをスライドしてから **⊙**、まわして **⌂**、**[ok]** マークを選択し、押して **⊙** 確定します。

ウェブサイトが呼び出されます。

- ▶ **リストのウェブのアドレスを選択する**：文字バーを使用して、入力メニューで COMAND コントローラーをスライドします **⌂**。

リストが選択可能となります。



- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **⌂**、スライドして **⌂**、ウェブのアドレスを選択し、押して **⊙** 確定します。

ウェブのアドレスが入力行に入力されます。

- ▶ COMAND コントローラーを押します **⊙**。

ウェブサイトが呼び出されます。

オプション 2：お気に入りを選択する

この機能でカラーセルビュー（マルチウインドウ）に少なくとも 1 つのお気に入りを作成してください (▷199 ページ)。



- ▶ カラーセルビュー（マルチウインドウ）に COMAND コントローラーをまわすか **⌂**、スライドして **⌂** お気に入りを前面にし、押して **⊙** 確定します。

ウェブサイトが呼び出されます。

ウェブサイト进行操作する

概要

ステップ	機能
▶ コントローラーをまわす 【○】 。	選択できるリンク、文字欄または選択リストなどの一つの項目から次に操作し、ウェブサイトのそれぞれの項目を強調します。
コントローラーをスライドする。 ▶ 左右 ←○→ ▶ 上下 ↑○↓ ▶ 斜め ↖○↗	ページでポインターを動かします。
▶ コントローラーを押します ○ 。	メニューを呼び出す、または選択した項目を開きます。
▶ ⏮ スイッチを押す。	前のページを呼び出します。
▶ ⏭ スイッチを押す。	いくつか開いている場合は、インターネットのブラウザーまたは現在のウインドウを閉じます。

例

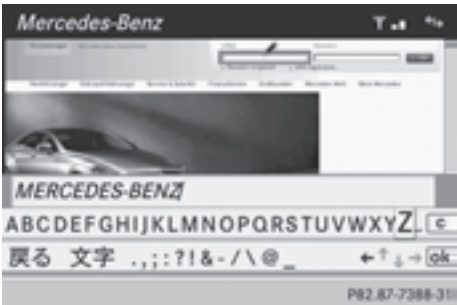
選択できる項目を強調する

- ▶ COMAND コントローラーをまわします **【○】**。
 下図のように、ボタンが強調されます。



文字を入力する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【○】**、入力行を選択し、押して **○** 確定します。
 文字バーが表示されます。



- ▶ 文字バーまたはテンキーを使用して文字を入力します。
- ▶ "はじめに"(>25 ページ)にある文字入力に記載してあるように進めてください。

- ▶ 文字が入力されたら、COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**OK** を選択し、押して **☺** 確定します。

文字が入力されます。



メニューの機能

メニューを呼び出す

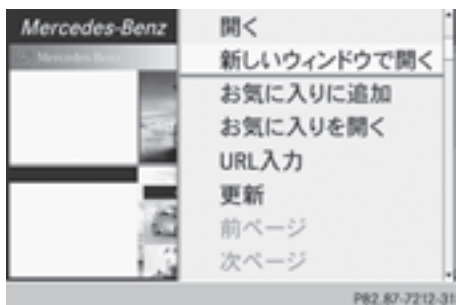
- ▶ **ショートカットを呼び出す**：COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、ページの選択可能な項目を強調して、押して **☺** 確定します。



- ▶ **メニュー全体を呼び出す**：ショートカットが表示されたら、COMAND コントローラーを下へスライドします **◎↓**。

または

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **↑◎↓**、**↓◎↑** または **【◎】**、ウェブサイトの空き領域を選択し、押して **☺** 確定します。



メニューの開始



メニューの終了

開く

ウェブサイトを選択可能な項目で開く。

- ▶ COMAND コントローラーを押して **☺**、**開く** を確定します。

新しいウィンドウを開く

新しいウィンドウでウェブサイトを開きます。同時に5つまでウィンドウを開くことができます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **【◎】**、スライドして **↑◎↓**、**新しいウィンドウで開く** を選択し、押して **☺** 確定します。

- ▶ **ウィンドウを選択する**： **ウィンドウ**を選択し、押して  確定します。
- ▶ **ページ選択**を選択し、押して  確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **【】**、スライドして **←→** カルーセルビュー（マルチウィンドウ）のウェブサイトを選択し、押して  確定します。

お気に入り追加

現在のウェブサイトをお気に入りに追加します。カルーセルビュー（マルチウィンドウ）を使用してウェブサイト呼び出すことができます。カルーセルビュー（マルチウィンドウ）に 20 件までお気に入りを保存できます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **【】**、スライドして **↑↓**、**お気に入り追加**を選択し、押して  確定します。

お気に入りに登録しましたというメッセージが表示されます。

お気に入りを開く

お気に入りを呼び出します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **【】**、スライドして **↑↓**、**お気に入り開く**を選択し、押して  確定します。

お気に入りがカルーセルビュー（マルチウィンドウ）に表示されます。

詳細については「お気に入り」(▷199 ページ) をご覧ください。

URL を入力する

ウェブのアドレス (URL) を入力できる入力メニューを開きます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **【】**、スライドして **↑↓**、**URL入力**を選択し、押して  確定します。
- ▶ ウェブのアドレス (URL) を入力します (▷193 ページ)。

再読み込み

ウェブサイトを再度読み込み、コンテンツを更新します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **【】**、スライドして **↑↓**、**更新**を選択し、押して  確定します。

前

前のウェブサイト呼び出します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **【】**、スライドして **↑↓**、**前ページ**を選択し、押して  確定します。

次

次のウェブサイト呼び出します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **【】**、スライドして **↑↓**、**次ページ**を選択し、押して  確定します。

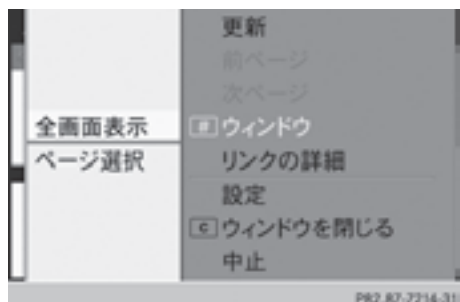
ウィンドウ

この機能を使用して以下のことができます。

- ディスプレイより大きいウェブサイトの選択ウィンドウの位置を決める
- 開いているウィンドウを選択する
- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **【】**、スライドして **↑↓**、**ウィンドウ**を選択し、押して  確定します。

または

- ▶ テンキーの **[#]** キーを押します。
- i** 通話をしている場合は、**[#]** キーは使用できません。



- ▶ **選択ウィンドウの位置を決める：** COMAND コントローラーを押して **⌂**、**全画面表示** を確定します。選択ウィンドウがウェブサイトに表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **⬅⌂➡**、**⬆⌂⬇** または **⬆⌂⬇**、ウェブサイトの選択ウィンドウの位置を決めます。
- ▶ COMAND コントローラーを押します **⌂**。選択された項目が拡大されます。
- ▶ **開いているウィンドウを表示し選択する：** COMAND コントローラーをまわすか **⌂**、スライドして **⬆⌂⬇**、**ページ選択** を選択し、押して **⌂** 確定します。

カルーセルビュー（マルチウィンドウ）が表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーを押します **⌂**。ウェブサイトが表示されます。

リンクの詳細

選択したリンク（URL）の完全なウェブのアドレスを表示します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **⌂**、スライドして **⬆⌂⬇**、**リンクの詳細** を選択し、押して **⌂** 確定します。ウェブのアドレス（URL）が表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーを押して **⌂** ディスプレイを閉じます。

設定

設定は別の項（▷201 ページ）に記載されています。

作動しているウィンドウを閉じる

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **⌂**、スライドして **⬆⌂⬇**、**ウィンドウを閉じる** を選択し、押して **⌂** 確定します。

または

- ▶ COMAND コントローラーの右側の **[c]** スイッチを押します。

- i** 通話をしている場合は、 スイッチは使用できません。

中止

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか 、スライドして  、**中止**を選択し、押して  確定します。

インターネットのブラウザが閉じます。他のウインドウが裏で開いている場合は、他の確認メッセージが表示されます。

お気に入り

はじめに

お気に入りはよく訪れるウェブサイトです。

カラーセルビュー(マルチウインドウ)に(オプション 1)または **お気に入りに追加**のメニュー項目を使用してメニュー (▶196 ページ) に(オプション 2) お気に入りを作成することができます。

カラーセルビュー(マルチウインドウ)にお気に入りを作成する前に、まずオンにしている接続を閉じてください (▶176 ページ)。

作成したお気に入りを選択して編集することができます。

お気に入りを作成する

オプション 1: カラーセルビュー (マルチウインドウ) に作成する

- ▶ カラーセルビュー(マルチウインドウ)を呼び出します (▶193 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをまわすか 、スライドして  、**お気に入りに作成**パネルを前面にします。



- ▶ COMAND コントローラーを押します 。
- 入力メニューが表示されます。



- ▶ 文字バーかテンキーのどちらかを使用してウェブのアドレス (URL) と名前を入力します。
- ▶ "はじめに" (▶25 ページ)にある文字入力に記載してあるように進めてください。
- ▶ アイコン  を選択し、押して  確定します。

お気に入りが作成されます。

オプション 2: お気に入りに追加する

- ▶ ウェブサイトが表示されたら、メニュー (▶196 ページ) を呼び出します。
- ▶ メニューで**お気に入りに追加**を選択し、押して  確定します。

お気に入りを選択する

- ▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出します（▶193 ページ）。
- ▶ COMAND コントローラーをまわすか【◎】、スライドして ➔◎➔、カルーセルビュー（マルチウインドウ）のお気に入りを選択し、押して ◎ 確定します。

お気に入りが開きます。

お気に入りを編集する

カルーセルビュー（マルチウインドウ）

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎➔、まわして【◎】、編集を選択し、押して ◎ 確定します。

入力メニューが表示されます。



- ▶ 文字バーかテンキーのどちらかを使用してウェブのアドレス（URL）と名前を入力します。
- ▶ "はじめに"（▶25 ページ）にある文字入力に記載してあるように進めてください。

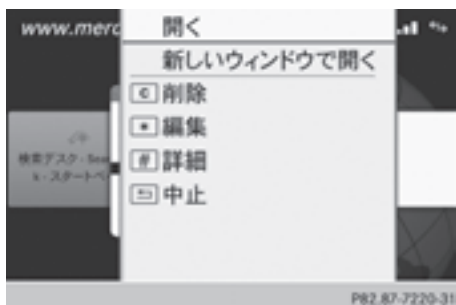
お気に入りメニュー

- ▶ COMAND コントローラーをまわして【◎】、メニュー（▶196 ページ）のお気に入りを開くを選択し、押して ◎ 確定します。

お気に入りが表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーを押します ◎。

お気に入りのメニューが表示されます。



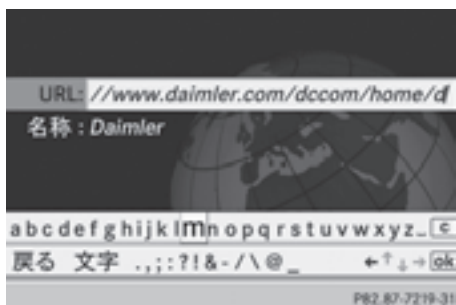
お気に入りのメニュー

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか【◎】、スライドして ➔◎➔、編集を選択し、押して ◎ 確定します。

または

- ▶ テンキーの [*] スイッチを押します。

入力メニューが表示されます。



- ▶ 文字バーかテンキーのどちらかを使用してウェブのアドレス（URL）と名前を入力します。
- ▶ "はじめに"（▶25 ページ）にある文字入力に記載してあるように進めてください。

お気に入りのメニューの他の機能

開く

現在のお気に入りを開きます。

- ▶ COMAND コントローラーを押して 、お気に入りメニュー (▷200 ページ) の **開く** を確定します。

新しいウィンドウを開く

新しいウィンドウで現在のお気に入りを開きます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか 、スライドして 、お気に入りメニュー (▷200 ページ) の **新しいウィンドウで開く** を選択し、押して  確定します。

詳細を呼び出す

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか 、スライドして 、お気に入りメニュー (▷200 ページ) の **詳細** を選択し、押して  確定します。

または

- ▶ テンキーの  スイッチを押します。
詳細表示が表示されます。

中止

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか 、スライドして 、お気に入りメニュー (▷200 ページ) の **中止** を選択し、押して  確定します。

または

- ▶ COMAND コントローラの左側の  スイッチを押します。
メニューが閉じます。

お気に入りを削除する

カルーセルビュー(マルチウィンドウ)

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、**削除** を選択し、押して  確定します。

削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

- ▶ **はい** を選択し、押して  確定します。

お気に入りが削除されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

お気に入りメニュー

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか 、スライドして 、お気に入りメニュー (▷200 ページ) の **削除** を選択し、押して  確定します。

または

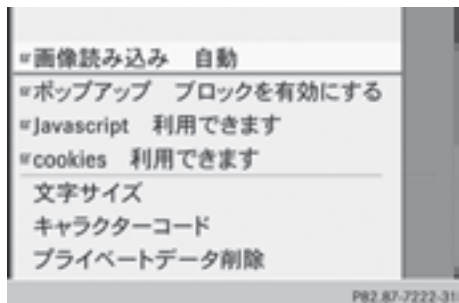
- ▶ COMAND コントローラーの右側の  スイッチを押します。
- ▶ **はい** を選択し、押して  確認します。

お気に入りが削除されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

設定

- ▶ メニューを呼び出します (▷196 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをまわすか 、スライドして 、**設定** を選択し、押して  確定します。



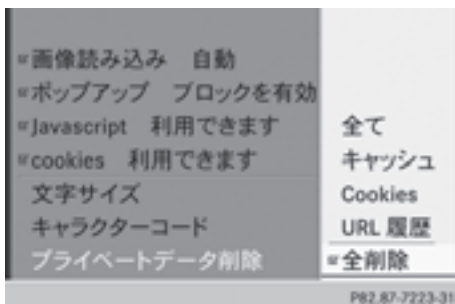
以下の設定をオン / オフにすることができます。

- **画像読み込み**
- たくさんの画像を含むウェブサイトのコンテンツを読み込むには時間がかかります。そのため、このオプションをオフにすると便利です。
- **ポップアップ ブロックを有効にする**
- ポップアップはウェブサイトを呼び出すとき、自動的に表示されるウィンドウ（通常は広告と一緒に）です。これらの表示をブロックすることができます。
- **JavaScript 利用できます**
- JavaScript はウェブサイトの動画コンテンツを表示し、双方向作用させることができます。
- **cookies 利用できます**
- ウェブサイトの中には、COMAND システムに小さなテキストファイル（cookies）で情報を保存するものがあります。cookies を保存するかどうか決めることができます。
- ▶ **COMAND コントローラーをまわして** **【☉】**、設定を選択し、押して **☑** 確定します。

設定をオン ☒ またはオフ ☐ に切り替えます。

他の設定をすることができます。

- **文字サイズ**
- ウェブサイトを表示するとき使用しているフォントのサイズを選択できます。
- **キャラクターコード**
- ウェブサイトの文字が文字化けして表示されるような場合は、この他の文字設定を選択することができます。
- **プライベートデータ削除**
- インターネット使用中のブラウザで保存されたデータを削除します。
- ❗ 設定を変えると、ウェブサイトが正しく表示されないことがあります。
- ▶ **COMAND コントローラーをまわすか** **【☉】**、スライドして **↑☉↓**、**プライベートデータ削除** を選択し、押して **☑** 確定します。
メニューが表示されます。
- ▶ **COMAND コントローラーで設定** を選択し、押して **☑** 確定します。
- ▶ **全削除** を選択し、押して **☑** 確定します。
メニューが表示されます。



オプション	機能
全て	すべてのプライベートデータを削除する
キャッシュ	一時記憶領域にあるデータを削除する。
Cookies	呼び出したウェブサイトによって作成された Cookies を削除する。
URL 履歴	おとすれたすべてのウェブサイト (パス) を削除する。
☒ 全削除	この機能がオン ☒ の場合、すべてのプライベートデータがインターネットブラウザを終了するときに削除されます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **【☉】**、スライドして **↑☉↓**、設定を選択し、押して **☑** 確定します。

項目の前にある **●** は設定がオンであることを示します。

または

- ▶ **全削除**を選択し、押して **☑** 確定します。
設定をオン ☒ またはオフ ☐ に切り替えます。

- i** これらの設定はCOMANDシステムをリセットすると削除されます (▷45 ページ)。

追加サービス

Facebook、またはストリートビューやパノラミオのような Google のサービスの追加サービスをここに呼び出すことができます。

- ▶ **Facebook を呼び出す**: COMAND コントローラーをスライドしてから、まわして、基本機能バーでアイコン **🌐** を選択し、押して確定します。

カルーセルビュー (マルチウインドウ) が表示されます。

- ▶ COMAND Online が前面にくるまで、COMAND コントローラーを回し、押して確定します。

COMAND Online のカルーセルビューが表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして、Facebook を選択し、押して確定します。

Facebook のホームページが表示されます。

- ▶ **Google のサービスを呼び出す**: Google ローカル検索を通して行なわれます (▷177 ページ)。

- i** Facebook はソーシャルネットワークのウェブサイトです。このアプリケーションは車両からログインし、Facebook の多くの機能を使用することができます。

Google™ ストリートビューは、360 度パノラマで通りを表示します。

Google™ パノラミオは、選択した位置での写真を含む、Google ローカル検索を発展させたものです。

COMAND システムの特徴	206
ラジオモード	206
音楽 CD/DVD オーディオ および MP3 モード	210
ミュージックサーチ	222
ミュージックレジスター	226
Bluetooth® オーディオの操作	232
メディアインターフェースモード	239
オーディオ AUX モード	244

COMAND システムの特徴

この取扱説明書はお買い上げいただいた時点で利用可能な、COMAND システムの標準装備やオプション装備すべてについて記載しています。国により、仕様が異なる場合があります。COMAND システムには、記載されているすべての機能が備わっていないことがあります。

ラジオモード

全般的な情報

- ① 車内に置かれた携帯型電子機器はラジオの受信品質を著しく損なうおそれがあります。
- ① ラジオの受信条件は、車内に設置されたラジオと一般家庭にあるラジオでは大きく異なります。これは、車両が移動することによりアンテナの位置が絶えず変化するためです。

ラジオモードに切り替える

オプション 1

- ▶ **AUDIO** 機能スイッチを押します。
前回終了時にラジオモードをオンにしていたときは、ラジオメニューが表示されます。そうでない場合は、オプション 2 を続けて行ないます。

オプション 2

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑**、**⊙** まわして **【⊙】**、基本機能バーで **オーディオ** を選択し、押して **⊙** 確定します。
前回選択していたモードがラジオモードであれば、ラジオモードが起動します。

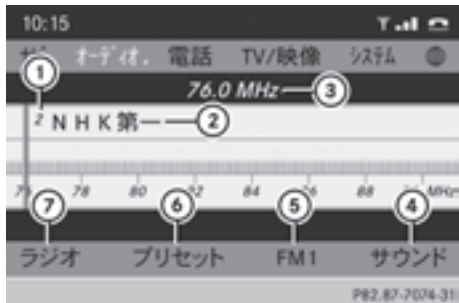
別のオーディオモードをオンにしていたときは、オーディオメニューでラジオモードに切り替えます。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **↑**、**⊙**、**オーディオ** を選択し、押して **⊙** 確定します。

オーディオのメニューが表示されます。



- ① 現在選択しているオーディオモード
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【⊙】**、**ラジオ** を選択し、押して **⊙** 確定します。



例：FM ラジオ画面

- ① 選択された放送局のプリセット番号
- ② 選択した放送局名
- ③ 選択された放送局の周波数
- ④ サウンド設定
- ⑤ 周波数バンドの切り替え
- ⑥ プリセット機能
- ⑦ 周波数の手動入力

周波数バンドを切り替える

ラジオの周波数バンドを FM (FM1、FM2) と AM (AM1、AM2) に切り替えられます。

例：FM ラジオ画面：

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **FM1** を選択し、押して **確定** します。
- ▶ メニューから希望する周波数バンドを選択し、押して **確定** します。項目の左にあるドット **●** は現在選択している周波数バンドを示しています。

放送局を選択する

全体的な注意事項

受信状態が悪い場合、COMAND システムはラジオ番組をステレオでは再生できないことがあります。

放送局サーチ機能を使用して放送局を選択する

オプション 1

- ▶ ラジオ画面の表示/選択ウィンドウがオンになっているときに、COMAND コントローラーをスライドして **←→** 保持します。

放送局サーチにより、周波数の上下方向に対してスキャンを行ない、次の放送局で停止します。

オプション 2

- ▶ **⏮** または **⏭** スイッチを押して保持します。

どちらの場合も、放送局サーチは次に受信可能な放送局を上下方向にサーチします。

- i** 2 つ目のオプションは、ナビゲーション作動時、電話機能作動時、またはシステム機能から放送局を設定するときに使用できます。

放送局プリセットにより放送局を選択する

- ▶ **プリセットされた放送局の直接選択**：COMAND コントローラーをスライドしてから **FM1** を選択し、押して **確定** します。

または

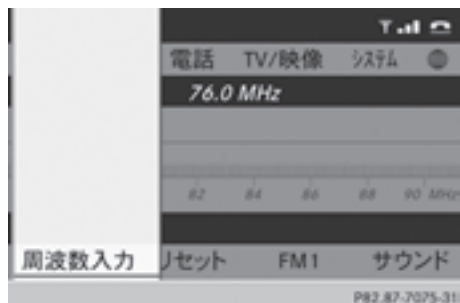
- ▶ 表示/選択ウィンドウがオンになっているときに、COMAND コントローラーを押します **確定**。

放送局プリセットメモリーが表示されます。現在選択しているプリセット放送局にドット ● が表示されます。

- ▶ まわす **【◎】** かスライドして **↑◎↓** 放送局を選択し、押して **◎** 確定します。または、2 などのテンキーを押します。

周波数を手動で入力して放送局を選択する

- ▶ **オプション 1** : **【*】** スイッチを押します。
- ▶ **オプション 2** : ラジオ画面で COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓** まわして **【◎】**、**ラジオ** を選択し、押して **◎** 確定します。



- ▶ **周波数入力** を選択し、押して **◎** 確定します。
選択したオプションに関わらず、入力メニューが表示されます。



- ▶ テンキーを使用して周波数を入力します。

COMAND システムは、入力された周波数に選局されます。

- ▶ **i** 受信可能な周波数以外の数字は入力できません。

放送局を記憶させる

手動で放送局を記憶させる

FM1/FM2 および AM1/AM2 にはそれぞれ 10 局まで放送局をプリセットできます。

- ▶ **クイック記憶** : 任意のテンキー (例: 2) を、ピッと音が鳴るまで押して保持します。

放送局が記憶されます。

- ▶ **プリセットされた放送局の直接選局** : 表示 / 選択ウィンドウがオンになっているときに、COMAND コントローラーを押します **◎**。

または

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓** まわして **【◎】**、**プリセット** を選択し、押して **◎** 確定します。

どちらの場合にも、放送局プリセットが表示されます。ドット ● は現在選択しているプリセット放送局を示しています。



放送局メモリー（例）

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか【**◎**】スライドして **↑◎↓**、プリセットを選択し、ピッと音が鳴るまで押して **◎** 保持します。

放送局がプリセットに記憶されます。

自動的に放送局を記憶する

この機能は十分な受信状態の放送局を自動でプリセットに記憶します。探索は最も低い周波数から開始します。COMANDシステムは最初に見つけた放送局をプリセット 1 に記憶します。この手順は、最も高い周波数に到達したとき、または 10 個の放送局が見つかったときに終了します。すでに記憶されている放送局のプリセットはすべて消去されます。記憶の際にCOMANDシステムがすべてのメモリスロットを占有することはありません。

- ▶ **オプション 1**: 表示 / 選択ウィンドウがオンになっているときに、COMAND コントローラーを押します **◎**。

放送局プリセットメモリーが表示されます。

- ▶ **オプション 2**: COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓** まわして【**◎**】、**プリセット** を選択し、押して **◎** 確定します。

放送局プリセットメモリーが表示されます。

- ▶ オプションに関係なく、**オートプリセット** を選択して、押して **◎** 確定します。

どちらの場合にも、COMAND システムが受信可能な放送局をサーチします。この結果に関するメッセージが表示されます。受信可能な放送局は自動的にプリセット位置に記憶されます。

- ▶ **記憶を中止する**: **中止** を選択して、押して **◎** 確定します。

交通情報（AM ラジオ）

交通情報の放送局を選択する

COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓** まわして【**◎**】、**交通情報** を選択し、押して **◎** 確定します。



1620 kHz または 1629 kHz の周波数で交通情報を選択できます。COMANDシステムは受信感度に応じて 1620 kHz か 1629 kHz を自動選局します。

交通情報は、それぞれの地域の道路管理者や所轄の警察署が放送しているため、受信範囲外での受信はできません。

放送地域については、道路上の標識などで知ることができます。

AM ラジオ画面に戻る

- ▶ 押して 、**AMに戻る** を確定します。



サウンド設定

FM ラジオや AM ラジオでは、サウンドを調整できます (▶29 ページ)。

音楽 CD/DVD オーディオおよび MP3 モード

重要な安全上の注意

警告

COMAND システムはクラス 1 のレーザー製品に区分されています。ケースを開けないでください。ケースを開けたり、あるいはケースが故障または損傷している場合には、目に見えないレーザー放射に晒されるおそれがあります。これによりお客様や他の方が目にけがをすることがあります。

COMAND システムには、お客様が整備できるような部品は含まれていません。安全上の理由から、すべてのメンテナンス作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

警告

以下の操作は、車両が停止しているときにのみ行なってください。

- ディスクの読み込み
- ディスクの取り出し

走行中にこれらを行なうと、交通状況や路面に対する注意が散漫になるおそれがあります。

CD/DVD の挿入と取り出し

注意

CD / DVD に印刷されている面があるときは、この面を上に向けてください。どちらの面にも印刷されていない場合は、再生する面を下に向けて挿入してください。コピープロテクトされている CD/DVD は、システムで再生できない場合があります。

- i** メディアに音楽ファイル以外の別のファイルが含まれている場合は、最初のトラックの再生が開始するまで少し時間がかかることがあります。

挿入

- ▶ 排出スイッチを押します。
すでに挿入されているディスクがあれば、排出されます。
- ▶ スロットからディスクを取り出します。
- ▶ ディスクをスロットに挿入します。
ディスクが正しく挿入され、再生可能なディスクタイプであれば、ディスクは引き込まれ、再生が開始されます。

取り出し

- ▶ 排出スイッチを押します。

- ▶ スロットからディスクを取り出します。

スロットからディスクを取り出さない場合は、しばらくしてから COMAND システムがディスクを自動的に引き込んで再読み込みします。

SD メモリーカードの挿入と排出

全般的な情報

COMAND システムは、SD メモリーカード (Secure Digital) と SDHC メモリーカード (Secure Digital High Capacity) をサポートしています。

- ❶ 市販されているすべてのメモリーカードが、車内で到達する可能性のある温度に耐えられるように設計されているとは限りません。

高温で損傷するおそれがあるため、SD メモリーカードを使用しなくなったら COMAND システムから取り外すようにしてください。

数多くの SD メモリーカードが市販されているため、すべての SD メモリーカードの再生については保証致しかねます。

読み取り可能な記憶容量は、使用するメモリーカードによります。さらに詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

SD メモリーカードを挿入する

- ▶ 所定の位置に固定されるまで、メモリーカードをスロットに挿入します。読み取り面を下にしてスロット内に差し込みます。

COMAND システムがメモリーカードを読み取り、再生を開始します。メモリーカードモードでは、

MP3 ファイルが見つからない場合は、その結果がメッセージに表示されます。

SD メモリーカードを排出する

- ▶ メモリーカードを押します。
メモリーカードが排出されます。
- ▶ 位置 ⑫ のスロット (▷18 ページ) からメモリーカードを取り出します。

USB 機器を接続する

USB ポートは、センターコンソールの小物入れ内にあります。

この接続における電力消費は直流で 500 mA を超えないようにしてください。電力消費がこれより大きい場合は、別の電源 (12 V 電源など) で USB 機器に給電してください。

- ▶ USB 機器 (USB スティックなど) を USB ポートに接続します。

音楽 CD/DVD オーディオまたは MP3 モードに切り替える

オプション 1

- ▶ CD/DVD (▷210 ページ)、SD メモリーカードを挿入するか (▷211 ページ)、USB 機器を接続します (▷211 ページ)。

COMAND システムが挿入されたメディアを読み取って、再生を開始します。

オプション 2

- ▶ **AUDIO** 機能スイッチを押します。
前回 CD/DVD オーディオ /MP3 モードが選択されていた場合、このモードが再び作動します。

そうでない場合は、オーディオメニューから呼び出すことができます（オプション 3）。

オプション 3

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑** **○** まわして **【○】**、基本機能バーで **オーディオ** を選択し、押して **○** 確定します。

最後に作動していたオーディオソースがオンになります。

オーディオメニューを使用して、他のオーディオソースをオンにできます。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑** **○** まわして **【○】**、**オーディオ** を選択し、押して **○** 確定します。

オーディオメニューが表示されます。

- ▶ ディスク、メモリーカード、ミュージックレジスター、USB メモリーまたは **メディアインターフェース** を選択し、押して **○** 確定します。

希望のオーディオソースに切り替わります。

表示例：音楽 CD モード



- ① CD ジャケット(表示可能な場合)
- ② 経過時間

- ③ トラック番号とトラック名表示 (CD テキストとしてディスクに記録されているか、Gracenote® のデータが利用できる場合のみ)
- ④ 経過時間のグラフ表示
- ⑤ ディスクタイプ、メディアリスト内のディスクの位置、およびディスク名 (CD テキストとしてディスクに記録されているか、Gracenote® のデータが利用できる場合のみ)
- ⑥ アーティスト名 (CD テキストとしてディスクに記録されているか、Gracenote® のデータが利用できる場合のみ)
- ⑦ 録音機能 (REC) 付き CD モードメニュー

表示例：DVD オーディオモード



- ① ジャケット (表示可能な場合)
- ② 経過時間
- ③ トラック番号
- ④ 経過時間のグラフ表示
- ⑤ ディスクタイプ、メディアリスト内のディスクの位置、ディスク名 (ディスクに記録されている場合のみ)
- ⑥ DVD オーディオモードメニュー

表示例：MP3 モード



- ① ジャケット（表示可能な場合）
- ② 経過時間
- ③ トラック番号とトラック名
- ④ 経過時間のグラフ表示
- ⑤ メディアタイプ、メディアリスト内のメディアの位置、現在のフォルダ
- ⑥ アーティスト名（表示可能な場合）
- ⑦ MP3 モードメニュー

画面表示例：ジャケットが使用できない場合



CD/DVD オーディオ /MP3 CD (左)、SD メモリーカード (中央)、USB スティック (右) などのデータメディア

一時停止機能

音楽 CD/DVD オーディオおよび MP3 モードのとき

- ▶ **再生を一時停止する：** [⏸] スイッチを軽く押します。
ステータスバーの左上に ⏸ マークが表示されます。
- ▶ **再生を続ける：** [⏸] スイッチを再び軽く押します。
⏸ マークが消えます。

DVD オーディオモードのとき

- ▶ **再生を一時停止する：**DVD オーディオモードに切り替えます (▷211 ページ)。
- ▶ **COMAND コントローラーをスライドしてから** ⏪ まわして [⏸]、[⏸] を選択し、押して ⏹ 確定します。
[⏸] が [▶] に変わります。
- ▶ **再生を続ける：** [▶] を選択し、押して ⏹ 確定します。
再生が中断された場所から再生されます。[▶] が [⏸] に変わります。

停止機能

この操作は DVD オーディオモードのときのみ有効です。

- ▶ **DVD オーディオモードに切り替えます** (▷211 ページ)。
- ▶ **再生を中断する：**COMAND コントローラーをスライドしてから ⏪ まわして [⏸]、[■] を選択し、押して ⏹ 確定します。
[⏸] が [▶] に変わります。[■] は強調されたままです。

- ▶ **再生を続ける**：  を選択し、押して  確定します。

再生が中断された場所から再生されます。

- ▶ **再生を中止する**： 再生が中断されるときに、 を再び選択して、押して  確定します。

または

- ▶  を選択し、素早く 2 回続けて押して  確定します。

 が強調されます。

- ▶ **再生を再開する**：  を選択し、押して  確定します。

DVD の最初から再生が開始されます。

CD/DVD オーディオ /MP3 ディスクを選択する

メディアリストから選択する

- ▶ **CD/DVD オーディオおよび MP3 モードのとき**： COMAND コントローラーをスライドするか  かわして 、**メディア** を選択し、押して  確定します。

メディアリストが表示されます。ドット ● は現在の再生メディアを示しています。



メディアリスト

メディアリストは現在利用可能なディスクを表示します。

- ① ディスクが読み取れない場合、対応するマガジントレーの隣に項目が表示されます。

メディアリスト内でのポジション

シングル DVD ドライブ、ポジション 1：読み込み可能なデータメディアは、音楽 CD、MP3 CD、MP3 DVD、DVD オーディオ、および DVD ビデオ。

メモリーカード、ポジション 2

ミュージックレジスター、ポジション 3

USB 機器、ポジション 4

メディアインターフェース、ポジション 5

Bluetooth® オーディオ、ポジション 6

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、データメディアを選択し、押して  確定します。

- ① DVD ビデオを選択すれば、システムは DVD ビデオモードに切り替わります。(▷259 ページ)

テンキーを使用してメディアを選択する

- ▶ 表示/選択ウインドウがオンになっているときに、**[4 GHI]**などのテンキーを押します。

メディアリストの対応するポジションにあるメディアが読み込まれ、再生されます。

トラックを選択する

トラックをスキップして選択する

- ▶ **トラックを次または前にスキップする**：表示/選択ウインドウがオンになっているときに、COMAND コントローラーをまわします **[⊙]**。

または

- ▶ **[⏮]** または **[⏭]** スイッチを押します。

次へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。

前へスキップ機能を使用すると、現在のトラックが 8 秒以上再生されていた場合、トラックの最初にスキップします。現在のトラックが再生されていた時間が 8 秒未満であった場合、前のトラックの最初にスキップします。

再生オプションの**ランダム (曲)** または **ランダム (音楽メディア)** を選択している場合は、トラックの再生は順不同になります。

- ▶ **マルチファンクションステアリングによる操作**：COMAND システムを音楽 CD、DVD オーディオ、またはMP3モードに切り替えます (▶211 ページ)。

- ▶ **[◀]** または **[▶]** を押して、**オーディオ** メニューを選択します。



シングル DVD ドライブの表示 (例)

① トラックの表示

- ▶ **[▲]** または **[▼]** を軽く押します。
- ▶ 希望のトラックになるまで、**[▲]** または **[▼]** スイッチを押して保持します。

[▲] または **[▼]** スイッチを押して保持すると、リストの表示速度が速くなります。すべてのオーディオ機器やメディアがこの機能をサポートしているわけではありません。

オーディオ機器またはメディアにトラック情報が記録されている場合には、マルチファンクションディスプレイにトラック番号とトラック名が表示されます。

テンキーを使用してトラックを選択する

- ▶ テンキーの **[*]** スイッチを押します。

数字の入力欄が表示されます。与えられた位置の番号は、CD/DVD のトラック番号に対応します。CD/DVD のトラック番号対応する番号のみが入力できます。

- ▶ テンキーを使用して、希望するトラック番号を入力します。

可能な番号が最後に入力されるとトラックが再生されます。

- ① テンキーを2秒以上押して保持すると入力が終わり、対応するトラックが再生されます。

ミュージックサーチによりトラックを選択する

ミュージックサーチ機能で、カテゴリー（アルバム、アーティストなど）別に音楽を選択します。

カテゴリーを選択すると、以下の条件が満たされている場合にCOMANDシステムがトラック情報をサーチします。

- データメディアが挿入されている、または接続されている場合
- それらのデータメディアからのトラック情報が COMAND システムのミュージックデータベースに登録されていない場合

COMANDシステムは以下のデータメディアからトラック情報をインポートします。

- ディスク（音楽 CD/DVD/MP3）
- メモリーカード
- ミュージックレジスター
- USB 機器

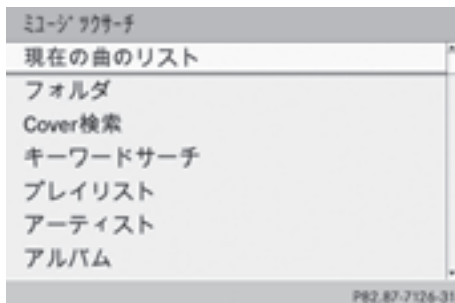
サーチが完了すると、**全ての曲情報の取得が完了しました** というメッセージが表示されます。COMAND システムは音楽データを内蔵データベースに保存します。希望のカテゴリー内で利用できる音楽データを選択できます。

ミュージックサーチの詳細情報は、"ミュージックサーチ" に説明されています（▶222 ページ）。

- ▶ 音楽 CD/DVD オーディオモード / MP3 モードで、COMAND コントローラーをスライドしてから **⊙** ↓

まわして **【⊙】**、**ミュージックサーチ** を選択し、押して **⊙** 確定します。

カテゴリーリストが表示されます。



- ▶ **現在の曲のリスト**、**フォルダ** またはカテゴリーを選択し、押して **⊙** 確定します。



現在の曲のリスト（例）

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【⊙】**、トラックを選択し、押して **⊙** 確定します。

基本画面が表示され、トラックが再生されます。

早送り / 早戻し

- ▶ 表示/選択ウィンドウがオンになっているときに、希望の位置にくるまで、COMAND コントローラーをスライドして **↶⊙↷** 保持します。

または

- ▶ 希望の位置にくるまで、**[◀◀]** または **[▶▶]** スイッチを押して保持します。

Gracenote Media Database

ご使用の前に

この機能は音楽 CD モードのときのみ有効です。

COMAND システムのハードディスクには Gracenote® 音楽認識テクノロジー (エメリービル、カリフォルニア、米国) のバージョンが収録されています。これは、オーディオ画面の右下隅に表示されるロゴによって、確認することができます。



多くの音楽 CD には CD テキストが含まれています。COMAND システムはそこに含まれている情報を使用して、アーティスト、アルバム、およびトラック名を表示します。

音楽 CD モードでは、音楽 CD になんらかの CD テキスト情報が含まれていない場合、COMAND システムは Gracenote Media Database を使用して、不明のオーディオトラックを識別することができます。これは、関連する情報が Gracenote Media Database に記録されていて、かつ

“Gracenote Media Database” 機能が有効になっている場合にのみ可能です。

この場合には、COMAND システムはアーティスト、アルバム、およびトラック名などの該当するデータを関連する画面およびリストに表示します。

音楽 CD を読み取るときに COMAND システムが Gracenote Media Database にアクセスすると、CD 基本メニューに [Results provided by Gracenote](#) と表示されます。

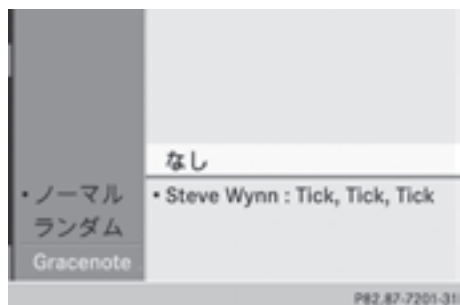
表示する Gracenote® データを選択する

特定のアーティストの CD に複数の項目がある場合、どの項目を表示するかを選択できます。

挿入した CD に Gracenote® データがない場合、メニュー項目 [Gracenote メディア データベース](#) が灰色で表示され、選択できません。

- ▶ 音楽 CD モードに切り替えます (▷211 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓** まわして **【◎】**、**CD** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、[Gracenote メディア データベース](#) を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

メニューが表示されます。



ドット ● は画面の現在の選択を示しています。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【●】**、項目を選択し、押して **●** 確定します。

Gracenote® データの表示のオン / オフを切り替える

- ▶ 音楽 CD モードに切り替えます (▶211 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **●**、まわして **【●】**、**CD** を選択し、押して **●** 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【●】**、**Gracenote メディア データベース** を選択し、押して **●** 確定します。
- ▶ **表示をオフにする**：**なし** を選択して、押して **●** 確定します。

基本画面 (▶212 ページ) では、Gracenote® データの代わりに、例えば**トラック 1**、**トラック 2** などと表示されます。

- ▶ **表示をオンにする**：COMAND コントローラーをまわして **【●】**。メニューの項目を選択し、押して **●** 確定します。

Gracenote® 音楽認識テクノロジー および Gracenote Media Database を更新する

新しいCDが発売されると、Gracenote Media Databaseのデジタルデータが古くなります。Gracenote® 音楽認識テクノロジーを更新することによって最適な機能が発揮されます。新しいバージョンの情報については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

音楽認識ソフトウェアは DVD によって更新したり、お客様自身でも更新することができます。

- i** Gracenote Media Databaseはナビゲーションシステムのデジタル地図と一緒に更新されます。

トラックとアルバムを表示する

- ▶ **【#】** スイッチを押します。
現在のトラックとアルバムがウィンドウに表示されます。

曲情報を表示する (MP3 モード)

情報がシステムに入力されている場合、再生中に COMAND システムはアルバム名とアーティスト (曲情報) を表示することもできます。

MP3 データを含むメディアすべて (MP3 CD、SD メモリーカード、ミュージックレジスターなど) について、以下の決定ができます。

- エンコードされた音楽データのタグに含まれる曲情報を表示する。
- 再生中にファイル名とディレクトリ名を表示する
- ▶ **アルバムおよびアーティスト名を表示する**：基本画面で COMAND コントローラーをスライドしてか

ら まわして **【】**、**MP3** または **USB** を選択し、押して 確定します。

- ▶ **曲情報表示** を選択して、押して 確定します。

グループを選択する

DVD オーディオのコンテンツは 9 つのグループに分けることができます。グループの使用可能状況とタイプは、それぞれの DVD によります。

グループにはさまざまな音質(例えば、ステレオおよびマルチチャンネルフォーマット)の音楽、またはボーナストラックを含めることができます。

各グループには最大 99 個までのトラックを収録することができます。

DVD オーディオに含まれるオーディオフォーマットが 1 つだけの場合、メニュー項目の **グループ** は選択できません。

- ▶ DVD オーディオモードに切り替えます (▶211 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから まわして **【】**、**DVD-A** を選択し、押して 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【】**、**グループ** を選択し、押して 確定します。
ドット ● は現在選択されているグループを示します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【】**、希望するグループを選択し、押して 確定します。

- ▶ **メニューを終了する**： COMAND コントローラーをスライドするか 、リターンスイッチ を押します。

アクティブパーティションを選択する (USB 機器のみ)

機器にパーティションが設定されているとき、USB 機器用にこの機能を選択できます。最大 9 つのパーティション (プライマリーまたはロジカル ; FAT および FAT32 フォーマット) をサポートしています。

- ▶ 基本画面で COMAND コントローラーをスライドしてから まわして **【】**、**MP3** を選択し、押して 確定します。
- ▶ **パーティション選択** を選択し、押して 確定します。

再生オプション

以下の再生オプションが利用できます。

- **ノーマル**
- トラックは通常の順番で再生されます (例：トラック 1、2、3...)。
- MP3 モードでは、トラックの順番は、トラックが作成されたとき、それがMP3データ記憶媒体に書き込まれた順番で決まります。通常はアルファベット順です。フォルダ内の全トラックが再生されると、次のフォルダのトラックが再生されます。
- **ランダム (音楽メディア)**
- メディアの全トラックが順不同に再生されます (例えば、トラック 3、8、5、...)。

- ランダム (曲)
- 音楽 CD/DVD オーディオでは、トラックが順不同に再生されます。MP3 モードでは、現在のプレイリストまたは現在作動しているフォルダ (すべてのサブフォルダを含む) のトラックが順不同に再生されます。

▶ **オプションを選択する**：音楽 CD/DVD オーディオまたは MP3 モードに切り替えます (▶211 ページ)。

▶ **COMAND コントローラーをスライドしてから**  **まわして** 、**CD**、**DVD-A** または **MP3** を選択し、押して  確定します。

オプションリストが表示されます。ドット ● は選択されたオプションを示します。

▶ **COMAND コントローラーをまわして** 、オプションを選択し、押して  確定します。

オプションが有効になります。“ノーマル”以外のすべての再生オプションは、表示 / 選択ウィンドウに、該当する表示が表示されます。音楽 CD モードの表示例を参照してください (▶212 ページ)。

- i** “ノーマル”再生オプションは、現在再生しているメディアを変更したとき、または別のメディアを選択した場合に、自動的に選択されます。オプションを選択すると、COMAND システムをオンまたはオフにした後でも、選択状態が維持されます。

MP3 モードに関する注意

全体的な注意事項

MP3 データの容量とフォーマットによっては、データを読み込むのに必要な時間が長くなることがあります。

再生可能なディスク

- CD-R および CD-RW
- DVD-R および DVD-RW
- DVD+R および DVD+RW
- SD メモリーカード
- USB 機器

再生可能なファイルシステム

- ISO 9660/Joliet (CD)
- UDF (DVD オーディオ / DVD ビデオ)
- FAT16 または FAT32 (SD メモリーカードと USB 機器)

マルチセッション CD

マルチセッション CD では、最初のセッションの内容によって、COMAND システムが CD を再生する方法が決まります。COMAND システムが再生するのは 1 つのセッションのみで、音楽 CD セッションに優先順位が与えられています。

できれば、1 つのセッションだけが記録された CD だけを COMAND システムに使用するようにしてください。

データ記憶媒体のファイル構造

圧縮された音楽ファイルでディスクを作成するとき、トラックはフォルダ内に格納することができます。フォルダにはサブフォルダが含まれることもあります。ディスクには最大 255 のフォルダを含めることができます。各フォルダには、最大 255 のトラックおよび 255 のサブフォルダを含めることができます。

ディスクに作成できるディレクトリの階層は 8 階層までです。8 階層より深いディレクトリにあるファイルはシステムから認識されません。

トラックおよびファイル名

圧縮された音楽ファイルでディスクを作成するとき、トラックおよびフォルダに名前を割り当てることができます。

COMANDシステムはこれらの名前を表示のために使用します。COMANDシステムは、MP3またはWMAトラック以外のデータを含むフォルダは表示しません。

MP3 または WMA ファイルがルートディレクトリに保存されている場合、ルートディレクトリもフォルダとして認識されます。この場合、COMANDシステムは、ルートディレクトリ名をフォルダ名として表示します。

トラック名を割り当てるときは以下の点に注意してください。

- トラック名は少なくとも 1 つの文字を持っていなければなりません。
- トラック名は“mp3”または“wma”という拡張子を持っていなければなりません。
- トラック名と拡張子の間にはピリオドがなければなりません。
- 正しいトラック名の例：“トラック 1.mp3”。

再生可能なフォーマット

COMAND システムは以下のフォーマットをサポートしています。

- MPEG1 Audio Layer 3 (MP3)
- コピープロテクトのない Microsoft Windows Media Audio V8 および V9 (WMA)
- ファイル拡張子が .aac, .mp4, .m4a および .m4b の AAC フォーマットのその他のファイル。ただし、拡張子

が .m4p のコピープロテクトされた iTunes ミュージックファイルは除きます。

- ① MP3 ファイルに加えて、これらのオーディオフォーマット以外の音楽ファイルがディスクに記録されている場合、最初のファイルが再生されるまでに少し時間がかかることがあります。

- ① MP3 音楽エンコード方式は Fraunhofer IIS (Institut Integrierte Schaltungen Institute for Integrated Circuits) と Thomson のライセンスで保護されています。

再生可能なビットレートおよびサンプリングレート

COMANDシステムは以下のタイプの MP3 ファイルをサポートしています。

- 固定および可変ビットレート (32 kbps ~ 320 kbps)
- サンプリングレート (8 kHz ~ 48 kHz)

COMANDシステムは以下のタイプの WMA ファイルをサポートしています。

- 固定ビットレート (5 kbps ~ 384 kbps)
- サンプリングレート (8 kHz ~ 48 kHz)

COMANDシステムは以下のタイプの WMA ファイルはサポートしていません。

- DRM (デジタル著作権管理) 暗号化ファイル
- 可変ビットレート
- WMP Pro
- 5.1 サラウンド

i 必ず 128 kbps 以上のビットレートおよび 44.1 kHz 以上のサンプリングレートのトラックを使用してください。レートがそれより低いと、十分な音質が得られません。サウンド機能を使用しているときは特に顕著になります。

著作権に関する注意

MP3 または WMA トラックの作成または再生に関しては、適用される国際法や国内法によって著作権が保護されています。

多くの国では、個人で楽しむ場合でも著作権者に無断で複製することは禁じられています。

適用される著作権法について理解を深め、それらを遵守するようにしてください。

お客様が自分で作曲したり録音して著作権をお客様が所有している場合、または著作権者から許可が与えられた場合には、上記の制約事項は適用されません。

CD/DVD に関する注意

コピープロテクトの付いたディスクは音楽 CD 標準規格に準拠していないため、COMAND システムで再生できない場合があります。

コピーされたディスクを再生する場合は、再生の問題に直面することがあります。広範なデータキャリアやディスクライティングソフトを使用することができます。この多様性のため、お客様自身でコピーしたディスクの再生については保証できません。

ご自身でコピーした 700 MB 以上の記憶容量の CD を再生する場合、問題が生じることがあります。このタイプの CD は、現在適用されている標準規格には適合していません。

i 多くの DVD オーディオディスクでは、最後のトラックに音楽が含まれていないと、COMAND システムは次のアルバムのトラック再生に切り替わります。これは正常なシステム動作であり、故障を示すものではありません。

! ディスクにシールやラベルを貼らないでください。剥がれて、ドライブが損傷するおそれがあります。

ドライブは EN60908 規格に準拠するディスクを収容できるように設計されています。そのため、厚さが最大で 1.3 mm までのディスクのみ使用できます。

それより厚みのあるディスク、例えば両面にデータが記録されているディスク（片面に DVD、もう片面にオーディオデータなど）を挿入すると、取り出すことができなくなり、ドライブを損傷するおそれがあります。

8 cm 径のディスクはアダプタを装着しても使用しないでください。12 cm 径の円形ディスクのみを使用してください。

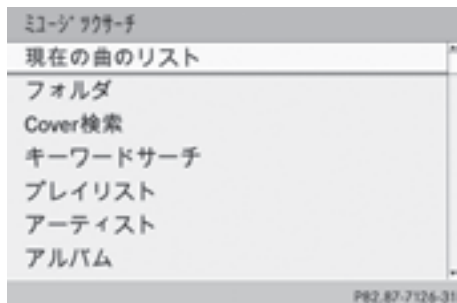
i COMAND システムは、マルチチャンネルオーディオフォーマットの音楽 CD を再生することができます。

ミュージックサーチ

カテゴリーリストを呼び出す

- ▶ オーディオソースをオンにして、MP3 モードなどの基本画面を呼び出します (▶211 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **⊙** まわして **【⊙】**、**ミュージックサーチ** を選択し、押して **⊙** 確定します。

カテゴリーリストが表示されます。



カテゴリリスト

カテゴリは利用できるデータに応じて表示されます。[現在の曲のリスト](#)、[フォルダ](#) (表示可能な場合) および [写真](#) (表示可能な場合) のカテゴリは、割り当て済みです。他の利用可能なカテゴリは、ミュージックサーチにより設定されます。

カテゴリを選択する

ミュージックサーチを開始する

ミュージックサーチ機能で、カテゴリ (アルバム、アーティストなど) 別に音楽を選択します。

カテゴリを選択すると、以下の条件のときにCOMANDシステムがミュージックサーチを開始します。

- データメディアが挿入されているか接続されている場合。
- それらのデータメディアの音楽トラックが COMAND システムの音楽データベースにまだ入っていない場合。

COMANDシステムは以下のデータメディアから音楽トラックを読み取ります。

- ディスク (音楽 CD/DVD/MP3)
- メモリーカード
- ミュージックレジスター

- USB 機器

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、カテゴリリストのカテゴリを選択し、押して **◎** 確定します。

[データを読み込み中です ...](#) というメッセージが表示されます。サーチには、利用可能なトラックの数によって時間がかかることがあります。



サーチが完了すると、[全ての曲情報の取得が完了しました。](#) というメッセージが表示されます。前回作動していたオーディオソースで再生が開始されます。

- ▶ **ミュージックサーチを中止する** : 押して **◎**、**中止** を確定します。

アーティストを選択する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、カテゴリリストで [アーティスト](#) を選択し、押して **◎** 確定します。

選択可能なアーティストがアルファベット順に表示されます。

アルバムを選択する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、カテゴリリストの [アルバム](#) を選択し、押して **◎** 確定します。

選択可能なアルバムがアルファベット順に表示されます。アルバムに利用可能なジャケットがある場合、アルバム名の前に表示されます。



トラックを選択する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、カテゴリーリスト (▷222 ページ) で **曲** を選択し、押して **◎** 確定します。

選択可能なトラックが表示されます。



- ▶ トラックを選択して、押して **◎** 確定します。
音楽再生が開始されます。

リリース年を選択する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、カテゴリーリスト (▷222 ページ) で **リリースされた年** を選択し、押して **◎** 確定します。



- ▶ 項目を選択し、押して **◎** 確定します。
ジャンルリストが表示されます。
- ▶ ポップスなどのジャンルを選択して、押して **◎** 確定します。
トラックリストが表示されます。
- ▶ トラックを選択して、押して **◎** 確定します。
音楽再生が開始されます。

作曲者を選択する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、カテゴリーリストで **作曲者** を選択し、押して **◎** 確定します。

選択可能なアーティストがアルファベット順に表示されます。

音楽ジャンルを選択する

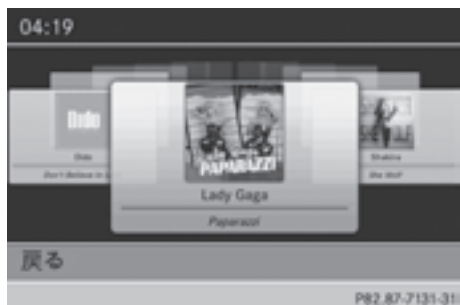
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、カテゴリーリストで **ジャンル** を選択し、押して **◎** 確定します。

選択可能な音楽ジャンルがアルファベット順に表示されます。

ジャケットを選択する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、カテゴリーリスト (▷222 ページ) で **Cover 検索** を選択し、押して **◎** 確定します。

選択可能なジャケットがアーティストのアルファベット順に表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、希望するジャケットを選択し、押して **◎** 確定します。
- 対応するアルバムが再生されます。

キーワードサーチによる選択

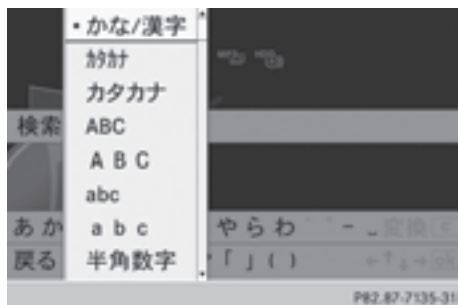
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、カテゴリーリスト (▷222 ページ) で **キーワードサーチ** を選択し、押して **◎** 確定します。

入力メニューが表示されます。



- ▶ **文字バーで使用する文字設定を変更する**：COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓**、まわして **【◎】**、**文字** を強調し、押して **◎** 確定します。

選択可能な文字設定リストが表示されます。



- ▶ 希望する文字設定を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ 文字を入力し、入力を確定します。
"はじめに" (▷25 ページ) にある文字入力に記載してあるように進めてください。

入力に応じて、検索結果がリスト表示されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **⏮**, 項目を選択し、押して **⏹** 確定します。



- ▶ **アーティスト** などの項目を選択し、押して **⏹** 確定します。
アルバムとジャケット(表示可能な場合)が表示されます。



- ▶ アルバムを **⏹** で確定します。
アルバムのトラックが再生されます。



- ▶ トラックを選択して、押して **⏹** 確定します。
再生が開始され、基本画面が表示されます。

ミュージックレジスター

全体的な注意事項

音楽ファイルを圧縮フォーマットでミュージックレジスターに保存できます。メモリーの容量は 10 GB です。

- ❗ 元の音楽 CD は安全な場所に保管してください。例えば、誤ってリセット機能により COMAND システムを出荷設定にリセットした場合、ミュージックレジスターの音楽ファイルはすべて削除されます。失われたデータについては一切責任を負いかねます。

ミュージックレジスターに切り替える

オプション 1

- ▶ **AUDIO** 機能スイッチを押します。
前回終了時にミュージックレジスターが選択されていたときは、ミュージックレジスターがオンになります。

別のオーディオソースがオンになった場合は、オーディオメニューでミュージックレジスターに切り替えます（オプション2）。

ミュージックレジスターが切り替えられ、音楽ファイルが使用できる場合、前回聞いたところから再生が開始されます。

音楽ファイルがない場合には、その結果を示すメッセージが表示されます。

オプション2

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑** **⊙** まわして **【⊙】**、基本機能バーで **オーディオ** を選択し、押して **⊙** 確定します。

前回選択していたモードがミュージックレジスターのときは、ミュージックレジスターがオンになります。

別のオーディオソースがオンになった場合は、オーディオメニューでミュージックレジスターに切り替えます。

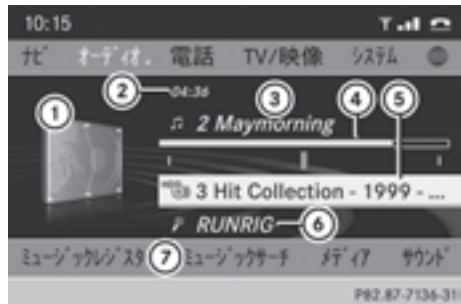
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑** **⊙** まわして **【⊙】**、**オーディオ** を選択し、押して **⊙** 確定します。

オーディオメニューが表示されます。

- ▶ **ミュージックレジスター** を選択し、押して **⊙** 確定します。

オプション3

- ▶ テンキーの **3** DEF を押します。
ミュージックレジスターがオンになります。



ミュージックレジスター（例）

- ① ジャケット（表示可能な場合）
- ② 経過時間
- ③ トラック番号とトラック名
- ④ 経過時間のグラフ表示
- ⑤ メディアリストのメディアの位置とメディアの名称、それに続いて現在の再生オプション（ノーマルの場合は非表示）
- ⑥ アーティスト名
- ⑦ ミュージックレジスターのメニューバー

音楽ファイルをインポートする

ご使用の前に

CD から音楽ファイルをコピーし、ミュージックレジスターに保存できます。

- ❗ 多くの音楽CDにはCDテキストが含まれています。COMAND システムはそこに含まれている情報を使用して、アーティスト、アルバム、およびトラック名を表示します。

CD テキスト情報が使用できない場合、COMAND システムは Gracenote Media Database により未識別のオーディオトラックを識別できます（▶217ページ）。

- ❗ 保存中は、いくつかの機能が使用できません。その場合、この結果に対するメッセージが表示されます。

ステップ 1：音楽 CD モードへ切り替える

- ▶ 音楽 CD モードに切り替えます (▶211 ページ)。
- ▶ 音楽 CD を挿入し、CD の基本画面で COMAND コントローラーをスライドしてから **⓪**、まわして **⓪**、**録音** を選択し、押して確定します。



- ▶ 押して **⓪**、**開始** を確定します。



ステップ 2：トラックを選択してインポートする

音楽 CD のすべてのトラックを選択してコピーしたい場合は、このステップはスキップできます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **⓪**、**録音選択** を選択し、押して **⓪** 確定します。

トラックリストが表示されます。



- ① 選択の確定
- ② すべての音楽ファイルのコピー (標準)
- ③ 1 つのトラックのコピー

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **⓪**、コピーするトラックまたは **全てのトラック** を選択し、押して **⓪** 確定します。

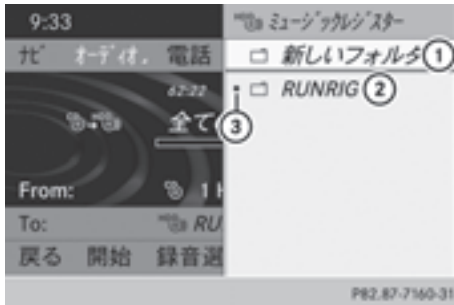
1 つのトラック/全トラックを選択するか ☒、または選択を解除 ☐ します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **⓪**、**続ける** を選択し、押して **⓪** 確定します。

ステップ 3：保存先のフォルダを選択する

新規フォルダを作成したい場合は、このステップを選択します。COMAND システムは、初期状態で CD テキストまたは Gracenote® のデータ (利用可能な場合) からの情報を使用してフォルダ名を割り当てます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **⓪**、**保存先のフォルダ** を選択し、押して **⓪** 確定します。



- ① 新しい保存先のフォルダ
- ② 保存先のフォルダ (COMAND システムにより作成)
- ③ 現在保存用に選択されている保存先のフォルダ

▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、保存先のフォルダを選択し、押して **◎** 確定します。

ステップ 4：インポートを開始する

▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**開始** を選択し、押して **◎** 確定します。



- ① CDからミュージックレジスターへのコピー
- ② 現在コピー中 (トラック 2/16)
- ③ コピーのオプション (全トラック)
- ④ コピーの進捗

- ⑤ コピー元、ディスク位置および名称
- ⑥ ミュージックレジスターの保存先のフォルダ

インポートが完了すると、音楽 CD の基本画面が自動的に表示されます。

▶ **インポートを中止する**： インポート中に、COMAND コントローラーを押して **◎**、**停止** を確定します。

コピープロセスが中止されたところまでのすべての音楽データがミュージックレジスターに保存されます。

すべての音楽ファイルを削除する

この機能は、ミュージックレジスターからすべての音楽ファイルを削除します。

❗ 誤作動を防止するため、削除処理中はCOMAND システムを使用しないでください。

- ▶ ミュージックレジスターに切り替えます (▶226 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓**、まわして **【◎】**、**ミュージックレジスター** を選択し、押して **◎** 確定します。
- ▶ **全音楽ファイル削除** を選択して、押して **◎** 確定します。

確認が表示されます。**いいえ** が強調されます。

はい を選択して押して **◎** 確定すると、すべての音楽ファイルが削除されます。**しばらくお待ちください...** のメッセージが表示されます。終了すると、**削除しました** のメッセージが表示されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

メモリー容量を表示する

- ▶ ミュージックレジスターに切り替えます (▷226 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓** まわして **【◎】**、**ミュージックレジスター** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **容量** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。

以下の情報が表示されます。

- 全容量
- 空き容量
- 使用している容量
- 記録内容 (フォルダ、トラック)

ミュージックサーチ

ミュージックサーチは使用可能なメディアすべてからトラックを検索します。検索は現在実行しているオーディオソースから始まります。

ミュージックサーチは以下のメディアに対応しています。

- ディスク (音楽 CD/DVD/MP3)
 - メモリーカード
 - ミュージックレジスター
 - USB 機器
 - ▶ ミュージックレジスターに切り替えます (▷226 ページ)。
 - ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓** まわして **【◎】**、**ミュージックサーチ** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- カテゴリリストが表示されます。
- ▶ カテゴリでトラックを選択します (▷223 ページ)。

例：フォルダを開く

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、カテゴリリストで**フォルダ**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

現在のフォルダの内容が表示されます。



現在のフォルダ名が最上行に表示され、現在再生中のトラックがドット • により示されます。

- ▶ **上位のフォルダに切り替える**：リターンスイッチ **【↵】** を押すか、COMAND コントローラーをスライドします **↵◎**。

フォルダ / トラック名を変更する

- ▶ ミュージックレジスターに切り替えます (▷226 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **◎↓** まわして **【◎】**、**ミュージックレジスター** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **ファイルの名前変更 / 削除** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ フォルダ / トラックを選択します。
- ▶ スライドして **◎↵**、**オプション** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **編集** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。

- ▶ フォルダ/トラックの名前を入力します。文字を入力するための説明は、" はじめに " にある文字入力に記載してあるように進めてください (▶25 ページ)。
- ▶ **変更を保存する**： **[ok]** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。
- i** **曲情報表示** 機能がオフのときには、変更されたフォルダ名 / トラック名がミュージックレジスターに表示されます。この機能がオンの場合は、CD テキストまたは Gracenote® データからのトラック情報が表示されます。

フォルダ / トラックを削除する

- ▶ ミュージックレジスターに切り替えます (▶226 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **Ⓜ**、まわして **【Ⓜ】**、**ミュージックレジスター** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **ファイルの名前 / 削除** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ フォルダ / トラックを選択します。
- ▶ スライドして **Ⓜ**、**オプション** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **削除** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。

確認が表示されます。**いいえ** が強調されます。

はい を選択すると、フォルダ / トラックが削除されます。**しばらくお待ちください ...** のメッセージが表示されます。終了すると、**削除しました** のメッセージが表示されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

再生オプション

以下のオプションを使用できます。

- **ノーマル**
- トラックは通常の順番で再生されます (例：トラック 1、2、3...)。
- **ランダム (音楽メディア)**
- メディアの全トラックが順不同に再生されます。
- **ランダム (曲)**
- 現在実行しているフォルダ/トラックリストにあるトラックが順不同で再生されます。

- ▶ **オプションを選択する**：ミュージックレジスターに切り替えます (▶226 ページ)。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **Ⓜ**、まわして **【Ⓜ】**、**ミュージックレジスター** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

オプションリストが表示されます。ドット **●** は選択されたオプションを示します。

- ▶ オプションを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

オプションが有効になります。**ノーマル**以外のすべての再生オプションは、表示 / 選択ウインドウに表示されます。

- i** オプションの **ノーマル** は、現在再生しているメディアを変更したとき、または別のメディアを選択した場合に、自動的に選択されます。オプションを選択すると、COMAND システムをオンまたはオフにした後でも、選択状態が維持されます。

Bluetooth® オーディオの操作

Bluetooth® オーディオデバイスを接続する

条件

Bluetooth® オーディオデバイス

Bluetooth® オーディオモードには、Bluetooth® の利用が可能なオーディオデバイスが必要です。

- ① 市販の Bluetooth® オーディオデバイスがすべて同様に適切に使用できるわけではありません。適合している Bluetooth® オーディオデバイスや COMAND システムへの Bluetooth® オーディオデバイスの接続についてのより詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご確認ください。

Bluetooth® オーディオモードをご使用になる前に、以下の点に関して Bluetooth® オーディオデバイスをチェックしてください (Bluetooth® オーディオデバイスの取扱説明書をご覧ください)。

- Bluetooth® オーディオプロファイル
- Bluetooth® オーディオデバイスが A2DP および AVRCP Bluetooth® オーディオプロファイルをサポートしていること
- Bluetooth® の検出性
- 特定の Bluetooth® オーディオデバイスでは、Bluetooth® 機能を作動させるのに加え、デバイス自体も他のデバイスに "見える" ようにしなければなりません (Bluetooth® オーディオデバイスの取扱説明書をご覧ください)。
- Bluetooth® デバイス名

- このデバイス名はあらかじめ決められており、通常は変更できません。Bluetooth® デバイスを可能な限り明確に選択ができるよう、メルセデス・ベンツではデバイス名を好みに合わせて変更することをお勧めします (Bluetooth® オーディオデバイスの取扱説明書をご覧ください)。

① A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) : オーディオデータ伝送用 Bluetooth® オーディオプロファイル

AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) : オーディオデータ再生用 Bluetooth® オーディオプロファイル

- ▶ Bluetooth® オーディオデバイスで Bluetooth® をオンにして、Bluetooth® を検索できるようにします。

COMAND システムでの操作

- ▶ COMAND システムで Bluetooth® 機能をオンにします (▶43 ページ)。

全般的な情報

Bluetooth® オーディオデバイスを初めて COMAND システムに接続してご使用になる場合、Bluetooth® オーディオデバイスを認証する必要があります。

Bluetooth® オーディオデバイスを新しく認証する場合、自動的に接続されます。接続すると、まず Bluetooth® オーディオデバイスが検索され、その後には認証されます。

15 個までの Bluetooth® デバイスを認証できます。

- ① Bluetooth® オーディオをサポートしている携帯電話を認証すると、A2DP および AVRCP Bluetooth® オーディオ

オブファイルが自動的に接続されます。その後、携帯電話は Bluetooth® 電話リスト(▶134 ページ)と Bluetooth® デバイスリスト(▶233 ページ)の両方に登録されます。

メルセデス・ベンツは、Bluetooth® 電話通信で携帯電話を認証することをお勧めします(▶135 ページ)。

接続している携帯電話が同時に2つの Bluetooth® プロファイルしかサポートしない場合、COMAND システムの機能は以下のように動作します。

- インターネットに接続すると(▶176 ページ)、Bluetooth® オーディオデバイスの再生が停止します。
- Bluetooth® オーディオデバイスで再生が開始されると、インターネット接続が終了します(▶177 ページ)。

Bluetooth® オーディオデバイスを検索・認証する

- ▶ Bluetooth® オーディオモードをオンにします(▶236 ページ)。

Bluetooth オーディオ認証されていません。というメッセージが表示される場合、最初に Bluetooth® オーディオデバイスを認証する必要があります。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、Bluetooth オーディオを選択し、押して  確定します。
- ▶ COMAND コントローラーを押して 、Bluetooth オーディオ デバイスリスト を確定します。
- ▶ 検索する：COMAND コントローラーを押して 、Bluetooth 検索 を確定します。

COMAND システムは範囲内の Bluetooth® オーディオデバイスを検索して、それらを Bluetooth® デバイスリストに追加します。Bluetooth® オーディオデバイスが Bluetooth® オーディオプロファイル A2DP と AVRCP をサポートしている場合に、それらが検出されます。

検索に要する時間は、所定の範囲内の Bluetooth® オーディオデバイスの数とその特性によって異なります。



Bluetooth® デバイスリスト (例)

- ① 所定の範囲内で新たに検出された Bluetooth® オーディオ機能付き携帯電話
- ② 所定の範囲内にないが、以前に認証されたことのある Bluetooth® オーディオプレーヤー (アイコンが灰色で表示されます)

Bluetooth® デバイスリストは、範囲内にあるかどうかに関係なく、認証されたすべてのデバイスを表示します。デバイス検索後、範囲内にあるが認証されていないデバイスも表示されます。

- ① Bluetooth® オーディオデバイスの中には、COMAND システムによってオーディオデータを再生できるよう

に、はじめにデバイス自体で再生を開始しなければならないものがあります。

- ▶ **認証する**：COMAND コントローラーをまわして【】、認証されていない Bluetooth® オーディオデバイスをリスト（例：①）から選択します。

使用している Bluetooth® オーディオデバイスによって、認証を続けるには 2 つのオプションがあります。

- ▶ **オプション 1**：パスコードを入力します。その際、"携帯電話を認証する（登録する）"に記載してあるように進めてください（▶135 ページ）。

認証が正常に行なわれると、Bluetooth® オーディオデバイスが接続され、再生が開始されます。

- ▶ **オプション 2（シンプルペアリング）**：COMAND システムと Bluetooth® オーディオデバイスに表示される数字コードが同じ場合、押して 、**はい** を確定します。**はい** を選択すると、認証が続けられ、Bluetooth® オーディオデバイスが接続されます。音楽再生が開始されます。

いいえ を選択すると、認証が中止されます。

- ① シンプルペアリングで接続するには、Bluetooth® オーディオデバイスが Bluetooth® バージョン 2.1 をサポートしていなければなりません。COMAND システムは、接続されている 2 つの機器に表示される 6 桁のコードを生成します。
- ▶ **外部認証**：Bluetooth® オーディオデバイス自体のセキュリティ設定のために、COMAND システムに

よってお手持ちの Bluetooth® オーディオデバイスを確認できない場合があります。その場合、お手持ちの Bluetooth® オーディオデバイスが COMAND システムを確認できるかチェックしてください（▶136 ページ）。COMAND システムの Bluetooth® デバイス名は **MB Bluetooth** です。

認証が正常に行なわれると、Bluetooth® オーディオデバイスが接続され、再生が開始されます。

Bluetooth® オーディオデバイスを再接続する

Bluetooth® オーディオプロフィールは以下のような状況で自動的に接続されます。

- 接続したことのある直近の 2 台の携帯電話のうち 1 つが、Bluetooth® オーディオプレーヤーとして使用される（この機能が携帯電話によりサポートされている場合）。
- 携帯電話が自動接続を引き継ぐ。

電話機能のない Bluetooth® オーディオプレーヤーは、直前に接続したデバイスであっても、自動的に再接続されません。

Bluetooth オーディオ接続されていません。というメッセージが表示された場合、以下の 2 つの方法で Bluetooth® オーディオデバイスを接続できます。

オプション 1

- ▶ 基本画面で COMAND コントローラーを押して 、**前のデバイスに再接続** を確定します。

Bluetooth® オーディオデバイスが COMAND システムによって確認されると、接続され、再生が開始されます。

- i** Bluetooth® オーディオデバイスの中には、COMAND システムによってオーディオデータを再生できるように、はじめにデバイス自体で再生を開始しなければならないものがあります。

オプション 2

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【⓪】**、Bluetooth オーディオを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーを押して **Ⓜ**、Bluetooth オーディオ デバイスリスト を確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【⓪】**、Bluetooth オーディオ デバイスを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。

Bluetooth® オーディオデバイスが COMAND システムによって確認されると、接続され、再生が開始されます。

- i** Bluetooth® オーディオデバイスの中には、COMAND システムによってオーディオデータを再生できるように、はじめにデバイス自体で再生を開始しなければならないものがあります。

Bluetooth® オーディオデバイスと携帯電話の同時検索

携帯電話検索時には (▷134 ページ)、Bluetooth® オーディオデバイスとの接続は終了します。Bluetooth® オーディオ基本画面 (▷236 ページ) で、Bluetooth オーディオ接続されていません。というメッセージが表示され、メニュー項目の **前のデバイスに再接続** が選択できなくなります。

詳細を表示する

- ▶ Bluetooth® デバイスリスト内で Bluetooth® オーディオデバイスを選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **⓪➡**、Bluetooth® オーディオデバイスの右側にあるマークを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **詳細**を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
選択した携帯電話に関して以下の情報が表示されます。
 - Bluetooth® の名称
 - Bluetooth® アドレス
 - 認証状況
- ▶ **詳細画面を閉じる**：COMAND コントローラーをまわすか **【⓪】**、スライドします **➡⓪➡**。

Bluetooth® オーディオデバイスの認証 (登録) を解除する

- ▶ Bluetooth® デバイスリスト内で Bluetooth® オーディオデバイスを選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **⓪➡**、Bluetooth® オーディオデバイスの右側にあるマークを選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
- ▶ **認証取消し** を選択して、押して **Ⓜ** 確定します。
この機器の認証を本当に取り消したいかどうかを問う確認が表示されます。
- ▶ **はい** または **いいえ** を選択します。
はい を選択すると、デバイスが Bluetooth® デバイスリストから削除されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

- i** Bluetooth® オーディオデバイスを再認証する前に、Bluetooth® オーディオデバイスの Bluetooth® リストからデバイス名 **MB Bluetooth** を削除する必要があります (Bluetooth® オーディオデバイスの取扱説明書をご覧ください)。

Bluetooth® オーディオモードに切り替える

注意

携帯電話によっては2つのBluetooth® プロファイルのみを同時にサポートしているものがあります (例: Bluetooth® 電話機能用のハンズフリープロファイルとオーディオストリーミング用のBluetooth® オーディオプロファイル)。Bluetooth® オーディオモードを作動させたときにインターネット接続がすでに使用されていると、接続が終了されます。

オプション 1

- ▶ Bluetooth® オーディオデバイスを接続 (▶232 ページ) または再接続 (▶234 ページ) します。

COMAND システムが Bluetooth® オーディオデバイスをオンにします。基本画面が表示され、デバイスが再生を開始します。

オプション 2

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、メディアリストで **Bluetooth オーディオ** (▶214 ページ) を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。

COMAND システムが、接続されているデバイスをオンにします。この結果に関するメッセージが表示されます。次に、基本画面が表示されます。



Bluetooth® オーディオ基本画面 (例)

- ① トラック名
- ② 現在の再生設定 (“ノーマル” のときは表示なし)
- ③ アルバム名
- ④ サウンド設定
- ⑤ メディアリスト
- ⑥ 再生の停止 ☐ または開始 ☐
- ⑦ アーティスト名
- ⑧ Bluetooth® オーディオデバイスの接続、COMAND システムでの音量アップ再生モードの選択
- ⑨ Bluetooth® オーディオデータメディアの種類
- ⑩ メディアリスト内のデータ記憶媒体の位置

- i** 接続されている Bluetooth® オーディオデバイスが曲情報をサポートしていて、対応するデータが利用可能である場合、その後にアーティスト名、トラック、アルバム名が表示されます。

音楽再生を開始 / 停止する

- ▶ **再生を開始する**：COMAND コントローラーをスライドしてから 、 を選択し、押して  確定します。

音楽再生が開始されます。選択が  になります。

- ▶ **再生を中止する**：COMAND コントローラーをまわして 、 を選択し、押して  確定します。メッセージが表示されます。選択が  になります。

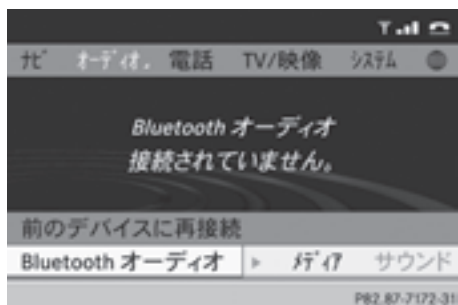
- ▶ **再生を続ける**：COMAND コントローラーをまわして 、 を選択し、押して  確定します。メッセージが表示されます。選択が  になります。

Bluetooth® オーディオデバイスが停止した場合に再生を開始する

携帯電話検索時には (▶134 ページ)、Bluetooth® オーディオデバイスとの接続は終了します。Bluetooth® オーディオ基本画面 (▶236 ページ) で、Bluetooth オーディオ接続されていません。というメッセージが表示され、メニュー項目の **前のデバイスに再接続** が選択できなくなります。

以下の場合にはBluetooth® オーディオデバイスへの接続も中断されます。

- 接続した携帯電話が同時に 2 つしか Bluetooth® プロファイルをサポートしていない場合
- COMAND システムを使用してインターネットに接続している場合 (▶176 ページ)



検索が終了すると、Bluetooth® オーディオデバイスを再接続できます。

- ▶ 押して 、**前のデバイスに再接続** を確定します。

Bluetooth® オーディオデバイスの使用状況により、再生がすぐに始まったり、手動で開始する必要があります。

このような場合、Bluetooth オーディオ一時停止中 というメッセージが表示されます。



- ▶ **再生を開始する**：COMAND コントローラーをまわして 、 を選択し、押して  確定します。再生が先頭から開始されます。

- ❗ インターネットに接続しており、接続した携帯電話が Bluetooth® プロファイルを同時に 2 つしかサポートしていない場合、インターネット接続が中断されます。

トラックを選択する

この機能はすべてのBluetooth® オーディオデバイスでサポートしているわけではありません。

携帯電話によっては、以下の条件に関して機能しないものもあります。

- 選択できるトラック数
- 次または前のトラックが再生されるまでの時間
- ▶ 表示/設定ウィンドウでCOMAND コントローラーをスライドするか  まわします 。
- ▶ **トラックを次または前にスキップする**：COMAND システムの  または  スイッチを押します。

または

- ▶ マルチファンクションステアリングで  または  スイッチを押してオーディオメニューを選択します。
- ▶  または  スイッチを軽く押します。
- ▶ **高速スクロール**：希望のトラックがくるまで、マルチファンクションステアリングの  または  スイッチを押して保持します。
 または  を押して保持すると、リストの表示速度が速くなります。

音楽再生オプションを選択する

Bluetooth® オーディオデバイスが該当する機能をサポートしている場合、以下のオプションを使用できます。

- **ノーマル**
- トラックは通常の順番で再生されます（例：トラック 1、2、3...）。

- オーディオデータ再生は、データ記憶媒体に書き込まれた順番により決定されます。通常はアルファベット順です。フォルダ内の全トラックが再生されると、次のフォルダのトラックが再生されます。

- **ランダム**
- メディアの全トラックが順不同に再生されます（例えば、トラック 3、8、5、…）。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから  まわして 、**Bluetooth オーディオ** を選択し、押して  確定します。
ドット ● は選択されているオプションを示しています。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、オプションを選択し、押して  確定します。
ランダム を選択すると、該当するマークが表示/選択ウィンドウに表示されます。

サウンドを調整する

サウンド設定は、「COMAND システムの基本機能」に、CD モードの例を挙げて説明されています（▶29 ページ）。

COMAND システムを使用して音量を上げる

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから  まわして 、**Bluetooth オーディオ** を選択し、押して  確定します。
- ▶ **音量** を選択して、押して  確定します。
メニューが表示されます。ドット ● は現在の設定を示しています。



- ▶ **標準** または **ブースト** を選択し、押して **確定** します。

詳細については、"オーディオ AUX モード" をご覧ください (▶244 ページ)。

メディアインターフェースモード

接続オプション

概要

接続ソケットは、センターコンソールの小物入れ内にあります。

外部機器をメディアインターフェースに接続するには、メディアインターフェースに含まれる機器別アダプタケーブルが必要となります。

- i** 各部品は安全な場所に収納してください。

必ずメルセデス・ベンツ純正接続ケーブルを使用してください。

メディアインターフェースを経由して以下のデータメディアをCOMANDシステムに接続できます。

- iPod®
- 特定の MP3 プレーヤー

- i** iPod® は Apple Inc. (アメリカ合衆国カリフォルニア州クパティーン) の登録商標です。

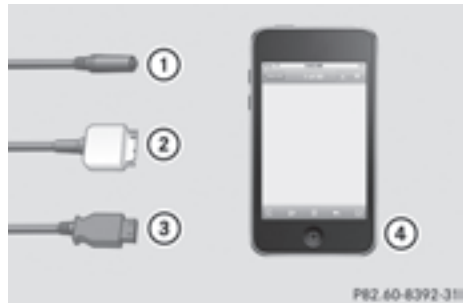
サポートしているデバイス

サポートしているデバイスの詳細と包括リストについては、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

外部機器を接続する

- i** 極端な温度にさらされ (たとえば、直射日光や極めて低い外気温度にさらされた場合)、正常な機能が保証されなくなるようなときは、車内に外部機器を置いたまま車を離れないでください (該当する機器の取扱説明書をご覧ください)。メルセデス・ベンツは、外部機器の損傷に関しては責任を負いかねます。

1 度に複数の機器を接続しないでください。複数の機器を接続すると、外部機器からの再生ができなくなる場合があります。



- ① 3.5 mm ステレオジャック、たとえば MP3 プレーヤー (オーディオおよびビデオ) 用 4 極ソケット
- ② iPod® プラグ、iPod® 接続用
- ③ USB ソケット、MP3 プレーヤー接続用
- ④ 機器の例、iPod®

- ▶ 適切なソケット ①、②、または ③ を使用して、外部機器を接続します。

COMAND システムが機器をオンにして、メッセージが表示されます。

機器を取り外すと、**デバイスが接続されていません** というメッセージが表示されます。

i 接続した iPod® または MP3 プレーヤーは、メディアインターフェースやリモコン (Bluetooth® のリモコン) または直接機器自身から同時に操作しないでください。予期できない技術的な問題が生じることがあります。

i 放電した iPod® または MP3 プレーヤーを接続すると、初期化に時間がかかる場合があります。

以下の場合、機器の作動中にエラーメッセージが表示されます。

- COMAND システムが、接続された機器をサポートしていない場合 (**デバイスエラー** のメッセージ)。
- 接続された機器の電力消費が過大な場合。
- メディアインターフェースの接続が間違っている場合。
- 大容量記憶装置 (USB スティックや USB ハードディスクなど) がメディアインターフェースに接続されている場合 (**別の USB ポートにデバイスを接続してください** のメッセージ)。
- i** 別途 USB 接続することにより、アクセスが素早くなり、メディアコンテンツの選択肢が広がります。
- i** 情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で得ることができます。

メディアインターフェースモードに切り替える

全体的な注意事項

極端な場合、各機能の起動に数分かかる場合があります。これは外部機器とそのコンテンツによって異なります (たとえば、ビデオポッドキャスト)。

iPod® または MP3 プレーヤーにデータを読み込むには、必ずオリジナルプログラムを使用してください。そうしないと、一部またはすべての機能が使用できなくなる場合があります。

オプション 1

- ▶ 外部機器を接続します (▷239 ページ)。

COMAND システムが機器をオンにします。次に、基本画面が表示されます。

オプション 2

- ▶  を押します。

接続されている外部オーディオ機器が直接選択されます。

オプション 3

- ▶ メディアリスト内で (▷214 ページ)、COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、ポジション 5 (▷214 ページ) の項目を選択し、押して **⏵** 確定します。

COMAND システムが、接続されているデバイスをオンにします。この結果に関するメッセージが表示されます。次に、基本画面が表示されます。

接続されている機器がない場合、デバイス名のかわりに **メディアインターフェース** という項目が表示されます。



メディアインターフェースモード
(iPod® モード)

- ① データメディアの種類
- ② トラック番号
- ③ トラック経過時間（オーディオブックの場合は "00:00:00" の形式）
- ④ トラック名
- ⑤ 時間のグラフ表示
- ⑥ トラックのグラフ表示
- ⑦ サウンド設定
- ⑧ メディアリスト
- ⑨ アルバム名（表示可能な場合）
- ⑩ ミュージックサーチ
- ⑪ メディアリスト内でのポジション
- ⑫ アーティスト名（表示可能な場合）
- ⑬ 再生オプション

デバイスの種類：接続された機器の種類は、iPod® または MP3 プレーヤーにそれぞれ対応するマークで示されます。

現在の再生オプション（▶219 ページ）は、アルバム名の後のマーク ⑨ で示されます（ノーマルの場合は表示なし）。

- i** 接続された機器に再生可能なトラックがない場合は、この結果に対するメッセージが表示されます。

音楽ファイルを選択する

注意

COMAND システムは、それぞれのメディアで使用されているファイル構造にしたがって、iPod® や MP3 プレーヤーに保存されたデータを表示します。

トラックをスキップして選択する

- ▶ **トラックを次または前にスキップする**：表示/選択ウィンドウがオンになっているときに、COMAND コントローラーをまわす【◎】かスライド◀◎▶します。

または

- ▶ **◀◀** または **▶▶** スイッチを押します。

次へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。前へスキップ機能を使用すると、現在のトラックが 8 秒以上再生されていた場合、トラックの最初にスキップします。現在のトラックが再生されていた時間が 8 秒未満であった場合、前のトラックの最初にスキップします。ノーマル以外の再生オプションが選択されていた場合、トラックの再生順序がランダムになります。

- ▶ **マルチファンクションステアリングによる操作**：COMAND システムのメディアインターフェースモードをオンにします（▶240 ページ）。
- ▶ マルチファンクションステアリングで、**◀** または **▶** スイッチを押して、オーディオメニューを選択します。
- ▶ **▲** または **▼** スイッチを軽く押します。

▲ または ▼ スイッチを押して保持すると、リストのスクロール速度が速くなります。すべてのメディアプレーヤーがこの機能をサポートしているわけではありません。

トラック情報がメディアプレーヤーで利用可能な場合、マルチファンクションディスプレイにトラックの番号と名前が表示されます。

テンキーを使用して選択する

- ▶ **入力する：** [＊] スイッチを押します。

入力メニューが表示されます。入力に使用できる文字の数は、保存されているトラックの数によって異なります。

- ▶ **トラック番号を選択する：** [7] などのテンキーを押します。

入力行の最初の位置に数字が入力されます。

- ▶ **i** COMAND システムは無効な数字を無視し、表示しません。

- ▶ 必要に応じて、さらに数字を入力します。

可能な番号が最後に入力されるとトラックが再生されます。

- ▶ **i** テンキーを2秒以上押して保持すると入力が終わわり、対応するトラックが再生されます。

早送り / 早戻し

- ▶ 表示/選択ウインドウがオンになっているときに、希望の位置にくるまで、COMAND コントローラーをスライドして ◀▶ 保持します。

または

- ▶ 希望の位置にくるまで、▶▶ または ◀◀ スイッチを押して保持します。

- ▶ **i** iPod®/iPhone® では、現在のトラック内での早戻ししか機能しません。

カテゴリ / プレイリスト / フォルダを選択する

概要

iPod® と選択された MP3 プレーヤー

iPod® または MP3 プレーヤーの場合、カテゴリまたはフォルダを使用して、トラックを選択できます。

接続された機器に応じて、たとえば、以下のカテゴリが使用可能です。

- 現在の曲のリスト
- プレイリスト (全てなど)
- アーティスト
- アルバム
- 曲
- Podcast
- ジャンル
- 作曲家
- オーディオブック

- ▶ **i** 再生カテゴリの中には、**全て** という項目があります。この項目を選択した場合、選択したカテゴリのすべてのコンテンツが再生されます。

カテゴリリストを呼び出す

- ▶ 基本画面で COMAND コントローラーをスライドしてから ◉、まわして ◉、**ミュージックサーチ** を選択し、押して ◉ 確定します。

カテゴリリストが表示されます。

- i** 機器がオンになるまで、**検索** メニュー項目は使用できません。



カテゴリーリスト (例)

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**現在の曲のリスト** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。
- 現在のトラックリストの内容が表示されます。



現在の曲のリスト (例)

- ① 機器のマークと機器名
 - ② 上位のフォルダに上がるマーク
 - ③ 現在のトラック
 - ④ トラックマーク
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、トラックを選択し、押して **Ⓢ** 確定します。
- トラックが再生されます。
- ▶ **上位のフォルダに切り替える** : COMAND コントローラーをスライドするか **⬅**、**⬆** スイッチを押します。

カテゴリーまたはフォルダの内容を再生する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、カテゴリーまたはフォルダを選択します。
 - ▶ COMAND コントローラーを 2 秒以上押します **Ⓢ**。
- 選択されたカテゴリーまたはフォルダの内容が、選択された再生オプション (▶219 ページ) にしたがって再生されます。

アルファベット順のトラック選択

iPod® および MP3 プレーヤー

この機能は、カテゴリーおよびフォルダがアルファベット順に並べられている場合に使用できます。この機能は、たとえばアルバムまたはプレイリストに対しては使用できません。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**アーティスト** などのカテゴリーを選択し、押して **Ⓢ** 確定します。
- 選択可能なアーティストが表示されます。
- ▶ 該当するテンキーを 1 回以上押して、アーティスト名の頭文字を選択します (たとえば、"C" で始まるアーティストの場合は、テンキー **2 ABC** を 3 回押します)。
- 選択可能な文字はディスプレイの下端に表示されます。
- メッセージの後、入力された文字と一致するリスト内の最初の登録データが強調されます。
- i** 該当する登録データがない場合、代わりに、前の文字と一致する最後の登録データが強調されます。

- i** iPod® および MP3 プレーヤーの場合、検索結果の精度は、機器のデータ読み込みに使用するソフトウェアのバージョンおよび言語（たとえば iTunes® のバージョン）によって異なります。

いくつかの並び替えルール（例：iTunes® 内）が定義されている場合、結果を表示せずに検索は中止されます。

再生オプション

以下のオプションを使用できます。

- ノーマル
- ノーマル：通常の順序（例：番号またはアルファベット）でトラックを聞きます。
- ランダム（音楽メディア）
- メディアの全トラックが順不同に再生されます。
- ランダム（曲）
- サブフォルダを含め、現在実行しているカテゴリまたはフォルダのトラックが順不同に再生されます。

- i** MP3 プレーヤーの場合、ランダムプレイリストは最大で 300 のトラックを順不同で選択します。

- ▶ **再生オプションを選択する：** 基本画面で COMAND コントローラーをスライドしてから **⊙** まわして **【⊙】**、**メディアインターフェース** を選択し、押して **⊙** 確定します。オプションリストが表示されます。ドット **●** は選択されたオプションを示します。
- ▶ オプションを選択し、押して **⊙** 確定します。

MP3 プレーヤーの説明

データフォーマット

MP3 と WMA は固定および可変ビットレート（320 kbits/s まで）がサポートされています。

MP3 プレーヤー使用時の特別な注意事項

最大 8 つのディレクトリレベルと、ディレクトリごとに最大 1,000 のトラックをサポートしています。

USB 延長リードまたはアダプタは使用しないでください。機能を損ねるおそれがあります。

- i** DRM (Digital Rights Management) 保護ファイルはメディアインターフェースではサポートされません。

オーディオ AUX モード

オーディオ AUX モードに関する注意

COMAND システムには外部オーディオソース (AUX) を接続することができます。接続用のソケットはセンターコンソールの小物入れ内に取り付けられています。

COMAND システムにメディアインターフェースが装備されているときは、外部オーディオソースは提供されたケーブルを使用して接続します。ケーブルを設置した後に、オーディオ AUX ソケットの代わりになります。メディアインターフェースの接続ソケットは、センターコンソールの小物入れ内にあります。

- i** さらに詳しい情報は "メディアインターフェースモード" (p.239 ページ) に説明されており、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で得ることができます。

オーディオ AUX モードに切り替える

外部オーディオソースを接続しても、オーディオ AUX モードは自動的に起動しません。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑** **⊙** まわして **【⊙】**、基本機能バーで **オーディオ** を選択し、押して **⊙** 確定します。

前回選択されていたモードが AUX モードであれば、AUX モードが起動します。

別のオーディオソースが起動した場合は、オーディオメニューでオーディオ AUX モードに切り換えます。

- ▶ **↑** **⊙** を使用して、**オーディオ** を選択し、押して **⊙** 確定します。

オーディオメニューが表示されます。

- ▶ **【⊙】** を使用して、**外部入力** を選択し、押して **⊙** 確定します。

オーディオ AUX メニューが表示されます。外部オーディオソースを接続して再生を選択すれば、外部オーディオソースにあるメディアが再生されます。



外部オーディオソースの操作方法は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

音量 (▶28 ページ) とサウンド (▶29 ページ) の設定に関する詳細は " はじめに " をご覧ください。

警告

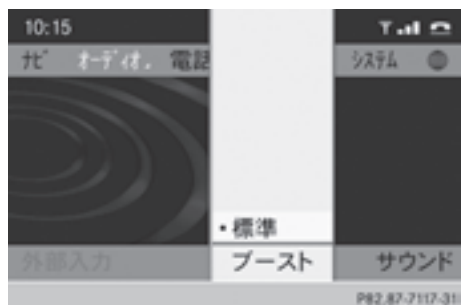
外部オーディオソースはさまざまな音量になっているため、交通案内やナビゲーション音声案内などのシステムメッセージが非常に大きくなる場合があります。必要に応じてシステムメッセージを無効にするか、音量を手動で調整してください。

COMAND システムを使用して音量を上げる

外部オーディオ機器の音量は、機器によって異なります。また通常の最大音量が得られない場合もあります。接続する機器によっては、音量を個別に変えられる場合もあります。この場合には、適度な音量から少しずつ音量を上げていきます。これによって、歪みのない大きな音量で音楽再生が可能かどうかを確認することができます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【⊙】**、**音量** を選択し、押して **⊙** 確定します。

メニューが表示されます。ドット ● は現在の設定を示しています。



- ▶ **標準** または **ブースト** を選択し、押して  確定します。

標準: 外部オーディオソースの音量を初期値に調整します。

ブースト: 外部オーディオソースの音量を約 10 dB 増加します。

COMAND システムの特徴	248
全般的な情報	248
基本設定	248
テレビモード	249
DVD ビデオモード	258
ビデオ AUX 操作	264
画像ビューワー	266

COMAND システムの特徴

この取扱説明書はお買い上げいただいた時点で利用可能な、COMAND システムの標準装備やオプション装備すべてについて記載しています。国により、仕様が異なる場合があります。COMAND システムには、記載されているすべての機能が備わっていないことがあります。

- 早送りまたは早戻しする (DVD ビデオモード)

メインメニューでテンキーを使用して操作手順が行なわれているときは、次の機能は使用できません。

- チャンネルプリセットからテレビのチャンネルを選択する
- チャンネルプリセットにテレビのチャンネルを登録する

全般的な情報

映像の自動非表示

車両が約 5 km/h 以上で走行しているときは、映像が次のモードで自動的に表示されなくなります。

- テレビモード (文字多重放送)
- DVD ビデオモード

以下のメッセージがディスプレイに表示されます。**安全のため 走行中は表示できません**

車両の速度が約 5 km/h 以下になると、映像が再び表示されます。

バックグラウンドビデオモード

ナビのような他のメインメニューが作動しているときは、テレビモードと DVD ビデオモードで次の操作を行なうことができます。選択した機能についての情報が画面に表示されます。

[◀◀] スイッチまたは [▶▶] スイッチを使用して、以下のことができます。

- テレビのチャンネルを選択する
- シーンまたはチャプターを選択する (DVD ビデオモード)

基本設定

画質の調整

明るさ、コントラスト、カラーを調整する

以下は、テレビ、DVD ビデオおよびビデオ AUX モードについての説明です。

- ▶ テレビまたはDVDビデオモードで COMAND コントローラーを押して 、メニューを表示させます。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから まわして **【】**、**テレビ 1 / テレビ 2** または **DVD、外部入力** を選択し、押して 確定します。

メニューが表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【】**、**明るさ** または **コントラスト、カラー** を選択し、押して 確定します。

画面比率を変更する

以下は、テレビ、DVD ビデオおよびビデオ AUX モードについての説明です。

- ▶ テレビまたはDVDビデオモードで COMAND コントローラーを押して 、メニューを表示させます。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **⊙**、まわして **【⊙】**、**テレビ 1/テレビ 2** または **DVD**、**外部入力** を選択し、押して **⊙** 確定します。

メニューが表示されます。

- ▶ **オート**、**16:9 表示**、**4:3 表示**、または**ワイドスクリーン**を選択して、押して **⊙** 確定します。

項目の前のドットは現在選択している表示形式を示します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【⊙】**、設定を選択し、押して **⊙** 確定します。

テレビモード

注意

地上デジタルテレビ

COMAND システムのテレビ機能では、地上デジタルフルセグメントテレビ（12 セグメントテレビ）を受信できます。

- i** デジタルテレビは、放送用に UHF 帯の電磁波を使用しています。2003年12月より日本の一部の地域で開始され、順次受信可能な地域が拡大しています。

地上デジタルテレビの特徴は以下のようになります。

- デジタルハイビジョンによる高解像度の画質と CD 並みの高音質
- 標準画質による多チャンネルテレビ
- 多様なデータ放送および双方向視聴番組
- 走行中も鮮明で乱れのない映像
- 電子番組表 (EPG) による番組予告

- i** COMAND システムのテレビチューナーは HDTV（高解像度テレビ）の信号を受信したり、デコードしたりできます。したがって、テレビの画質は COMAND ディスプレイでは標準画質で表示されます。

COMAND システムは、双方向機能には対応していません。

- i** 地上デジタルワンセグテレビおよび地上アナログテレビ放送は受信できません。

地上デジタルテレビの受信地域について

当初は都市部で受信が可能です。

地上デジタルテレビのスケジュール

放送は 2003 年 12 月より、関東・中京・近畿地域から開始されています。2006 年 12 月まで全国の都道府県庁所在地に拡大しています。

国の施策として、2011 年 7 月までに地上デジタルテレビ放送に完全移行することが決定されています。地上アナログテレビ放送は同時期に終了します。

受信品質

車両が移動する間に受信状態が絶えず変化することで、信号が遮断されることがあります。受信状態が悪くなると、たとえ車両が受信地域にあっても、COMAND システムは音声を停止したり、映像を停止または非表示にすることがあります。この場合には、×印の付いた電波塔のアイコンが画面に表示されます。

- i** 車内に置かれた携帯型電子機器はテレビの受信を著しく損ねるおそれがあります。

B-CAS カードの情報

デジタル放送の知的所有権の保護のために、受信機器には B-CAS カードを挿入しなければなりません。

このカードはすでに、テレビチューナーに挿入されています。

B-CAS カードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズが所有しています。このカードは、「B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用）」に基づいて運用されています。

詳細はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

i COMAND システムでテレビを受信する前には必ず、「B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用）」をお読みの上、署名が必要となります。

B-CAS カード使用上の注意

- デジタルテレビチューナーから B-CAS カードを抜き取らないでください。
- デジタルテレビチューナーから B-CAS カードを抜き取りたい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。
- デジタルテレビチューナーに挿入されている B-CAS カードは、地上デジタル放送専用です。
- 地上・BS・110 度 CS デジタル放送の共用受信機器には使用しないでください。
- B-CAS カードを盗難・損傷・紛失したときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。
- B-CAS カードの20桁のID番号は、デジタルテレビチューナー筐体と COMAND ディスプレイ、および本書に添付してあります。

- B-CAS カードに関する問い合わせの際は、ID 番号が必要になります。

i B-CAS カードを交換した場合は、ID 番号は変更されます。

テレビモードに切り替える

- ▶ **VIDEO** スイッチを押します。

または

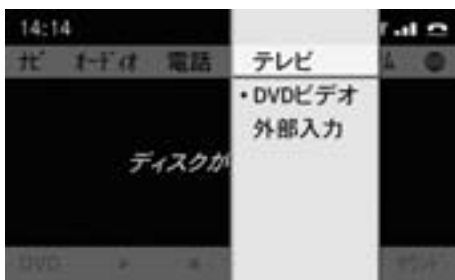
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑**、まわして **↻**、基本機能バーで **TV/ 映像** を選択し、押して **⏻** 確定します。

前回選択されていたモードがテレビモードであれば、テレビモードが起動します。

他のモードに切り替わった場合は、ビデオメニューでテレビモードに切り換えます。

- ▶ **TV/ 映像** を選択し、押して **⏻** 確定します。

TV/ 映像メニューが表示されます。



TV/ 映像メニュー（例）

- ▶ **テレビ** を選択し、押して **⏻** 確定します。

受信可能な状態であれば、前回選択されたテレビチャンネルが表示されます。

ナビゲーションメニュー

全般的な情報

ナビゲーションメニューには、チャンネル番号、チャンネル名、放送名と情報マークが表示されます。

また、記憶されたチャンネルを設定しているときは、メモリー位置の番号が表示されます。

ナビゲーションメニューを表示する

全画面表示では、テレビメニューを非表示にしてテレビを見ることが出来ます。

- ▶ 全画面表示のときに、COMAND コントローラーをスライドします ↑◎↓。

または

- ▶ テレビモードに切り替えた場合、またはテレビ映像が全画面画像で表示された場合は、**VIDEO** スイッチを押します。

ナビゲーションメニューが約 8 秒間表示されます。

- i** 全画面表示で COMAND コントローラーをまわすと **【◎】**、コントロールメニューも表示されます。同時に他のテレビチャンネルが設定されます (▶253 ページ)。



ナビゲーションメニュー

- ① 選択されたテレビチャンネルのプリセット位置
- ② チャンネル番号と選択したテレビチャンネル
- ③ 番組タイトル (現在の放送)
- ④ 番組情報マーク (ある場合)

- i** 車両が約 5 km/h 以上で走行しているときは、テレビの映像が表示されなくなり、ナビゲーションメニューが常に表示されます。

ナビゲーションメニューを非表示にする

- ▶ COMAND コントローラーをスライドします ↑◎↓。
- i** 約 8 秒後に、メニューは自動的に非表示になります。

番組情報マーク

番組情報マークにより、番組の情報を知ることができます。

以下は、主な番組情報マーク (例) です。

手	手話付き放送
デ	番組連動データ付き放送
S	ステレオ放送
二	二か国語放送
多	音声多重放送
解	解説あり放送
B	圧縮 B モードステレオ放送
N	ニュース放送

再 再放送

新 新番組

- i** このリスト以外のマークが表示されることがあります。しかし、対応する機能が常にCOMANDシステムにサポートされているわけではありません。

メニューの表示 / 非表示

テレビの画像は全画面モードで表示されます。

- ▶ **表示する**：COMAND コントローラーを押します .

または

- ▶ 情報メニューが表示されているときに**メニュー**を選択し、押して  確定します。



メインテレビメニュー

- ▶ **非表示にする**：COMAND コントローラーをスライドして , **全画面表示** を選択し、押して  確定します。

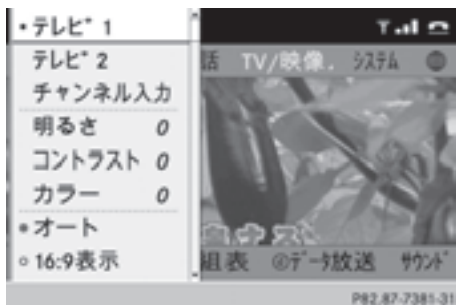


テレビ1とテレビ2の切り替え

- ▶ COMAND コントローラーを押して , メニューを表示させます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして , **テレビ1** または **テレビ2** を選択し、押して  確定します。



ドット ● は現在の選択を示しています。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **↑**、**↓**、**テレビ 1** または **テレビ 2** を選択し、押して **⏻** 確定します。

i 例えば、**テレビ 1** には自宅周辺をよく視聴するチャンネルを記憶させます。そして、**テレビ 2** には他地域を走行するときにその地域のチャンネルを記憶させるといった使い方ができます。

テレビチャンネルの選択

手動でチャンネルを選択する

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか **【↻】**、スライドします **↔**。
- または

- ▶ **⏮** または **⏭** スイッチを押します。

テレビチューナーは、前または次のチャンネルを選択します。

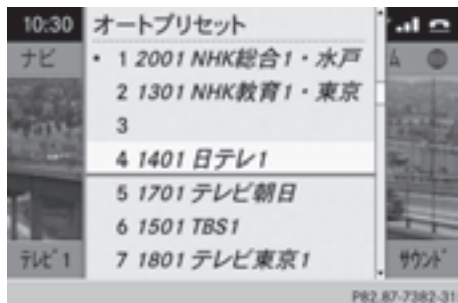
i ナビや電話、システム機能では、**⏮** または **⏭** スイッチを使用してのチャンネル設定を行なうこともできます。

放送局プリセットによりチャンネルを選択する

COMANDシステムでのチャンネルの選択

- ▶ **COMAND コントローラーでの操作**：COMAND コントローラーを押して **⏻**、メニューを表示させます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【↻】**、**プリセット** を選択し、押して **⏻** 確定します。

チャンネルプリセットメニューが表示されます。プリセット位置の前にあるドット **•** は、現在選択されているチャンネルがそこに保存されていることを示しています。



チャンネルプリセット

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【↻】**、チャンネルを選択し、押して **⏻** 確定します。

i **AUX1** および **AUX2** はチャンネルプリセットリストに表示されます。車両の装備によって、これらの外部接続は常に使用できないことがあります。

- ▶ **テンキーでの操作**：例えばテンキーで **2** を押します。

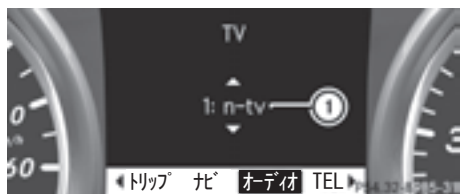
プリセット位置の番号、チャンネル番号、名称、および番組タイトルが約 8 秒間表示されます。

i 記憶されているチャンネルの番号のみを選択できます。

i ナビや電話、システム機能のときは、テンキーを使用してチャンネル設定を行なうこともできます。しかし、これは文字入力メニューでは機能しません。

マルチファンクションステアリングを使用してのチャンネルの設定

- ▶ COMANDシステムをテレビモードに切り替えます (p.250 ページ)。
- ▶ **⏮** または **⏭** を押して、**オーディオ** メニューを選択します。



マルチファンクションディスプレイ（例）

① 現在のチャンネル

- ▶ または を軽く押します。次または前のプリセット位置のチャンネルが選択されます。
- ▶ または を押して保持します。サーチが開始され、受信可能な次のチャンネルで停止します。

チャンネルを入力してのチャンネルの選択

- ▶ **オプション 1**：COMAND コントローラーを押して 、メニューを表示させます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、**テレビ 1** または **テレビ 2** を選択し、押して 確定します。
- ▶ **チャンネル入力** を選択し、押して 確定します。

- ▶ **オプション 2**：テレビ再生中に スイッチを押します。

どちらのオプションでも、画面上部に入力バーが表示されます。

- ▶ 対応するテンキーを押して、チャンネル番号を入力します。

チャンネル番号を 4 桁入力すると、COMAND システムは自動的に適切なチャンネルを選択します。

- ❗ 存在しないチャンネル番号を入力すると、**チャンネルをお確かめください** と表示されます。

- ▶ **メッセージを確認する**：COMAND コントローラーを押します 。

テレビチャンネルの記憶

手動でチャンネルを記憶させる

テレビ 1 と **テレビ 2** それぞれに 12 のチャンネルを記憶できます。

- ▶ **COMAND コントローラーでの操作**：COMAND コントローラーを押して 、メニューを表示させます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、**プリセット** を選択し、押して 確定します。

チャンネルプリセットメニューが表示されます。プリセット位置の前にあるドット **•** は、現在選択されているチャンネルがそこに保存されていることを示しています。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、希望のプリセット位置を選択します。

- ▶ 確認音が聞こえるまで COMAND コントローラーを押して 保持します。

選択したプリセット位置にチャンネルが記憶されます。そしてテレビ画面が再び表示されます。

- ▶ **テンキーでの操作**：テレビ映像が表示されているときに、テンキーで 2 などを、確認音が聞こえるまで押して保持します。

対応するプリセット位置にチャンネルが記憶されます。

チャンネルを自動で記憶させる

COMANDシステムは十分な受信状態にあるチャンネルを12個まで、日本のARIB (Association of Radio Industries and Businesses; 社団法人 電波産業会) 規格に従って、それぞれのチャンネルメモリー(テレビ1、テレビ2)に自動的に記憶します。これは受信可能なチャンネルが受信品質の順に記憶されないことを意味します。東京ではプリセット10というように自由にプリセットすることができます。メモリーに以前記憶されたいくつかのチャンネルが(自動または手動でも)消去されます。

- ▶ COMAND コントローラーを押して **⑤**、メニューを表示させます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【⑤】**、**プリセット** を選択し、押して **⑤** 確定します。
- ▶ **オートプリセット** を選択し、押して **⑤** 確定します。

オートプリセット実行中 ... というメッセージが表示されます。COMAND システムが十分な受信状態のチャンネルを探します。受信可能なチャンネルが自動的にプリセット位置に記憶されます。

自動での記憶を中止する

- ▶ 記憶処理中にCOMAND コントローラーを押します **⑤**。

現在の番組および番組予告の表示

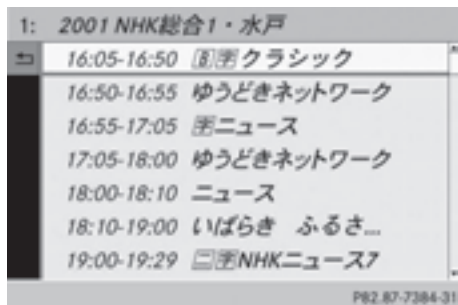
視聴しているチャンネルの、現在の番組および12番組先までの内容を表示できます。

- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します **⑤**。



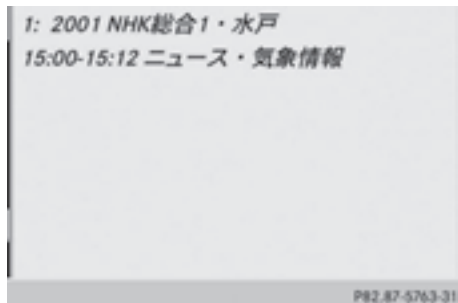
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【⑤】**、**番組表** を選択し、押して **⑤** 確定します。

プリセットとチャンネル名、放送時間、番組名、番組情報マーク(ある場合)が表示されます。



- ▶ **番組内容を表示する**：COMAND コントローラーをスライドするか **↑⑤↓**、まわして **【⑤】**、番組を選択し、押して **⑤** 確定します。

番組内容が表示されます。



- ▶ **1つ前の画面に戻る**：COMAND コントローラーの左側のリターンスイッチ  を押します。

または

- ▶ COMAND コントローラーを押します .

データ放送

全体的な注意事項

番組やテレビ受信状況によっては、常にデータを受信できるわけではありません。

COMAND システムのテレビ機能は、以下のものには対応していません。

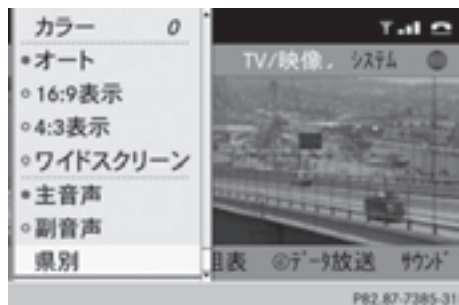
- ワンセグデータの受信
- 双方向データの受信

データ受信地域の設定

地域に合わせたデータ受信の設定を行ないます。

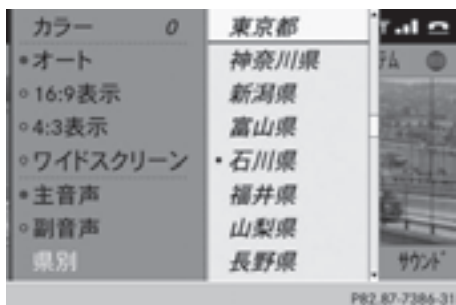
- ① 例えば、東京のNHK総合チャンネルが選択されているときも、都道府県リストで選択することにより、石川県の天候データを表示できます。

- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します .
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**テレビ 1** または **テレビ 2** を選択し、押して  確定します。



- ▶ **県別**を選択し、押して  確定します。

データ受信の都道府県リストが表示されます。現在選択している都道府県の前に ● が表示されます。



データ受信の都道府県リスト

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、データを受信する都道府県を選択し、押して  確定します。

データの内容を表示する

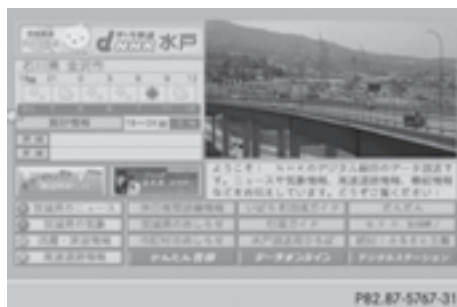
- ▶ **メニューを表示する**：COMAND コントローラーを押します .



- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**d データ放送**を選択し、押して  確定します。

データの内容が表示されます。

- ① 受信状態が悪いときは、**d データ放送**は灰色で表示され選択できません。



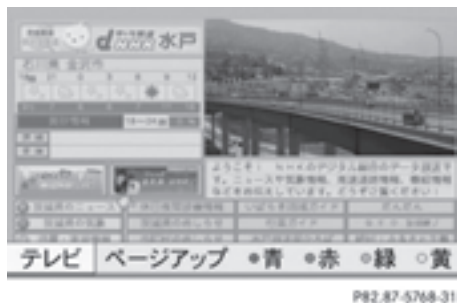
- i** データの内容を受信して適切なページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

データ内容のメニュー項目を選択する

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして **↑◎↓**、メニュー項目を選択し、押して **⊙** 確定します。

メニューバーを表示する

- ▶ データの内容が表示されているときに、COMAND コントローラーをまわします **【◎】**。
画面の下部に、メニューバーが表示されます。



カラーメニュー項目を選択する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、**青**、**赤**、**緑** または **黄** を選択します。



- ▶ 押して **⊙** 確定します。
受信したデータの内容によって、内容が、**青**・**赤**・**緑**・**黄**の異なる色で表示されることがあります。内容は、それぞれのチャンネルによって異なります。

メニューバーを非表示にする

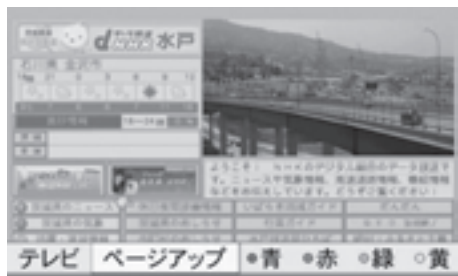
- ▶ メニューバーが表示されているときに、COMAND コントローラーをスライドします **↑◎↓**。

1 つ前のコンテンツのページに戻る

- ▶ コンテンツのページを表示させて、COMAND コントローラーをまわして **【◎】**、メニューバーで **ページアップ** を選択し、押して **⊙** 確定します。

または

- ▶ COMAND コントローラーの左側のリターンスイッチ **⏪** を軽く押します。



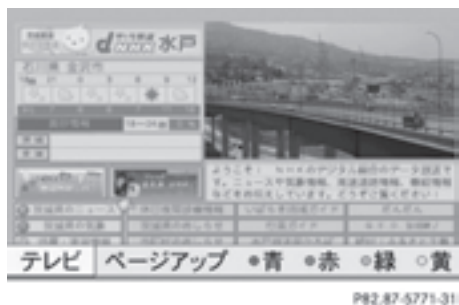
P82.87-5770-31

データ受信を終了してテレビ放送に戻る

- ▶ メニューバーを表示させて、COMAND コントローラーをまわして【】、**テレビ**を選択します。

または

- ▶ COMAND コントローラーの左側のリターンスイッチ  を押して保持します。



P02.87-5771-31

DVD ビデオモード

安全上の注意



警告

COMAND システムは、クラス 1 のレーザー製品に区分されています。ケースを開けないでください。ケースを開けたり、あるいはケースが故障または損傷している場合には、目に見えないレーザー放射にさらされるおそれがあります。これによりお客様や他の方が目にけがをするおそれがあります。

COMAND システムには、お客様が整備できるような部品は含まれていません。安全上の理由から、すべてのメンテナンス作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。



警告

以下の操作は、車両が停止しているときにのみ行なってください。

- ディスクの読み込み
- ディスクの取り出し

走行中にこれらを行なうと、交通状況や路面に対する注意が散漫になるおそれがあります。

ディスクに関する注意

コピーされたディスクを再生する場合は、再生の問題に直面することがあります。多くの種類のディスク、DVD オーサリングソフト、ライティングソフト、ライターが市販されています。この多様性のため、お客様自身でコピーしたディスクの再生については保証できません。



シールやラベルをディスクに貼り付けると、剥がれて COMAND システムを損傷するおそれがあります。シールを貼り付けるとディスクが曲がる原因となり、読み取りエラーやディスク認識不良などの問題が生じるおそれがあります。



COMAND システムは EN 60908 規格に準拠するディスクに対応するように設計されています。そのため、厚さが最大で 1.3 mm までのディスクのみ使用できます。

それより厚みのあるディスク、例えば両面にデータが記録されているディスク（片面に DVD、もう片面にオーディオデータなど）を挿入すると、取り出すことができなくなり、COMAND システムを損傷するおそれがあります。

12 cm 径の円形ディスクを使用してください。8 cm 径のディスクはアダプタを装着しても使用しないでください。

DVD の再生条件

COMAND システムは、以下の規格に基づいて作成された DVD ビデオを再生できます。

- リージョンコード 2 またはリージョンコード 0 (リージョンコードなし)
- PAL または NTSC 規格

ビデオ DVD が PAL または NTSC 規格に準じていない場合は、映像または音、再生に問題を生じることがあります。

関連する詳細情報は、通常 DVD のディスク本体または DVD ケースにあります。

- ① 別のリージョンコードの DVD ビデオを挿入すると、それに対応するメッセージが表示されます。
- ① COMAND システムは出荷時にリージョンコード 2 に設定されています。この設定はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で変更することができます。リージョンコードを変更することにより、PAL または NTSC 規格の DVD ビデオであれば、他のリージョンコードの DVD ビデオを再生できます。リージョンコードは最高 5 回まで変更することができます。

機能の制限

DVD によっては、一部の機能または操作が、一時的に利用できなかったり、またはまったく機能しない場合があります。これらの機能や動作を作動させようとすると、ディスプレイにマーク ① が表示されます。

DVD の挿入と取り出し

- ▶ “CD/DVD の挿入と取り出し” (▶210 ページ) に記載してあるように進めてください。

DVD ビデオモードの作動

オプション 1

- ▶ DVD ドライブに DVD ビデオを挿入します。
COMAND システムが挿入されたメディアを読み取って、再生を開始します。

オプション 2

- ▶ COMAND コントロールパネルの **VIDEO** スイッチを押します。
または

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑**、まわして **【◎】**、基本機能バーで **TV/ 映像** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。

2 つのバリエーション： DVD ビデオが最後に選択されたモードの場合は、DVD ビデオが起動します。

別のビデオソースに切り替わった場合は、TV/ 映像メニューで DVD ビデオモードに切り換えます。

- ▶ **TV/ 映像メニューでオンにする：** COMAND コントローラーをスライドしてから **↑**、まわして **【◎】**、基本機能バーで **TV/ 映像** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。
TV/ 映像メニューが表示されます。
- ▶ **DVD ビデオ** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。

ナビゲーションメニューの表示 / 非表示

- ▶ **表示する**：COMAND コントローラーをスライドします ↑◎↓。

i この機能は、DVD メニュー（▷262 ページ）が表示されているときは利用できません。

- ▶ **非表示にする**：COMAND コントローラーをスライドして ↑◎↓、リターンスイッチ  を押します。

または

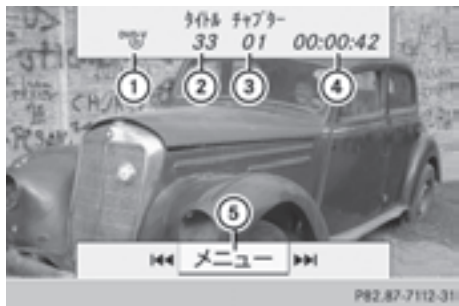
- ▶ 約 8 秒間待ちます。

- ▶ **非表示にする**：COMAND コントローラーをスライドして ↑◎、押して ◎、**全画面表示** を確定します。



表示されたメニュー

- ① DVD ビデオオプション
- ② 一時停止機能
- ③ 停止機能
- ④ メディアの選択
- ⑤ サウンド設定



表示されるナビゲーションメニュー

- ① データメディアの種類
- ② 現在のタイトル
- ③ 現在のシーン
- ④ 経過時間
- ⑤ メニューを表示する

メニューの表示 / 非表示

この機能は、DVD メニュー（▷262 ページ）が表示されているときは利用できません。

- ▶ **表示する**：全画面モードで、COMAND コントローラーを押します ◎。

または

- ▶ ナビゲーションメニューが表示されているときに **メニュー** を選択し、押して ◎ 確定します。

早送り / 早戻し

- ▶ 全画面モードで希望の位置になるまで、COMAND コントローラーをスライドして ←◎→ 保持します。

または

- ▶ 希望の位置にくるまで、 または  スイッチを押して保持します。

ナビゲーションメニューが表示されます。

停止機能

- ▶ COMAND コントローラーを押して ◎、メニューを表示させます。
- ▶ **再生を中断する**：COMAND コントローラーをまわして 、 を選択し、押して ◎ 確定します。

■ が ▶ に変わります。ビデオ映像が隠れます。

- ▶ **再生を続ける**：▶ を選択し、押して 確定します。

再生が中断された場所から再生されます。

- ▶ **再生を中止する**：再生が中断されるときに、■ を再び選択して、押して 確定します。

または

- ▶ 再生中に、素早く 2 回続けて押して 確定します。

選択が ▶ になります。

- ▶ **再生を再開する**：押して 、▶ を確定します。

再生が先頭から開始されます。

一時停止機能

- ▶ COMAND コントローラーを押して 、メニューを表示させます。

- ▶ **再生を一時停止する**：COMAND コントローラーをまわして { }、■ を選択し、押して 確定します。

■ が ▶ に変わります。

- ▶ **再生を続ける**：▶ を選択し、押して 確定します。

メニューが隠れます。

シーン / チャプターの選択

映像が複数のシーンまたはチャプターに分割されている場合は、再生中に直接それらを選択したり、1 つずつ次にスキップさせることができます。一部

の DVD には、この機能が利用できない箇所があります（オープニングクレジット中など）。

また、DVD 内に記録されているメニューからシーン / チャプターを選択することもできます。

- ① DVD によっては、この機能はまったく利用できない、または DVD メニューで利用できない箇所があります。これらを示すために、マークがディスプレイに表示されます。

- ▶ **次または前にスキップする**：全画面モードで、COMAND コントローラーをまわすか { }、スライドします ◀▶。

または

- ▶ コントロールパネルの [] または [] スイッチを押します。

ナビゲーションメニュー（▶260 ページ）が約 8 秒間表示されます。

- ▶ **マルチファンクションステアリングで**：COMAND システムの DVD ビデオモードをオンにします（▶259 ページ）。

- ▶ [] または [] スイッチを使用して、オーディオ メニューを選択します。

- ▶ [] または [] スイッチを押してシーン / チャプターを選択します。

[] または [] スイッチを長押しして保持すると、高速スクロールが始まります。

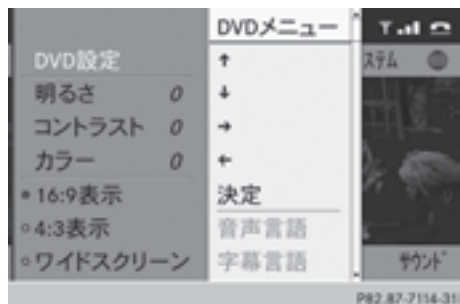
映画 / タイトルの選択

この機能は、DVD が複数の映像 / タイトルに分割されている場合にのみ利用できます。DVD 内に複数の映像が含まれている場合には、これらを直接

選択することができます。映像は、DVD が再生中でも、停止していても選択できます。

映像は DVD のディスク本体にあるメニューからも選択できます。

- ▶ COMAND コントローラーを押して 、メニューを表示させます。
 - ▶ COMAND コントローラーをまわして 、**DVD** を選択し、押して  確定します。
 - ▶ **DVD 設定** を選択し、押して  確定します。
- メニューが表示されます。



DVD 機能メニュー

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、**タイトル選択** を選択し、押して  確定します。
- ▶ 映像 / タイトルを選択し、押して  確定します。

DVD メニュー

DVD メニューを呼び出す

DVD メニューは DVD 本体に記録されているメニューです。このメニューは、個々の DVD によってさまざまな方法で構成されていて、特定の動作や設定を行なうことができます。

例えば、マルチランゲージ DVD の場合、DVD メニューで DVD の言語を変更することができます。

- ▶ 全画面モードで、COMAND コントローラーを押して  メニューを表示します。
- ▶ メニューで COMAND コントローラーをまわして 、**DVD** を選択し、押して  確定します。
- ▶ **DVD 設定** を選択し、押して  確定します。
- ▶ **DVD メニュー** を選択し、押して  確定します。

DVD メニューが表示されます。

DVD メニューのメニュー項目を選択する

- ▶ COMAND コントローラーをスライドするか 、まわして 、メニュー項目を選択し、押して  確定します。
- メニューが表示されます。

- ① 選択できないメニュー項目は灰色で表示されます。



- ▶ **選択を再度確認する**：押して **選択** を確定します。

COMAND システムが選択内容を実行します。

必要に応じて、詳細オプションから選択を行ないます。

その後、COMAND システムは DVD メニューに戻ります。

- ① DVD によっては、**ビデオに戻る**、**プレイ**、**ストップ**、**⏮**、**⏭** または **上へ** のメニュー項目がまったく機能しなかったり、DVD メニューのいくつかのポイントで機能しないことがあります。これらを示すために、アイコン **⊗** がディスプレイに表示されます。

DVD メニューの 1 つ上の階層に移動する

- ▶ DVD メニューの中の対応するメニュー項目を選択して、COMAND コントローラーを押して **⊗** 確定します。

または

- ▶ DVD メニューの中の任意のメニュー項目を選択して、COMAND コントローラーを押して **⊗** 確定します。
- ▶ **上へ** を選択し、押して **⊗** 確定します。

映像に戻る

- ▶ 映像が再開されるまで、リターンスイッチ **⏮** を繰り返し押します。

または

- ▶ DVD メニューから対応するメニュー項目を選択します。
- ▶ メニューで **ビデオに戻る** のメニュー項目を選択し、押して **⊗** 確定します。

言語とオーディオフォーマットの設定

この機能はすべての DVD に利用できるわけではありません。利用可能であれば、音声言語およびオーディオフォーマットを設定できます。設定の数は DVD の内容によります。DVD によっては、DVD メニュー (p.262 ページ) から設定できることもあります。

- ▶ 全画面モードで、COMAND コントローラーを押して **⊗** メニューを表示します。
 - ▶ メニューで COMAND コントローラーをまわして **Ⓢ**、**DVD** を選択し、押して **⊗** 確定します。
 - ▶ **DVD 設定** を選択し、押して **⊗** 確定します。
 - ▶ **音声言語** を選択し、押して **⊗** 確定します。
- しばらくするとメニューが表示されます。現在選択している言語の前に **●** が表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして **Ⓢ**、設定を選択し、押して **⊗** 確定します。

サブタイトルとカメラアングル

これらの機能はすべての DVD で利用できるわけではありません。利用できる字幕言語やカメラアングルの数は DVD の内容によります。DVD によっては、DVD メニュー (▶262 ページ) から設定できることもあります。

- ▶ 全画面モードで、COMAND コントローラーを押して メニューを表示します。
 - ▶ メニューで COMAND コントローラーをまわして 、DVD を選択し、押して 確定します。
 - ▶ DVD 設定 を選択し、押して 確定します。
 - ▶ 字幕言語 または アングル を選択して、押して 確定します。
- どちらの場合も、メニューが表示されます。現在の設定の前に ● が表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、設定を選択し、押して 確定します。

インタラクティブコンテンツ

DVD によっては、インタラクティブコンテンツ (例: ビデオゲーム) が収録されていることがあります。ビデオゲームでは、例えばアクションを選択または開始することによってイベントに影響を与えることができます。アクションの種類と数は DVD により異なります。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドして または 、メニュー項目を選択し、押して 確定します。

メニューが表示され、最初の項目選択が強調されます。

- ▶ COMAND コントローラーを押します 。

ビデオ AUX 操作

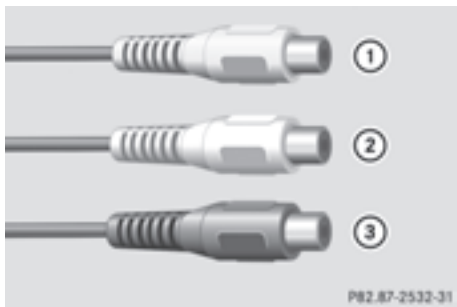
外部ビデオソースを接続する

車両にメディアインターフェースが装備されている場合は、外部ビデオソースを接続することができます。

外部ビデオソースをメディアインターフェースに接続するには、追加のオーディオ / ビデオケーブルが必要です。

詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

センターコンソールの小物入れには接続ソケットがあります。



オーディオ / ビデオソケット

- ① ビデオポート (V) (黄)
- ② オーディオポート (L) (白)
- ③ オーディオポート (R) (赤)

i 正しく再生するには、適切なビデオ規格が外部ビデオソースに設定されていなければなりません。

- ▶ 外部機器を適切なポート ① または ②、③ に接続します。

ビデオ AUX モードに切り替える

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから **↑**、まわして **⌂**、基本機能バーで **TV/ 映像** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。

前回選択されていたモードがビデオ AUX モードであれば、ビデオ AUX モードが起動します。

別のビデオソースに切り替わった場合は、ビデオメニューでビデオ AUX モードに切り替えます。

- ▶ **TV/ 映像** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。
- ▶ **外部入力** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。

ビデオ AUX メニューが表示されます。外部ビデオソースが接続され、再生されていれば、外部ビデオソースのコンテンツを視聴できます。



ビデオ AUX モード

外部ビデオソースの操作方法の詳細は、それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

メニューの表示 / 非表示

- ▶ **表示する**：COMAND コントローラーを押します **Ⓢ**。

- ▶ **非表示にする**：COMAND コントローラーをスライドして **↑**、全面表示を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。

音量とサウンドの設定

音量 (▶28 ページ) とサウンド (▶29 ページ) の設定に関する詳細は " はじめに " をご覧ください。

警告

外部ビデオソースはさまざまな音量になっているため、交通案内やナビゲーション音声案内などのシステムメッセージが非常に大きくなることがあります。必要に応じてシステムメッセージを無効にするか、音量を手動で調整してください。

- ① 外部ビデオソースとして接続している機器は、車内では音量が小さかったり、大きかったりすることがあり、また通常の最大音量にならないことがあります。接続する機器によっては、音量を個別に変えられる場合もあります。この場合には、適度な音量から少しずつ音量を上げていきます。これによって、歪みのない音質でサウンド再生が可能な音量レベルを確認することができます。

COMAND システムを使用して音量を調整する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして **⌂**、**音量** を選択し、押して **Ⓢ** 確定します。

メニューが表示されます。現在の設定に **●** が表示されます。



- ▶ **標準** または **ブースト** を選択し、押して 確定します。

標準: 外部ビデオソースの音量を初期値に調整します。

ブースト: 外部ビデオソースの音量を約 10 dB 増加します。

画像ビューワー

ご使用の前に

作動しているデータメディアに画像があるときは、それらを表示できます。2000 万画素までの画像を表示できます。

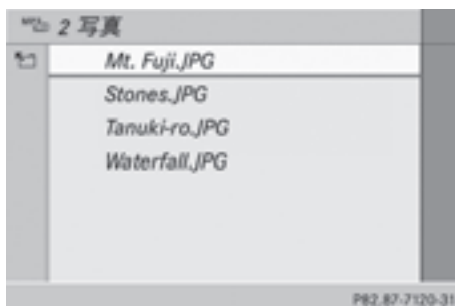
データメディア	サポートされている画面フォーマット
画像ファイルのある CD/DVD	jpeg, jpg
USB 機器 (スティック、ハードディスクドライブ)	jpeg, jpg
SD メモリーカード	

カテゴリーリストを呼び出す

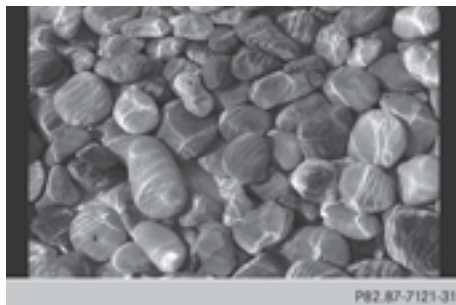
- ▶ オーディオメニュー (▷206 ページ) またはメディアリスト (▷214 ページ) で画像のあるデータメディア (例: メモリーカード) を選択します。
- ▶ 基本画面で COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、**ミュージックサーチ** を選択し、押して 確定します。
カテゴリーリストが表示されます。

画像を表示する

- ▶ COMAND コントローラーをまわして 、カテゴリーの**写真** (▷222 ページ) を選択し、押して 確定します。
フォルダのディレクトリが表示されます。
- ▶ 写真のあるフォルダを選択し、押して 確定します。
フォルダは既存の画像ファイル (例) を表示します。



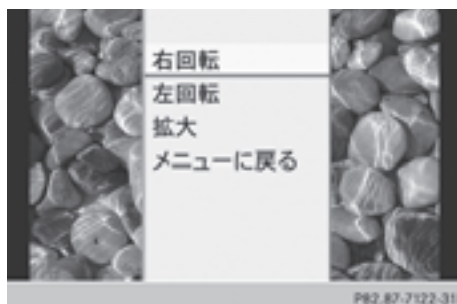
- ▶ 写真を選択し、押して 確定します。
写真が表示され、音楽が停止します。



- ▶ **画像をスクロールする**：COMAND コントローラーをまわします【**○**】。

画像表示を変更する

- ▶ COMAND コントローラーを押します **○**。
メニューが表示されます。

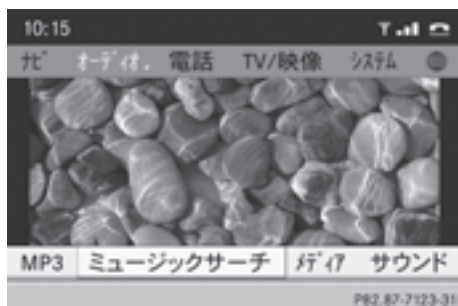


- ▶ **画像を時計回りにまわす**：COMAND コントローラーを押して **○** **右回転** を確定します。
- ▶ **画像を反時計回りにまわす**：COMAND コントローラーをまわして【**○**】、**左回転** を選択し、押して **○** 確定します。
- ▶ **画像を拡大する**：COMAND コントローラーをまわして【**○**】、**拡大** を選択し、押して **○** 確定します。
画像を拡大すると、画像を動かすことができます。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドします **↑****↓** または **←****→**。
- ▶ **元のサイズに戻す**：COMAND コントローラーを押すか **○**、またはリターンスイッチ **↩** を押します。

画像ビューワーを終了する

- ▶ メニューで COMAND コントローラーをまわして【**○**】、**メニューに戻る** を選択し、押して **○** 確定します。



- ▶ **音楽の再生を開始する**：押して **○** **ミュージックサーチ** を確定します。
カテゴリーリストが表示されます (▶222 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして【**○**】、カテゴリーを選択し、押して **○** 確定します。
- ▶ 音楽の再生が始まるまで、カテゴリー内で (例：トラック、アルバム) 他の項目を選択します。

COMAND システムの特徴 ..	270
全般的な情報	270
基本機能	271
システムの設定	273
音楽 CD/DVD オーディオ および MP3 モード	274
テレビモード	279
DVD ビデオモード	285
COMAND システムのソース モード	290
外部入力モード	292

COMAND システムの特徴

この取扱説明書はお買い上げいただいた時点で利用可能な、COMAND システムの標準装備やオプション装備すべてについて記載しています。国により、装備が異なる場合があります。COMAND システムには、記載されているすべての機能が装備されていないことがあります。

全般的な情報

電池の交換

注意

リモコンおよび2組のコードレスヘッドホンには電池が必要です。

⚠ 警告

電池には毒性を持つ物質が含まれています。

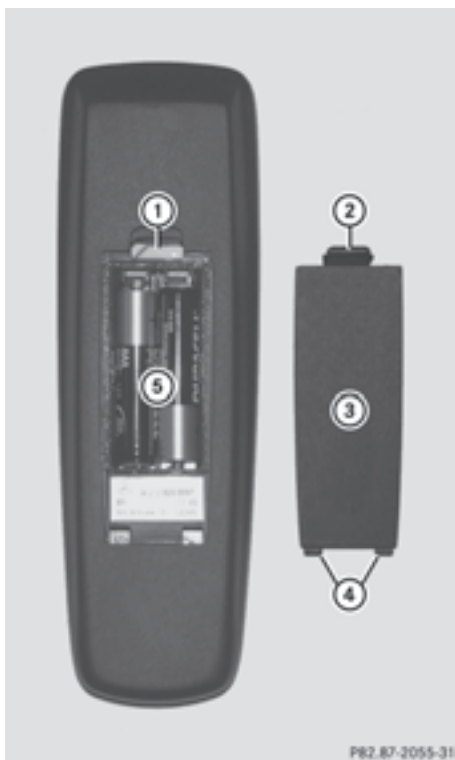
電池を飲み込んでしまうと、けがや死にいたることがあります。

子供の手の届かないところに常に保管してください。誤って電池を飲み込んでしまったときは、ただちに医師の診断を受けてください。

🌱 環境保護に関する注意

使用済みの電池は環境保護の観点から責任を持って適切に廃棄してください。

リモコン



- ① 電池収納部
- ② ノブ
- ③ 電池収納部カバー
- ④ ツメ
- ⑤ 電池

リモコンには2個の単4、1.5 V 電池が収納されています。

- ▶ **電池収納部を開く：** リモコン背面の電池収納部カバー ③ を取り外します。
- ▶ このために、ツメ ② を押し下げ、電池収納部カバー ③ を外します。
- ▶ 収納部から使用済みの電池 ⑤ を取り外します。
- ▶ 新しい電池を取り付けます。このとき、電池と電池収納部に記載されている極性に注意してください。

左側の電池：プラス（+）極が上方を向くようにします。

右側の電池：プラス（+）極が下方を向くようにします。

- ▶ **電池収納部を閉じる**： 電池収納部カバー ③ のツメ ④ を電池収納部に差し込んでから、ノブ ② をはめ込みます。

コードレスヘッドホン

電池力バーはヘッドホンの左側にあります。



① 電池収納部カバー

コードレスヘッドホンには 2 個の単 4、1.5 V 電池が収納されています。

- ▶ **電池収納部を開く**： 電池力バー ① を上方に開きます。電池が落ちないように、図のようにヘッドホンの左側を持ちます。
- ▶ 使用済みの電池を収納部から取り出します。
- ▶ 新しい電池を取り付けます。このとき、電池と電池収納部に記載されている極性に注意してください。
左側の電池：プラス（+）極が上方を向くようにします。
右側の電池：プラス（+）極が下方を向くようにします。
- ▶ **電池収納部を閉じる**： 所定の位置に固定されるまで、電池力バーを押します。

電池が正しく取り付けられると、ヘッドホンの電源をオンにしたときに表示灯が緑色に点灯します。

- ① 電池がセットされたヘッドホンの操作継続時間は 40 時間です。

基本機能

ヘッドホンの使用

車載されているコードレスヘッドホンまたは後席用ディスプレイの対応する端子に接続したコードつきヘッドホンを 2 セットまで使用することができます（▶33 ページ）。

以下の情報は "コードレスヘッドホン" をご覧ください。

- コードレスヘッドホンのオン/オフの切り替え（▶36 ページ）
- ヘッドホンの音量の調整（▶36 ページ）
- ヘッドホンに対応するディスプレイの選択（▶36 ページ）

メインスピーカーの使用

この機能はCOMANDシステムとの併用により利用できます。

リアシートのディスクドライブに挿入したディスクを車両のスピーカーで聴くことができます。このためには、少なくとも 1 つの後席用ディスプレイをディスクモードに設定する必要があります。

- ▶ **COMAND システムを使用時の設定**：例えば **AUDIO** 機能スイッチを押してオーディオモードをオンにします。
- ▶ **COMAND コントローラー**をスライドして **↑**、**オーディオ** を選択し、押して **Ⓜ** 確定します。
オーディオメニューが表示されます。

- ▶ COMAND コントローラーをまわして【】後席 を選択します。押して  確定します。

i ヘッドホンの音量設定はメインスピーカーには影響を及ぼしません。

サウンドを調整する

音楽 CD/DVD/MP3、テレビ、DVD ビデオ、および外部入力モードでサウンド調整を選択できます。

- ▶ 操作モード (例えば、音楽 CD モード) にします (▶275 ページ)。

- ▶ リモコンのスイッチ  を使用して **Treble** または **Bass** を選択し、 スイッチを押して確定します。

調整スケールが表示されます。

- ▶  スイッチを使用して設定を選択し、 スイッチを押して確定します。

マルチユーザー

後席ディスクドライブの同時使用

2つの後席用ディスプレイは、片方からほぼ完全に独立して操作することができます。しかし、2つのディスプレイを同時に使用した場合には一部のメニューで不一致が起こることがあります。

後席のディスクドライブを両方のディスプレイで同時に使用する場合には、特定のメニューを選択したり、片方のディスプレイを設定することによって、他方のディスプレイに影響を及ぼします。

以下の操作は両方のディスプレイに影響を与えます。

- 再生オプションの変更
- トラックの選択 (トラックリストまたはフォルダから)
- 再生、一時停止、および停止操作

- 早送り / 巻戻し、またはスクロール
- DVD メニューの呼び出し、およびメニュー操作
- 言語、サブタイトル、およびカメラアングルの設定
- インタラクティブDVDコンテンツの呼び出し

以下の操作は1つのディスプレイにのみ影響を与えます。

- オーディオおよびビデオ操作、画質の調整
- 全画面表示とメニュー表示の切り替え

操作モード間の切り替え

操作モード (例えば音楽 CD モード) を終了するときに、現在の設定は保存されます。後にこのモードを再び呼び出す場合には、2つの可能性があります。

- モードが他のディスプレイによって変更されている。
- 操作モードは変更されていない。

最初のケースでは、他のディスプレイで設定されたモードが表示されます。

2番目のケースでは、前回終了した操作モードがディスプレイに表示されません。

画質の調整

概要

この設定はテレビ、DVD ビデオ、外部入力モードで選択できます。詳細は、外部入力モードを参照してください (▶292 ページ)。

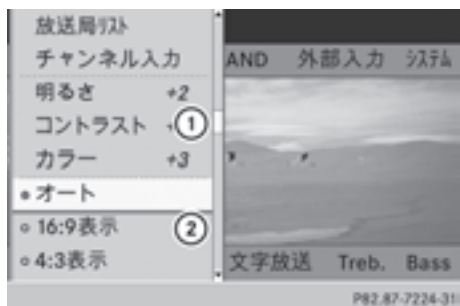
明るさ、コントラスト、カラーを調整する

- ▶ テレビモード (▶279 ページ) または DVD ビデオモード (▶285 ページ) に切り替えます。

- ▶ **メニューを表示する**： リモコンの **(OK)** スイッチを押します。

または

- ▶ ナビゲーションメニュー (▷251 ページ) が表示されているときに **メニュー** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ どちらの場合も、**[▼][◀][▶]** スイッチを使用して、**テレビ** または **DVD ビデオ** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。



例：テレビモード

- ① 明るさ、コントラスト、およびカラー
 - ② 画面比率
- ▶ **[▲][▼]** スイッチを使用して、**明るさ**、**コントラスト** または **カラー** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
調整スケールが表示されます。
 - ▶ **[▲][▼]** スイッチを使用して設定を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

画面比率を変更する

- ▶ **メニューを表示する**： リモコンの **(OK)** スイッチを押します。

または

- ▶ ナビゲーションメニュー (▷251 ページ) が表示されているときに **メニュー** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

- ▶ **[▼][◀][▶]** スイッチを使用して、**テレビ** または **DVD ビデオ** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

メニュー項目の **16:9 表示**、**4:3 表示**、または **ワイドスクリーン** の前のあるドットは、現在選択されている画面比率を示しています。

- ▶ **[▲][▼]** スイッチを使用して画面比率を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

システムの設定

注意点

他方のディスプレイに影響を与えることなく、ほぼすべてのシステム設定をそれぞれのディスプレイで個別に調整できます。これらの設定はリモコンを使用して行ないます (▷34 ページ)。

表示言語を選択する

- ▶ リモコンの **[▲][◀][▶]** スイッチを使用して **システム** を選択して、押して **(OK)** 確定します。

選択した後席用ディスプレイにシステムメニューが表示されます。

- ▶ **[▼]** スイッチを使用して **設定** を選択し、押して **(OK)** 確定します。

- ▶ **[▲][▼]** スイッチを使用して **言語** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

言語の一覧が表示されます。現在の設定に **●** が表示されます。

- ▶ **[▲][▼]** スイッチを使用して言語を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

リアエンターテインメントシステムが選択した言語で作動します。

画面設定を切り替える

- ▶  スイッチを使用して **設定** を選択し、押して **(OK)** 確定します。
 - ▶   スイッチを使用して、**昼画面設定**、**夜画面設定** または **オート** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- 現在の設定にドットが表示されます。

デザイン	説明
昼画面設定	ディスプレイは常に昼画面に設定されます。
夜画面設定	ディスプレイは常に夜画面に設定されます。
オート	ディスプレイデザインは車両のメーターパネルの照明によって変わります。

明るさを調整する

- ▶  スイッチを使用して **設定** を選択し、押して **(OK)** 確定します。
 - ▶   スイッチを使用して **明るさ** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- スケールが表示されます。
- ▶   スイッチを使用して明るさを調整し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- 明るさを示すバーが上下に動きます。画面はスケールに従って明るく、または暗くなります。

画面を表示 / 非表示にする

- ▶ **画面を非表示にする**： リモコンの   スイッチを使用して、システムメニューの **画面OFF** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- 画面が表示されなくなります。
- ▶ **画面を表示する**： **(OK)** スイッチを押します。

音楽 CD/DVD オーディオおよび MP3 モード

安全上の注意



警告

CD/DVD ドライブはクラス 1 のレーザー製品です。ケースは決して開けないでください。ケースを開けたり、あるいはケースが故障または損傷している場合は、目に見えないレーザー放射に晒されるおそれがあります。

リアエンターテインメントシステムには、お客様がご自身で修理できるような部品は含まれていません。安全上の理由から、すべてのメンテナンス作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

全体的な注意事項

オーディオの章に、以下の項目に関する情報が記載されています。

- CD/DVD に関する注意 (▷210 ページ)
- MP3 モードに関する注意 (▷220 ページ)
- 著作権に関する注意 (▷222 ページ)

CD/DVD を挿入する



- ① ディスクスロット
- ② ディスク排出スイッチ

この CD/DVD ドライブは、シングルディスクドライブです。すでにディスクが挿入されている場合は、別のディスクを挿入する前に取り出してください。

- ▶ ディスクをディスクスロットに挿入します。

ディスクの印刷されている面を上に向けてください。どちらの面にも印刷されていない場合は、再生しようとする面を下に向けて挿入してください。

ディスクが CD/DVD ドライブに引き込まれます。



CD/DVD ドライブが以下のときにディスクを再生します。

- ディスクが正しく挿入され、かつ再生可能なディスクであるとき

- ディスクモード（音楽 CD/DVD オーディオ / MP3 モード）に切り替えた後（▶275 ページ）。

MP3 CD のデータは最初にドライブによるローディングが必要になります。フォルダおよびトラックの数によって、読み込みに時間がかかることがあります。

CD/DVD を取り出す

- ▶  スイッチを押します。
ドライブがディスクを排出します。
- ▶ スロットからディスクを取り出します。
スロットからディスクを取り出さない場合は、しばらくすると COMAND システムが再度ディスクを自動的に引き込みます。

音楽 CD、DVD オーディオ、または MP3 モードに切り替える

- ▶ CD/DVD を挿入します（▶275 ページ）。
挿入されたディスクをリアエンターテインメントシステムが読み込みます。
- ▶ リモコンの    スイッチを使用してメニューの **ディスク** を選択し、 スイッチを押して確定します。
再生したいモードになります。リアエンターテインメントシステムがディスクを再生します。



音楽 CD モード (例)

- ① データメディアの種類
- ② トラック番号
- ③ トラック名 (CD テキストとしてディスクに記録されている場合のみ)
- ④ 経過時間
- ⑤ 経過時間のグラフ表示
- ⑥ 現在の再生設定 (“ノーマル” のときは表示なし)
- ⑦ 低音の調整
- ⑧ 高音の調整
- ⑨ ディスク名 (CD テキストとしてディスクに記録されている場合のみ)
- ⑩ トラックリストの呼び出し
- ⑪ 再生オプション



音楽 DVD モード (例)

- ① データメディアの種類
- ② トラック番号
- ③ トラック名 (ディスクに記録されている場合のみ)
- ④ 経過時間

- ⑤ 経過時間のグラフ表示
- ⑥ 現在の再生設定 (“ノーマル” のときは表示なし)
- ⑦ 低音の調整
- ⑧ 高音の調整
- ⑨ ディスク名 (ディスクに記録されている場合のみ)
- ⑩ トラックリストの呼び出し
- ⑪ 停止機能
- ⑫ 一時停止機能
- ⑬ 再生オプション



MP3 モード (例)

- ① データメディアの種類
- ② トラック番号
- ③ トラック名
- ④ 経過時間
- ⑤ 経過時間のグラフ表示
- ⑥ 現在の再生設定 (“ノーマル” のときは表示なし)
- ⑦ 低音の調整
- ⑧ 高音の調整
- ⑨ ディスク名または現在のフォルダ
- ⑩ フォルダリストの呼出し
- ⑪ 再生オプション (トラック情報を有効 / 無効にする)

i 可変ビットレートの MP3 ファイルでは、経過時間表示が実際の経過時間と異なることがあります。

トラックを選択する

トラックをスキップして選択する

- ▶ **トラックを前方または後方にスキップする:** リモコンの または スイッチを押します。

または

- ▶ または スイッチを押します。

前方へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。

後方にスキップ操作をすると、現在のトラックの先頭から再生をやり直すか (再生が開始されてから8秒以上経過している場合)、前のトラックにスキップします (現在のトラックを再生してから 8 秒以内の場合)。

再生オプションの**ランダム** または **ランダム (フォルダ)** を選択している場合は、トラックの再生は順不同になります。

トラックリストで選択する

音楽 CD モードでは、現在再生しているディスク内のすべてのトラックがトラックリストに含まれます。

DVD オーディオモードでは、現在作動しているグループ内のすべてのトラックがトラックリストに含まれます。詳細については (p219 ページ) をご覧ください。

MP3 モードでは、現在作動しているフォルダ内のすべてのトラック、および MP3 CD 内のすべてのトラックが選択できるようにフォルダ階層が表示されます。

- ▶ リモコンのスイッチ を使用して、**トラックリスト** (音楽 CD/DVD オーディオモード) または **フォルダ** (MP3 モード) を選択し、 スイッチを押して確定します。

または

- ▶ 表示/選択ウインドウが選択されているときに、 スイッチを押します。

トラックリストが表示されます。ドット ● は現在のトラックを示しています。

- ▶ スイッチを使用してトラックを選択し、 スイッチを押して確定します。

トラック番号を直接入力して選択を行う

- ▶ リモコンの スイッチを押します。

トラック入力画面が表示されます。

例: トラック 2

- ▶ テンキーの 2 を押します。

例: トラック 12

- ▶ 素早く対応するテンキーを押します。

- ▶ CDに収録されているトラックの数、または現在作動しているフォルダにあるトラックの数を上回る番号の入力できません。

- ▶ 入力後、約 3 秒間待ってください。入力したトラックが再生されます。対応する基本メニューが再度表示されます。

早送り / 早戻し

- ▶ 表示/選択ウインドウがオンになっているときに、リモコンの または スイッチを、再生したい位置になるまで繰り返し押します。

または

- ▶ 希望の位置にくるまで、 または スイッチを押して保持します。

フォルダを選択する

この操作は MP3 モードのときのみ有効です。

- ▶ リモコンの    スイッチを使用して MP3 モードで **フォルダ** を選択し、 スイッチを押して確定します。

または

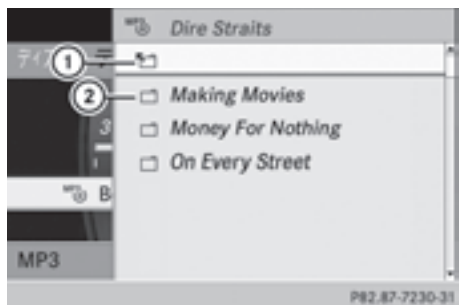
- ▶ 表示/選択ウィンドウが選択されているときに、 スイッチを押します。フォルダの内容が表示されます。



- ① フォルダ選択アイコン
- ② 現在のフォルダ名
- ③ トラックマーク

- ▶ **上位のフォルダに切り替える：** リモコンの   スイッチを使用してマーク①を選択し、 スイッチを押して確定します。

画面に上位の階層のフォルダが表示されます。



- ① フォルダ選択アイコン
- ② フォルダのマーク

- ▶   スイッチを使用してフォルダを選択し、 スイッチを押して確定します。

フォルダ内のトラックが表示されます。

- ▶   スイッチを使用してトラックを選択し、 スイッチを押して確定します。

トラックが再生されて、該当するフォルダが現在のフォルダになります。

一時停止機能

この操作は DVD オーディオモードのときのみ有効です。

- ▶ **再生を一時停止する：** リモコンの    スイッチを使用して  を選択し、 スイッチを押して確定します。

 が  に変わります。

- ▶ **再生を続ける：**  を選択して、 スイッチを押して確定します。

 が  に変わります。

停止機能

この操作は DVD オーディオモードのときのみ有効です。

- ▶ **再生を中断する：** リモコンの    スイッチを使用して  を選択し、 スイッチを押して確定します。

 が  に変わります。

- ▶ **再生を続ける：**  を選択して、 スイッチを押して確定します。再生が中断された場所から再生されます。

- ▶ **再生を中止する：** 再生が中断されるときに、 を再び選択して、 スイッチを押して確定します。再生が停止して、DVD の先頭に戻ります。 が強調されます。

- ▶ **再生を再開する**： を選択して、 スイッチを押して確定します。
DVD の先頭から再生が始まります。

オーディオフォーマットの設定

オーディオフォーマットに関する詳細は“オーディオ”（▷205 ページ）に記載されています。

- ▶ リモコンの    スイッチを使用して **DVD オーディオ** を選択し、押して  確定します。
- ▶   スイッチを使用して **グループ** を選択し、 スイッチを押して確定します。
利用可能なオーディオフォーマットのリストが表示されます。ドット ● は現在選択されているフォーマットを示しています。
- ▶   スイッチを使用してオーディオフォーマットを選択し、 スイッチを押して確定します。
- ▶ **メニューを終了する**： または  スイッチを押します。

再生オプション

再生オプションに関する詳細は“オーディオ”（▷205 ページ）に記載されています。

- ▶ リモコンの    スイッチを使用して **CD**、**DVD オーディオ** または **MP3** を選択し、 スイッチを押して確定します。
オプションリストが表示されます。ドット ● は現在選択されているオプションを示しています。
- ▶   スイッチを使用して、**ノーマル**、**ランダム** または **ランダム（フォルダ）** を選択し、 スイッチを押して確定します。

オプションが有効になります。**ノーマル**以外のすべての再生モードは、表示 / 選択ウィンドウに再生オプションが表示されます。

- ① ディスクを入れ替えた場合は、オプションの **ノーマル** が自動的に選択されます。オプションを選択すると、リアエンターテインメントシステムの電源をオン / オフした後でも、選択した再生モードが維持されます。

トラック情報のオン / オフを切り替える（MP3 モードのみ）

この機能を有効にすると、フォルダおよびトラック名が表示されます。

この機能を無効にすると、ディスクおよびファイル名が表示されます。

- ▶ リモコンの    スイッチを使用して **MP3** を選択し、 スイッチを押して確定します。
- ▶   スイッチを使用して **曲情報表示** を選択し、 スイッチを押して確定します。
前回の状態に応じて、この機能はオン  またはオフ  になります。

テレビモード

全般的な情報

テレビ放送の受信品質に関する詳細は、COMAND システムの“テレビモード”に記載されています（▷249 ページ）。

テレビモードに切り替える

- ▶ リモコンの    スイッチを使用して **テレビ** を選択し、 スイッチを押して確定します。
受信可能な状態であれば、前回選択されたテレビチャンネルが表示されます。

ナビゲーションメニューの表示 / 非表示

- ▶ **表示する**：リモコンの  または  スイッチを押します。
- ▶ **非表示にする**：  または  スイッチを押します。

または

- ▶ 約 8 秒間待ちます。



- ① 選択されたテレビチャンネルのプリセット位置
- ② 番組情報マーク
- ③ 選択されたテレビチャンネル
- ④ メニューを表示する

番組情報マーク

番組情報マークにより、番組の情報を知ることができます。

以下は、主な番組情報マーク(例)です。

	手話付き放送
	番組連動データ付き放送
	ステレオ放送
	二か国語放送
	音声多重放送
	解説あり放送
	圧縮 B モードステレオ放送
	ニュース放送
	再放送
	新番組

上記以外のマークが表示されることがありますが、リアエンターテインメントシステムでは対応していません。

メニューの表示 / 非表示

- ▶ **表示する**：リモコンの  スイッチを押します。

または

- ▶ ナビゲーションメニューが表示されているときに **メニュー** を選択し、 スイッチを押して確定します。
- ▶ **非表示にする**：  スイッチを押して **全画面表示** を選択し、 スイッチを押して確定します。



- ① テレビメニュー項目の呼び出し
- ② チャンネルプリセットの呼び出し
- ③ 番組表
- ④ 文字放送
- ⑤ 高音の調整
- ⑥ 低音の調整

テレビ 1 とテレビ 2 を切り替える

- ▶ **メニューを表示する：** リモコンの **(OK)** スイッチを押します。

または

- ▶ ナビゲーションメニューが表示されているときに **メニュー** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **(◀▶)** スイッチを使用して、**テレビ 1** または **テレビ 2** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。テレビメニューが表示されます。
- ▶ **(▼▲)** スイッチを使用して、**テレビ 1** または **テレビ 2** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。**テレビ 1** または **テレビ 2** になります。

- i** 例えば、**テレビ 1** には自宅周辺のよく視聴するチャンネルを記憶させます。そして、**テレビ 2** には他地域を走行するときにその地域のチャンネルを記憶させるといった使い方ができます。

テレビチャンネルの選択

ナビゲーションメニューを使用してチャンネルを選択する

- ▶ 表示ウインドウがオンになっているときに、リモコンの **(◀)** または **(▶)** スイッチを押します。

または

- ▶ **(◀◀)** または **(▶▶)** スイッチを押します。

テレビチューナーは、アルファベット順のチャンネルリストから、前または次のチャンネルを選択します。

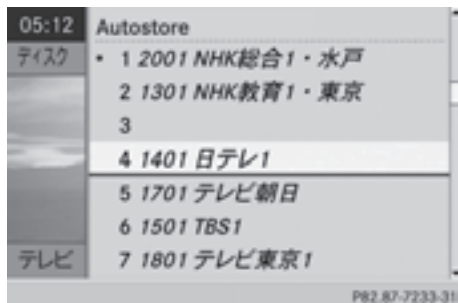
放送局プリセットによりチャンネルを選択する

- ▶ **メニューを表示する：** リモコンの **(OK)** スイッチを押します。

または

- ▶ ナビゲーションメニューが表示されているときに **メニュー** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **(◀▶)** スイッチを使用して **プリセット** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

チャンネルプリセットメニューが表示されます。ドット ● は、選択されているチャンネルが現在保存されている場所を示しています。



チャンネルメモリー（例）

- ▶   スイッチを使用してチャンネルを選択し、 スイッチを押して確定します。

または

- ▶ テンキーを押します。

チャンネル番号を入力してチャンネルを選択する

オプション 1 :

- ▶  スイッチを押します。
チャンネル番号の入力メニューが表示されます。
- ▶ テンキーを使用してチャンネル番号を入力します。
4桁のチャンネル番号を入力すると、チャンネルが選択されます。
- ▶ 入力した数字を削除する :  スイッチを押します。

オプション 2 :

- ▶   スイッチを使用して、**テレビ 1** または **テレビ 2** を選択し、 スイッチを押して確定します。
- ▶   スイッチを使用して **チャンネル入力** を選択し、 スイッチを押して確定します。
チャンネル番号の入力メニューが表示されます。
- ▶ テンキーを使用してチャンネル番号を入力します。
4桁のチャンネル番号を入力すると、チャンネルが選択されます。
- ▶ 入力した数字を削除する :  スイッチを押します。

- i** 13から62の範囲外の数字から始まるチャンネル番号を入力すると、**チャンネルをお確かめください** と表示されます。

テレビチャンネルの記憶

手動でチャンネルを記憶させる

放送局を 10 局までプリセットできます。

- ▶ **メニューを表示する** : リモコンの  スイッチを押すか、またはナビゲーションメニューが表示されているときに  スイッチを押して **メニュー** を確定します。
 - ▶   スイッチを使用して **リセット** を選択し、 スイッチを押して確定します。
チャンネルプリセットメニューが表示されます。現在選択しているプリセット済みのチャンネルに ● が表示されます。
 - ▶ **チャンネルを記憶する** :   スイッチを使用してプリセットを選択し、確認音が聞こえるまで  スイッチを押して保持します。
- または
- ▶ 音が聞こえるまでテンキーを押して保持します。
テレビ画面が再び表示されます。

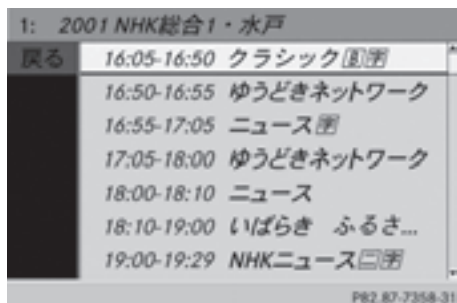
チャンネルを自動で記憶させる

COMANDシステムは十分な受信状態にあるすべてのチャンネルを、日本の ARIB (Association of Radio Industries and Businesses ; 社団法人 電波産業会) 規格に従って、それぞれのチャンネルメモリー(テレビ 1、テレビ 2) に自動的に記憶します。これは受信可能なチャンネルが受信品質の順に記憶されないことを意味します。東京ではプリセット 10 というように自由にプリセットすることができます。メモリーに以前記憶されたいくつかのチャンネルが(自動または手動でも) 消去されます。

- ▶ **メニューを表示する**： リモコンの **(OK)** スイッチを押すか、またはナビゲーションメニューが表示されているときに **(OK)** スイッチを押して **メニュー** を確定します。
 - ▶ **◀▶** スイッチを使用して **ブリセット** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
 - ▶ **オートプリセット** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- リアエンターテインメントシステムが受信可能なチャンネルを探します。受信可能なチャンネルが自動的にプリセット位置に記憶されます。

番組表を表示する

- ▶ **メニューを表示する**： リモコンの **(OK)** スイッチを押すか、またはナビゲーションメニューが表示されているときに **(OK)** スイッチを押して **メニュー** を確定します。
 - ▶ **◀▶** スイッチを使用して **番組表** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- 放送時間と番組名、番組情報マークが表示されます。



戻る	16:05-16:50	クラシック
	16:50-16:55	ゆうどきネットワーク
	16:55-17:05	ニュース
	17:05-18:00	ゆうどきネットワーク
	18:00-18:10	ニュース
	18:10-19:00	いばらき ふるさ...
	19:00-19:29	NHKニュース

- ▶ **▲▼** スイッチを使用して希望の番組を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- 希望の番組の内容が表示されます。

文字放送

文字放送のオンとオフを切り替える

- ▶ **メニューを表示する**： リモコンの **(OK)** スイッチを押します。
- または
- ▶ ナビゲーションメニューが表示されているときに **メニュー** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
 - ▶ **オンにする**： **◀▶** スイッチを使用して **文字放送** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- 最初の文字放送のページが表示されます。
- ▶ **オフにする**：リターンスイッチ **↩** を押します。

文字放送のページを選択する

- ▶ **ページを直接選択する**： リモコンの対応するテンキーを押します。
- i** 100 から 899 の間の文字放送で可能なページのみを入力できます。
- ▶ **次/前のページを呼び出す**： **▲** または **▼** スイッチを押します。

テロップ放送ページ

テロップ放送ページは複数のサブページから構成されています。一定の時間が経過すると表示が自動的に切り替わります。

データ受信の設定

全般的な情報

- i** 番組や電波状況によっては、データ放送を受信できない場合があります。
- i** リアエンターテインメントシステムのテレビチューナーはワンセグメント規格の受信をサポートしていません。リアエンターテインメントシステムのテレビ機能は、双方向データサービスをサポートしていません。

データ放送地域の設定

それぞれの地域に合わせたデータ放送を受信するための設定を行ないます。

- ❶ 他地域のテレビチャンネルの番組を視聴しているときでも、データ放送で表示される天気予報はあらかじめ設定した放送地域の天気予報が表示されます。

- ▶ **メニューを表示する：** リモコンの **(OK)** スイッチを押します。

または

- ▶ ナビゲーションメニューが表示されているときに **メニュー** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

- ▶ **(◀▶)** スイッチを使用して、**テレビ1** または **テレビ2** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。テレビメニューが表示されます。

- ▶ **(▼▲)** スイッチを使用して、**都道府県別** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

- ▶ **(▼▲)** スイッチを使用してデータサービスを受信する都道府県を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

ドット ● は現在選択されている都道府県を示しています。

データ受信をオンにする

- ▶ **メニューを表示する：** リモコンの **(OK)** スイッチを押します。

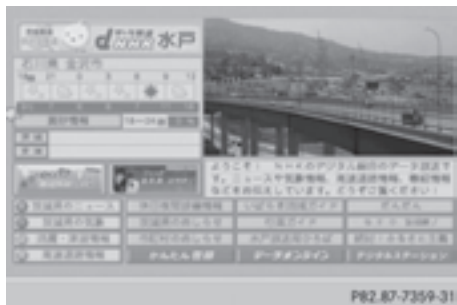
または

- ▶ ナビゲーションメニューが表示されているときに **メニュー** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

- ▶ **(◀▶)** スイッチを使用して、アイコン **d** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

データが表示されます。

現在視聴しているチャンネルでデータ放送が受信できないときは、アイコン **d** は灰色で表示され選択できません。



- ❶ 受信したデータを表示するのに時間がかかることがあります。

- ❶ データサービスの内容およびメニューはチャンネルにより異なります。

データ放送のメニュー項目を選択する

- ▶ **(▼▲◀▶)** スイッチを押して希望のオプションを選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

カラーを選択する

- ▶ **(◀▶)** スイッチを使用して、**赤**、**緑**、**黄** または **青** を選択し、押して **(OK)** 確定します。

選択したカラーのオプションが表示されます。

1 つ前の画面に戻る

- ▶ **(↶)** スイッチを押す。

データ受信を終了してテレビ放送に戻る

- ▶ **(↷)** スイッチを押して保持します。

出力音声設定を表示する

2 カ国語放送受信時に、出力音声を選択できます。

- ▶ **メニューを表示する：** リモコンの **(OK)** スイッチを押します。

または

- ▶ ナビゲーションメニューが表示されているときに **メニュー** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

- ▶   スイッチを使用して、**テレビ 1** または **テレビ 2** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶   スイッチを使用して、**Main** または **Sub** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

ドット ● は現在選択されている言語を示しています。

DVD ビデオモード

全体的な注意事項

ここに以下の項目に関するより詳しい情報があります。

- 安全性に対する注意点 (▶258 ページ)
- DVD に関する注意点 (▶258 ページ)

DVD の再生条件

コピーされたディスクを再生する場合は、再生の問題に直面することがあります。多くの種類のディスク、DVD オーサリングソフト、ライティングソフト、ライターが利用できます。お客様で自身でコピーした DVD ビデオをリアエンターテインメントシステムで再生できることを保証するという意味ではありません。

さらに詳しい情報については DVD ビデオモードの項 (▶258 ページ) にあります。COMAND システムに関する情報はリアエンターテインメントシステムにも適用されます。

機能の制限

DVD によっては、この項の一部の機能や動作が一時的に制限されたり、まったく作動しない場合があります。これらの機能や動作を作動させようとすると、ディスプレイにマーク  が表示されます。

CD/DVD の挿入と取り出し

- ▶ "音楽 CD/DVD オーディオおよび MP3 モード" にあるように手順を進めてください (▶210 ページ)。

DVD ビデオモードの作動

- ▶ DVD ビデオを挿入します。
リアエンターテインメントシステムがディスクを読み込みます。
前回選択されているのがディスクモードであれば、作動します。
そうでなければ、以下の指示で説明するように DVD ビデオモードに切り替えてください。
- ▶ リモコンの    スイッチを使用してメニューの **ディスク** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

DVD ビデオが再生基準を満たす場合：映画が自動的に始まったり、DVD に保存されているメニューが表示されます。DVD メニューが表示された場合は、手動で映画を再生させます。

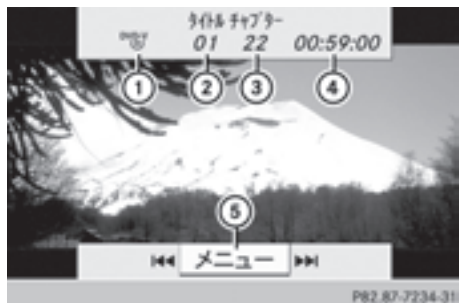
- ▶ DVD メニューに対応するメニュー項目を選択します。

ナビゲーションメニューの表示 / 非表示

- ▶ **表示する**：リモコンの  または  スイッチを押します。
- ▶ **非表示にする**：  または  スイッチを押します。

または

- ▶ 約 8 秒間待ちます。



ナビゲーションメニュー

- ① データメディアの種類
- ② 現在のトラック
- ③ 現在のシーン
- ④ 経過時間
- ⑤ メニューを表示する

メニューの表示 / 非表示

- ▶ **表示する**：リモコンの **OK** スイッチを押します。

または

- ▶ ナビゲーションメニューが表示されているときに **メニュー** を選択し、**OK** スイッチを押して確定します。
- ▶ **非表示にする**：**▲** スイッチを押して、**全画面表示** を選択し、**OK** スイッチを押して確定します。



メニューシステム

- ① DVD ビデオオプション
- ② 一時停止機能
- ③ 停止機能

- ④ 高音の調整
- ⑤ 低音の調整

早送り / 早戻し

- ▶ 好みの位置になるまでリモコンの **⏮** または **⏭** スイッチを押して保持します。
ナビゲーションメニューが表示されます。

一時停止機能

- ▶ **メニューを表示する**：リモコンの **OK** スイッチを押します。

または

- ▶ ナビゲーションメニューが表示されているときに **メニュー** を選択し、**OK** スイッチを押して確定します。
- ▶ **再生を一時停止する**：**⏮** を選択して、**OK** スイッチを押して確定します。
⏮ が **⏭** に変わります。
- ▶ **再生を続ける**：**⏭** を選択して、**OK** スイッチを押して確定します。
メニューが隠れます。

停止機能

- ▶ **メニューを表示する**：リモコンの **OK** スイッチを押します。

または

- ▶ ナビゲーションメニューが表示されているときに **メニュー** を選択し、**OK** スイッチを押して確定します。
- ▶ **再生を中断する**：**■** を選択して、**OK** スイッチを押して確定します。
⏮ が **⏭** に変わります。ビデオ映像が隠れます。
- ▶ **再生を続ける**：**⏭** を選択して、**OK** スイッチを押して確定します。

再生が中断された場所から再生されます。メニューが隠れます。

- ▶ **再生を中止する**： 再生が中断されるときに、 を再び選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。再生が停止して、DVD の先頭に戻ります。 が強調されます。
- ▶ **再生を再開する**： を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。DVD の先頭から再生が始まります。

シーン / チャプターの選択

注意点

この機能についてのより詳しい情報は、(▶261 ページ) にあります。

次または前にスキップする

- ▶ リモコンの  または  スイッチを押します。

または

- ▶  または  スイッチを押します。

ナビゲーションメニュー (▶260 ページ) が約 8 秒間表示されます。

シーン / チャプターを直接選択する

例としてシーン / チャプター 5 の選択方法を示します。

- ▶ **オプション1**： 映画を再生しているとき、リモコンの  スイッチを押します。
- ▶ 5 のように対応するテンキーを押します。
- ▶ **オプション2**： 映画を再生しているとき、リモコンの **(OK)** スイッチを押してメニューを表示します。
- ▶ **DVD ビデオ** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

- ▶ **DVD 設定** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

- ▶ **チャプター選択** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。

- ▶  または  スイッチを使用して 5 を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

どちらの場合も、しばらくすると 5 番目のシーン / チャプターから再生が始まります。

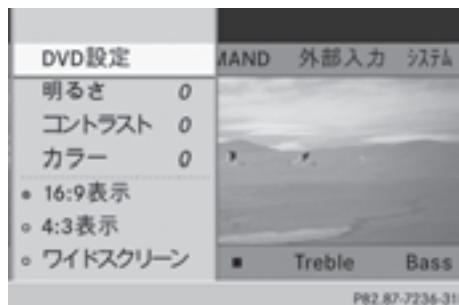
映画 / タイトルの選択

注意点

この機能についてのより詳しい情報は、(▶261 ページ) にあります。

オプション 1

- ▶ リモコンの **(OK)** スイッチを押してメニューを表示します。
- ▶ **DVD ビデオ** を選択し、リモコンの **(OK)** スイッチを押して確定します。



- ▶ **DVD 設定** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **トラック選択** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **選択リストの呼び出し**：**(OK)** スイッチを押します。
- ▶ 映画 / トラックを選択します。

オプション 2

例：映画 2 を選択します

- ▶ スイッチ 2 を押します。
しばらくすると、2 番目の映画が再生されます。

DVD メニュー

注意点

DVD メニューについてのさらに詳しい情報は、(▶262 ページ) にあります。

DVD メニューを呼び出す

- ▶ リモコンの **(OK)** スイッチを押してメニューを表示します。
- ▶ **DVD ビデオ** を選択し、リモコンの **(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **DVD 設定** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **メニュー** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。

DVD メニューが表示されます。

DVD メニューのメニュー項目を選択する

- ▶ リモコンの **[▲][▼][◀][▶]** スイッチを使用してメニュー項目を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- メニューが表示されます。

- i** 選択できないメニュー項目は灰色で表示されます。



- ▶ **(OK)** スイッチを押して **選択** を確定します。

リアエンターテインメントシステムが作動するか、サブメニューが表示されます。

- ▶ 利用可能であれば、さらにオプションが選択できます。

リアエンターテインメントシステムが DVD メニューに戻ります。

- i** DVD によっては、**ビデオに戻る**、**プレイ**、**ストップ**、**◀◀**、**▶▶** または **上へ** のメニュー項目がまったく機能しなかったり、DVD メニューのいくつかのポイントで機能しないことがあります。これらを示すために、アイコン **⊙** がディスプレイに表示されます。

映画を停止する、シーンの始め、または終わりにスキップする

- ▶ DVDメニューのいずれかのメニュー項目を選択します。
メニューが表示されます。
- ▶ **映画を停止する**：メニュー項目の **ストップ** を選択して、リモコンの **(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **シーンの終わりにスキップする**：メニュー項目の **▶▶** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **シーンのはじめにスキップする**：メニュー項目の **◀◀** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。

DVD メニューの 1 つ上の階層に移動する

- ▶ **オプション1**：リモコンのリターンスイッチ **[↶]** スイッチを押すか、またはDVDメニューに対応するメニュー項目を選択します。
- ▶ **オプション2**：DVDメニューのいずれかのメニュー項目を選択します。
- ▶ メニュー項目の **上へ** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。

映像に戻る

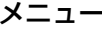
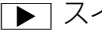
- ▶ **オプション 1**：リモコンの リターンスイッチ  を映画が見えるようになるまで繰り返し押すか、または DVD メニューに対応するメニュー項目を選択します。
- ▶ **オプション 2**：DVD メニューのいずれかのメニュー項目を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ メニューでメニュー項目の **ビデオに戻る** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

オーディオフォーマットの設定

この機能はすべての DVD に利用できるわけではありません。利用可能であれば、音声言語やオーディオフォーマットを設定できます。設定の数は DVD の内容によります。設定は DVD メニューにアクセスして行なうことも可能です。

- ▶ リモコンの **(OK)** スイッチを押してメニューを表示します。
- ▶ **DVD ビデオ** を選択し、リモコンの **(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **DVD 設定** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **音声言語** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

しばらくするとメニューが表示されます。現在選択している言語の前に ● が表示されます。

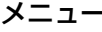
- ▶  スイッチを使用して言語を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **メニューを終了する**： または  スイッチを押します。

サブタイトルとカメラアングル

これらの機能はすべての DVD で利用できるわけではありません。利用できる字幕言語やカメラアングルの数は DVD の内容によります。設定は DVD メニューにアクセスして行なうことも可能です。

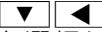
- ▶ リモコンの **(OK)** スイッチを押してメニューを表示します。
- ▶ **DVD ビデオ** を選択し、リモコンの **(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **DVD 設定** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **字幕言語** または **アングル** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。

どちらの場合も、数秒後にメニューが表示されます。現在の設定の前に ● が表示されます。

- ▶  スイッチを使用して設定を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **メニューを終了する**： または  スイッチを押します。

インタラクティブコンテンツ

DVD によっては、インタラクティブコンテンツ（例：ビデオゲーム）が収録されていることがあります。ビデオゲームでは、アクションを選択または開始することによってイベントに影響を与えることができます。アクションの種類と数は DVD により異なります。

- ▶ リモコンの   スイッチでアクションを選択して、**(OK)** スイッチを押して実行します。
メニューが表示され、最初の項目**選択**が強調されます。
- ▶ **(OK)** スイッチを押します。

COMAND システムのソースモード

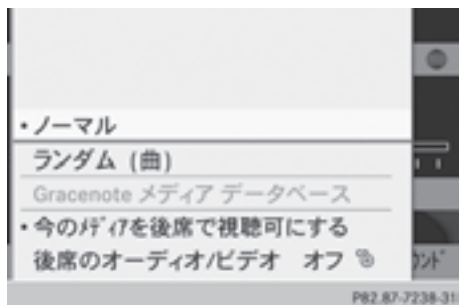
COMAND システムの機能のオン / オフを切り替える

COMAND システムで選択されているオーディオまたはビデオソースをリアエンターテインメントシステムに送ることができます。

i COMAND システムのモードを切り替えると、新しいソースはリアエンターテインメントシステムには送られません。

▶ **COMAND システムの機能をオンにする：** CD モードのように COMAND システムの希望のオーディオモード (▶24 ページ) に切り替える、または DVD ビデオモードのメニューを表示します (▶260 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、例えば音楽CDモードであれば **CD** などの、左下にあるメニュー項目を選択して、押して  確定します。
メニューが表示されます。



▶ **今のメディアを後席で視聴可にする** を選択して、押して  確定します。



上部のステータスバーに、ヘッドホンのアイコンと再生しているソースのアイコンが表示されます。

▶ **COMAND システムの機能をオフにする：** COMAND システムの希望のオーディオモードに切り替える、または DVD ビデオモードのメニューを表示します。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、例えば音楽CDモードであれば **CD** などの、左下にあるメニュー項目を選択して、押して  確定します。

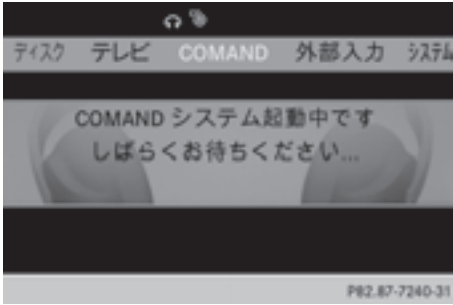
▶ **後席のオーディオ / ビデオ オフ** を選択して、COMAND コントローラーを押して  確定します。

後席用ディスプレイで COMAND システムのメディアを選択する

COMAND システムのメディアを読み込む

▶ リモコンの    スイッチを使用して **COMAND** を選択して、押して  確定します。

COMAND システムで選択されたオーディオまたはビデオソースがリアエンターテインメントシステムに読み込まれます。



読み込みの処理が終了すると、オーディオまたはビデオソースがリアエンターテインメントシステムに設定されます。

後席のオーディオ / ビデオ オフ が COMAND システムでオン有的时候は、COMAND システム オフまたは COMAND システムで再生されているソースがありません というメッセージが表示されます。

オーディオモード



例：CD モード

- ▶ **トラックをスキップしながらトラックを選択する：** リモコンの または スイッチを押します。

または

- ▶ または スイッチを押します。

前方へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。

後方へのスキップで、現在のトラックが再び再生（8 秒以上再生している場合）されるか、前のトラックから開始（現在のトラックが短い間だけ再生されている場合）します。

追加の設定オプション：

- サウンド設定を選択する（▶293 ページ）

DVD オーディオモード



例：DVD オーディオモード

- ▶ **次 / 前のグループにスキップする：** リモコンの スイッチを押します。
- ▶ または または または スイッチで強調して、押して 確定します。
- ❶ グループの情報は " グループを選択する "（▶219 ページ）にあります。

追加の設定オプション：

- サウンド設定を選択する（▶293 ページ）

MP3 モード



例：MP3 モード

- ▶ **トラックをスキップしながらトラックを選択する：** リモコンの または スイッチを押します。

または

- ▶ または スイッチを押します。

前方へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。

後方へのスキップで、現在のトラックが再び再生（8 秒以上再生している場合）されるか、前のトラックから開始（現在のトラックが短い間だけ再生されている場合）します。

- ▶ **フォルダを選択する：** リモコンの スイッチを押します。

- ▶ 2 つのフォルダのマークの 1 つを または スイッチで強調して、押して 確定します。

選択によって、前または次のフォルダが選択され、最初のトラックが再生されます。

追加の設定オプション：

- サウンド設定を選択する（▷293 ページ）

DVD ビデオモード



例：DVD ビデオモード

- ▶ **メニューを非表示にする：** スイッチで **メニュー** を確定します。
ビデオ映像が全画面で再生されます。

追加の設定オプション：

- 明るさ、コントラスト、カラーを設定する（▷294 ページ）
- 画面比率を変更する（▷294 ページ）
- サウンド設定を選択する（▷293 ページ）

外部入力モード

ご使用の前に

サウンドとビデオ信号を使用して、1 つの外部ビデオソースをリアエンターテインメントシステムのそれぞれのディスプレイ（ディスプレイ外部入力）に、また 1 つの外部ビデオソースを後席ドライブ（ドライブ外部入力）に接続できます。

外部ビデオソースの操作方法は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

外部ビデオソースの詳細については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

外部入力機器を接続する

外部入力ドライブ

外部入力端子ドライブは CD/DVD ドライブの CD/DVD ディスク排出スイッチの横にあります(▶35 ページ)。

外部入力ディスプレイ

外部入力ディスプレイ端子はディスプレイの横にあります(▶34 ページ)。

オーディオおよびビデオの接続

- ▶ 左右の音声プラグを、それぞれに対応する L と R の端子に差し込みます。
- ▶ 映像プラグを V 端子に差し込みます。

外部入力モードに切り替える

外部入力ドライブ

- ▶ リモコンの    スイッチを使用してメニューの **外部入力** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

外部入力メニューが表示されます。



外部入力メニュー

- ▶ 外部入力メニューから **メディア** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **プレーヤー接続機器** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。

外部ビデオソースを CD/DVD ドライブに接続して再生すると、外部ビデオソースの映像を視聴できます。接続した外部入力機器から映像が視聴できない場合は、オーディオメニューをご覧ください。

ディスプレイ外部入力

- ▶ "L REAR" (左画面) または "REAR R" (右画面) がウィンドウで強調されるまで、リモコン(▶34 ページ)のダイヤルを使用して画面を選択します。
- ▶ リモコンの    スイッチを使用してメニューの **外部入力** を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ 外部入力メニューから **メディア** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。
- ▶ **ディスプレイ接続機器** を選択して、**(OK)** スイッチを押して確定します。

再生操作をすると、ビデオソースの映像を視聴できます。接続した外部入力機器から映像が視聴できない場合は、オーディオメニューをご覧ください。

高音と低音を調整する

- ▶ 外部入力メニューで **Treble** または **Bass** を選択し、リモコンの **(OK)** スイッチを押して確定します。
調整スケールが表示されます。
- ▶  または  スイッチを使用して設定を選択し、**(OK)** スイッチを押して確定します。

明るさ、コントラスト、カラーを調整する

- ▶ 外部入力メニューで ディスプレイ接続機器 または プレーヤー接続機器 を選択し、(OK) スイッチを押して確定します。
- ▶ 明るさ、コントラスト または カラー を選択し、(OK) スイッチを押して確定します。

調整スケールが表示されます。

- ▶  または  スイッチを使用して設定を選択し、(OK) スイッチを押して確定します。

画面比率を変更する

- ▶ 外部入力メニューで ディスプレイ接続機器 または プレーヤー接続機器 を選択し、(OK) スイッチを押して確定します。
- ▶   スイッチを使用して、16:9 表示、4:3 表示 または ワイドスクリーン を選択し、(OK) スイッチを押して確定します。

メニュー項目の前にあるドットが現在の設定を示します。

※この取扱説明書の内容は、2012 年 1 月現在のものです。

総輸入元

メルセデス・ベンツ日本株式会社

〒106-8506 東京都港区六本木一丁目9番9号 六本木ファーストビル